

営繕工事積算チェックマニュアル

平成27年版

平成20年3月31日国営計第109号
最終改定 平成27年3月30日国営計第135号

この資料は、国土交通省官庁営繕部及び地方整備局等営繕部が官庁施設の営繕を実施するための資料として作成したものです。

利用にあたっては、国土交通省ホームページのリンク・著作権・免責事項に関する利用ルール (<http://www.mlit.go.jp/link.html>) をご確認ください。

国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課

目次

営繕工事積算チェックマニュアルの概要

図－1 積算作業におけるチェックフロー

建築工事編

(新営工事用)

数量算出チェックリスト
積算数量調書チェックリスト
数量チェックシート

(改修工事用)

数量算出チェックリスト
積算数量調書チェックリスト
数量チェックシート

電気設備工事編

(新営工事用)

数量算出チェックリスト
積算数量調書チェックリスト

(改修工事用)

数量算出チェックリスト
積算数量調書チェックリスト

機械設備工事編

(新営工事用)

数量算出チェックリスト
積算数量調書チェックリスト

(改修工事用)

数量算出チェックリスト
積算数量調書チェックリスト

営繕工事積算チェックマニュアルの概要

1. 目的

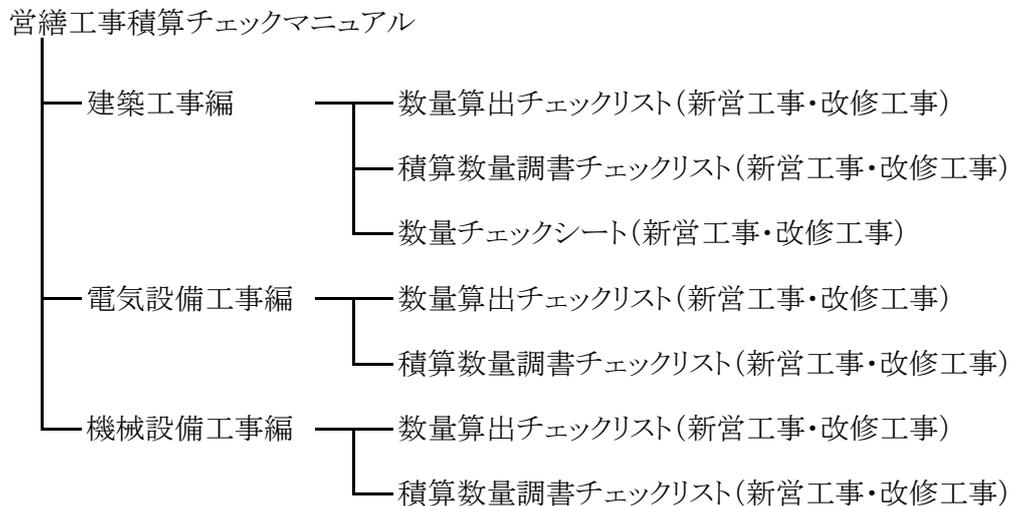
営繕工事積算チェックマニュアル(以下、「チェックマニュアル」という。)は、積算数量の拾い忘れや違算を防止し、精度向上を図ることを目的に、積算業務の各過程(図-1参照)において、チェックすべき項目や数量確認のための数値指標を整理しとりまとめたものである。

2. 適用基準

- ・公共建築工事積算基準
- ・公共建築工事共通費積算基準
- ・公共建築工事標準単価積算基準
- ・公共建築数量積算基準
- ・公共建築設備数量積算基準
- ・公共建築工事内訳書標準書式(建築工事編・設備工事編)
- ・公共建築工事見積標準書式(建築工事編・設備工事編)
- ・公共建築工事積算基準等資料

3. チェックマニュアルの構成

(1) チェックマニュアルの構成は、以下のとおりとなる。



(2) 数量算出チェックリスト

積算数量算出書作成時に、積算すべき仕様・規格毎の項目や数量積算上留意すべき事項について確認するためのチェック項目。

(3) 積算数量調書チェックリスト

積算数量調書作成時に、積算すべき仕様・規格毎の項目や数量積算上留意すべき事項について確認するためのチェック項目。

(4) 数量チェックシート(建築工事のみ)

積算数量調書作成時に計上する積算数量について、過去の工事等から算出された数値指標と、比較確認するための計算シート。

4. 数量算出チェックリスト、積算数量調書チェックリストの確認欄

確認
仕数 ▼
○

又は

確認
数 ▼
○

業務受注者が確認を行う。

管理技術者においては、全体の確認を行い、主任担当技術者(積算)及び担当技術者(積算)は、以下の記入を行い確認する。

仕：担当技術者(積算)が特記仕様書等と設計図書の確認時に記入する

数：担当技術者(積算)が積算数量算出書の計測・計算の確認時に記入する

▼：主任担当技術者(積算)が確認時に記入する

凡例

：チェック項目
○：確認済み

：チェック対象外項目
—：業務対象外

用語の定義

管理技術者：業務委託により配置される管理技術者
主任担当技術者(積算)：業務委託により配置される積算業務の主任担当技術者
担当技術者(積算)：業務委託により配置される積算業務の担当技術者

5. 数量チェックシートについて

(1) チェック項目

事務庁舎(RC造)を想定した積算数量調書に記載されている工種毎の代表となる細目の数量の妥当性を確認するため整備したものでチェック細目とそのチェックの確認内容を記載したものである。

(2) 数量チェックシートの運用上の注意

建築工事の数量チェックは、建築面積や延床面積当たりの数量や略算方式に基づいて行われている。

数量チェックシートは、過去の事務庁舎(RC造)の実績データを基に建築面積や延床面積当たりの数量を分析し、標準的な目安の数値として示している。なお、異なる用途の建物であっても準用しチェックを行うことができる。

建築物は、固有性が高いため同一規模(面積)の建物であっても様々な要因により単位面積当たりの数量に相違が見られる。

従って、チェックシートに基づきチェックした判定が、NOであっても計算ミスがない限り間違いではなく、多めな理由又は少なめな理由をチェックすることが重要であり大切なチェック手法である。

建物の躯体、外部仕上げ、内部仕上げ数量の変動要因には様々なものがあり、以下に主な変動要因を示す。

① 建物の形状

・平面に凹凸がある場合

周長率(建物周長/建築面積)が大きくなるにつれ数量が大きくなる。

・階高

階高により躯体、外部仕上げ数量に変動を与える。

・外部開口部

外部窓の数、窓の形状(単層・連層)により躯体、外部仕上げ数量に変動を与える。

② 建物用途

研究施設、住宅施設など間仕切りの多い(部屋数)施設などは、一般的に躯体、内部仕上げ数量が多くなる傾向にある。

③ 平面形状

延床面積に含まれない部分(ピット・槽類、バルコニー・庇)により、躯体、外部、内部仕上げ数量に変動を与える。

(3) 数量チェックシートによる数量チェック

数量チェックは、営繕工事積算数量チェックシートの該当する全てのチェック項目について内訳明細書の数量の転記により行う。

① 数量チェックが許容範囲内である場合

数量が許容範囲内もしくは若干の許容範囲外であれば、ほぼ妥当性が確認できるが前記の変動要因を考慮して数量の大小の傾向をチェックすることが重要である。

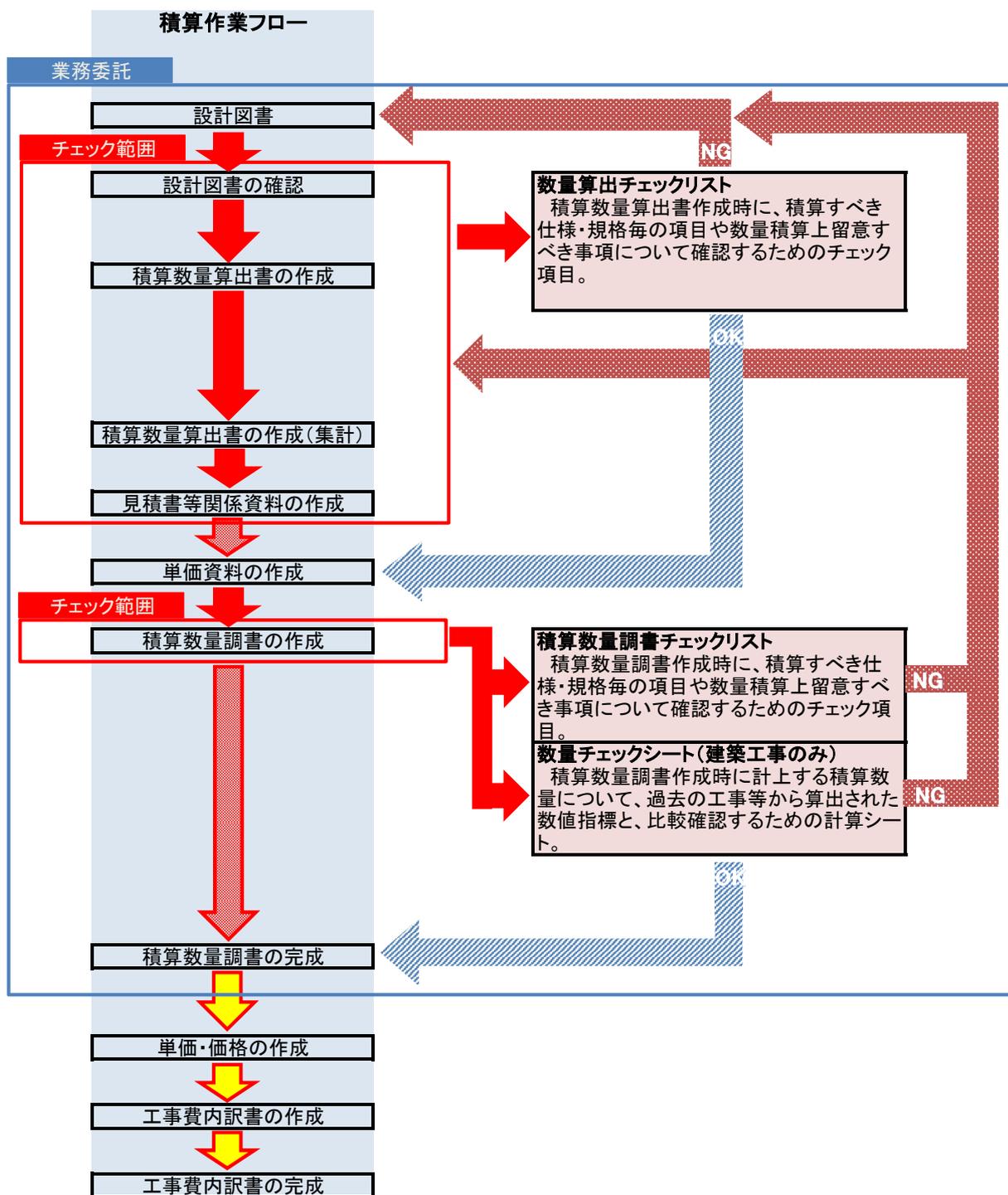
② 数量チェックが許容範囲内から大きくはずれた場合

上記①によるチェックによるほか、必要に応じて細部(数量調書)までの確認を行うことが重

要であり、以下による。

- ・ 躯体に関連する積算数量(コンクリート、型枠、鉄筋)を階ごと及び部材ごとに整理集計した建築工事躯体集計表により、階別及び部材別の数量のバランスを確認し、異常値がないかの確認を行う。
- ・ 外部仕上げの数量は、変動要因に大きく左右されるため必要に応じて概数算出による確認も行う。
- ・ 内部仕上げの床、天井のように延床面積とほぼ等しくなる数量については、仕上げ集計表により各階別仕上げ面積計と各階の床面積との比較により異常値がないかの確認を行う。

図-1 積算作業におけるチェックフロー



建築工事編

数量算出チェックリスト (新営工事用)

業 務 名 _____

施 設 名 _____

業務受注者名 _____

担 当 者 名

管 理 技 術 者 : _____

主任担当技術者（積算）: _____

担当技術者（積算）: _____

I. 基本事項

1. 基準類の確認

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
基準類	適用となる設計図書と基準類（適用年度）とその適用年度について確認したか。			
	設計図書			
	・ 図面及び仕様書			
	・ 現場説明書			
	・ 図面及び現場説明書に対する質問回答			
	建築関係			
	・ 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成 年版）			
	・ 建築工事標準詳細図（平成 年版）			
	積算関係			
	・ 公共建築工事積算基準（平成 年版）			
	・ 公共建築工事共通費積算基準（平成 年版）			
	・ 公共建築工事標準単価積算基準（平成 年版）			
	・ 公共建築数量積算基準（平成 年版）			
	・ 公共建築工事内訳書標準書式（建築工事編）（平成 年版）			
	・ 公共建築工事見積書標準書式（建築工事編）（平成 年版）			
・ 公共建築工事積算基準等資料（平成 年版）				

2. 数量基準

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
数量	数量は、設計数量とする。ただし、所要数量又は計画数量を必要とする場合は、数量積算基準に示す方法としたか。			
設計寸法	設計寸法とは、設計図書に表示された寸法、表示された寸法から計算によって得られる寸法及びスケール等により読み取ることのできる寸法をいう。			
単位	計測・計算の単位は、原則としてm、㎡、m ³ 及びtとするほか適切な単位としたか。ただし、少量の施工が点在する場合の数量は、か所等の単位としたか。			
有効数値	計測・計算の有効数値は、原則として次としたか。			
	端数の処理は、四捨五入とする。			
	内訳書の細目数量は、小数点以下第1位としたか。また、100以上の場合は整数としたか。			

3. 特記仕様書 一般共通事項

チェック項目	チェック内容	確認	
		仕	数 ▼
工事名称	工事名称を確認したか。		
工事場所	工事場所を確認したか。		
単価使用区分	新営・改修等による他工事との使用単価（新営・改修）を確認したか。		
	・新営単価 建物名：		
	・改修単価（入居者なし） 建物名：		
	・改修割増単価（入居者あり） 建物名：		
工事種目	工事種目を確認したか。		
	建物・工事種目及び設備科目毎に数量の拾い分けをしたか。		
指定部分	指定部分の有無を確認したか。		
	・無し		
	・有り 工期：平成 年 月 日		
	範囲：		
予算区分	予算の区分による拾い分けが必要か発注者に確認したか。		
	・無し		
	・有り 範囲：		
関連工事	本工事以外の関連工事があるか発注者に確認したか。		
	・無し		
	・有り（ ・ 電気設備工事 ・ 機械設備工事 ・ ）		
発注範囲	本工事において（発注しない）別途工事部分があるか確認したか。		
	・無し		
	・有り 特記仕様書記載（ ・ ・ ）		
	・有り 図面記載（ ・ ・ ）		

Ⅱ. 新営工事

1 仮設

チェック項目	チェック内容	確認	
		仕	数 ▼
共通事項	工事規模に対して、工期が適正か確認したか。		
	指定仮設の項目、範囲等を確認して算出したか。		
	試験・調査の有無を確認して算出したか。		
	仮設計画図を作成し、適正か確認したうえで算出したか。		
	VOC測定の有無を確認して算出したか。		
	適正な工事工程となっているか確認したか。		
	算出する建物が、「一般」、「小規模、複雑」のどちらに該当するか確認して算出したか。		
	分割発注の場合、仮設の区分をするか確認して算出したか。		
遣方	建築面積にドライエリア、外部階段等の設置部分の面積を加算したか。		
	地下階が有る場合や小規模建物の場合に遣方の検討をして算出したか。		
墨出し、養生、整理清掃・後片付け	建物の延床面積で算出したか。		
	ドライエリア、ベランダ等も区分して算出したか。		
外部足場	設計地盤と現状地盤が異なる場合、現状地盤（平均）を基準線として算出したか。		
	足場種類毎に数量を算出したか。		
ドライエリア足場	ドライエリア足場を算出したか。		
地足場	地足場が必要か確認し、必要な場合建物の建築面積で算出したか。ただし、地下面積が建築面積を超える場合、地下の建物面積として算出したか。		
内部足場	躯体工事用、仕上工事用及び階高に応じて区分して算出したか。		
	ピット、二重スラブ等の場合でも必要か確認して算出したか。		
内部仕上足場	壁仕上げのみの部分を区分して算出したか。		
内部階段足場	「n階建」の建物において階段室床面積×(n-1)として算出したか。		
シャフト内足場	各階シャフトの床面積を合計して算出したか。		
災害防止養生	小幡ネット養生が必要か確認して算出したか。		

2 土工・地業

2-1 土工

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
共通事項	土工計画（根切り図等）を作成し、算出したか。 （山留め計画、排水計画、構台計画の参考図は作成されているか確認したか）			
	根切り基準線の位置を確認し算出したか。			
	土工数量の流用計画を作成し、算出した数量に過不足が無い確認したか。			
整地	整地の範囲が指定されているか又すきとり、切土が必要か確認して算出したか。			
根切り	根切り基準線から算出したか。			
	場外搬出までに小運搬、再積み込みは必要か確認したか。			
床付け	基礎、基礎梁下、耐圧盤下等の地業面積で算出したか。（機械施工を対象とする）			
	盛土部分は除いて算出したか。			
埋戻し	埋戻しの数量=根切りの数量-(現状GL以下の基礎又は地下構築物（ピット含む）の体積+砂利地業の体積+捨てコンクリートの体積)を確認したか。			
盛土	設計GLが根切り基準線より高い場合、盛土を算出したか。			
仮置き土	根切り周辺部に仮置きできるか確認し、できない場合は運搬距離毎に区分して算出したか。			
建設発生土	建設発生土の数量=根切りの数量+すきとりの数量-(埋戻しの数量+盛土の数量)を確認したか。			
	運搬距離、ダンプトラック種別毎に区分し算出したか。また、ダンプトラックの規格は適正か。			
	処分指定場所毎に区分して算出したか。			
山留め	参考図の指定により算出したか。			
機械運搬	必要台数および回数を算出したか。			

2-2 地業

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
共通事項	材種・規格・工法等に区分し算出したか。			
床下防湿層敷き	基礎梁際の、のみ込みを確認し算出したか。			
床下断熱材敷き	材種・規格・工法等に区分し算出したか。			
	基礎梁際の、のみ込みを確認し算出したか。			
既製コンクリート杭	継手について特記仕様書を確認したか。			
	杭間ざらいの算出をしたか。			
	発生土又は汚泥は、工法毎に区分して算出したか。			
	杭頭補強は種別毎に区分して算出したか。			
場所打ちコンクリート杭	杭頭部の余盛りを加算し、算出したか。			
	コンクリートの所要数量算出のための割増し率を確認して算出したか。			
	鉄筋の所要数量算出のための割増率を確認して算出したか。 （数量基準では、3%増を標準とする）			
	鋼材の所要数量算出のための割増率を確認して算出したか。			

3 躯体

3-1 鉄筋

チェック項目	チェック内容	確認	
		仕	数 ▼
共通事項	【躯体】【外部仕上】【内部仕上】に区分して算出したか。		
	規格、形状、寸法等毎に区分して設計数量で算出したか。		
鉄筋	所要数量を求めるときに、割増率を確認して算出したか。		
	フックの必要な部位を確認して算出したか。		
	床版～梁取合いの受け筋を算出したか。		
	開口部及びコンクリート貫通箇所等の補強筋を算出したか。		
	スパイラル筋は、設計数量で算出したか。		
スクラップ控除	鉄筋の割増数量（所要数量－設計数量）に対し、スクラップを70%として算出したか。		
継手	継手方法は、仕様書通りか。		
	ガス圧接は径別に箇所数を算出したか。		
スリーブ	工事区分（建築、設備）を確認して算出したか。		

3-2 コンクリート

チェック項目	チェック内容	確認	
		仕	数 ▼
共通事項	【躯体】【外部仕上】【内部仕上】に区分して算出したか。		
コンクリート	集計表は、①部位別、②階別、③部材別、④打設別を作成したか。		
	コンクリート種別毎に、設計強度、スランプなどにより区分して算出したか。		
	鉄骨によるコンクリートの欠除を行い、算出したか。		
	壁・柱・梁で外部に面する打放しコンクリート部分の増打ち及び意匠上の増打ちの見落としはないか。		
	防水押えコンクリートの見落としはないか。		
	下がり壁の見落としはないか。		
打設手間	打設の実状に応じた打設区分で、計画しているか。		
	建物内及び屋上の設備基礎等で後打ちが想定される場合は小型構造物として算出したか。		
構造体強度補正	打設時期を考慮して、コンクリート数量を集計しているか。		
専用仮設	配管型ポンプ車の場合、コンクリート足場を算出したか。		
養生	寒冷期（外気温3℃未満）にやむを得ずコンクリート打設を行う場合、シート養生、足場損料等を算出したか。		

3-3 型枠

チェック項目	チェック内容	確認	
		仕	数 ▼
共通事項	【躯体】【外部仕上】【内部仕上】に区分して算出したか。		
型枠	普通型枠、打放し型枠等を材料、工法、コンクリート打設面等に区分し算出したか。		
	普通型枠と打放し型枠を重複して算出していないか。		
	勾配屋根の場合、上部型枠は必要か確認して算出したか。		
	建物内及び屋上の設備基礎等で後打ちが想定される場合は区分として算出したか。		
打放し面補修	打放し面毎に算出したか。		
コーン	使用部位を図面等にて確認し、算出したか。		
型枠目地棒	打継目地、化粧目地、ひび割れ誘発目地、大面木の形状ごとに算出したか。		

3-4 鉄骨

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
共通事項	【主体鉄骨】【付帯鉄骨】に区分して算出したか。			
	【工場製作】【現場建方】に区分して算出したか。			
	規格、形状、寸法等毎に区分し、設計数量で算出したか。			
鋼材	所要数量を求めるときに、割増率を確認して算出したか。			
工場加工組立	鉄骨工場加工組立と軽量鉄骨加工・取付を区分して算出したか。			
高力ボルト	形状から締め付け長さが適正か確認して算出したか			
スタッドボルト	現場施工及び工場施工毎に区分して算出したか。			
デッキプレート	コンクリート流れ止めが必要か確認して算出したか。			
ターンバックルボルト	ブレース材重量及びターンバックルなどの内寸法で算出したか。（羽子板は含まない）			
スクラップ控除	鋼材の割増数量（所要数量－設計数量）に対し、スクラップを70%として算出したか。			
PC板取付用1次ファスター	PC工事と鉄骨工事の区分を確認して算出したか。			
耐火塗料	部位別、部材別に算出したか。			
鉄骨工場塗装	一般・ラチス・軽量毎に算出したか。			
	工場塗装と現場塗装を明確に区分して算出したか。			
スリーブ	工事区分（建築、設備）を確認して算出したか			
主体鉄骨建方	設計数量（現場本締ボルトは含まず）で算出したか。			
建方機械器具	揚重機選定及び規格を確認して算出したか。			
超音波探傷試験	検査水準・AOQLにより、算出したか。			
溶接長さ	仕様書、標準図により溶接種別毎に、算出しているか。			
鉄骨足場	鉄骨部延床面積で算出したか。			
災害防止養生	各階毎に安全柵水平張りを算出したか。 （平家建の場合は不要。）			
	鉄骨軸組部分の建方掛け面積で算出したか。（柱外面で囲まれた範囲も含む）			

4 仕上

4-1 外部仕上げ

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
共通事項	施工工程を確認し工程毎に算出したか。			
	材種別に材質・形状・寸法・工法・施工場所等に区分して算出したか。			
ALCパネル、 押出成形セメント 板	パネ間の目地材の施工区分を確認し、見積りに含まれ無い場合は算出したか。			
	他部材との取り合い部の目地材は算出したか。			
	表面仕上げの確認をし（工場or現場）、表面材による拾い分けをしたか。			
	2次ファスターの見落としはないか。			
アスファルト防水	防水の種類、種別毎に区別して算出したか。			
	防水層の保護（押えコンクリート等）は必要か確認し、必要な場合は算出したか。			
合成高分子シート 防水	防水の種類、種別毎に区別して算出したか。			
塗膜防水	防水の種類、種別毎に区別して算出したか。			
入り隅処理（防水）	必要の有無を確認して必要な場合は算出したか。			
シーリング	シーリング材の種別、材種、目地寸法を確認したか。			
	二重シール部分の見落としはないか。			
成形緩衝材	必要の有無を確認して必要な場合は算出したか。			
脱気装置	必要の有無を確認して材種・箇所数に算出したか。			
ルーフトレン	サイズ、材種毎に区分して算出したか。			
	アスファルト・シート防水用、断熱防水用、塗膜・モルタル防水用に区分して算出したか。			
	縦引き、横引き、中継用に区分して算出したか。			
とい	材質、形状、寸法毎に区分して算出したか。			
鋼管とい保温	といの形状毎に、一般の屋内露出部、天井内等、厨房・浴室内等区分したか。			
鋼管とい塗装	といの形状、材質毎に算出したか。			
鋼管とい掃除 口	といの形状毎に区分して算出したか。			
	床上、床下に区分して算出したか。			
軽量鉄骨天井 下地	野縁、野縁受け等の間隔について設計図書を確認の上、算出したか。			
アルミ製笠 木・水切り金 物	寸法、形状及び表面仕上げ毎に算出したか。			
	コーナー加算	寸法、形状及び表面仕上げ毎に算出したか。		
石	引き金物、取付金物の見落としはないか。			
タイル	役物類がある場合、外壁タイルの平面積から役物の面積を控除し算出したか。			
	密着張り、改良積上張り、小口タイル張り、マスク張り等毎に区分して算出したか。			
	コンクリート素地面処理の工法を確認したか。			
壁大判タイル張り	引き金物、取付金物の見落としはないか。			
各種吹付け	吹付け材は材質、仕上げの形状毎に算出したか。			

4-2 内部仕上げ

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
共通事項	施工工程を確認し工程毎に算出したか（用意された単価ごとに区分）。			
	材種別に材料・形状・寸法・工法・施工場所等に区分して算出したか。			
床				
共通	床仕上げの合計が延床面積を超えていないか確認したか。			
左官				
床コンクリート直均し仕上げ	フーアケスフア、OAフアの場合は仕上げの有無及び仕様を確認して算出したか。			
	表面仕上げ毎に区分して算出したか。			
下地モルタル塗り	張り物、敷物、防水下地、タイル張りの工法毎に算出したか。			
壁				
共通	下地張りの有無の確認及び工法の確認をしたか。			
既製コンクリート				
コンクリートブロック積み	種別の確認はしたか。			
	塗り下、片面化粧、両面化粧毎に算出したか。			
まぐさコンクリート	断面毎の箇所数で算出したか。			
ALCパネル	屋根、外壁、床、間仕切壁など厚さ毎に算出したか。			
	パネ間の目地材は見積りに含む場合は算出不要とし、他部材との目地材は計上したか。			
押出成形セメント版	表面仕上げの確認はしたか。（工場or現場）			
	外壁、間仕切壁など厚さ毎に算出したか。			
押出成形セメント版	パネ間の目地材は見積りに含む場合は算出不要とし、他部材との目地材は計上したか。			
	表面仕上げの確認はしたか。（工場or現場）			
タイル				
内装タイル張り	役物類がある場合、タイル平面積から役物の面積を控除したか。			
壁ユニットタイル	タイルのサイズにより工法を確認して算出したか。			
壁タイル接着剤張り	施工場所により有機質接着剤について、タイプⅠ・Ⅱに区分して算出したか。			
金属				
軽量鉄骨壁下地	捨張りの有無を確認して間柱の間隔毎に算出したか。			
	梁、スラブ下あるいは天井面まで設置するか確認して算出したか。			
	下がり壁の見落としはないか。			
壁見切縁	軽量鉄骨壁下地共（耐火間仕切り壁等）の部位による、重複計上はないか。			
	見落としはないか。			
左官				
下地モルタル塗り	各種タイル張り工法別に算出したか。			
モルタル塗り	刷毛引、金ゴテ仕上げを部位毎に区分して算出したか。			
各種吹付け	材質、表面形状毎に算出したか。			
塗装				
下地調整	下地の種類毎に下地調整種別を確認したか。			
塗装係数	建具類、鉄骨などに採用した係数は妥当か。			
さび止め塗料塗り	鉄面、亜鉛メッキ面毎に算出したか。			
各種塗装仕上げ	一般面、見上げ面、仕様の種別毎に算出したか。			
耐候性塗料塗り	鉄面において、下地処理等の確認をしたか。			
内外装				
ボード張り	仕上種別、下地種別及び厚さ等を確認して算出したか。			
遮音壁	遮音シール材の仕様を確認して算出したか。			
断熱材張り・打ち込み	種類・施工箇所を確認して算出したか。			

4-2 内部仕上げ

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
天井				
共通	天井仕上げの合計が延床面積を超えていないか確認したか。			
	下地張りの有無の確認及び仕様の確認をしたか。			
金属				
軽量鉄骨天井 下地	捨張りの有無を確認して、野縁の間隔毎に算出したか。			
	振れ留め加算の有無を確認して算出したか。			
	天井のふところ高さを考慮して算出したか。			
	ホール等の大空間の場合、耐震性を考慮した補強が必要か確認し算出したか。			
天井廻縁	材種毎に算出したか。			
下がり壁見切縁	材種毎に算出したか。			
塗装				
下地調整	下地の種類毎に下地調整種別を確認したか。			
塗装係数	建具類、鉄骨などに採用した係数は妥当か。			
さび止め塗料塗り	鉄面、亜鉛メッキ面毎に算出したか。			
各種塗装仕上げ	一般面、見上げ面、仕様の種別毎に算出したか。			
耐候性塗料塗り	鉄面において、下地処理等の確認をしたか。			
内外装				
ボード張り	仕上種別、下地種別及び厚さ等を確認して算出したか。			
断熱材張り・打ち込み	種類・施工箇所を確認して算出したか。			
その他				
木工				
構造材・小割材	断面部材が、ひき立て寸法または仕上がり寸法で示しているか確認したか。			
	材工分離の場合、材料は所要数量で算出したか。			
造作材	断面部材が、ひき立て寸法または仕上がり寸法で示しているか確認したか。			
	材工分離の場合、材料は所要数量で算出したか。			
銘木(板材、縁甲板)	本数、枚数又は面積で算出したか。			
金属				
あと施工アーカー	金属系、接着系を区分して算出したか。			
	径別、施工部位別に区分して算出したか。			
手摺り	斜部手すりは、水平投影長さではなく手すり長さで算出したか。			

5 建具

5-1 木製建具

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
共通事項	建具キープランと建具表の数量のくい違いはないか確認して算出したか。			
	建具面の仕上げ・塗装の有無を確認し算出したか。			
ふすま	上張りによる区別をしたか。			

5-2 金属製建具

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
共通事項	建具キープランと建具表の数量のくい違いはないか確認して算出したか。			
	種別（耐風圧・気密・水密性）、枠見込み、表面処理などの性能・仕様を確認したか。			
	主仕上げの材質、形状等により区分して算出したか。			
	同じ符号であっても枠・金物等の違いがある場合は、子番号等を追加して区分けをしたか。			
	焼き付け塗装の場合は、塗装計測対象外としたか（建具の見積に含めるため）。			
アルミニウム製建具	網戸の設置が必要か確認し算出したか。			
	建具と水切間のシーリングを建具見積りに含む場合は、計上対象外としたか。			
	内部建具がある場合、外部建具と区分して算出したか。			
自閉式上吊り引戸装置	装置付建具は、その他建具と区分して算出したか。			
自動ドア開閉装置	数量計上の見落としはないか。			
建具周囲シーリング	建具内法寸法によって計測、算出したか。			
	断面（目地幅）寸法毎に区分し、算出されているか。			
	シーリング材の種類を、被着体の組み合わせにより確認し算出したか。			
枠廻りモルタル充填	建具内法寸法によって計測、算出したか。			
	下枠・靴摺り・目地棒が無い場合、計測範囲を確認し、算出したか。			
	外部、内部に区分して算出したか。			

5-3 カーテンウォール

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
メタルカーテンウォール	平面図と建具表の数量のくい違いはないか確認して算出したか。			
	シーリング材の種別・構造用ガスケットの適用の確認をして算出したか。			
	取り合う笠木・幕板・カーテンボックス等の工事範囲を確認して算出したか。			
PCカーテンウォール	材種別に材質・形状・寸法・工法などにより区分して算出したか。			
	パネ間の目地材は計測対象外（見積に含める）とし、他部材との目地材は算出したか。			
	表面（裏面共）仕上げ及び建具の取り付けは計測対象となるか確認して算出したか。			
	2次ファスターの見落としはないか。			

5-4 ガラス

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
共通事項	材種、形状、規格寸法、厚さ、留め材毎に算出したか。			
	特殊寸法、特殊形状は寸法毎に単位を枚として算出したか。			
	小口処理等の特殊加工を必要とする箇所が有るか確認して算出したか。			
熱線反射ガラス	熱線反射ガラスの映像調整は必要か確認して算出したか。			

注) 強化・複層・合わせガラスは、特寸 2.0㎡以下、4.0㎡以下、6.0㎡以下毎に算出する。

注) その他板ガラスは、特寸 2.18㎡以下、4.45㎡以下、6.81㎡以下毎に算出する。

6 仕上ユニット

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
棚、台、流し、浴そう、鏡	材種、規格、形状寸法毎に箇所数を算出したか。			
スクリーン、隔壁、カウンター	材種、規格毎に算出したか。			
表示板、換気孔、ルーバー、床下点検口、カーテンボックス	材種、規格、寸法毎に箇所数を算出したか。			
移動間仕切、可動間仕切	材種、規格毎に面積又は箇所数を算出したか。			
カーテン、ブラインド	材種、規格、形状寸法による箇所数を数量としたか。			
造り付け家具	設置する面の仕上を控除したか。			
屋上緑化	仕様等を図面等にて確認したか。			
	設備工事との区分けについて、確認し対象となる数量を算出したか。			
	搬入方法を図面等で確認し、適切に計上したか。			
	養生、整理清掃後片付けの有無を確認し、必要な場合は算出したか。			
	屋上緑化システムの場合、樹木、植え込み手間、支柱等は、「7 外構 植栽」に準じて算出したか。			

7 外構

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
共通事項	敷地境界が明確になっているか確認したか。			
	敷地内と敷地外を区分して算出したか。			
	共通仮設は計画図を基に算出したか。			
	土工算出において、異工種（舗装と縁石、舗装と柵等）の重複を控除したか。			
舗装				
共通	施工工程を確認し工程毎に算出したか			
	材種別に材質・構成・形状・寸法・工法・施工規模・表面仕上げ・施工場所等に区分して算出したか。			
仮設	仮設を適切に算出したか。			
コンクリート舗装	コンクリートの規格、溶接金網、目地の有無を確認したか。			
舗装機械運搬	舗装機械の編成が適正か。			
屋外排水設備				
共通	施工工程を確認し工程毎に算出したか（用意された単価ごとに区分）			
	建設発生土を適切に算出したか。			
排水管	種類・呼び径・管底深さ毎に算出したか。			
柵	用途、管底毎に算出したか。			
	マンホールの材質、用途、適用荷重を確認したか。			
	グレーチング蓋の材質、用途、適用荷重、メンバーピッチを確認したか。			
既製U型側溝	ブロック形状、構成毎に算出したか。			
	グレーチング蓋の材質、用途、適用荷重、メンバーピッチを確認したか。			
現場打ちU型側溝	コンクリートの規格、構成毎に算出したか。			
	グレーチング蓋の材質、用途、適用荷重、メンバーピッチを確認したか。			
自由勾配側溝	ブロック形状、構成毎に算出したか。			
	勾配調整コンクリートを算出したか。			
し型・V型側溝	ブロック形状、構成毎に算出したか。			
その他	既存柵の接続補修を算出したか。			

7 外構

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
植栽				
共通	施工工程を確認し工程毎に算出したか（用意された単価ごとに区分）。			
	新植・移植・伐採抜根毎に算出したか。			
植栽基盤整備	土壌改良材の使用の有無・材料・規格・使用量毎に算出したか。			
	有効土層厚さ毎に算出したか。			
樹木	樹種・サイズ（樹高・幹径・葉張り等）毎に算出したか。			
植え込み手間	サイズ毎に算出したか。			
幹巻き	サイズ毎に算出したか。			
支柱	支柱形式・材種毎に算出したか。			
肥料等	材種・成分配合比毎に算出したか。			
	配合量は適正か。			
客土	材種毎に算出したか。			
盛土	客土と区分して算出したか。			
	用土の種類を確認したか。			
付合物	説明標・説明板等の付合物を算出したか。			
芝張り	種類・工種毎に算出したか。			
地被類	m ² 当たりのポット個数を確認したか。			
	種類・サイズ毎に確認したか。			
移植	移植場所を確認したか。			
	仮移植の有無を確認したか。			
掘取り	樹種・サイズ毎に算出したか。			
	根巻きの有無を確認したか。			
根巻き	サイズ毎に算出したか。			
機械運搬	必要に応じて算出したか。			
伐採抜根	伐採・抜根・伐採抜根を区分して算出したか。			
	発生材の運搬距離・受け入れ場所は図面等に対応しているか。			

8 発生材処理

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
発生材運搬	発生材の種別毎に区分して算出したか。			
	運搬距離、ダンプトラック種別毎に区分して算出したか。			
	敷地状況及び発生量等を勘案して、算出したか。			
発生材処分	発生材の種別毎に区分して出したか。			

積算数量調書チェックリスト (新営工事用)

業 務 名 _____

施 設 名 _____

業務受注者名 _____

担 当 者 名

管 理 技 術 者 : _____

主任担当技術者（積算） : _____

担当技術者（積算） : _____

I. 基本事項

1. 基準類の確認

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
基準類	適用となる基準類とその適用年度について確認したか。 ・公共建築工事内訳書標準書式（建築工事編）（平成 年版）		

2. 内訳書の記載内容

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
種目別内訳書	直接工事費の種目を設計図書の表示に従い各工事種目毎に区分したか。		
	全体工事のうち、一部分について全体工期より先に完成を指定した部分(指定部分)等がある場合は、当該部分を区分して記載したか。		
科目別内訳書	設計図書の工事種目等を標準として直接工事費を科目に区分しその科目を記載したか。		
中科目別内訳書	科目別内訳において区分した科目をさらに主要な構成に従い区分し、その中科目を記載したか。ただし、工事内容等により区分する必要がない場合は、省略したか。		
細目別内訳書	各科目あるいは中科目に属する細目毎に数量を記載したか。なお、必要に応じ別紙明細書を設け、1式で記載したか。		
	摘要欄は、材種、材質、形状、寸法、工法、その他単価に対応する条件などを記載したか。		

3. 特記仕様書との照合

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
工事名称	工事名称を確認したか。		
工事場所	工事場所を確認したか。		
単価使用区分	新営・改修等による他工事との使用単価（新営・改修）を確認したか。		
	・新営単価 建物名：		
	・改修単価（入居者なし） 建物名：		
	・改修割増単価（入居者あり） 建物名：		
工事種目	工事種目を確認したか。		
	建物・工事種目毎に数量の拾い分けをしたか。		
指定部分	指定部分の有無を確認したか。		
	・無し		
	・有り 工期：平成 年 月 日		
	範囲：		
予算区分	予算の区分による拾い分けが必要か発注者に確認したか。		
	・無し		
	・有り 範囲：		
関連工事	本工事以外の関連工事があるか発注者に確認したか。		
	・無し		
	・有り（ ・ 電気設備工事 ・ 機械設備工事 ・ ）		
発注範囲	本工事において（発注しない）別途工事部分があるか確認したか。		
	・無し		
	・有り 特記仕様書記載（ ・ ・ ）		
	・有り 図面記載（ ・ ・ ）		

Ⅱ. 新営工事

1 仮設

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	指定仮設の設置期間は図示のとおりか。		
	計上された項目が、一般、小規模、複雑に区分されているか。		
	直接仮設と共通仮設の区分分けは適正か。		
	分割発注の場合、仮設の区分は適正か。		
外部足場	各部位毎の足場の存置日数は適正か。		
内部足場	階高によって足場種別が区分されているか。		
	各部位毎の足場の存置日数は適正か。		
仮設材運搬	安全手摺、養生シート等計上漏れはないか。		
	計上した仮設材と仮設材運搬の数量は整合しているか。		

2 土工・地業

2-1 土工

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	根切り、埋戻し土、建設発生土等の数量は収支が整合しているか。		
根切り	人力・機械施工の選択は適切か。		
埋戻し	埋戻し土の種別は図示のとおりか確認したか。		
	A種及びD種の場合、締め固めによる材料の変化率、割増率を考慮したか。		
	C種の場合、運搬費、積み込み費は工事範囲か確認したか。		
盛土	盛土用土の種別は図示のとおりか確認したか。		
	A種及びD種の場合、締め固めによる材料の変化率、割増率を考慮したか。		
	C種の場合、運搬費、積み込み費は工事範囲か確認したか。		
山留め	鋼材費用を、賃料あるいは全損を確認のうえで計上したか。		
土工機械運搬	機械種別や台数は、施工規模、施工方法や施工時期を考慮し、適切に計上されているか。		

2-2 地業

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	【地業】【既製コンクリート杭】【場所打ちコンクリート杭】に区分し、計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	工法、仕様は図示のとおりか。		
砂利地業	厚さが300mmを超えている場合は300mm毎に締め固めをみているか。		

3 躯体

3-1 鉄筋

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	【躯体】【外部仕上】【内部仕上】に区分し、計上されているか		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		
鉄筋（資材）	所要数量で計上されているか。		
	スパイラル筋は、設計数量で計上されているか。		
スクラップ 控除	鉄筋の割増数量（所要数量－設計数量）に対し、スクラップを70%として算出したか。		
鉄筋加工組立	設計数量で計上されているか。		
	現場加工か工場加工か確認して計上されているか。		
	鉄骨造等で土間のみRC造の場合、S造スラブとして計上されているか。		
	建物内及び屋上の設備基礎等は、小型構造物として計上されているか。		
鉄筋運搬	少量の場合の運搬費を検討したか。		

3-2 コンクリート

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	【躯体】【外部仕上】【内部仕上】に区分し、計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		
コンクリート	無筋コンクリートの強度を確認したか。		
打設手間	打設部位毎、打設回数毎に計上されているか。		
養生	寒冷期（外気温3℃未満）にやむを得ずコンクリート打設を行う場合、養生を計上したか。		
構造体強度補正	工程を考慮した構造体強度補正が計上されているか。		
打設基本料金	必要に応じて、基本料金が計上されているか。		

3-3 型枠

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	【躯体】【外部仕上】【内部仕上】に区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		
型枠	普通型枠、打放し型枠等を材料、工法、コンクリート打設面等に区分し計上されているか。		
打放し面補修	打放し補修面積と対応する打放し型枠面積が一致するか。		
コーン処理	コーンを使用する場合に、計上しているか。		
型枠運搬	型枠運搬数量=普通型枠数量+打放し型枠数量としたか。		
	型枠単価に運搬費が含まれている型枠と区分し計上されているか。		
	少量の場合の運搬費を検討したか。		

3-4 鉄骨

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	【主体鉄骨】【付帯鉄骨】に区分して計上されているか。		
	【工場製作】【現場建方】に区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか		
鋼材	所要数量で計上されているか。		
工場加工組立	設計数量(現場本縮がれは含まず)を計上されているか。		
	鉄骨工場加工組立と軽量鉄骨加工・取付を区分して計上されているか。		
スクラップ控除	鉄骨の割増数量(所要数量-設計数量)に対し、スクラップを70%として算出したか。		
主体鉄骨建方	設計数量(現場本縮がれは含まず)を計上されているか。		
1次ファスター	工事区分により、適切に算出しているか。		
建方機械器具	揚重機選定及び規格の確認をしたか。		
	日数は適正か。		
	共通仮設費の積上げとして計上しているか。		

4 仕上

4-1 既製コンクリート

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	【外部】【内部】に区分して計上されているか。		
	材種別に材質・形状・寸法・工法等に区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		
C/B積み	塗り下、片面化粧、両面化粧毎に区分して計上されているか。		
C/B化粧積み加算	塗り下、片面化粧、両面化粧毎に区分して計上されているか。		
まぐさコンクリート	断面毎に箇所数に区分して計上されているか。		

4-2 防水

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	【外部】【内部】に区分して計上されているか。		
	材種別に材質・形状・寸法・工法等に区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		
アスファルト防水	平部、立上り部の仕様は適正か。		
シーリング	種別、サイズは適正か。		
	他の工種で計上されている場合に重複はないか。(金属の笠木に含まれている場合等)		

4-3 石

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	【外部】【内部】に区分して計上されているか。		
	材種別に材質・形状・寸法・工法等に区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		

4-4 タイル

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	【外部】【内部】に区分して計上されているか。		
	材種別に材質・形状・寸法・工法等に区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		
	多湿部、一般部の接着剤タイプは適正か。		
	工法、施工部位に対する張り手間は適正か。		

4-5 木工

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	材種別に材質・形状・寸法・工法等に区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		
	樹種、代用樹種の選定は適正か。		

4-6 屋根及びとい

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	材種別に材質・形状・寸法・工法等に区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		

4-7 金属

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	【外部】【内部】に区分して計上されているか。		
	材種別に材質・形状・寸法・工法等に区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		
軽鉄天井下地	ボード寸法と軽量天井下地のピッチは適正か。		
塗装	塗装工程で工場塗装、素地ごしらえ等は、見積りに含んでいるか。		
便所手すり	取付手間の見落としはないか。		

4-8 左官

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	【外部】【内部】に区分して計上されているか。		
	材種別に材質・形状・寸法・工法等に区分し計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		
壁珞珞	厚さによる塗り回数補正は適正か。		
壁下地珞珞	厚さによる塗り回数補正は適正か。		

4-9 塗装

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	【外部】【内部】に区分して計上されているか。		
	材種別に材質・形状・寸法・工法等に区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	建具面の数量の計上漏れはないか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		
素地ごしらえ	金属及び鋼製建具等で工場製作品は、素地ごしらえを含んでいるか確認したか。		

4-10 内外装

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	【外部】【内部】に区分して計上されているか。		
	材種別に材質・形状・寸法・工法等に区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		
壁紙	5cm以上の柄の場合には、柄の大きさに伴った材料数量の割増を考慮したか。		

5 建具

5-1 建具（金属製建具、木製建具、自動開閉装置、ガラス）

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	材種別に材質・形状・寸法・工法等に区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		
塗装	塗装工程で工場塗装、素地ごしらえ等は、見積りに含んでいるか。		

5-2 カーテンウォール

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	材種別に材質・形状・寸法・工法等に区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		

6 仕上げユニット

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	【外部】【内部】に区分して計上されているか。		
	材種別に材質・形状・寸法・工法等に区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		

7 外構

7-1 舗装

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	材種別に材質・形状・寸法・工法等に区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか		
舗装	表層、基層の仕様は図示のとおりか。		
	機械施工・人力施工の区分けは適正か。		
舗装機械運搬	施工条件にあった舗装機械になっているか。		

7-2 屋外排水設備

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	材種別に材質・形状・寸法・工法等に区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		

7-3 植栽

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	材種別かつ、規格・寸法等に区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか		
客土	締め固めを計上していないか。		
盛土	締め固めを計上していないか。		

8 発生材処理

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	仕様が図示のとおりか。		
	単位に間違いはないか。(t、m ³ 、台)		

数量チェックシート (新営工事用)

業 務 名 _____

施 設 名 _____

業務受注者名 _____

担 当 者 名

管 理 技 術 者 : _____

主任担当技術者（積算）: _____

担当技術者（積算）: _____

数量チェックシート（建築工事躯体集計表）

作成年月 20●●年 ●月

施設名	工事地区												基礎根入深さ(m)	杭種別		
	階数			平均階高			地下	地上	PH	地下	地上	PH				
建築面積 (m ²)	延床面積 (m ²)	床面積 (m ²)			スパン数(カ所)		平均スパン(m)		本体鉄骨総量 t	鉄骨対象延床面積 m ²	鉄骨単位重量 t/m ²	溶接延長 m	tあたり溶接長 t/m	GL=	有	無
		地下	地上	PH	X=	Y=	X=	Y=								
鉄筋														型枠		
計		(t)	kg/延m ²	kg/延m ³	型枠(一般)	型枠(2-2付)	打放(A種)	打放(B種)	打放(C種)コン	打放(C種)	計 (m ²)		型m ² /延m ²	型m ² /延m ³		
基礎部														軸部		
平面														曲面		

部材	材種等	コンクリート		型枠		鉄筋									圧接(筋所)				
		m ³	注(7) kg/m ³ /m ²	m ²	型m ² /延m ³	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	計(t)	kg/延m ³	D19	D22	D25	D29	
基礎	基礎																		
	床版(上層、最下層床版)																		
	耐圧版																		
	地中梁																		
	下部柱(小梁共)																		
	雑(壁)																		
計																			
上部柱	B1F																		
	1F																		
	2F																		
	3F																		
	4F																		
	PH																		
	小計																		
大梁	B1F																		
	1F																		
	2F																		
	3F																		
	4F																		
	PH																		
	小計																		
小梁	B1F																		
	1F																		
	2F																		
	3F																		
	4F																		
	PH																		
	小計																		
床版	B1F																		
	1F																		
	2F																		
	3F																		
	4F																		
	PH																		
	小計																		
壁 (下り壁 腰壁含む)	B1F																		
	1F																		
	2F																		
	3F																		
	4F																		
	PH																		
	小計																		
階段	B1F																		
	1F																		
	2F																		
	3F																		
	4F																		
	PH																		
	小計																		
雑	B1F																		
	1F																		
	2F																		
	3F																		
	4F																		
	PH																		
	小計																		
計																			
合計 (鉄筋のロス率4%)																			

注) (1)「基礎部」の「雑」には、各部材に含まれない増し打ち、ピット等を記載する。
 (2)「地中梁」には、地中小梁を含める。
 (3)「下部柱」は、コンクリート、型枠、鉄筋を記載するが、継手は上部階の柱で処理する。
 (4)「軸部」の雑には、各部材に含まれない仕上の増し打ち、バラベットの、水切、庇、工作物等を含めて記載する。
 (5)鉄筋の数量は、t数を記載する。ただし合計部分には、上段はネットt数、下段には、ロス含t数を記載する。
 (6)上記の鉄筋kg/m²は、設計数量とする。
 (7)基礎部は「m³/延m²」、軸部は「kg/延m²」とする。

数量チェックシート（積算数量調書チェック項目）

1 直接仮設

チェック項目	チェック内容	確認
やり方	・ 建築面積により確認を行う。 ・ 建築面積に含まれないドライエリア・ピット等の確認を行う。	
墨出し養生 整理清掃後片付け	・ 延床面積により確認を行う。 ・ 延床面積に含まれないドライエリア、ピット、バルコニー等の確認を行う。	
地足場	・ 建築面積により確認を行う。	
外部足場	・ 建物高さ、周長により概略面積を算出し確認を行う。	
同登り棧橋	・ 建物高さ、箇所による概略長さを算出し確認を行う。	
同安全手すり	・ 外部足場周長により確認を行う。	
内部躯体足場	・ 内部躯体足場（鉄筋・型枠足場、躯体支保工）の総面積を延床面積により確認する。	
内部仕上足場	・ 内部仕上足場（脚立足場、簡易移動式足場、仕上支保工、階段、シャフト等）の総面積を延床面積により確認を行う。	
外部足場養生シート張り等	・ 外部足場面積により概略面積を算出し確認を行う。	
外部足場小幅ネット	・ 足場周長、階数により概略長さを算出し確認を行う。	

2 土工

チェック項目	チェック内容	確認
土工数量の収支	・ 根切り、埋戻し、建設発生土処分の整合を確認する。	
根切り	・ つぼ・布掘：建築面積当たりの数値により確認を行う。 ・ 総掘：根切り深さ、建築面積により概略数量を算出し確認を行う。	
埋戻し	・ 埋戻し種別により数量の確認を行う。	
建設発生土処分	・ 地中内コンクリート等による概略数量により確認を行う。 ・ 地下部分の概略体積を算出し確認を行う。	
山留め	・ 建物周長、根切り深さによる概略数量を算出し確認を行う。	
排水	・ 釜場の想定箇所の確認を行う。	

3 地業

チェック項目	チェック内容	確認
砂利地業	・ 建築面積等により概略数量を算出し確認を行う。	
捨コンクリート	・ 建築面積等により概略数量を算出し確認を行う。	
既製くい	・ 設計図書により本数を確認する。	
現場打コンクリートくい	・ 数量算出書により概略数量を確認する。	

4 躯体

チェック項目	チェック内容	確認
(1) コンクリート		
鉄筋コンクリート	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート総量（建物用途）を延床面積当たりの数値により確認を行う。 ・コンクリート総量の部位別（基礎部・軸部）数量を延床面積当たりの数値により確認を行う。 	
防水押えコンクリート	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根防水面積により概略数量を算出し確認を行う。 	
コンクリート足場	<ul style="list-style-type: none"> ・延床面積により確認を行う。 	
(2) 型 枠		
型 枠	<ul style="list-style-type: none"> ・型枠総量を延床面積当たりの数値により確認を行う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・型枠総量（建物用途）を鉄筋コンクリートm^3当たりの数値により確認を行う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・型枠総量と型枠種別ごとの収支の確認を行う。 	
型枠運搬	<ul style="list-style-type: none"> ・型枠総量との確認を行う。（デッキ、ボルト等を除く） 	
(3) 鉄 筋		
鉄筋	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋総量を延床面積当たりの数値により確認を行う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋総量（建物用途）を鉄筋コンクリートm^3当たりの数値により確認を行う。 	
ガス圧接	<ul style="list-style-type: none"> ・箇所数を鉄筋t当たりの数値により確認を行う。 	
(4) 鉄 骨		
鉄骨	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄骨総量を鉄骨造対象延床面積当たりの数値により確認を行う。 	
工場溶接長さ	<ul style="list-style-type: none"> ・工場溶接長さを鉄骨t当たりの数値により確認を行う。 	

5 外部仕上

チェック項目	チェック内容	確認
(1) 屋 根		
防水層	<ul style="list-style-type: none"> ・防水水平面積を建築面積により確認を行う。 ・防水立上り面積を建築面積、建物周長より確認を行う。 	
立上り保護	<ul style="list-style-type: none"> ・建築面積、建物周長により確認を行う。 	
(2) 外 壁		
外壁仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・建物高さ、周長により概略面積を算出し確認を行う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・主仕上げと下地面積の整合を確認する。 	
(3) 外部建具		
建具	<ul style="list-style-type: none"> ・アルミ製、鋼製、鋼製軽量、ステンレス製、シャッター等の建具箇所を設計図書により確認を行う。 	
ガラス	<ul style="list-style-type: none"> ・外壁仕上げ面積の開口率により確認を行う。 	

6 内部仕上げ

チェック項目	チェック内容	確認
(1) 床仕上げ	・床仕上げ総面積を延床面積により確認を行う。	
	・主仕上げと下地面積の整合を確認する。	
(2) 壁仕上げ	・壁仕上げ総面積を延床面積により確認を行う。	
	・主仕上げと下地面積の整合を確認する。	
	・主仕上げと表面処理面積の整合を確認する。	
(3) 天井仕上げ	・天井仕上げ総面積を延床面積により確認を行う。	
	・主仕上げと下地面積の整合を確認する。	
	・主仕上げと表面処理面積の整合を確認する。	
(4) 内部開口部	・アルミ製、鋼製、鋼製軽量、ステンレス製、シャッター等の建具箇所を設計図書により確認を行う。	
	・鋼製、鋼製軽量、シャッター等の塗装面積を塗装係数により確認を行う。	

7 金属・仕上げユニット

チェック項目	チェック内容	確認
共通事項	・通常、建物に取付く金物、仕上げユニットの代表的なもの及び数量の多いもの、高価なものを抽出して設計図書又は概略算出により確認を行う。	
(1) 外部金属		
1) 屋根廻り	・パラペット笠木、ルーフトレシ、縦どい等	
2) 外壁廻り	・タラップ、懸垂幕受け金物等	
(2) 内部金属		
1) 床廻り	・マンホール、点検口、階段ノンスリップ等	
2) 壁廻り	・階段手すり、WC手すり、タラップ、コーナーボード等	
3) 天井廻り	・点検口、天井見切り縁等	
(3) 外部仕上げユニット	・煙突ライニング材、靴ふきマット等	
(4) 内部仕上げユニット		
1) 共通	・案内板、ピクトグラフ、ブラインド、カーテン、ブラインドボックス、書架、作付け家具、既製間仕切、可動間仕切等	
2) 水廻り	・流し台、コンロ台、吊り戸棚、水切り棚、流し上部見切り、フード等	
3) トイレ廻り	・トイレブース、洗面台、鏡、甲板等	

8 改修工事

チェック項目	チェック内容	確認
共通事項	<ul style="list-style-type: none"> ・仕上げ改修では、撤去及び改修面積の数量がほぼ同一となるのが一般的であるため整合について確認を行う。 	
1 直接仮設	<ul style="list-style-type: none"> ・墨出し、養生、整理清掃後片付けの面積は、床又は天井改修面積との比較により確認を行う。 ・外部足場面積は、外壁改修面の建物高さ、周長により概略面積を算出し確認を行う。 ・内部足場面積は、天井改修面積との比較により確認を行う。 	
2 屋根改修	<ul style="list-style-type: none"> ・全面改修の場合、建築面積との比較により確認を行う。 	
3 外壁改修	<ul style="list-style-type: none"> ・全面改修の場合、延床面積との比較により確認を行う。 ・隠蔽部分の改修項目については、数量明示による。 	
4 建具改修	<ul style="list-style-type: none"> ・図面により箇所数の確認を行う。 	
5 内装改修	<ul style="list-style-type: none"> ・改修する室、部位が個々に違うため主に仕上げ部位ごとの主仕上げ、表面処理、下地面積の整合を確認する。 また、直接仮設との面積の整合を確認する。 	

工種別チェックシート

1. 直接仮設

名称	摘要	単位	内訳数量	チェック項目	チェック数量	判定	確認事項
やり方	建築面積	m ²		≧ 建築面積	()	OK NO	
	上記以外の地下部 水平面積	m ²					
	ドライエリア	m ²					
	ピット(建物外)	m ²					
	その他()	m ²					
	計						
墨出し 養生 整理清掃後片付け	延床面積	m ²		≧ 延床面積	()	OK NO	
	ドライエリア	m ²					
	ピット(建物外)	m ²					
	バルコニー	m ²					
	その他()	m ²					
	計						
地足場	建築面積	m ²		≧ 建築面積	()	OK NO	
	上記以外の地下部 水平面積	m ²					
	計						
外部足場	枠組本足場面積	m ²		≧ (建物周長+8m) × パラベットまでの高さ	() × () =	OK NO	
	単管本足場面積				() × () =		
		合計 () =					
	単管本足場用 登り棧橋	m		≧ 箇所数は2箇所以上又は 各外壁面設置程度(4箇所) 箇所数×パラベットまでの高さ×2.0	箇所数=()箇所 登り棧橋長さ= ()箇所 × () m × 2.0 =	OK NO	
	安全手すり	m		≧ 外部足場周長	()	OK NO	
内部躯体足場	鉄筋・型枠脚立足場	m ²		= 延床面積	()	OK NO	
	躯体支保工	m ²					
	計						
内部仕上足場	脚立足場	m ²		≧ 延床面積	()	OK NO	
	簡易移動式足場	m ²					
	その他	m ²					
	計						
災害防止	外部足場シート類	m ²		≧ 外部足場面積	()	OK NO	
	外部足場小幡ネット	m		≧ (建物周長+8m) × (建物階数)	() × () =	OK NO	
	水平安全ネット類	m ²		≧ 鉄骨造部分床面積	()	OK NO	

2. 土 工

名 称	摘 要	単 位	内 訳 数 量	チ ェ ッ ク 項 目	チ ェ ッ ク 数 量	判 定	確 認 事 項
土工の収支 ・根切り (すき取りを含む) ・埋戻し ・建設発生土処分	根切り量	m ³		= 埋戻し量+建設発生土処分量	() + () =	OK NO	
	埋戻し量	m ³		= 根切り量-建設発生土処分量	() - () =	OK NO	
	建設発生土処分量 (埋戻しB種)	m ³		= 根切り量-埋戻し量	() - () =	OK NO	
	建設発生土処分量 (埋戻しA・C・D種)	m ³		= 根切り量	()	OK NO	
すき取り	範囲明示の場合 (敷地全体)	m ³ m ³		≒ すき取り厚さ=平均現状GL- 根切り基準GL 敷地面積×すき取り厚さ	() - () = () × () =	OK NO	
	範囲明示のない場合 (建物周囲2m程度)	m ³ m ³		≒ 建築面積×すき取り厚さ× (1+2.0×周長率 ^{※1})	() × () × () =	OK NO	
根切り	つぼ・布掘り	m ³ m ³		≒ 建築面積×(1.2)~(2.0)	() × (1.2) ~ (2.0) = () ~ ()	OK NO	
	法付き総掘り (深さ3~6m程度)	m ³		≒ 地下建築面積×砂利地業までの深さ ×(1+(1.2)×周長率 ^{※2})	() × () × () × () = ()	OK NO	
	山留め付総掘り (山留め計画図無し)	m ³		≒ 地下建築面積×砂利地業までの深さ ×(1+(1.0)×周長率 ^{※3})	() × () × () × () = ()	OK NO	
	山留め付総掘り (山留め計画図有り)	m ³		≒ 地下建築面積×砂利地業までの深さ ×(1+(a)×周長率 ^{※4})	() × () × () × () = ()	OK NO	
	山留め付総掘り (SMW工法)	m ³		≒ 地下建築面積×砂利地業までの深さ	() × () =	OK NO	
埋戻し	B種(流用土)	m ³		= 根切り-建設発生土処分	() - () =	OK NO	
	A・C・D種(購入土)	m ³		≒ 根切り-延床面積 × (0.2)~(0.5)	() - () × 0.2~0.5 = () ~ ()	OK NO	
建設発生土処分	つぼ・布掘り	m ³		≒ (基礎部コンクリート+砂利地業+ 捨コンクリート)の体積	() + () + () =	OK NO	
	法付き総掘り 山留め付総掘り	m ³		≒ 地下部建築面積×根切り基準線から 砂利地業までの深さ	() × () =	OK NO	
山留め	横矢板	m ²		≒ (地下部周長+8m)×根切り深さ	(+8m) × () =	OK NO	
	シートパイル	m ²		≒ (地下部周長+8m)× (根切り深さ+根入れ長さ)	(+8m) × () =	OK NO	

注) すき取り、根切りの総掘りにおける周長率(※1~4)は、以下による。

すき取り (※1) : (建物外周総長さ+8m)÷建築面積

法付き総掘り (※2) : (地下部分外壁総長さ+4.8m)÷地下建築面積

山留め計画図がない場合 (※3) : (地下部分外壁総長さ+4m)÷地下建築面積

山留め計画図がある場合 (※4) : (地下部分外壁総長さ+4×am)÷地下建築面積 (ただし、aは山留め計画図による余幅(m))

3. 地業

名称	摘要	単位	内訳数量		チェック項目	チェック数量	判定	確認事項
-1 地業								
砂利地業	基礎・地中梁、土間下	m ³		≒	1階床面積 × 砂利地業厚さ	() × () =	OK NO	
捨コンクリート	基礎・地中梁、ピット等	m ³		≒	1階床面積 × 捨コンクリート厚さ × (0.3)~(0.7)	() × () × (0.3) ~ (0.7)	OK NO	
		m ³						
	地下部ベタ基礎	m ³		≒	地下階床面積 × 捨コンクリート厚さ	() × () =	OK NO	
-2 くい地業								
既製コンクリート杭	試験杭	本		=	図面より杭径、長さ、本数の確認	()	OK NO	
	本杭			=	図面より杭径、長さ、本数の確認	()	OK NO	

4. 躯体

名称	摘要	単位	内訳数量	チェック項目	チェック数量	判定	確認事項
-1 コンクリート							
躯体コンクリート	コンクリート総量	m ³		≡ 延床面積 × (0.8)~(1.0)	() × 0.8~1.0 = () ~ ()	OK NO	
	基礎部	m ³		≡ 延床面積 × (0.2)~(0.5)	() × 0.2~0.5 = () ~ ()	OK NO	
	軸部(地上部) 土間部を含む	m ³		≡ 延床面積 × (0.5)~(0.8)	() × 0.5~0.8 = () ~ ()	OK NO	
仕上コンクリート	防水押え(厚さ80)	m ³		≡ 建築面積 × (0.08)	() × (0.08) =	OK NO	
コンクリート足場	必要な場合	m ²		= 延床面積	()	OK NO	
-2 型 枠							
型 枠 (フラットデッキ等を含む)	型枠総量	m ²		≡ 延床面積 × (4.0)~(5.5)	() × 4.0~5.5 = () ~ ()	OK NO	
				≡ コンクリート総量 × (5.5)~(6.5)	() × 5.5~6.5 = () ~ ()	OK NO	
	普通型枠	m ²		= 型枠総量 - (打放し型枠+その他)	() - () =	OK NO	
	打ち放し型枠(A種)	m ²		= 外壁打放し仕上	()	OK NO	
	打ち放し型枠(B種)	m ²		= 外壁打放し仕上、防水立上り等面積	() + () =	OK NO	
	打ち放し型枠(C種)	m ²		= 内壁打放し仕上、吹付け等仕上面積	() + () =	OK NO	
	(フラットデッキ等)	m ²				OK NO	
計							
型枠運搬	型枠総量	m ²		= 型枠総量 - (フラットデッキ等を除く)	() - () =	OK NO	
-3 鉄 筋							
鉄 筋	鉄筋総量(設計数量)	t		≡ 延床面積 × (0.10)~(0.14)	() × 0.10~0.14 = () ~ ()	OK NO	
				≡ コンクリート総量 × (0.13)~(0.16)	() × 0.13~0.16 = () ~ ()	OK NO	
ガス圧接	鉄筋総量(設計数量)	箇所		≡ 鉄筋総量 × (9)~(15)	() × 9 ~ 15 = () ~ ()	OK NO	

名 称	摘 要	単 位	内 訳 数 量	チ ェ ッ ク 項 目	チ ェ ッ ク 数 量	判 定	確 認 事 項
-4 鉄 骨							
鉄 骨	鉄骨総量(設計数量) (中・高層S造)	t		⊆ 延床面積 ×(0.08)~(0.12)	() × 0.08~0.12 =() ~ ()	OK NO	
	鉄骨総量(設計数量) (高層SRC)	t		⊆ SRC床面積 ×(0.07)~(0.14)	() × 0.07~0.14 =() ~ ()	OK NO	
工場溶接長	形鋼率※ 80%程度	m/t		⊆ 鉄骨総量(設計数量) ×(60)~(90)	() × 60 ~ 90 = () ~ ()	OK NO	
	形鋼率※ 60%程度	m/t		⊆ 鉄骨総量(設計数量) ×(70)~(120)	() × 70 ~ 120 = () ~ ()	OK NO	

注) 形鋼率※ = 形鋼総質量(t) / 鋼材総質量(t)

5. 外部仕上げ

名称	摘要	単位	内訳数量	チェック項目	チェック数量	判定	確認事項
-1 屋根仕上							
屋根防水層	平部	m ²		≦ 建築面積	()	OK NO	
	立上り部(H=400)	m ²		≧ 建築面積×周長率 [*] ×0.4	() × () × 0.4 =	OK NO	
防水押えレンガ積み	立上り部	m ²		≧ 建築面積×周長率 [*] ×0.32	() × () × 0.32 =	OK NO	
防水立上り保護	乾式工法	m		≧ 建築面積×周長率 [*]	() × () =	OK NO	
-2 外壁仕上							
外壁仕上種別 (下記による)	外壁総面積 開口部(ガラス)面積 を含む	m ²		≡ (1) 延床面積×(0.7)~(1.2)	() × (0.7) ~ (1.2) = () ~ ()	OK NO	
				≦ (2) 建物周長×パラペットまでの高さ	() × () = () × () = () × () = 計	OK NO	
外壁タイル張り仕上	タイル張り(平物)	m ²		≦		OK NO	
	タイル張り(役物)	m		≡ 平物タイル面積×(0.4)~(1.0)	() × 0.4 ~ 1.0 = () ~ ()	OK NO	
	下地モルタル	m ²		= タイル張り面積(役物を含む)	() + ()	OK NO	
外壁打放し吹付け 外壁打放し塗装仕上	吹付け、塗装面積	m ²		≦		OK NO	
	打放しB種型枠面積	m ²		= 吹付け、塗装面積		OK NO	
その他仕上	外壁主仕上の総面積	m ²		≦		OK NO	
ガラス	ガラス総面積	m ²		≡ 外部仕上面積×(0.1)~(0.3)	() × (0.1)~(0.3) = () ~ ()	OK NO	
-3 外部建具							
外部建具	金属製建具 窓・扉・シャッター等 ・アルミニウム製 ・鋼製、軽量鋼製 ・ステンレス製	箇所		= 図面による箇所数の確認	()	OK NO	
	同上金属製建具 総面積	m ²		≡ 外部仕上面積×(0.1)~(0.3)	() × (0.1)~(0.3) = () ~ ()	OK NO	

注) 周長率^{*} = 建築面積に対する外壁総長さ/建築面積

6. 内部仕上げ

名称	摘要	単位	内訳数量	チェック項目	チェック数量	判定	確認事項
-1 床仕上げ							
床仕上げ (主仕上げ)	床主仕上げの総面積 (下記による)	m ²	(A)	≡ 延床面積×0.95	(A) × 0.95 =	OK NO	
	(1)ビニルタイル	m ²					
	(2)ビニルシート	m ²					
	(3)カーペット類	m ²					
	(4)フリーアクセスフロア	m ²					
	(5)タイル	m ²					
	(6)モルタル	m ²					
	(7)コンクリートコテ	m ²					
	(8)合成樹脂塗床	m ²					
	(9)畳・フローリング等 その他()	m ²					
床仕上げ下地	張物下コンクリートコテ	m ²		= (1)(2)(3) 張物仕上げ面積	() + () + () =	OK NO	
	張物下モルタル	m ²		= (5) 床タイル面積	()	OK NO	
	タイル下モルタル	m ²		= (8) 合成樹脂塗床面積	()	OK NO	
	塗床下モルタル(コテ)	m ²		= その他主仕上げ面積	()	OK NO	
	(その他)	m ²		= その他主仕上げ面積	()	OK NO	
	(その他)	m ²				OK NO	
-2 壁仕上げ							
壁仕上げ (主仕上げ)	壁主仕上げの総面積 (下記による)	m ²	(B)	≡ 延床面積×(1.0)~(1.8)	(B) × (1.0)~(1.8) = () ~ ()	OK NO	
	(1)モルタル塗り	m ²					
	(2)モルタル塗り (塗装下)	m ²					
	(3)モルタル塗り (壁紙張り下)	m ²					
	(4)各種ボード張り (1重・2重張り) (塗装下)	m ²					
	(5)各種ボード張り (1重・2重張り) (壁紙下)	m ²					
	(6)タイル張り	m ²					
	(7)吹付け仕上げ	m ²					
	(その他)	m ²					
	(その他)	m ²					

名称	摘要	単位	内訳数量	チェック項目	チェック数量	判定	確認事項
壁仕上げ下地	軽量鉄骨間仕切 (65・90・100型)	m ²		∈ 各種ボード張り(LGS下地)総面積× (0.6)~(0.9)	() × (0.6) ~ (0.9) = () ~ ()	OK NO	
	タイル下地モルタル	m ²		= (6)タイル張り面積	()	OK NO	
表面仕上げ EP、VP等塗装	モルタル面	m ²		= (2)モルタル塗り(塗装下)面積	()	OK NO	
	各種ボード面	m ²		= (4)各種ボード張り(塗装下)面積	()	OK NO	
表面仕上げ 壁紙張り	モルタル面	m ²		= (3)モルタル塗り(壁紙張り下)面積	()	OK NO	
	各種ボード面	m ²		= (5)各種ボード張り(壁紙張り下)面積	()	OK NO	
-3 天井仕上げ							
天井仕上げ	主仕上げの総面積 (下記による)	m ²	(C)	≡ 延床面積×0.95	(C) () × 0.95 =	OK NO	
	(1)各種ボード張り (1重・2重張り) (塗装無し)	m ²					
	(2)各種ボード張り (1重・2重張り) (塗装あり)	m ²					
	(3)吹付け等の直仕上	m ²					
	(その他)	m ²					
(その他)	m ²						
天井仕上げ下地	軽量鉄骨天井下地	m ²		= (1)(2) 各種ボード張り面積	()	OK NO	
表面仕上げ EP、VP等塗装	石膏ボード・ケイカル 板等、 塗装仕上げボード面 総面積	m ²		= (2) 各種ボード張り面積	()	OK NO	
-4 開口部							
金属製建具	金属製建具 窓、扉・シャッター等 ・アルミニウム製 ・鋼製、軽量鋼製 ・ステンレス製	箇所		= 図面による箇所数の確認	()	OK NO	
	同上塗装面積 ・鋼製、軽量鋼製	m ²		∈ 建具面積×(2.5)~(3.5)	() × (2.5) ~ (3.5) = () ~ ()	OK NO	

7. 金属・仕上げユニット

名称	摘要	単位	内訳数量	チェック項目	チェック数量	判定	確認事項
(1) 外部金属							
-1 屋根廻り							
パラペット笠木		m		≡ 防水立上り部長さにより確認	()	OK NO	
ルーフトレン		箇所		= 箇所数を図面により確認	()	OK NO	
竖どい		m		≡ ルーフトレン数×(GL~屋根高さ)	() × () =	OK NO	
竖どい防露	内どい形式	m		≡ 竖どい長さ	()	OK NO	
丸還		箇所		= 箇所数を図面により確認	()	OK NO	
煙突金物		箇所		= 箇所数を図面により確認	()	OK NO	
手すり		m		≡ パラペット笠木長さにより確認	()	OK NO	
-2 外壁廻り							
懸垂膜受け金物		箇所		= 箇所数を図面により確認	()	OK NO	
タラップ		箇所		= 箇所数を図面により確認	()	OK NO	
旗竿受け金物		箇所		= 箇所数を図面により確認	()	OK NO	
(2) 内部金属							
-1 床							
床マンホール		箇所		= 箇所数を図面により確認	()	OK NO	
床点検口		箇所		= 箇所数を図面により確認	()	OK NO	
排水溝蓋		m		= 概数を図面により確認	()	OK NO	
階段ノンスリップ	階段幅2.5m程度	m		∈ 階段室箇所×(階数-1)× (50) ~ (65)	() × () × (50) ~ (60) = () ~ ()	OK NO	
-2 壁							
階段手すり	手すり子タイプ(内側)	m		∈ 階段室箇所×(階数-1)× (8) ~ (11)	() × () × (8) ~ (11) = () ~ ()	OK NO	
	壁付きタイプ(外側)	m		∈ 階段室箇所×(階数-1)× (20) ~ (26)	() × () × (20) ~ (26) = () ~ ()	OK NO	
便所手すり		箇所		= 箇所数を図面により確認	()	OK NO	
タラップ	ピット等	箇所		= 箇所数を図面により確認	()	OK NO	
煙突廻り金物		箇所		= 箇所数を図面により確認	()	OK NO	
-3 天井							
天井点検口		箇所		= 箇所数を図面により確認	()	OK NO	
(3) 外部仕上ユニット							
煙突ライニング材		m		≡ 建物高さ+(2~5m)	() + () =	OK NO	

名称	摘要	単位	内訳数量	チェック項目	チェック数量	判定	確認事項
靴ふきマット	配水管・目皿	箇所		= 箇所数を図面により確認	()	OK NO	
(4) 内部仕上ユニット							
-1 全体							
案内板関係	室名札・ピクトグラフ等	箇所		= 箇所数を図面により確認	()	OK NO	
ブラインド		m		≒ ガラス面積により確認	()	OK NO	
カーテン		箇所		= 箇所数を図面により確認	()	OK NO	
ブラインドボックス		m		≒ AWの総幅により確認	()	OK NO	
カーテンレール		m		≒ カーテンの延べ幅により確認	()	OK NO	
書架		箇所		= 箇所数を図面により確認	()	OK NO	
家具等		箇所		= 箇所数を図面により確認	()	OK NO	
既製間仕切		箇所		= 箇所数を図面により確認	()	OK NO	
可動間仕切		箇所		= 箇所数を図面により確認	()	OK NO	
-2 水回り							
流し台		箇所		= 箇所数を図面により確認	()	OK NO	
コンロ台		箇所		= 箇所数を図面により確認	()	OK NO	
吊り戸棚		箇所		= 箇所数を図面により確認	()	OK NO	
水切り棚		箇所		= 箇所数を図面により確認	()	OK NO	
流し上部見切り		m		≒ (流し台+コンロ台)長さ×箇所数	() × () =	OK NO	
フード		箇所		= 箇所数を図面により確認	()	OK NO	
-3 トイレ廻り							
トイレブース		m		≒ 概数を図面により確認	()	OK NO	
洗面台		箇所		= 箇所数を図面により確認	()	OK NO	
鏡		箇所		= 箇所数を図面により確認	()	OK NO	
甲板		m		≒ 洗面台長さ×箇所数	() × () =	OK NO	

数量算出チェックリスト (改修工事用)

業 務 名 _____

施 設 名 _____

業務受注者名 _____

担 当 者 名

管 理 技 術 者 : _____

主任担当技術者（積算）: _____

担当技術者（積算）: _____

I. 基本事項

1. 基準類の確認

チェック項目	チェック内容	確認	
		仕	数 ▼
基準類	適用となる設計図書と基準類（適用年度）とその適用年度について確認したか。		
	設計図書		
	・ 図面及び仕様書		
	・ 現場説明書		
	・ 図面及び現場説明書に対する質問回答		
	建築関係		
	・ 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成 年版）		
	・ 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成 年版）		
	・ 建築工事標準詳細図（平成 年版）		
	積算関係		
	・ 公共建築工事積算基準（平成 年版）		
	・ 公共建築工事共通費積算基準（平成 年版）		
	・ 公共建築工事標準単価積算基準（平成 年版）		
	・ 公共建築数量積算基準（平成 年版）		
	・ 公共建築工事内訳書標準書式（建築工事編）（平成 年版）		
	・ 公共建築工事見積書標準書式（建築工事編）（平成 年版）		
・ 公共建築工事積算基準等資料（平成 年版）			

2. 数量基準

チェック項目	チェック内容	確認	
		仕	数 ▼
数量	数量は、設計数量とする。ただし、所要数量又は計画数量を必要とする場合は、数量積算基準に示す方法としたか。		
設計寸法	設計寸法とは、設計図書に表示された寸法、表示された寸法から計算によって得られる寸法及びスケール等により読み取ることのできる寸法をいう。		
単位	計測・計算の単位は、原則としてm、㎡、m ³ 及びtとするほか適切な単位としたか。ただし、少量の施工が点在する場合の数量は、か所等の単位としたか。		
有効数値	計測・計算の有効数値は、原則として次としたか。		
	端数の処理は、四捨五入とする。		
	内訳書の細目数量は、小数点以下第1位としたか。また、100以上の場合は整数としたか。		

3. 特記仕様書 一般共通事項

チェック項目	チェック内容	確認	
		仕	数 ▼
工事名称	工事名称を確認したか。		
工事場所	工事場所を確認したか。		
単価使用区分	新営・改修等による他工事との使用単価（新営・改修）を確認したか。		
	・新営単価 建物名：		
	・改修単価（入居者なし） 建物名：		
	・改修割増単価（入居者あり） 建物名：		
工事種目	工事種目を確認したか。		
	建物・工事種目及び設備科目毎に数量の拾い分けをしたか。		
指定部分	指定部分の有無を確認したか。		
	・無し		
	・有り 工期：平成 年 月 日		
	範囲：		
予算区分	予算の区分による拾い分けが必要か発注者に確認したか。		
	・無し		
	・有り 範囲：		
関連工事	本工事以外の関連工事があるか発注者に確認したか。		
	・無し		
	・有り（ ・ 電気設備工事 ・ 機械設備工事 ・ ）		
発注範囲	本工事において（発注しない）別途工事部分があるか確認したか。		
	・無し		
	・有り 特記仕様書記載（ ・ ・ ）		
	・有り 図面記載（ ・ ・ ）		

II. 改修工事

1 仮設

チェック項目	チェック内容	確認	
		仕	数 ▼
共通事項	工事条件に対して、工期が適正か確認したか。		
	指定仮設の項目、範囲等を確認をして算出したか。		
	VOC測定、アスベスト含有調査等の調査の有無を確認して算出したか。		
	増築がある場合、増築と改修に区分して算出したか。		
	適正な工事工程となっているか確認したか。		
外部足場	改修内容にあった足場想定図を作成し、適正か確認した上で算出したか。		
	改修、撤去のみを区分して算出したか。		
	足場種類毎に数量を算出したか。		
内部足場	改修内容（塗装塗り替え程度等）によって区分して算出したか。		
	階高によって足場種別を区分して算出したか。		
	部屋の全体を改修する場合は躯体又は準躯体の内法面積で算出したか。		
	部屋の一部を改修する場合は改修対象面積で算出したか。		
	壁改修のみの部分を区分して算出したか。		
階段仕上足場	「n階建」の建物において階段室床面積×(n-1)として算出したか。		
シャフト内足場	各階シャフトの合計の床面積として算出したか。		
墨出し	複合改修、個別改修に区分して算出したか。		
	部屋の全体を改修する場合は躯体又は準躯体の内法面積とし、部屋の一部を改修する場合は改修対象範囲の面積で算出したか。		
養生・整理清掃・後片付け	複合改修、個別改修、塗装塗り替え程度、搬出入通路に区分して算出したか。		
仮設間仕切り	仮設間仕切りの仕様、有無、位置を確認したか。		
災害防止養生	防護柵・金網張り・シート張り・防音バツルは必要の有無を確認して算出したか。		

2 撤去

チェック項目	チェック内容	確認	
		仕	数 ▼
共通事項	アスベスト含有仕上げ材の指定の有無を確認し、区分けして算出したか。		
	当該壁と取り合う床及び壁の撤去範囲について、図面上明確になっているか確認したか。		
	撤去材の搬出方法について図面等で確認したか。		
	カッター入れは、図示により算出したか。		
コンクリート撤去	鉄筋コンクリート、無筋コンクリートの区分をして算出したか。		
	撤去工法(コンクリートブレイカー・人力又は併用)により区分をして算出したか。		
防水撤去	防水層、防水保護層(押さえコンクリート等)の撤去数量は面積又は体積としたか。		
床撤去	アスベスト含有ビニル床タイル、その他ビニル床タイルに区分して算出したか。		
	アスベスト含有ビニル床シート、その他ビニル床シートに区分して算出したか。		
	合成樹脂塗り床類の除去工法を図面にて確認して算出したか。		
壁撤去	一重張り、二重張りを区分し更に石こうボード、アスベスト含有ボード、その他ボードに区分して算出したか。		
天井撤去	重ね枚数によって区分し更に、石こうボード、アスベスト含有ボード、その他ボードに区分して算出したか。		
建具撤去	材種、形状寸法による箇所数を数量として算出したか。		
	RC・CB壁に取り付く撤去建具の建具周囲はつりを算出したか。		
発生材	発生材積み込みは種別毎に区分して算出したか。		

3 耐震改修及び躯体

3-1 土工・地業

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
共通事項	根切り基準線の位置を確認して算出したか。			
	工法、仕様は図示の通りか。			
	土工数量の流用計画を作成し、算出した数量に過不足が無い確認したか。			
根切り	場外搬出までに小運搬、再積み込みは必要か確認したか。			
埋戻し	埋戻しの数量=根切りの数量-(現状GL以下の基礎又は地下構築物(ピット含む)の体積+砂利地業の体積+捨てコンクリートの体積)を確認したか。			
床付け	基礎、基礎梁下、耐圧盤下等の地業面積で算出したか。(機械施工を対象とする)			
	盛土部分は除いて算出したか。			
仮置き土	根切り周辺部に仮置きできるか確認し、できない場合は運搬距離毎に区分し算出したか。			
	図面の指定により算出したか。			
建設発生土	建設発生土の数量=根切りの数量-埋戻しの数量を確認したか。			
	運搬距離、ダンプトラック種別毎に区分し算出したか。また、ダンプトラックの規格は適正か。			
	処分指定場所毎に算出したか。			
砂利地業	材種・規格・工法等に区分し算出したか。			
	設計図書に範囲の記載がない場合、躯体側面より0.1mの出幅を加えて算出したか。			
割石地業	材種・規格・工法等に区分し算出したか。			
	設計図書に範囲の記載がない場合、躯体側面より0.1mの出幅を加えて算出したか。			
床下防湿層敷き	材種・規格・工法等に区分し算出したか。			
	基礎梁際のみ込みを確認して算出したか。			
床下断熱材敷き	材種・規格・工法等に区分し算出したか。			
	基礎梁際のみ込みを確認して算出したか。			

※大規模の場合は、営繕工事積算チェックリスト(新営工専用)を参照する。

3-2 鉄筋

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
共通事項	規格、形状、寸法等毎に区分し、設計数量で算出したか。			
鉄筋	所要数量を求めるときに、割増率を確認して算出したか。			
スクラップ控除	鉄筋の割増数量(所要数量-設計数量)に対し、スクラップを70%として算出したか。			

※大規模の場合は、営繕工事積算チェックリスト(新営工専用)を参照する。

3-3 コンクリート

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
コンクリート	集計表は、①部位別、②階別、③部材別、④打設別を作成したか。			
	コンクリート種別毎に、設計強度、スラブなどにより区分して算出したか。			
	鉄骨によるコンクリートの欠除を行い、算出したか。			
	壁・柱・梁で外部に面する打放しコンクリート部分の増打ち及び意匠上の増打ちの見落としはないか。			
	コンクリートブロック壁の立上がり、立下がりの見落としはないか。			
打設手間	建物内及び屋上の設備基礎等は、小型構造物として算出したか。			
専用仮設	配管型ポンプ車の場合、コンクリート足場を算出したか。			

※大規模の場合は、営繕工事積算チェックリスト(新営工専用)を参照する。

3-4 型枠

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
型枠	普通型枠、打放し型枠等を材料、工法、コンクリート打設面等に区分して算出したか。			
	普通型枠と打放し型枠を重複して算出していないか。			
	必要に応じて圧入用型枠を算出したか。			
	建物内及び屋上の設備基礎等は、区分して算出したか。			
打放し面補修	打放し面毎に算出したか。			
コーン	使用部位を図面等にて確認して算出したか。			
型枠目地棒	打継目地、化粧目地、ひび割れ誘発目地、大面木の形状ごとに算出したか。			

※大規模の場合は、営繕工事積算チェックリスト（新営工用）を参照する。

3-5 鉄骨

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
鋼材	鋼材規格・形状・寸法毎に区分して算出したか。			
	所要数量を求める時に、割増率を確認して算出したか。			
工場加工組立	設計数量（現場本締めボルトは含まず）で算出したか。			
スクラップ 控除	鋼材の割増数量（所要数量－設計数量）に対し、スクラップを70%として算出したか。			
ボルト類	形状から締め付け長さが適正か確認して算出したか。			
耐火被覆	耐火性能毎に区分し、算出したか。			
	被覆範囲を確認して算出したか。			
溶接	溶接延長換算表により溶接長さを算出及び計上したか。			
鉄骨工場塗装	塗装係数を使用した場合その数値は適切か。			
主体鉄骨建方	設計数量（現場本締めボルトは含まず）で算出したか。			
	建方方法を確認したか。			

※大規模の場合は、営繕工事積算チェックリスト（新営工用）を参照する。

4 防水改修

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
共通事項	材種別に外部・内部の区分、立上り、立下りに区別し算出したか。			
	材料の搬入方法を確認したか。			
改修工法	改修工法の確認をしたか。			
仮設	墨出しは、水勾配の調整を必要とする改修の場合に計測対象とし、その数量は平表面積としたか。			
	養生・整理清掃後片付け、全面改修の場合の数量は防水層の平表面積としたか。			
新設防水層	防水の種類、種別毎に区別して算出したか。			
	下地の補修の有無を確認して必要な場合は算出したか。			
	防水層の保護（押えコンクリート等）は必要か確認して必要な場合は算出したか。			
押えコンクリート	防水押えコンクリートの見落としはないか。			
シーリング	種別、材種、目地寸法毎に区分して算出したか。			
伸縮目地	種別毎に算出したか。			
成形緩衝材	必要の有無を確認して必要な場合は算出したか。			
入隅モルタル	必要の有無を確認して必要な場合は算出したか。			
ルーフトレン	サイズ、材種毎に区分して算出したか。			
	アスファルト・シート防水用、断熱防水用、塗膜・モルタル防水用に区分して算出したか。			
	縦引き、横引き、中継用に区分して算出したか。			
とい	材質、形状、寸法毎に区分して算出したか。			
鋼管とい保温	といの形状毎に、一般の屋内露出部、天井内等、厨房・浴室内等区分したか。			
鋼管とい塗装	といの形状、材質毎に算出したか。			

4 防水改修

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
鋼管とい掃除口	といの形状毎に区分して算出したか。			
	床上、床下に区分して算出したか。			
アルミニウム製笠木・水切り金物	寸法、形状及び表面仕上げ毎に算出したか。			
コーナー加算	寸法、形状及び表面仕上げ毎に算出したか。			
脱気装置	必要の有無を確認して材種・箇所数に算出したか。			

5 外壁改修

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
墨出し	外壁モルタル塗り、外壁タイル張りを撤去し、新たに仕上げをする場合に算出したか。 (吹き付け仕上げ類の場合は対象としてないこと)			
養生・整理清掃後片付け	外壁面から2m離れた範囲の水平面積としたか。			
施工数量調査	改修工法及び部位毎に区分して算出したか			
既存塗膜等の除去	工法を図面にて確認して算出したか。			
ひび割れ部改修工法	外壁仕上げ、工法、ひび割れ幅の種類別に区分して算出したか。			
欠損部改修工法	工法、注入材料の種類別に区分して算出したか。			
	モルタル塗り厚25mmを超える場合の補強が必要か確認し、必要な場合は算出したか。			
浮き部改修工法	工法及び一般部・指定部毎に区分して算出したか。			
目地改修工法	工法、材種、目地寸法毎に区分して算出したか。			
壁タイル張り	密着張り、改良積上張り毎に算出したか。			
	平物と役物を区分して算出したか。			
壁ユニットタイル	25mm以下はモザイクタイル張り、小口タイル未滿はマスク張りに区別して算出したか。			
各種吹付け	吹付け材は材質、仕上げの形状毎に算出したか。			

6 内装改修、塗装改修、建具改修

6-1 内部仕上げ

チェック項目	チェック内容	確認	
		仕	数
共通事項	施工工程を確認し工程毎に算出したか。		
	材種別に材料・形状・寸法・工法・施工場所等に区分して算出したか。		
床			
共通	床仕上げの合計が延床面積を超えていないか確認したか。		
床清掃	既存RC・モルタルの上にビニル床材（塗り床含む）仕上げを新設又は塗り床の塗り替え等の場合に算出しているか。		
床けれん	図面表現がある場合のみ、算出したか。		
左官			
床コンクリート直均し仕上げ	フリーアクセスフロア、OAフロアの場合は仕上げの有無及び仕様を確認して算出したか。		
	表面仕上げ毎に区分して算出したか。		
下地モルタル塗り	張り物、敷物、防水下地、タイル張りの工法毎に算出したか。		
モルタルリング材塗り	内装の張り物下地に適用し、床コンクリート直均し仕上げ等との重複はないか。		
壁			
共通	下地張りの有無の確認及び工法の確認をしたか。		
壁清掃	既存RC・モルタルの上に壁紙等の仕上げを新設する場合、算出しているか。		
壁けれん	図面表現がある場合のみ、算出したか。		
既製コンクリート			
コンクリートブロック積み	種別の確認はしたか。		
	塗り下、片面化粧、両面化粧毎に算出したか。		
まぐさコンクリート	断面毎の箇所数で算出したか。		
ALCパネル	屋根、外壁、床、間仕切壁など厚さ毎に算出したか。		
	が初間の目地材は見積りに含む場合は算出不要とし、他部材との目地材は計上したか。		
押出成形セメント版	表面仕上げの確認はしたか。（工場or現場）		
	外壁、間仕切壁など厚さ毎に算出したか。		
押出成形セメント版	が初間の目地材は見積りに含む場合は算出不要とし、他部材との目地材は計上したか。		
	表面仕上げの確認はしたか。（工場or現場）		
タイル			
内装タイル張り	役物類がある場合、タイル平面積から役物の面積を控除したか。		
壁ニットタイル	タイルのサイズにより工法を確認して算出したか。		
壁タイル接着剤張り	施工場所により有機質接着剤について、タイプⅠ・Ⅱに区分して算出したか。		
金属			
軽量鉄骨壁下地	捨張りの有無を確認して間柱の間隔毎に算出したか。		
	梁、スラブ下あるいは天井面まで設置するか確認して算出したか。		
壁見切縁	下がり壁の見落としはないか。		
壁見切縁	見落としはないか。		
左官			
下地モルタル塗り	各種タイル張り工法別に算出したか。		
モルタル塗り	刷毛引、金ゴテ仕上げを部位毎に区分して算出したか。		
各種吹付け	材質、表面形状毎に算出したか。		
塗装			
下地調整	下地の種類毎に下地調整種別を確認したか。		
塗装係数	建具類、鉄骨などに採用した係数は妥当か。		
さび止め塗料塗り	鉄面、亜鉛メッキ面毎に算出したか。		
各種塗装仕上げ	一般面、見上げ面、仕様の種別毎に算出したか。		
耐候性塗料塗り	鉄面において、下地処理等の確認をしたか。		

6 内部改修、塗装改修、建具改修

6-1 内部仕上げ

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
壁				
内外装				
ボード張り	仕上種別、下地種別及び厚さ等を確認して算出したか。			
遮音壁	遮音シール材の仕様を確認して算出したか。			
断熱材張り・打ち込み	種類・施工箇所を確認して算出したか。			
天井				
共通				
	天井仕上げの合計が延床面積を超えていないか確認したか。			
	下地張りの有無の確認及び仕様の確認をしたか。			
金属				
軽量鉄骨天井 下地	捨張りの有無を確認して、野縁の間隔毎に算出したか。			
	あと施工インサート使用の有無を確認したか。			
	振れ留め加算は必要か確認して算出したか。			
	天井のふところ高さを考慮して算出したか。			
	ホール等の大空間の場合、耐震性を考慮した補強が必要か確認し算出したか。			
天井廻縁	材種毎に算出したか。			
下がり壁見切縁	材種毎に算出したか。			
塗装				
下地調整	下地の種類毎に下地調整種別を確認したか。			
塗装係数	建具類、鉄骨などに採用した係数は妥当か。			
さび止め塗料塗り	鉄面、亜鉛メッキ面毎に算出したか。			
各種塗装仕上げ	一般面、見上げ面、仕様の種別毎に算出したか。			
耐候性塗料塗り	鉄面において、下地処理等の確認をしたか。			
内外装				
ボード張り	仕上種別、下地種別及び厚さ等を確認して算出したか。			
断熱材張り・打ち込み	種類・施工箇所を確認して算出したか。			
その他				
木工				
構造材・小割材	断面部材が、ひき立て寸法または仕上がり寸法で示しているか確認したか。			
	材工分離の場合、材料は所用数量で算出したか。			
造作材	断面部材が、ひき立て寸法または仕上がり寸法で示しているか確認したか。			
	材工分離の場合、材料は所用数量で算出したか。			
銘木(板材、縁甲板)	本数、枚数又は面積で算出したか。			
押入れ	押入れのせっこうボードは、別途算出したか。			
金属				
あと施工アーカー	金属系、接着系を区分して算出したか。			
	径別、施工部位別に区分して算出したか。			
手摺り	斜部手すりとは、水平投影長さではなく手すり長さで算出したか。			

6-2 木製建具

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
共通事項				
	建具キープランと建具表の数量のくい違いはないか確認して算出したか。			
	建具面の仕上げ・塗装の有無を確認したか。			
ふすま	上張りによる区別をしたか。			

6-3 金属製建具

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
共通事項	建具ネブラと建具表の数量のくい違いはないか確認して算出したか。			
	種別（耐風圧・気密・水密性）、枠見込み、表面処理などの性能・仕様を確認したか。			
	主仕上げの材質、形状等により区分して算出したか。			
	同じ符号であっても枠・金物等の違いがある場合は、子番号等を追加して区分けたか。			
	焼き付け塗装の場合は、塗装計測対象外としたか（建具見積りに含めるため）。			
アルミニウム製建具	網戸の設置の有無を確認して算出したか。			
	建具と水切間のシーリングを建具見積りに含む場合は、計上対象外としたか。			
	内部建具がある場合、外部建具と区分して算出したか。			
自閉式上吊り引戸装置	装置付建具は、その他建具と区分して算出したか。			
自動ドア開閉装置	数量計上の見落としはないか。			
建具改修工法	工法を確認したか。			
かぶせ工法	新設建具枠断面寸法が明記されているか。			
	撤去工法	図面に引き抜き工法又は、はつり工法の確認をしたか。		
開口新設部建具	撤去範囲の確認をしたか。			
	壁の開口工法、壁の補修工法を確認したか。			
建具周囲シーリング	建具内法寸法によって計測、算出したか。			
	断面寸法（幅×深さmm）が明記されているか。			
	シーリング材の種類を、被着体の組み合わせにより確認したか。			
枠廻りモルタル充填	建具内法寸法によって計測、計算したか。			
	下枠・くつづり・目地棒が無い場合、計測範囲を確認し算出したか。			
	外部、内部に区分して算出したか。			

6-4 ガラス

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
共通事項	材種、形状、規格寸法、厚さ、留め材毎に算出したか。			
	特殊寸法、特殊形状は寸法毎に単位を枚として算出したか。			
	小口処理等の特殊加工を必要とする箇所が有るか確認して算出したか。			
ガラス用フィルム張り	ガラス用フィルム張りの有無及び仕様を確認して算出したか。			
熱線反射ガラス	熱線反射ガラスの映像調整が必要か確認して算出したか。			

注) 強化・複層・合わせガラスは、特寸 2.0㎡以下、4.0㎡以下、6.0㎡以下毎に算出する。

注) その他板ガラスは、特寸 2.18㎡以下、4.45㎡以下、6.81㎡以下毎に算出する。

6-5 仕上げユニット

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
棚、台、流し、浴槽、鏡	材種、規格、形状寸法毎に箇所数を算出したか。			
スクリーン、隔壁、カウンター	材種、規格毎に算出したか。			
表示板、換気孔、ルーバー、床下点検口、カーテンボックス	材種、規格、寸法毎に箇所数を算出したか。			
移動式間仕切、可動式間仕切	材種、規格毎に面積又は、箇所数を算出したか。			
カーテン、ブラインド	材種、規格、形状寸法毎に箇所数を算出したか。			
フリーアクセスドア	スロープ・ボーダーの見落としはないか。			
造り付け家具	設置する面の仕上を控除したか。			

7 環境配慮改修

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
アスベスト含有成形板撤去				
共通	ノンアスベスト材と区分して算出したか。			
	撤去の方法について、図面等で確認し算出したか。			
仮設	養生方法について、図面等で確認し算出したか。			
	足場について、専用足場となるか確認し算出したか。			
アスベスト含有吹付け材撤去				
共通	施工方法、施工手順及び区画を図面等にて確認したか。			
	見積り徴集用の項目及び数量を算出したか。			
仮設	施工手順及び区画ごとに、養生、整理清掃後片付け及び足場を算出したか。			
安全衛生設備機器等	セキティーハウス、負圧除じん機、真空掃除機及び消耗品等の必要な項目が計上されているか。			
除去処理	厚みごとに施工手順及び区画を考慮して除去面積を算出したか。			
	粉塵飛散抑制剤及び粉塵飛散防止剤の施工区分を確認し、数量を算出したか。			
	除去アスベスト処理の方法について、図面等にて確認したか。(密封又は固化)			
アスベスト粉塵濃度測定	測定点数は、図面等で確認し算出したか。			
	報告書についても項目が計上されているか。			
廃棄物処理	廃棄物積み込み、運搬及び処分項目が計上されているか。			
屋上緑化				
共通	仕様等を図面等にて確認したか。			
	設備工事との区分けについて、確認し対象となる数量を算出したか。			
	搬入方法を図面等で確認し、適切に計上したか。			
仮設	養生、整理清掃後片付けを、算出したか。			
屋上緑化システム	樹木、植え込み手間、支柱等は、「新営工事用 7 外構 植栽」に準じて算出したか。			
屋上緑化軽量システム(基盤式)	樹木及び基盤を含めユニットとして算出したか(1000mm×1000mm ○か所 など)			

8 発生材処理

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
発生材運搬	発生材の種別毎に区分して算出したか。			
	運搬距離、ダンプトラック種別毎に区分して算出したか。			
	敷地状況及び発生量等を勘案して、算出したか。			
発生材処分	発生材の種別毎に区分して出したか。			

9 外構

営繕工事積算チェックリスト(新営工事用)を参照する。

積算数量調書チェックリスト (改修工事用)

業 務 名 _____

施 設 名 _____

業務受注者名 _____

担 当 者 名

管 理 技 術 者 : _____

主任担当技術者（積算） : _____

担当技術者（積算） : _____

I. 基本事項

1. 基準類の確認

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
基準類	適用となる基準類とその適用年度について確認したか。 ・ 公共建築工事内訳書標準書式（建築工事編）（平成 年版）		

2. 内訳書の記載内容

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
種目別内訳書	直接工事費の種目を設計図書の表示に従い各工事種目毎に区分したか。		
	全体工事のうち、一部分について全体工期より先に完成を指定した部分（指定部分）等がある場合は、当該部分を区分して記載したか。		
科目別内訳書	設計図書の工事種目等を標準として直接工事費を科目に区分しその科目を記載したか。		
中科目別内訳書	科目別内訳において区分した科目をさらに主要な構成に従い区分し、その中科目を記載したか。ただし、工事内容等により区分する必要がない場合は、省略したか。		
細目別内訳書	各科目あるいは中科目に属する細目毎に数量を記載したか。なお、必要に応じ別紙明細書を設け、1式で記載したか。		
	摘要欄は、材種、材質、形状、寸法、工法、その他単価に対応する条件などを記載したか。		

3. 特記仕様書との照合

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
工事名称	工事名称を確認したか。		
工事場所	工事場所を確認したか。		
単価使用区分	新営・改修等による他工事との使用単価（新営・改修）を確認したか。		
	・ 新営単価 建物名：		
	・ 改修単価（入居者なし） 建物名：		
	・ 改修割増単価（入居者あり） 建物名：		
工事種目	工事種目を確認したか。		
	建物・工事種目毎に数量の拾い分けをしたか。		
指定部分	指定部分の有無を確認したか。		
	・ 無し		
	・ 有り 工期：平成 年 月 日 範囲：		
予算区分	予算の区分による拾い分けが必要か発注者に確認したか。		
	・ 無し ・ 有り 範囲：		
関連工事	本工事以外の関連工事があるか発注者に確認したか。		
	・ 無し ・ 有り（ ・ 電気設備工事 ・ 機械設備工事 ・ ）		
発注範囲	本工事において（発注しない）別途工事部分があるか確認したか。		
	・ 無し		
	・ 有り 特記仕様書記載（ ・ ・ ） ・ 有り 図面記載（ ・ ・ ）		

II. 改修工事

1 仮設

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	指定仮設の設置期間は図示のとおりか。		
外部足場	各部位毎の足場の存置日数は適正か。		
内部足場	階高によって足場種別が区分されているか。		
墨出し	計上された項目が複合改修、個別改修に区分されているか。		
養生・整理清掃・後片付け	計上された項目が複合改修、個別改修、塗装塗り替え程度、搬出入通路に区分されているか。		
災害防止養生	防護柵・金網張り・シート張り・防音 ^ハ 襦等の計上漏れはないか。		
	金網張り・シート張りの架面積と足場架面積は等しくなっているか。		
仮設間仕切り	仕様書による種別毎に計上されているか。		
仮設材運搬	計上した仮設材と仮設材運搬の数量は整合しているか。		

2. 撤去

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	部位別に、材質・形状・寸法・工法等に区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		

3 耐震改修及び躯体

3-1 土工・地業

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	根切り、埋め戻し土、建設発生土等の数量は収支がとれているか。		
根切り	人力・機械施工の選択は適切か。		
埋戻し	埋戻し土の種別は図示のとおりか確認したか。		
	A種及びD種の場合、締め固めによる材料の変化率、割増率を考慮したか。		
	C種の場合、運搬費、積み込み費は工事範囲か確認したか。		
砂利地業	厚さが300mmを超えている場合は300mm毎に締め固めをみているか。		

※大規模の場合は、営繕工事積算チェックリスト（新営工専用）を参照する。

3-2 鉄筋

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		
鉄筋（資材）	所要数量で計上されているか。		
	スパイラル筋は、設計数量で計上されているか。		
スクラップ控除	鉄筋の割増数量（所要数量－設計数量）に対し、スクラップを70%として算出したか。		
鉄筋加工組立	設計数量を計上されているか。		
鉄骨運搬	少量の場合の運搬費を検討したか。		

※大規模の場合は、営繕工事積算チェックリスト（新営工専用）を参照する。

3-3 コンクリート

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		
コンクリート	構造体コンクリートに構造体強度補正を行ったか。		
	無筋コンクリートの強度を確認したか。		
	防水押さえコンクリートの面積と防水面積は一致するか。		
打設手間	打設部位毎、打設回数毎に計上されているか。		
構造体強度補正	打設工程に合わせて構造体強度補正を計上したか。		
基本料金	必要に応じて、基本料金が計上されているか。		

※大規模の場合は、営繕工事積算チェックリスト（新営工事用）を参照する。

3-4 型枠

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		
型枠	普通型枠、打放し型枠等を材料、工法、コンクリート打設面等に区分して計上されているか。		
打放し面補修	打放し補修面積と対応する打放し型枠面積が一致するか。		
型枠運搬	型枠運搬数量=普通型枠数量+打放し型枠数量としたか。 (その他の片面型枠、曲面型枠等は運搬費込み単価のため)		
	少量の場合の運搬費を検討したか。		

※大規模の場合は、営繕工事積算チェックリスト（新営工事用）を参照する。

3-5 鉄骨

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	主体鉄骨、付帯鉄骨に区分して計上されているか。		
	工場製作、現場建方に区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		
鋼材	所要数量で計上されているか。		
工場加工組立	設計数量(現場本締めは含まず)で計上したか。		
スクラップ控除	鉄骨の割増数量(所要数量-設計数量)に対し、スクラップを70%として算出したか。		
主体鉄骨建方	設計数量(現場本締めは含まず)で計上したか。		
建方機械器具	揚重機選定及び規格を確認したか。		

※大規模の場合は、営繕工事積算チェックリスト（新営工事用）を参照する。

4 防水改修

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		
改修工法	工法の摘要は図示のとおりか。		
養生	防水の種類に合った仮設を計上しているか。		
整理清掃片付け	防水の種類に合った仮設を計上しているか。		
新設防水層	平部、立上り部の仕様は適正か。		
シーリング	種別、サイズは適正か。		
保護防水面積	押えコンクリート面積と一致するか。		

5 外壁改修

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	タイル面積（一般+役物）と、タイル下地モルタルは一致するか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		
改修工法	工法の摘要は図示のとおりか。		
墨出し	改修工法に合った仮設を計上しているか。		
養生・整理清掃 後片付け	改修工法に合った仮設を計上しているか。		
タイル張り手 間	工法、施工部位に対する張り手間は適正か。		

6 内装改修、塗装改修、建具改修

6-1 内部仕上げ

6-1-1 既製コンクリート

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	材種別に材質・形状・寸法・工法等により区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		

6-1-2 石

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	材種別に材質・形状・寸法・工法等により区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		

6-1-3 タイル

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	材種別に材質・形状・寸法・工法等により区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	タイル面積（一般+役物）と、タイル下地モルタルは一致するか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		
タイル張り手 間	工法、施工部位に対する張り手間は適正か。		
壁タイル接着剤張 り	多湿部、一般部の接着剤タイプは適正か。		

6-1-4 木工

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	材種別に材質・形状・寸法・工法等により区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		
樹種	樹種、代用樹種の選定は適正か。		
床組	床組と仕上（フローリング、畳等）の面積は一致するか。		

6-1-5 金属

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	材種別に材質・形状・寸法・工法等により区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		
軽鉄天井下地	ボード寸法と軽量天井下地のピッチは適正か。		
塗装	塗装工程で工場塗装、素地ごしらえ等は見積に含んでいるか。		

6-1-6 左官

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	材種別に材質・形状・寸法・工法等により区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		
床コンクリート直均し仕上げ	主仕上げの数量との関係を確認したか。		
下地珪外塗り	主仕上げの数量との関係を確認したか。		
壁モルタル	厚さによる塗り回数補正は適正か。		
壁下地珪外	厚さによる塗り回数補正は適正か。		

6-1-7 塗装

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	材種別に材質・形状・寸法・工法等により区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		
素地ごしらえ	金属及び鋼製建具等で工場製作品は、素地ごしらえを含んでいるか確認したか。		

6-1-8 内外装

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	材種別に材質・形状・寸法・工法等により区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		
壁紙	5cm以上の柄の場合には、柄の大きさに伴った材料数量の割増を考慮したか。		

6-2 木製建具

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	材種別に材質・形状・寸法・工法等により区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		

6-3 金属製建具

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	材種別に材質・形状・寸法・工法等により区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		
塗装	塗装工程で工場塗装、素地ごしらえ等は、見積りに含んでいるか。		

6-4 ガラス

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	材種別に材質・形状・寸法・工法等により区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		

注) 強化・複層・合わせガラスは、特寸 2.0㎡以下、4.0㎡以下、6.0㎡以下毎に算出する。

注) その他板ガラスは、特寸 2.18㎡以下、4.45㎡以下、6.81㎡以下毎に算出する。

6-5 仕上げユニット

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	材種別に材質・形状・寸法・工法等により区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
	規格、仕様等は図示のとおりか。		
カーテン	カーテン生地 of 計算は適正か (大きい模様の場合は考慮したか)。		

7 環境配慮改修

7-1 アスベスト含有成形板撤去

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	部位別に、材質・形状・寸法・工法等に区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		

7-2 アスベスト含有吹付け材撤去

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	部位別に、材質・形状・寸法・工法等に区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		

7-3 屋上緑化

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
共通事項	部位別に、材質・形状・寸法・工法等に区分して計上されているか。		
	項目、数量は間違いなく転記されているか。		

8 発生材処理

チェック項目	チェック内容	確認	
		数	▼
発生材運搬	項目、数量は間違いなく転記されているか。		
発生材処分	項目、数量は間違いなく転記されているか。		

9 外構

営繕工事積算チェックリスト (新営繕工事用) を 参照する。

数量チェックシート (改修工事用)

業 務 名 _____

施 設 名 _____

業務受注者名 _____

担 当 者 名

管 理 技 術 者 : _____

主任担当技術者（積算） : _____

担当技術者（積算） : _____

8. 改修工事

名 称	摘 要	単 位	内 訳 数 量	チ ェ ッ ク 項 目	チ ェ ッ ク 数 量	判 定	確 認 事 項
1 直接仮設							
墨出し	保護防水改修のみ	m ²		≒ 建築面積	()	OK NO	
	外壁タイル張替 モルタル塗替等改修	m ²		= 改修面積	()	OK NO	
	内装改修 (個別・複合改修)	m ²		≒ 床改修総面積又は天井改修総面積	() 又は ()	OK NO	
養生 整理清掃後片付け	防水改修	m ²		≒ 建築面積	()	OK NO	
	外壁改修	m ²		≒ (建物周長+8m)×2m	()	OK NO	
	内装改修 (個別・複合改修)	m ²		≒ 床改修総面積又は天井改修総面積	() 又は ()	OK NO	
外部足場		m ²		≒ (建物周長+8m) × パラペットまでの高さ	(+ 8m) × ()	OK NO	
内部足場		m ²		≒ 天井改修総面積	()	OK NO	

名 称	摘 要	単位	内 訳 数 量	チ ェ ッ ク 項 目	チ ェ ッ ク 数 量	判 定	確 認 事 項
2 防水改修							
2-1 撤 去							
屋根防水層	平部	m ²		= 改修面積	()	OK NO	
	立上り部(H=400)	m ²		= 改修面積	()	OK NO	
防水押えレンガ積み	立上り部	m ²		= 改修面積	()	OK NO	
防水立上り保護	乾式工法	m		= 改修長さ	()	OK NO	
防水押えコンクリート	厚さ80	m ²		= 改修面積	()	OK NO	
2-2 改 修							
屋根防水層	平部	m ²		≒ 建築面積	()	OK NO	
	立上り部(H=400)	m ²		≧ 建築面積×周長率×0.4	() × () × 0.4 =	OK NO	
防水押えレンガ積み	立上り部	m ²		≧ 建築面積×周長率×0.32	() × () × 0.32 =	OK NO	
防水立上り保護	乾式工法	m		≧ 建築面積×周長率	() × () =	OK NO	
防水押えコンクリート	厚さ80	m ³		≒ 建築面積 × (0.08)	() × (0.08) =	OK NO	

名 称	摘 要	単 位	内 訳 数 量	チ ェ ッ ク 項 目	チ ェ ッ ク 数 量	判 定	確 認 事 項
3 外壁改修							
3-1 撤 去							
タイル張り	下地モルタル共	m ²		= 改修面積	()	OK NO	
モルタル		m ²		= 改修面積	()	OK NO	
吹付け仕上	塗膜ケレン	m ²		= 改修面積	()	OK NO	
その他仕上		m ²		= 改修面積	()	OK NO	
3-2 改 修							
施工数量調査		m ²		= 外壁改修面積又は明示数量	() 又は ()	OK NO	
下地補修	クラック改修	m		= 明示数量		OK NO	
	欠損部改修	箇所		= 明示数量		OK NO	
	浮き部改修	m ²		= 明示数量		OK NO	
	高圧洗浄	m ²		= 外壁改修面積又は明示数量		OK NO	
外壁仕上 (下記による)	全面改修 外壁改修面積	m ²		⊆ 全面改修 延床面積×(0.5)~(1.3)	() × (0.5) ~ (1.3) = () ~ ()	OK NO	
外壁タイル張り仕上	タイル張り(平物)	m ²		≒		OK NO	
	タイル張り(役物)	m		⊆ 平物タイル面積×(0.4)~(1.0)	() × 0.4 ~ 1.0 = () ~ ()	OK NO	
	下地モルタル	m ²		= タイル張り面積(役物を含む)	() + ()	OK NO	
外壁打放し吹付け 外壁打放し塗装仕上	吹付け、塗装面積	m ²		≒		OK NO	
	下地調整面積	m ²		= 吹付け、塗装面積		OK NO	
その他仕上	外壁主仕上の総面積	m ²		≒		OK NO	

名 称	摘 要	単 位	内 訳 数 量		チ ェ ッ ク 項 目	チ ェ ッ ク 数 量	判 定	確 認 事 項
4 建具改修								
4-1 撤 去								
外部建具	金属製建具 (窓、扉・シャッター等) ・アルミニウム製 ・鋼製、鋼製軽量 ・ステンレス製	箇所		=	図面による箇所数の確認	()	OK NO	
内部建具	金属製建具 (窓、扉・シャッター等) ・アルミニウム製 ・鋼製、鋼製軽量 ・ステンレス製	箇所		=	図面による箇所数の確認	()	OK NO	
ガラス	ガラス総面積	m ²		≐	建具面積 ・アルミニウム製 ・ステンレス製	()		
4-2 改 修								
外部建具	金属製建具 (窓、扉・シャッター等) ・アルミニウム製 ・鋼製、鋼製軽量 ・ステンレス製	箇所		=	図面による箇所数の確認	()	OK NO	
内部建具	金属製建具 (窓、扉・シャッター等) ・アルミニウム製 ・鋼製、鋼製軽量 ・ステンレス製	箇所		=	図面による箇所数の確認	()	OK NO	
ガラス	ガラス面積	m ²		≐	建具面積 ・アルミニウム製 ・ステンレス製	()	OK NO	
建具塗装塗替え	同上塗装面積 ・鋼製、鋼製軽量	m ²		≒	建具面積×(2.5)~(3.5)	()×(2.5)~(3.5) = () ~ ()	OK NO	

名称	摘要	単位	内訳数量	チェック項目	チェック数量	判定	確認事項
5 内装改修							
5-1 床改修							
5-1-1 撤去							
主仕上げ及び下地	床仕上げの種別 (下記による)			撤去面積と改修面積の整合の チェック			
	床張り物撤去	m ²		= (1)(2)(3)(4)(5)張り物仕上げ面積	()	OK NO	
	張り物下地モルタル	m ²		= (2)(4)張り物仕上げ面積	()	OK NO	
	タイル	m ²		= (7)タイル面積	()	OK NO	
	モルタル塗り	m ²		= (8)モルタル面積	()	OK NO	
	(その他)	m ²		=			
	(その他)	m ²		=			
	(その他)	m ²		=			
5-1-2 改修							
主仕上げ	床主仕上げの種別 (下記による)			≒ 撤去面積と改修面積の整合の チェック及び主仕上げと下地の 整合をチェック			
	(1)ビニルタイル張替	m ²			()	OK NO	
	(2)ビニルタイル張替 (下地モルタル共)	m ²			()	OK NO	
	(3)ビニルシート張替	m ²			()	OK NO	
	(4)ビニルシート張替 (下地モルタル共)	m ²			()	OK NO	
	(5)カーペット類張替	m ²			()	OK NO	
	(6)フリアクセスフロア	m ²			()	OK NO	
	(7)タイル	m ²			()	OK NO	
	(8)モルタル	m ²			()	OK NO	
	(その他)	m ²					
	(その他)	m ²					
	(その他)	m ²					
床仕上げ下地	張り物下モルタル	m ²		(2)(4)張り物仕上げ面積	()	OK NO	
	タイル下モルタル	m ²		= (7)床タイル面積	()	OK NO	
	(その他)	m ²		=	()	OK NO	
	(その他)	m ²		=	()	OK NO	
	(その他)	m ²		=	()	OK NO	
	(その他)	m ²		=	()	OK NO	

名称	摘要	単位	内訳数量	チェック項目	チェック数量	判定	確認事項
5-2 壁改修							
5-2-1 撤去							
	壁主仕上の種別 (下記による)			撤去面積と改修面積の整合の チェック			
主仕上げ	タイル	m ²		= (6)タイル面積	()	OK NO	
	(その他)	m ²		=		OK NO	
	(その他)	m ²		=		OK NO	
表面処理	EP等除去 (モルタル面)	m ²		= (7)EP等塗替え面積	()	OK NO	
	EP等除去 (各種ボード面)	m ²		= (8)EP等塗替え面積	()	OK NO	
	壁紙張撤去 (モルタル面)	m ²		= (9)壁紙張替え面積	()	OK NO	
	壁紙張撤去 (各種ボード面)	m ²		= (10)壁紙張替え面積	()	OK NO	
	(その他)	m ²		=		OK NO	
	(その他)	m ²		=		OK NO	
	(その他)	m ²		=		OK NO	
5-2-2 改修							
	壁主仕上の総面積 (下記による)	m ²					
新設壁仕上げ改修	(1)モルタル塗り	m ²		= 撤去面積と改修面積の整合の チェック及び主仕上げと下地の 整合をチェック	()	OK NO	
	(2)モルタル塗り (塗装下)	m ²			()	OK NO	
	(3)モルタル塗り (壁紙張り下)	m ²			()	OK NO	
	(4)各種ボード張り (1重・2重張り) (塗装下)	m ²			()	OK NO	
	(5)各種ボード張り (1重・2重張り) (壁紙下)	m ²			()	OK NO	
	(6)タイル張り	m ²			()	OK NO	
	(その他)	m ²					
(その他)	m ²						
既存壁仕上げ改修	(7)EP等塗替 (モルタル面)	m ²			()	OK NO	
	(8)EP等塗替 (各種ボード面)	m ²			()	OK NO	
	(9)壁紙張替 (モルタル面)	m ²		()	OK NO		
	(10)壁紙張替 (各種ボード面)	m ²		()	OK NO		
	(その他)	m ²					
	(その他)	m ²					

名 称	摘 要	単 位	内 訳 数 量	チ ェ ッ ク 項 目	チ ェ ッ ク 数 量	判 定	確 認 事 項
壁仕上げ下地	軽量鉄骨間仕切 (65・90・100型)	m ²		≡ 各種ボード張り(LGS下地)総面積× (0.6)~(0.9)	() × (0.6) ~ (0.9) = () ~ ()	OK NO	
	タイル下地モルタル	m ²		= (6)タイル張り面積	()	OK NO	
	(その他)	m ²					
	(その他)	m ²					
	(その他)	m ²					
新設壁表面仕上げ EP等塗装	モルタル面	m ²		= (2)モルタル塗り(塗装下)面積	()	OK NO	
	各種ボード面	m ²		= (4)各種ボード張り(塗装下)面積	()	OK NO	
新設壁表面仕上げ 壁紙張り	モルタル面	m ²		= (3)モルタル塗り(壁紙張り下)面積	()	OK NO	
	各種ボード面	m ²		= (5)各種ボード張り(壁紙張り下)面積	()	OK NO	

名称	摘要	単位	内訳数量	チェック項目	チェック数量	判定	確認事項
5-3 天井改修							
5-3-1 撤去							
主仕上げ	各種ボード張り (1重張り)	m ²		= (1)各種ボード張り面積	()	OK NO	
	各種ボード張り (2重張り)	m ²		= (2)各種ボード張り面積	()	OK NO	
	(その他)	m ²		=		OK NO	
	(その他)	m ²		=		OK NO	
下地	軽量鉄骨天井下地	m ²		= (1)(2)各種ボード張り面積	()	OK NO	
表面仕上げ	EP等除去 (各種ボード面)	m ²		= (3)EP等塗替面積	()	OK NO	
	壁紙等除去 (各種ボード面)	m ²		= (4)壁紙等除去面積	()	OK NO	
	(その他)	m ²		=		OK NO	
	(その他)	m ²		=		OK NO	
5-3-2 改修							
新設天井仕上げ改修	壁主仕上げの総面積 (下記による)	m ²		≒		OK NO	
	(1)各種ボード張り (1重・2重張り) (塗装なし)	m ²		≒ 撤去面積と改修面積の整合の チェック及び主仕上げと下地の 整合をチェック	()	OK NO	
	(2)各種ボード張り (1重・2重張り) (塗装あり)	m ²			()	OK NO	
	(その他)	m ²					
(その他)	m ²						
既存天井仕上げ改修	(3)EP等塗替 (各種ボード面)	m ²			()	OK NO	
	(4)壁紙等除去 (各種ボード面)	m ²			()	OK NO	
	(その他)	m ²					
	(その他)	m ²					
下地	軽量鉄骨天井下地	m ²		= (1)(2)各種ボード張り面積	()	OK NO	
新設天井表面仕上げ EP等塗装	各種ボード面			= (1)各種ボード張り面積	()	OK NO	
新設壁表面仕上げ 壁紙張り	各種ボード面			= (2)各種ボード張り面積	()	OK NO	

電気設備工事編

数量算出チェックリスト (新営工事用)

業 務 名 _____

施 設 名 _____

業務受注者名 _____

担 当 者 名

管 理 技 術 者 : _____

主任担当技術者（積算）: _____

担当技術者（積算）: _____

1-1 基本事項

1. 基準類の確認

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
基準類	適用となる設計図書と基準類（適用年度）とその適用年度について確認したか。			
	設計図書			
	・ 図面及び仕様書			
	・ 現場説明書			
	・ 図面及び現場説明書に対する質問回答			
	電気関係			
	・ 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成 年版）			
	・ 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（平成 年版）			
	積算関係			
	・ 公共建築工事積算基準（平成 年版）			
	・ 公共建築工事共通費積算基準（平成 年版）			
	・ 公共建築工事標準単価積算基準（平成 年版）			
	・ 公共建築設備数量積算基準（平成 年版）			
	・ 公共建築工事内訳書標準書式（設備工事編）（平成 年版）			
	・ 公共建築工事見積書標準書式（設備工事編）（平成 年版）			
	・ 公共建築工事積算基準等資料（平成 年版）			

2. 共通事項

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
特記仕様書	工事件名を確認したか。			
	工事概要を確認したか。			
	工事種目を確認したか。			
	指定部分を確認したか。			
	適用基準を確認したか。			
	使用する機材について確認したか。			
	化学物質の濃度測定の有無について確認したか。（・有・無）			
	監督職員事務所の有無について確認したか。（・有・無）			
	足場について確認したか。			
	施工調査の要否について確認したか。（・要・不要）			
	養生について確認したか。			
	発生土の処理について確認したか。			
	耐震施工について確認したか。			
	フラッシュプレートの材質について確認したか。（ 製）			
	金属管の塗装の要否について確認したか。 ・ 要（・屋外の配管 ・ ） ・ 不要			
	蛍光灯安定器の種類について確認したか。			
	インバータ装置の効率について確認したか。			
	機器取付高さについて確認したか。			
	接地極の規格、数量について確認したか。			
	他工事との工事区分について確認したか。			
	グリーン購入法の該当品目について確認したか。			
断面図	階高を確認したか。			
	天井高を確認したか。			
平面図	縮尺を確認したか。			
	凡例の記載があるか確認したか。積算上必要な名称が記載されているか。			
外構図	埋設深さを確認したか。			
	掘削・埋戻の工事範囲の確認をしたか。			

3. 電灯設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
照明器具	器具の形状、ランプ種類・大きさ・灯数、安定器形式、材質その他特記事項を確認したか。			
分電盤・0A盤・実験盤	種別及び形式を確認したか。 入力電源の電気方式（種別、相線、電圧）を確認したか。 幹線の電線種別、太さ及び入線方向を確認したか。 主幹器具の定格電流、定格遮断電流及び極数を確認したか。 端子盤部の端子形状及び対数、内蔵機器を確認したか。			

4. 動力設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
制御盤	種別及び形式を確認したか。 入力電源の電気方式（種別、相線、電圧）を確認したか。 幹線の電線種別、太さ及び入線方向を確認したか。 主幹器具の定格電流、定格遮断電流及び極数を確認したか。 分岐回路の負荷名称、負荷記号、負荷容量、単位装置（定格電流、始動方式、操作・制御方式、操作制御スイッチ、保護継電器及び進相コンデンサ）、監視制御項目、連動及びインターロックを確認したか。			
手元開閉器箱	種別及び形式を確認したか。 器具の定格電流及び極数を確認したか。			

5. 電熱設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
制御盤	種別及び形式を確認したか。 入力電源の電気方式（種別、相線、電圧）を確認したか。 幹線の電線種別、太さ及び入線方向を確認したか。 主幹器具の定格電流、定格遮断電流及び極数を確認したか。 回路番号、供給室名、配線用遮断器などの定格電流、負荷容量、回路電圧、単位装置（操作・制御方式、操作制御スイッチ、保護継電器）、監視制御項目（操作、状態、故障、警報の表示）を確認したか。			
発熱線等	構造、種類、電圧、発熱量、対象面積を確認したか。			
温度センサ等	仕様を確認したか。			

6. 雷保護設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
受雷部	方式を確認したか。 ○突針 ○棟上げ導体 ○金属製手すり（別途） 突針支持パイプの材質、寸法、支持金物、施工方法等を確認したか。			
接地極	方式を確認したか。 ○銅板埋設 ○接地棒 ○建築構造物利用			
試験用接続端子箱	形式及び端子数を確認したか。			

7. 受変電設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
受電方式	受電電圧、周波数、受電種別及び区分開閉器の仕様を確認したか。			
キュービクル式配電盤	形式（PF・S形/CB形）を確認したか。			
高圧スイッチギヤ	形式（CX/CW/PW形）を確認したか。			
変圧器盤	形式及び変圧器仕様を確認したか。			
コンデンサ盤	形式及びコンデンサ及びリアクトルの仕様を確認したか。			
低圧スイッチギヤ	形式（CX/CS/CW/FW形）を確認したか。			
変圧器・コンデンサ・直列リアクトル	構造、種別、定格及び容量等を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			
	工事範囲を確認したか。（○ 基礎）			

8. 電力貯蔵設備

(a) 直流電源

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
蓄電池	種類、容量、セル数、出力方式及び収納形式を確認したか。			
整流装置	電気方式、入力電圧、定格直流電流及び盤形式を確認したか。			
負荷電圧補償装置	定格電流を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			
	工事範囲を確認したか。（○ 基礎）			

(b) 交流無停電電源

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
形式	形式を確認したか。			
入力	整流装置側及びバイパス側それぞれの電気方式、電圧及び周波数を確認したか。			
出力	総合定格出力、電気方式、電圧、周波数及び力率を確認したか。			
整流装置	方式及び盤形式を確認したか。			
逆変換装置	方式及び盤形式を確認したか。			
蓄電池	種類、容量、収納形式、停電補償時間及び最低蓄電池温度を確認したか。			
並列盤	方式、構成及び盤形式を確認したか。			
切替盤	方式、機能及び盤形式を確認したか。			
保守バイパス盤	方式及び盤形式を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			
	工事範囲を確認したか。(○ 基礎)			

9. 発電設備

(a) 発電

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
形式	形式を確認したか。			
運転方式	用途、設置高度、周囲温度、湿度及び連続運転時間を確認したか。			
発電機	電気方式、電圧、周波数、回転数、定格出力及び力率を確認したか。			
原動機	種別、定格出力、始動方式、冷却方式及び過給方式を確認したか。			
配電盤	形式、制御方式、種類、主遮断器定格電流及び定格遮断電流を確認したか。			
蓄電池等	形式及び電池種類を確認したか。			
冷却塔等	減圧水槽及び初期注水槽を確認したか。			
主燃料槽等	種類、燃料小出槽、主燃料槽及び付属機器を確認したか。			
給油口ボックス	種別、材質、給油口サイズ及び付属機器を確認したか。			
消音器	形式、付属品及び給気ファン仕様を確認したか。			
配管材料等	燃料、冷却水、排気、換気ダクト等の配管材料を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。 工事範囲を確認したか。 ○基礎 ○防油堤 ○主燃料槽 ○主燃料槽(タンク室含む)			

(b) 太陽光発電

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
太陽電池アレイ	出力を確認したか。			
パワーコンディショナ	形式、定格容量、出力電気方式、周波数、系統連系方式及び周囲温度条件を確認したか。			
連系保護装置	設置の有無を確認したか。			
気温計、日射計	設置の有無を確認したか。			
架台	材質、傾斜角度、基礎、規格及び設置可能面積を確認したか。			
表示装置	表示方式及び形状を確認したか。			
データ処理装置	仕様を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。 工事範囲を確認したか。(○基礎)			

(c) 風力発電

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
風車発電装置	種類、材質、寸法、ハブ高さ、カットイン風速、定格風速、カットアウト風速及び定格出力を確認したか。			
制御盤	形式、定格容量、出力電気方式、周波数、系統連系方式及び周囲温度条件を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			
	工事範囲を確認したか。(○基礎)			

10. 構内情報通信網設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
リピータ	インターフェース、ポート数及びコネクタ形状を確認したか。			
スイッチ	インターフェース、ポート数、処理能力、バックプレーン容量及び機能を確認したか。			
ルータ	インターフェース、ポート数及び機能を確認したか。			
メディアコンバータ	インターフェース、ポート数及びコネクタ形状を確認したか。			
ファイヤウォール	インターフェース種別、同時セッション数、処理能力、暗号化機能その他必要な機能を確認したか。			
ネットワーク管理装置	ハードウェア仕様、OS仕様その他必要な機能を確認したか。			
光パッチパネル	ファイバ種類、ポート数、パッチコード本数その他必要な機能を確認したか。			
機器収納ラック	材質及び参考寸法を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			

11. 構内交換設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
交換装置	局線応答方式、内線数、外線数、構内PHS接続装置数及び付加サービス機能を確認したか。 デジタルPBX、IP-PBXまたはVOIPサーバーの区別を確認したか。			
電源装置	保持時間を確認したか。			
局線中継台	構造及び付加機能を確認したか。			
局線表示盤	窓数を確認したか。			
本配線盤	形式、端子種類及び端子数を確認したか。			
電話機等	形状及び機能を確認したか。			
ファクシミリ	形状、機能及び記憶容量を確認したか。			
構内PHS	機能を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。 IP電話の品質クラス及び電源供給（PoE方式）を確認したか。 工事範囲を確認したか。			

12. 情報表示設備

(a) マルチサイン

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
情報表示盤	形式、画面サイズ、輝度及びドット数を確認したか。			
操作制御部	ハードウェア仕様その他必要な機能を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			

(b) 出退表示

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
出退表示盤	機能、形式、種別、窓の大きさ及び窓数を確認したか。			
制御装置	形式を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			

(c) 時刻表示

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
親時計	形式、回線数及び組込機器を確認したか。			
子時計	形式を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			

13. 映像・音響設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
増幅器	形式、種別、定格出力、入出力回線数、出力制御及び付加機能を確認したか。			
スピーカ	形式その他必要な機能を確認したか。			
プロジェクタ	投写方式、映像信号の種別・接続数、接続条件その他必要な機能を確認したか。			
スクリーン	形式、サイズその他必要な機能を確認したか。			
操作卓	材質、仕上げ及び組込機器の種類を確認したか。			
切換装置	映像・音響信号種別、入出力端子数及び接続条件を確認したか。			
マイクロホン	形式、指向性パターン及びマイクスタンドの有無を確認したか。			
カセットテープレコーダ CDプレーヤ MDレコーダ DVDプレーヤ等	形式その他必要な機能を確認したか。			
カラーテレビ・モニタ	表示方式、画面形状、サイズ及び入出力信号種別・端子数を確認したか。			
書画カメラ	形式その他必要な機能を確認したか。			
カラービデオカメラ	撮像素子、水平解像度、最低被写体照度、映像SN比、同期方式、映像出力種別及びズーム倍率を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。 工事範囲を確認したか。(○スクリーン ○スクリーンボックス ○操作卓)			

14. 拡声設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
増幅器	形式、種別、定格出力、入出力回線数、出力制御、付加機能その他必要な機能を確認したか。			
スピーカ	形式及び種類を確認したか。			
マイクロホン	形式、指向性パターン及びマイクスタンドの有無を確認したか。			
カセットテープレコーダ CDプレーヤ MDレコーダ アナウンスレコーダ等	形式その他必要な機能を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			

15. 誘導支援設備

(a) 誘導支援

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
検出部	検出方式、形式その他必要な機能を確認したか。			
制御部	屋内外の別、形式、音声案内制御その他必要な機能を確認したか。			
案内表示部	屋内外の別、形式その他必要な事項を確認したか。			

(b) インターホン

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
インターホン	形式、通話方式、通信網の方式、局数その他必要な機能を確認したか。			
エレベータ用 インターホン	※原則、配管のみ			
その他	工事区分を確認したか。			

(c) トイレ呼出表示

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
トイレ呼出表示器	形状、表示窓数その他必要な機能を確認したか。			
呼出表示灯 呼出ボタン 復帰ボタン	形状等を確認したか。			

(d) 受付呼出表示

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
受付呼出表示器	形式その他必要な機能を確認したか。			
操作部	形式その他必要な機能を確認したか。			
番号カード発行機	形式その他必要な機能を確認したか。			

16. テレビ共同受信設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
アンテナ	種別、材質、素子数を確認したか。			
アンテナマスト	材質、長さ、支持方式等を確認したか。			
機器収容箱	収容機器を確認したか。			
機器	方式、種別、形状等を確認したか。			

17. 監視カメラ設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
カメラ	伝送方式、カラー・白黒の別、レンズ（形式、区分、機能）及び電源供給方式を確認したか。			
モニタ装置	カラー・白黒の別、形状、モニタのサイズその他必要な機能を確認したか。			
録画装置	録画方式、ディスク容量その他必要な機能を確認したか。			
旋回装置	屋内外の別、水平・垂直旋回角度及び旋回速度を確認したか。			
ハウジング	屋内外の別、ワイパー・デフロスター・ヒーター及びファンの有無を確認したか。			
制御装置	制御回線数その他必要な機能を確認したか。			
映像切替器	切換入力回線数、自動・手動の別、出力回線数、カメラ番号表示その他必要な事項を確認したか。			
画面分割装置	入出力回線数、分割画面数、カメラ番号表示その他必要な事項を確認したか。			
機器収納ラック	材質及び参考寸法を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			

18. 駐車場管制設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
管制盤	ランプ方式、表示方式、形状、参考寸法その他必要な機能を確認したか。			
検知器	形式、遮光フードの有無及び在車検知器の方式等を確認したか。			
信号等・警報灯	形式その他必要な機能を確認したか。			
発券機	発券方式、発行券の種類、屋内外の別、連絡インターホンその他必要な機能を確認したか。			
カーゲート	形式その他必要な機能を確認したか。			
カードリーダー	屋内外の別その他必要な機能を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			

19. 防犯・入退室管理設備

(a) 防犯

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
制御装置	方式、形式その他必要な機能を確認したか。			
センサ	形式その他必要な機能を確認したか。			
警備機器収納箱	形式及び参考寸法等を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			
	工事範囲を確認したか。（範囲： ）			

(b) 入退室管理

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
制御装置	形式、停電対策その他必要な機能を確認したか。			
認識部	方式、形式その他必要な機能を確認したか。			
遠隔制御器	形式その他必要な機能を確認したか。			
電気錠	動作形式、電源電圧及び電流等を確認したか。			
セキュリティゲート	形式、材質、通路数、車いす対応その他必要な機能を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			
	工事範囲を確認したか。（範囲： ）			

20. 火災報知設備

(a) 自動火災報知

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
受信機・複合盤	種別、性能、回線数、盤形式を確認したか。			
	アドレス数、アナログ機能その他必要な機能を確認したか。(R形の場合)			
	連動制御器の回線数、遠方復帰機構の回線数を確認したか。(複合盤の場合)			
副受信機・表示装置	盤形式、表示方式、画面サイズその他必要な機能を確認したか。			
中継器	アナログ機能、自動試験機能、遠隔試験機能の有無を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			

(b) 自動閉鎖

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
連動制御器	回線数、遠方復帰機構の回線数を確認したか。			
	※ガンバ接続の場合、復帰用バッテリー容量を確認			
自動閉鎖装置	定格電圧及び電流を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			

(c) ガス漏れ火災警報

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
受信機	性能、回線数、盤形式及びガスの種類等を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			

21. 中央監視制御設備

(a) 警報盤

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
警報盤	信号伝送方式、表示方式、監視点数、表示項目及び電源装置の有無を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			

(b) 簡易形監視制御装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
監視操作装置	盤形式、表示装置の形式及び操作部の方式を確認したか。			
信号処理装置	中央処理装置の機能を確認したか。 補助記憶装置の記憶媒体を確認したか。 伝送装置の形式及び機能を確認したか。			
記録装置	雑印字装置の形式を確認したか。			
電源装置	電気方式、定格電力及び停電補償時間を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。 他工事との工事区分を確認したか。 (範囲：) 監視点数を確認したか。			

(c) 監視制御装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
監視操作装置	キャビネットの外観・構造を確認したか。 グラフィックパネルの監視面材質、方式、形式及び表示内容を確認したか。 ミニグラフィックパネルの監視面材質、方式、形式及び表示内容を確認したか。 表示装置の種別及び画面サイズを確認したか。			
信号処理装置	中央処理装置の機能を確認したか。 補助記憶装置の記憶媒体を確認したか。 伝送装置の形式及び機能を確認したか。			
記録装置	帳票用印字装置の形式を確認したか。 雑印字装置の形式を確認したか。			
補助盤	形式及び構成機能を確認したか。			
電源装置	電気方式、定格電力及び停電補償時間を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。 他工事との工事区分を確認したか。 (範囲：) 監視点数を確認したか。			

22. 構内配電線路

(a) 構内配電

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
引込開閉器等	PAS、UGS等の仕様を確認したか。			
ケーブル布設	縮尺を確認したか。 埋設標、標識シートの有無を確認したか。			
電柱、支線柱、支柱	材質、規格、寸法を確認したか。			
装柱材料	名称、種別、規格、寸法を確認したか。			
マンホール・ハンドホール	形式を確認したか。			
捨てコン 砂利地業	仕様を確認したか。			

(b) 外灯

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
外灯	記号、形式等を確認したか。 記号、形式、基礎等を確認したか。			
外灯・庭園灯	記号、形式、ポール高さ、材質等を確認したか。 基礎を確認したか。			
ケーブル布設	縮尺を確認したか。			
捨てコン 砂利地業	仕様を確認したか。			
接地極	有無を確認したか。			

23. 構内通信線路

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
保安器	保安器設置の有無を確認したか。			
ケーブル布設	縮尺を確認したか。 埋設標の確認をしたか。			
マンホール・ハンドホール	形式を確認したか。			
捨てコン 砂利地業	仕様を確認したか。			

24. 電波障害防除設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
ヘッドエンド 機器収容箱 アンテナ アンテナマスト	機器仕様書により、構造、形式、寸法、定格、性能、容量等を確認したか。			
工事区分	他工種工事との区分を確認したか。			

1-2 数量算出チェック項目

1. 共通工事

(1) 一般事項

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
基準類	建築数量積算基準、建築設備数量積算基準を理解したか。			
工事種目	建物ごと(庁舎・車庫・増築庁舎・既設庁舎等)に区分したか。 (図面と照合する。)			
工事科目	科目ごとに区分したか。(図面と照合する。)			
中科目	主要な構成に従い、中科目に区分したか。			
拾い書	拾い書に落ちがないか拾い図面を確認したか。			
集計表	拾いの数量が集計表に上がってきているか確認したか。 桁間違え、転記の段ずれが無いか確認したか。			
図面照合	必要な図面の訂正をしたか。			

(2) 配管配線等

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線	種目、科目、中科目、用途、種類、階、盤、回路及び施工場所別に区分し計上したか。			
	電線・ケーブルは、種別、条数及び施工方法別（管内、PF管内、ラック、ころがし等）に区分し計上したか。			
	管類は、種別、寸法、施工方法、塗装の有無別に区分し計上したか。 ※塗装する箇所は、特記仕様書により確認する。			
	設計図に記載された縮尺により計測、計算したか。			
	階高、標準天井高及び機器取付高さを確認したか。			
	立上り・引下げは、標準天井面又は床面より機器等の中心までの長さとして計測、計算したか。			
	設計数量で計測、計算したか。 ※隠蔽の分岐配管配線は最短経路、その他は設計図示経路とする。			
	指定された幹線分岐材料を計上したか。			
	特記された配管等支持材、金具等を計上したか。			
	電線管配線でボンディングを計上したか。			
位置ボックス・ジョイントボックス	材質及び種類別に区分し計上したか。			
	ボックスアースを計上したか。※電力用、金属製、露出の場合			
フラッシュプレート	材質及び種類別に区分し計上したか。			
	材質 ○金属製 ○樹脂製			
ブルボックス	材質、形式、寸法、仕上及び用途別（電力・通信）に区分し計上したか。			
	塗装を計上したか。※隠ぺい、SUS以外。			
	接地端子を計上したか。※電力用の場合。			
配線ダクト	形式、寸法、仕上別に区分し計上したか。			
ケーブルラック	形式、寸法、仕上、施工方法別に区分し計上したか。			
バスダクト	形式、電圧、電流別に区分し、屈曲、分岐部などの個数も計上したか。			
金属線び	規格毎に区分し計上したか。			
	付属品（ボックス類）は、規格毎に区分し計上したか。			

(3) 区画貫通処理

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
ケーブルラック	延焼防止処理と防火区画貫通処理を区分し計上したか。			
	施工場所（床・壁）別に区分し計上したか。			
配管	配管サイズ毎に区分し計上したか。			

(4) 接地工事

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
接地極	種別、接地極の材質、寸法別に区分し計上したか。			
接地埋設標	要否を確認し、必要なところに計上したか。			
接地端子箱	形式、端子数別に計上したか。			

(5) 搬入費

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
搬入費	必要とする機器を選別したか。			
	(受変電、自家発電、電源装置等の機器で、単独の質量が100kg以上のもの)			
	機器の種類、台数、寸法及び重量別に計上したか。			
	容積品、重量品の区分をしたか。			
	搬入基準単価の構成との確認を行ったか。			

(6) 土工事

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
根切り	根切りの深さを確認したか。			
	余幅等の値は適正に計上したか。			
	他工事と重複する部分の工事区分を確認したか。			
	舗装の有無を確認したか。			
	舗装部分の解体 ○本工事 ○別途工事			
	掘削方法は妥当か。			
	掘削方法 ○機械掘り ○人力掘り			
	計画数量を図で記載したか。			
埋戻し	根切り数量から山砂、砂利敷、捨コンクリート、埋設物などの体積を減じたか。(除く、200φ以下の配管及び複合単価ハンドホール。)			
	舗装の仕様を確認したか。			
	舗装部分の復旧 ○本工事 ○別途工事			
残土処分	根切数量から埋戻し及び盛り土等の数量を減じたか。			
	処分場所を確認したか。			
掘削機械運搬	掘削機械の運搬費を計上したか。			
	掘削機械 ○BH 0.13m3 ○BH 0.28m3 ○BH 0.45m3 ○人力			
	掘削機械の選定計算書を作成したか。			

(7) コンクリート工事

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
コンクリート基礎	コンクリート、鉄筋、型枠、モルタル塗りの数量を確認したか。			
	鉄筋のサイズ及び数量を確認したか。			
	鉄筋のサイズ ○D10 ○D13			

2. 電力設備

(1) 電灯設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
配線器具類	定格電圧、電流、容量、極数、形式別に区分し計上したか。			
照明器具	形式、記号、安定器種類、取付け場所別に区分し計上したか。 必要により、位置ボックスを計上したか。			
照明制御装置	仕様毎に区分し計上したか。			
分電盤・OA盤・実験盤	形式、材質及び記号ごとに区分し計上したか。			
	盤類の歩掛りは、以下に注意し算出したか。 (歩掛算出書による)			
	・内部構成機器(主幹、分岐ブレーカ、リレー等)の個数、容量等			
	・照明制御関係のリレーユニット			
	・OA盤の端子部			

(2) 動力設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
制御盤	形式、材質及び記号ごとに区分し計上したか。 盤類の歩掛りは、以下に注意し算出したか。 (歩掛算出書による) ・ 負荷容量別に回路数を計上しているか。 ・ 単装置がある場合は、分岐ブレーカを計上してはいないか。			
手元開閉器	材質、形式、容量及び極数等ごとに区分し計上したか。			
機器への接続	電動機等への接続材はサイズ別に区分し計上したか。 電動機の結線費を計上したか。 電極等の結線費を計上したか。			

(3) 電熱設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
制御盤	形式、材質及び記号ごとに区分し計上したか。 盤類の歩掛りは、以下に注意し算出したか。 (歩掛算出書による) ・ 負荷容量別に回路数を計上しているか。			
発熱線等	構造、種類、電圧、発熱量及び回路別に区分し計上したか。			
温度センサ等	仕様別に区分し計上したか。			

(4) 雷保護設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
突針及び突針支持管	支持パイプの材質、寸法、支持金物、施工方法別に区分し計上したか。			
棟上導体	材質、施工方法別に区分し計上したか。 伸縮継手を計上したか。			
避雷導線	水平部分と垂直部分とを区分し、支持材を計上したか。 接続材を計上したか。			
接地極	規格、種別及び寸法ごとに計上したか。 埋設標を計上したか。			
試験用接続端子箱	記号、形式及び材質別に区分し計上したか。			
保護管	材質及びサイズ別に区分し計上したか。			

(5) 受変電設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
	高圧ケーブル端末処理材を計上したか。			
高低圧配電盤類	構造、定格、盤形式別に区分し計上したか			
変圧器・コンデンサ・直列リアクトル	構造、種別、定格、容量別に区分し計上したか。 ※低圧は、盤の見積に含むので、計上しない。			
基礎	基礎を計上したか。			
	(○本工事 ○別途工事)			
リフタ・引出用台	必要により、計上したか。			
耐電マット	必要により、計上したか。			
ダイヤル温度計	必要により、計上したか。			
	(油入変圧器500KVA以上、モールド変圧器150KVA以上)			
搬入費	搬入費を計上したか。			

(6) 電力貯蔵設備

(a) 直流電源

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
直流電源装置	構造、形式、電気方式、蓄電池種別及び容量別に区分し計上したか。			
基礎	基礎を計上したか。			
	(○本工事 ○別途工事)			
搬入費	搬入費を計上したか。			

(b) 交流無停電電源

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
交流無停電電源装置	構造、形式、電気方式、性能、蓄電池種別及び補償時間別に区分し計上したか。			
基礎	基礎を計上したか。			
	(○本工事 ○別途工事)			
搬入費	搬入費を計上したか。			

(7) 発電設備

(a) 発電

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
交流発電機・原動機	構造、形式、定格、性能、容量別に区分し計上したか。			
配電盤	構造、形式、制御方式別に区分し計上したか。			
燃料小出槽	構造、形式、容量別に区分し計上したか。			
消音器	用途別に区分し計上したか。			
補機付属装置等	構造、形式、寸法、定格、容量別に区分し計上したか。			
工事費	配線工事、冷却水配管工事、油配管工事、換気ダクト工事、排気ダクト工事等を計上したか。			
基礎	基礎を計上したか。 (○本工事 ○別途工事)			
防油堤	防油堤を計上したか。 (○本工事 ○別途工事)			
主燃料槽	主燃料槽を計上したか。 (○本工事 ○別途工事)			
搬入費	搬入費を計上したか。			

(b) 太陽光発電

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
太陽電池アレイ	構造、形式、定格、性能、容量別に区分し計上したか。			
パワーコンディショナ	構造、形式、定格、容量別に区分し計上したか。			
接続箱	接続箱を計上したか。			
連係保護装置	構造、形式、定格、容量別に区分し計上したか。			
計測、表示装置	計測機器、表示装置等に区分し計上したか。			
架台	架台を計上したか。			
付属ケーブル	製造者標準ケーブル等を計上したか。			
基礎	基礎を計上したか。 (○本工事 ○別途工事)			
搬入費	搬入費を計上したか。			

(c) 風力発電

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
風車	種類、材質、寸法別に区分し計上したか。			
発電機	定格出力別に区分し計上したか。			
制御盤	構造、形式、定格、容量別に区分し計上したか。			
付属ケーブル	製造者標準ケーブル等を計上したか。			
基礎	基礎を計上したか。 (○本工事 ○別途工事)			
搬入費	搬入費を計上したか。			

3. 通信・情報設備

(1) 構内情報通信網設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。 二重床用情報コンセントの二重計上はないか。 (コンセント分岐にて計上されていないか。)			
機器	構造、形式、寸法、定格、性能、容量別に区分し計上したか。 システム系統別に区分し計上したか。			
パッチパネル	対数別に区分し計上したか。 ケーブル本数・規格別に区分し計上したか。			
通信制御装置 (HUB、ルータ類)	構造、形式、容量、付加機能、規格別に区分し計上したか。			
通信総合盤	通信総合盤は、どの設備で計上しているか。 (設備)			

(2) 構内交換設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
	内線電話への配線の計上は確認したか。(特記仕様書で確認)			
	○ 計測 ○ 1台当たりの計算 二重床用情報コンセントの二重計上はないか。 (コンセント分岐にて計上されていないか。)			
本配線盤、端子盤類	構造、形式、端子盤種類、容量別に区分し計上したか。			
交換装置	構造、形式、容量、付加機能、中継方式別に区分し計上したか。			
局線中継台	構造、形式、接続方式、付加機能等別に区分し計上したか。			
局線表示盤	形式、窓数ごとに区分し計上したか。			
電源装置	構造、形式、電気方式、蓄電池種別、容量等別に区分し計上したか。			
電話機等	形状及び機能ごとに区分し計上したか。			
ファクシミリ	形状、機能及び記憶容量ごとに区分し計上したか。			
構内PHS	機能ごとに区分し計上したか。			

(3) 情報表示設備

(a) マルチサイン

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
情報表示盤	形式、画面サイズ、輝度及びドット数別に区分し計上したか。			
操作制御部	ハードウェア仕様その他必要な機能別に区分し計上したか。			

(b) 出退表示

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
出退表示盤	機能、形式、種別、窓の大きさ及び窓数別に区分し計上したか。			
制御装置	形式別に区分し計上したか。			
表示発信器	形式、記号別に区分し計上したか。			

(c) 時刻表示

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
親時計	構造、形式、回線数、電源種別ごとに区分し計上したか。			
子時計	形式別に区分し計上したか。			

(4) 映像・音響設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
増幅器	形式、種別、定格出力、入出力回線数、出力制御及び付加機能別に区分し計上したか。			
スピーカ	形式別に区分し計上したか。			
プロジェクタ	投写方式、映像信号の種別・接続数、接続条件別に区分し計上したか。			
スクリーン	形式、サイズ別に区分し計上したか。			
操作卓	材質、仕上げ及び組込機器別に区分し計上したか。			
切換装置	映像・音響信号種別、入出力端子数及び接続条件別に区分し計上したか。			
マイクロホン	形式、指向性パターン別に区分し計上したか。			
マイクロホンスタンド	形式別に区分し計上したか。			
カセットテープレコーダ CDプレーヤ MDレコーダ DVDプレーヤ等	形式及び機能別に区分し計上したか。			
カラーテレビ・モニタ	表示方式、画面形状、サイズ及び入出力信号別に区分し計上したか。			
書画カメラ	形式及び機能別に区分し計上したか。			
カラービデオカメラ	撮像素子、水平解像度、最低被写体照度、映像SN比、同期方式、映像出力種別及びズーム倍率別に区分し計上したか。			

(5) 拡声設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
増幅器	形式、種別、定格出力、入出力回線数、出力制御、付加機能別に区分し計上したか。			
スピーカ	形式、記号、アッテネータ有無別に区分し計上したか。			
マイクロホン	形式、指向性パターン別に区分し計上したか。			
マイクロホンスタンド	形式別に区分し計上したか。			
カセットテープレコーダ CDプレーヤ MDレコーダ アナウンスレコーダ等	形式及び機能別に区分し計上したか。			
音量調節器	形式別に区分し計上したか。			

(6) 誘導支援設備

(a) 誘導支援

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
検出部	検出方式、形式及び機能別に区分し計上したか。			
制御部	屋内外の別、形式、音声案内制御及び機能別に区分し計上したか。			
案内表示部	屋内外の別、形式別に区分し計上したか。			

(b) インターホン

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
インターホン	形式、通話方式、通信網の方式及び局数別に区分し計上したか。			
エレベータ用 インターホン	工事区分に従い計上したか。			
テレビインターホン	構造、形状、通話方式、モタ種類別に区分し計上したか。			
外部受付用 インターホン	構造、形状、通話方式、電源方式、選局数、選局機構別に区分し計上したか。			
電源装置	構造、形式、定格、容量別に区分し計上したか。			
インターホン子機	構造、形状別に区分し計上したか。			
外部受付用 インターホン子機	身障者用マーク、案内文字板（点字）を計上したか。			

(c) トイレ呼出表示

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
トイレ呼出表示器	形状及び表示窓数別に区分し計上したか。			
呼出表示灯 呼出ボタン 復帰ボタン	形状別に区分し計上したか。			

(d) 受付呼出表示

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
受付呼出表示器	形式、機能別に区分し計上したか。			
操作部	形式、機能別に区分し計上したか。			
番号カード発行機	形式、機能別に区分し計上したか。			

(7) テレビ共同受信設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
アンテナ	種別、材質、素子数別に区分し計上したか。			
アンテナマスト	材質、長さ、支持方式別に区分し計上したか。			
機器収容箱	形式別に区分し計上したか。 機器収容箱と分岐器、分配器、増幅器等分けて計上したか。			
機器	方式、種別、形状別に区分し計上したか。			

(8) 監視カメラ設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
カメラ	カラー・白黒の別、個体撮像素子のサイズ、画素数、レンズ、形状、ハウジング、同期方式及び電源供給方式別に区分し計上したか。			
機器	構造、形式、寸法、定格、性能別に区分し計上したか。			

(9) 駐車場管制設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
管制盤	ランプ方式、表示方式、形状、参考寸法、機能別に区分し計上したか。			
検知器	形式、遮光フードの有無及び在車検知器の方式別に区分し計上したか。			
信号等・警報灯	形式及び機能別に区分し計上したか。			
発券機	発券方式、発行券の種類、屋内外の別、連絡インターホン、機能別に区分し計上したか。			
カーゲート	形式及び機能別に区分し計上したか。			
カードリーダー	屋内外の別及び機能別に区分し計上したか。			
ループコイル	埋設に係る土工事は、 ○ 本工事 ○ 別途工事			
機器用基礎	寸法別に区分し計上したか。 砂利地業を計上したか。			

(10) 防犯・入退室管理設備

(a) 防犯

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
制御装置	方式、形式、機能別に区分し計上したか。			
センサ	形式及び機能別に区分し計上したか。			
警備機器収納箱	形式及び参考寸法別に区分し計上したか。			

(b) 入退室管理

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
制御装置	形式、停電対策、機能別に区分し計上したか。			
認識部	方式、形式、機能別に区分し計上したか。			
遠隔制御器	形式及び機能別に区分し計上したか。			
電気錠	動作形式、電源電圧及び電流別に区分し計上したか。			
セキュリティゲート	形式、材質、通路数、車いす対応、機能別に区分し計上したか。			

(11) 火災報知設備

(a) 自動火災報知

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
受信機	構造、形式、級別、寸法、回線数別に区分し計上したか。			
副受信機・表示装置	盤形式、表示方式、画面サイズ、機能別に区分し計上したか。			
中継器	アナログ機能、自動試験機能、遠隔試験機能別に区分し計上したか。			
感知器	方式、種別、形状別に区分し計上したか。			
発信機	級別、形状別に区分し計上したか。			
機器収容箱	構造、形状、寸法、内蔵機器別に区分し計上したか。 ※端子板が必要な場合は別途計上する。			
その他機器	電鈴の形状、寸法、電源方式別に区分し計上したか。 携帯用送受話機を計上したか。			
立会検査費	立会検査費を計上したか。			

(b) 自動閉鎖

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
連動制御器	構造、形状、級別、寸法、回線数別に区分し計上したか。			
自動閉鎖装置	方式、種別、形状別に区分し計上しているか。			
結線費	防火戸レリーズ以外の閉鎖装置の結線費を計上したか。			

(c) ガス漏れ火災警報

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
受信機	構造、形状、寸法、回線数別に区分し計上したか。			
検知器	方式、種別、形状別に区分し計上したか。			

(12) 中央監視制御設備

(a) 警報盤

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
警報盤	信号伝送方式、表示方式、監視点数、表示項目及び電源装置別に区分し計上したか。			

(b) 簡易形

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
監視操作装置	盤形式、表示装置の形式及び操作部の方式別に区分し計上したか。			
信号処理装置	構造、形式、容量、方式別に区分し計上したか。			
記録装置	形式、容量、方式、数量別に区分し計上したか。			
電源装置	構造、形式、電気方式別に区分し計上したか。			

(c) 監視制御装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
監視操作装置	盤形式、表示装置の形式及び操作部の方式別に区分し計上したか。			
信号処理装置	構造、形式、容量、方式別に区分し計上したか。			
記録装置	形式、容量、方式、数量別に区分し計上したか。			
補助盤	形式及び構成機能別に区分し計上したか。			
電源装置	構造、形式、電気方式別に区分し計上したか。			

(13) 発生材処理

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
発生材処理	撤去品の重量・容積を品目別に計量したか。			
発生材運搬	積み込み費を計上したか。 ※積み込み方法確認			
	運搬費を計上したか。			

4. 屋外

(1) 構内配電線路

(a) 構内配電

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
ケーブル布設	1. 共通工事により計上したか。 必要に応じ、埋設標、標識シートを計上したか。			
電柱、支線柱、支柱	材質、規格、寸法別に区分し計上したか。			
装柱材料	名称、種別、規格、寸法別に区分し計上したか。			
架線、引込線	規格、名称、寸法別に区分し計上したか。 設計数量で算出し、条数、径間個所数を計上したか。			
引込開閉器等	形式、容量別に区分し計上したか。			
マンホール・ハンドホール	記号別、寸法別に計上したか。			
接地極	規格、種別及び寸法ごとに計上したか。 必要に応じ、埋設標を計上したか。			

(b) 外灯

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
外灯	記号、形式別に区分し計上したか。			
外灯・庭園灯	記号、形式、ポール高さ、材質別に区分し計上したか。			
基礎	寸法別に区分し計上したか。 捨てコン、砂利地業を計上したか。			
接地極	規格、種別及び寸法ごとに計上したか。 必要に応じ、埋設標を計上したか。			

(2) 構内通信線路

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
ケーブル布設	1. 共通工事により計上したか。 必要に応じ、埋設標、標識シートを計上したか。			
電柱、支線柱、支柱	材質、規格、寸法別に区分し計上したか。			
装柱材料	名称、種別、規格、寸法別に区分し計上したか。			
架線、引込線	規格、名称、寸法別に区分し計上したか。 設計数量で算出し、条数、径間個所数を計上したか。			
保安器	形式別に区分し計上したか。			
マンホール・ハンドホール	記号別、寸法別に計上したか。			
接地極	規格、種別及び寸法ごとに計上したか。 必要に応じ、埋設標を計上したか。			

(3) 電波障害防除設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
機器	機器仕様書により、構造、形式、寸法、定格、性能、容量別に区分し計上したか。			
	系統別に区分し計上したか。			

5. その他

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
集計	各階集計によるバランスを確認したか。			
	バランスがあわない場合の理由を整理したか。			

1-3 見積チェック項目

1. 見積依頼

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
見積依頼書	記載内容を確認したか。			
	・見積期限を明確に記載したか。			
	・見積有効期間を明確に記載したか。			
	・宛名、工事件名を明確に記載したか。			
見積条件書	記載内容を確認したか。			
	・機器仕様の概要をもれなく記載したか。			
	・見積依頼範囲を明確にしたか。			
	・適切な数量を記載したか。			
	・機器と労務費の区別を明確にしたか。			
	・諸経費の扱いを明確にしたか。			
	・引渡場所を明確にしたか。			
見積図面	記載内容を確認したか。			
	・機器仕様等がもれなく記載されているか。			
	・見積依頼範囲が区別できるか。			
見積依頼先	適切な依頼先が選定されているか。			

2. 見積内訳書

(1) 照明器具

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
照明器具	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか。			
	・特注の場合は記載されている仕様が図面と一致しているか確認したか。			
	・製造者標準品関連器具は、製造者型番により、カタログと図面を比較し問題がないことを確認したか。			
	・器具数量を確認したか。			

(2) 盤類

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
分電盤	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・盤形式を確認したか。			
	・主幹器具形式、容量、数量を確認したか。			
	・分岐器具形式、容量、数量を確認したか。			
	・付属器具、数量を確認したか。			
制御盤	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・盤形式を確認したか。			
	・主幹器具形式、容量、数量を確認したか。			
	・分岐器具形式、容量、数量を確認したか。			
	・付属器具、数量を確認したか。			
キュービクル式配電盤	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
高圧スイッチギア	・別途機器を確認したか。			
変圧器盤	・寸法、重量を確認したか。			
コンデンサ盤				
低圧スイッチギア				

(3) 電力貯蔵装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
直流電源装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、蓄電池種別、容量、寸法、重量を確認したか。			
	・蓄電池のセル数（複数セル一体の確認）を確認したか。			
	・充電装置、収納箱の重量を確認したか。			
交流無停電電源装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、電気方式、性能、寸法、重量等を確認したか。			
	・蓄電池種別、補償時間等を確認したか。			
	・蓄電池の、刊行物価格との比較をしたか。			
	・労務費を計上してあるか確認したか。			
	・試験調整費、諸経費、法定福利費を確認したか。			

(4) 発電設備

(a) 発電装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
交流発電機・原動機	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、定格、性能、容量、寸法、重量等を確認したか。			
始動盤・配電盤	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、制御方式、寸法、重量等を確認したか。			
補機・付属装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、寸法、重量、定格、容量等を確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。)			
	・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(b) 太陽光発電装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
太陽電池アレイ	見積内訳書への記載内容を確認したか。 ・種別、定格、性能、容量、寸法、重量等を確認したか。			
太陽電池架台	見積内訳書への記載内容を確認したか。 ・構造、材質、寸法、重量等を確認したか。			
パワーコンディショナ	見積内訳書への記載内容を確認したか。 ・構造、形式、定格、容量、寸法、重量等を確認したか。			
接続箱	見積内訳書への記載内容を確認したか。 ・構造、形式、定格、寸法、重量等を確認したか。			
計測、表示装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。 ・計測機器、表示装置、表示内容、寸法、重量等を確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。 ・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。) ・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(5) 構内交換装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
本配線盤・端子盤類	見積内訳書への記載内容を確認したか。 ・構造、形式、端子盤種類、容量、寸法、重量等を確認したか。			
交換装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。 ・構造、形式、容量、付加機能、中継方式、寸法、重量を確認したか。			
局線中継台	見積内訳書への記載内容を確認したか。 ・構造、形式、接続方式、付加機能、寸法、重量等を確認したか。			
電源装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。 ・構造、形式、電気方式、蓄電池種別、容量、寸法、重量等を確認したか。			
電話機等	見積内訳書への記載内容を確認したか。 ・形式、種別、色別、台数を確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。 ・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。) ・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(6) 構内情報通信網装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
機器	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、寸法、重量、定格、性能、容量等を確認したか。			
パッチパネル	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・ケーブル本数、規格、対数等を確認したか。			
HUB、ルーター類	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、容量、付加機能、規格等を確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。) ・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(7) 情報表示設備

(a) マルチサイン装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
マルチサイン装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、表示方法、寸法、重量等を確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。) ・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(b) 出退表示装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
表示装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・形式、寸法、重量、性能、付属装置等を確認したか。			
表示制御装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、容量、組込機器、制御画面枚数等を確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。) ・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(c) 時刻表示装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
親時計	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、回線数、電源種別等を確認したか。			
	・組込機器等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
子時計	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・形式、記号等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			

(8) 映像・音響装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
機器類	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、寸法、重量、定格、性能、容量等を確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。)			
	・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(9) 拡声装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
増幅器	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、寸法、定格、性能、容量等を確認したか。			
	・組込機器の種別、性能等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
マイクロホン	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・種別、性能、スタンド形式、数量等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
スピーカ	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・形式、記号、アッテネータ有無を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			

(10) 誘導支援設備

(a) 誘導支援装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
音声誘導装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形状、寸法、定格、性能、電源種別等を確認したか。			

(b) インターホ装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
インターホ	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形状、通話方式、電源方式、選局数、選局機構等を確認したか。			
	・モト種類等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			

(c) トル呼出装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
トル呼出装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形状、電源方式、窓数等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			

(d) 受付呼出装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
受付呼出装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形状、通話方式、電源方式、選局数、選局機構等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			

(11) テレビ共同受信設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
機器類	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・仕様、個数			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
CATV対応機器	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・方式、種別、形状、寸法、重量等を確認したか。 ※双方向、フィル付等を確認する。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。)			
	・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(12) 監視カメラ設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
監視カメラ	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・撮像素子、画素数、レンズ、形状、寸法、重量等を確認したか。			
	・ハジツグに付加する機能及び取付方法を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
ITV制御装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、寸法、重量、定格、性能、容量等を確認したか。			
	・組込機器の種別、性能、制御方式等を確認したか。			
	・モータの種別、寸法等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。)			
	・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(13) 駐車場管制設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
機器	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、寸法、重量、制御方式、管理台数、表示内容等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。)			
	・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(14) 防犯・入退室管理設備

(a) 防犯装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
機器	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、寸法、重量、制御方式、管理方式等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。)			
	・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(b) 入退室管理装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
入退室管理装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、寸法、重量、制御方式等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
電気錠	見積内訳書への記載内容を確認したか。 機側配管・配線工事、管理方式等を確認したか。 ※停電時の開閉 ・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。 ・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。) ・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(15) 火災報知設備

(a) 自動火災報知

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
受信機	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、級別、寸法、重量、回線数等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
複合盤	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、級別、寸法、重量、回線数等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
中継器盤	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、寸法、重量、回線数等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。 ・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。) ・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(b) 自動閉鎖装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
連動制御装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、寸法、重量、回線数等を確認したか。			
	※ガンパ接続の場合、復帰用バッテリー容量を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。)			
	・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(c) ガス漏れ火災警報装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
ガス漏れ受信機	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、寸法、重量、回線数等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。)			
	・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(16) 中央監視制御設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
監視装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、容量、寸法、重量、制御点数、組込機器等を確認したか。			
信号処理装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、容量、寸法、重量、方式等を確認したか。			
記録装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・形式、容量、寸法、重量、方式、数量等を確認したか。			
電源装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、寸法、重量、電気方式等を確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。)			
	・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

3. 見積比較書

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
記載内容	見積書からの転記等のチェックを行ったか。			
	消費税を除いた金額であるか。			
金額	見積金額にバラつきがある場合には、メーカーに内容等のヒアリングを行ったか。			
価格	ヒアリング及び類似製品等と比較し、適正な価格としたか。			
所要量	適正な所要量であるか。			

積算数量調書チェックリスト (新営工事用)

業 務 名 _____

施 設 名 _____

業務受注者名 _____

担 当 者 名

管 理 技 術 者 : _____

主任担当技術者（積算） : _____

担当技術者（積算） : _____

1. 基本事項

(1) 一般事項

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
基準類	公共建築工事内訳書標準書式（設備工事編）を理解したか。			
単価	適用する単価を確認したか。			
	新営単価（年 月）、改修単価（年 月）、 市場単価（年 月）、改修市場単価（年 月）、 労務単価（年 月）、地区（ ）			
	R I B C ツール単価／数量／乗率 ゼロ検索で確認したか。			

(2) 構成

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
表紙	表紙及び工事概要を作成したか。			
種目	建物ごと（庁舎、車庫、増築庁舎、既設庁舎等）に区分したか。 （図面と照合する。）			
	指定部分ごとに区分したか。			
	予算区分ごとに区分したか。			
科目	科目ごと（電灯設備、動力設備、受変電設備等）に区分したか。 （図面（特記仕様書の工事種目）と照合する。）			
中科目	中科目ごと（電灯幹線、電灯分岐、コンセント分岐等）に区分したか。			
細目	各科目あるいは中科目に属する細目ごとに区分したか。			

2. 細目

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
各設備共通事項	下記の項目は、間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	配管配線等、区画貫通処理、接地工事、搬入・搬出費、土工事、コンクリート工事			
電灯設備	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	照明器具			
	分電盤・0A盤・実験盤			
	照明制御盤			
	施工費は計上されているか。(項目は別紙明細による)			
動力設備	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	動力制御盤			
	施工費は計上されているか。(項目は別紙明細による)			
電熱設備	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	制御盤			
	施工費は計上されているか。(項目は別紙明細による)			
雷保護設備	機器は、仕様ごとに間違いなく数量が転記されているか。			
受変電設備	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	高低圧配電盤類			
	変圧器			
	高圧進相コンデンサ			
	高圧直列リアクトル			
	施工費は計上されているか。(項目は別紙明細による)			
静止形電源装置	搬入費は計上されているか。(項目は別紙明細による)			
直流電源	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	直流電源装置			
	施工費は計上されているか。(項目は別紙明細による)			
	搬入費は計上されているか。(項目は別紙明細による)			
交流無停電電源	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	交流無停電電源装置			
	施工費は計上されているか。(項目は別紙明細による)			
	搬入費は計上されているか。(項目は別紙明細による)			

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
発電設備				
発電装置	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	発電装置			
	発電機盤			
	始動装置			
	燃料移送ポンプ			
	主燃料槽			
	燃料小出槽			
	給油口			
	減圧水槽			
	冷却水ポンプ			
	冷却塔			
	消音器			
	機側配線工事は計上されているか。			
	油配管工事は計上されているか。			
	冷却配管工事は計上されているか。			
	排気管工事は計上されているか。			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			
太陽光発電装置	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	太陽電池アレイ			
	太陽電池架台			
	パワーコンディショナー			
	接続箱			
	系統連系保護装置			
	計測装置			
	表示装置			
	電気配線工事は計上されているか。			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			
風力発電装置	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	風車			
	発電機			
	制御盤			
	電気配線工事は計上されているか。			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			

チェック項目	チェック内容	確認			
		仕	数	▼	
構内情報通信網設備	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。				
	HUB				
	ルータ				
	ファイヤーウォール				
	ネットワーク管理装置				
	搬入据付は計上されているか。				
	試験調整は計上されているか。				
構内交換設備	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。				
	交換装置				
	局線中継台				
	本配線盤				
	電源装置				
	ボタン電話主装置				
	局線表示盤				
	電話機等				
	搬入据付は計上されているか。				
試験調整は計上されているか。					
情報表示設備	マルチサイン	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
		情報表示盤			
		操作制御部			
		搬入据付は計上されているか。			
		試験調整は計上されているか。			
出退表示		下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
		出退表示盤			
		制御装置			
		中継増幅器			
		施工費は計上されているか。			
時刻表示		下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
		親時計			
		施工費は計上されているか。（項目は別紙明細による。）			

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
映像・音響設備	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	操作卓			
	機器収納架			
	書画カメラ			
	接続盤			
	プロジェクタ			
	スクリーン			
	スピーカ			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			
拡声設備	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	増幅器			
	施工費は計上されているか。（項目は別紙明細による。）			
誘導支援設備	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	音声誘導装置			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			
インターホン	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
トイレ呼出表示	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	トイレ呼出表示器			
受付呼出表示	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	受付呼出表示器			
	操作部			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			
テレビ共同受信設備	仕様ごとに間違いなく数量が転記されているか。			
監視カメラ設備	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	モニタ装置			
	録画装置			
	映像切替器・映像分配器			
	カメラ			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
駐車場管制設備	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	管制盤			
	検知器			
	信号灯			
	警報灯			
	発券機			
	カーゲート			
	カードリーダー			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			
防犯・入退室管理設備				
防犯	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	防犯受信機			
	自動通報機			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			
入退室管理				
入退室管理	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	入退室管理装置			
	鍵管理ボックス			
	電源装置			
	カードリーダー			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			
火災報知設備				
自動火災報知	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	受信機			
	副受信機			
	中継器盤			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			
	立会検査は計上されているか。			
自動閉鎖				
自動閉鎖	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	連動制御盤			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
ガス漏れ火災警報	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	ガス漏れ受信機			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			
中央監視制御設備				
警報盤	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	警報盤			
	施工費は計上されているか。			
簡易形	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	監視操作装置			
	信号処理装置			
	記録装置			
	電源装置			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			
監視制御装置	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	監視操作装置			
	信号処理装置			
	記録装置			
	補助盤			
	電源装置			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			
発生材処理	処分と運搬に区別し計上されているか。			

3. 細目（屋外）

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
構内配電線路				
構内配電	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	変圧器			
	土工事は計上されているか。			
外灯	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	外灯			
	基礎は計上されているか。			
	土工事は計上されているか。			
構内通信線路	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	監視カメラ			
	土工事は計上されているか。			

4. 別紙明細・代価表

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
一般事項	各設備項目ごとに計上したか。			
工事別紙明細	集計表の数量と違いがないか確認したか。			
	部材の仕様は、図面と違いがないか確認したか。			
	リナンバーリングを行ったか。			
代価表	歩掛を確認したか。			
	リナンバーリングを行ったか。			

数量算出チェックリスト (改修工事用)

業 務 名 _____

施 設 名 _____

業務受注者名 _____

担 当 者 名

管 理 技 術 者 : _____

主任担当技術者（積算）: _____

担当技術者（積算）: _____

1-1 基本事項

1. 基準類の確認

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
基準類	適用となる設計図書と基準類（適用年度）とその適用年度について確認したか。			
	設計図書			
	・ 図面及び仕様書			
	・ 現場説明書			
	・ 図面及び現場説明書に対する質問回答			
	電気関係			
	・ 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成 年版）			
	・ 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成 年版）			
	・ 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（平成 年版）			
	積算関係			
	・ 公共建築工事積算基準（平成 年版）			
	・ 公共建築工事共通費積算基準（平成 年版）			
	・ 公共建築工事標準単価積算基準（平成 年版）			
	・ 公共建築設備数量積算基準（平成 年版）			
	・ 公共建築工事内訳書標準書式（設備工事編）（平成 年版）			
	・ 公共建築工事見積書標準書式（設備工事編）（平成 年版）			
	・ 公共建築工事積算基準等資料（平成 年版）			

2. 共通事項

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
特記仕様書	工事件名を確認したか。			
	工事概要を確認したか。			
	工事種目を確認したか。			
	指定部分を確認したか。			
	適用基準を確認したか。			
	発生材の処理等について確認したか。			
	使用する機材について確認したか。			
	化学物質の濃度測定の有無について確認したか。（・有・無）			
	監督職員事務所の有無について確認したか。（・有・無）			
	足場について確認したか。			
	施工調査の要否について確認したか。（・要・不要）			
	養生について確認したか。			
	発生土の処理について確認したか。			
	耐震施工について確認したか。			
	はつりについて確認したか。			
	非破壊調査の要否について確認したか。（・要・不要）			
	フラッシュプレート材の材質について確認したか。（ 製）			
	金属管の塗装の要否について確認したか。 ・ 要（・屋外の配管 ・ ） ・ 不要			
	蛍光灯安定器の種類について確認したか。			
	インバータ装置の効率について確認したか。			
	機器取付高さについて確認したか。			
	接地極の規格、数量について確認したか。			
	他工事との工事区分について確認したか。			
グリーン購入法の該当品目について確認したか。				
断面図	階高を確認したか。			
	天井高を確認したか。			
平面図	縮尺を確認したか。			
	凡例の記載があるか確認したか。積算上必要な名称が記載されているか。			
外構図	埋設深さを確認したか。			
	掘削・埋戻しの工事範囲の確認をしたか。			

3. 電灯設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
照明器具	器具の形状、ランプ種類・大きさ・灯数、安定器形式、材質その他特記事項を確認したか。			
分電盤・0A盤・実験盤	種別及び形式を確認したか。 入力電源の電気方式（種別、相線、電圧）を確認したか。 幹線の電線種別、太さ及び入線方向を確認したか。 主幹器具の定格電流、定格遮断電流及び極数を確認したか。 端子盤部の端子形状及び対数、内蔵機器を確認したか。			

4. 動力設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
制御盤	種別及び形式を確認したか。 入力電源の電気方式（種別、相線、電圧）を確認したか。 幹線の電線種別、太さ及び入線方向を確認したか。 主幹器具の定格電流、定格遮断電流及び極数を確認したか。 分岐回路の負荷名称、負荷記号、負荷容量、単位装置（定格電流、始動方式、操作・制御方式、操作制御スイッチ、保護継電器及び進相コンデンサ）、監視制御項目、連動及びインターロックを確認したか。			
手元開閉器箱	種別及び形式を確認したか。 器具の定格電流及び極数を確認したか。			

5. 電熱設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
制御盤	種別及び形式を確認したか。 入力電源の電気方式（種別、相線、電圧）を確認したか。 幹線の電線種別、太さ及び入線方向を確認したか。 主幹器具の定格電流、定格遮断電流及び極数を確認したか。 回路番号、供給室名、配線用遮断器などの定格電流、負荷容量、回路電圧、単位装置（操作・制御方式、操作制御スイッチ、保護継電器）、監視制御項目（操作、状態、故障、警報の表示）を確認したか。			
発熱線等	構造、種類、電圧、発熱量、対象面積を確認したか。			
温度センサ等	仕様を確認したか。			

6. 雷保護設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
受雷部	方式を確認したか。 ○突針 ○棟上げ導体 ○金属製手すり（別途） 突針支持パイプの材質、寸法、支持金物、施工方法等を確認したか。			
接地極	方式を確認したか。 ○銅板埋設 ○接地棒 ○建築構造物利用			
試験用接続端子箱	形式及び端子数を確認したか。			

7. 受変電設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
受電方式	受電電圧、周波数、受電種別及び区分開閉器の仕様を確認したか。			
キュービクル式配電盤	形式（PF・S形/CB形）を確認したか。			
高圧スイッチギヤ	形式（CX/CW/PW形）を確認したか。			
変圧器盤	形式及び変圧器仕様を確認したか。			
コンデンサ盤	形式及びコンデンサ及びリアクトルの仕様を確認したか。			
低圧スイッチギヤ	形式（CX/CS/CW/FW形）を確認したか。			
変圧器・コンデンサ・直列リアクトル	構造、種別、定格及び容量等を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			
	工事範囲を確認したか。（○ 基礎）			

8. 電力貯蔵設備

(a) 直流電源

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
蓄電池	種類、容量、セル数、出力方式及び収納形式を確認したか。			
整流装置	電気方式、入力電圧、定格直流電流及び盤形式を確認したか。			
負荷電圧補償装置	定格電流を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			
	工事範囲を確認したか。（○ 基礎）			

(b) 交流無停電電源

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
形式	形式を確認したか。			
入力	整流装置側及びバイパス側それぞれの電気方式、電圧及び周波数を確認したか。			
出力	総合定格出力、電気方式、電圧、周波数及び力率を確認したか。			
整流装置	方式及び盤形式を確認したか。			
逆変換装置	方式及び盤形式を確認したか。			
蓄電池	種類、容量、収納形式、停電補償時間及び最低蓄電池温度を確認したか。			
並列盤	方式、構成及び盤形式を確認したか。			
切替盤	方式、機能及び盤形式を確認したか。			
保守バイパス盤	方式及び盤形式を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			
	工事範囲を確認したか。(○ 基礎)			

9. 発電設備

(a) 発電

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
形式	形式を確認したか。			
運転方式	用途、設置高度、周囲温度、湿度及び連続運転時間を確認したか。			
発電機	電気方式、電圧、周波数、回転数、定格出力及び力率を確認したか。			
原動機	種別、定格出力、始動方式、冷却方式及び過給方式を確認したか。			
配電盤	形式、制御方式、種類、主遮断器定格電流及び定格遮断電流を確認したか。			
蓄電池等	形式及び電池種類を確認したか。			
冷却塔等	減圧水槽及び初期注水槽を確認したか。			
主燃料槽等	種類、燃料小出槽、主燃料槽及び付属機器を確認したか。			
給油口ボックス	種別、材質、給油口サイズ及び付属機器を確認したか。			
消音器	形式、付属品及び給気ファン仕様を確認したか。			
配管材料等	燃料、冷却水、排気、換気ダクト等の配管材料を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。 工事範囲を確認したか。 ○基礎 ○防油堤 ○主燃料槽 ○主燃料槽(タンク室含む)			

(b) 太陽光発電

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
太陽電池アレイ	出力を確認したか。			
パワーコンディショナ	形式、定格容量、出力電気方式、周波数、系統連系方式及び周囲温度条件を確認したか。			
連系保護装置	設置の有無を確認したか。			
気温計、日射計	設置の有無を確認したか。			
架台	材質、傾斜角度、基礎、規格及び設置可能面積を確認したか。			
表示装置	表示方式及び形状を確認したか。			
データ処理装置	仕様を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。 工事範囲を確認したか。(○基礎)			

(c) 風力発電

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
風車発電装置	種類、材質、寸法、ハブ高さ、カットイン風速、定格風速、カットアウト風速及び定格出力を確認したか。			
制御盤	形式、定格容量、出力電気方式、周波数、系統連系方式及び周囲温度条件を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			
	工事範囲を確認したか。(○基礎)			

10. 構内情報通信網設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
リピータ	インターフェース、ポート数及びコネクタ形状を確認したか。			
スイッチ	インターフェース、ポート数、処理能力、バックプレーン容量及び機能を確認したか。			
ルータ	インターフェース、ポート数及び機能を確認したか。			
メディアコンバータ	インターフェース、ポート数及びコネクタ形状を確認したか。			
ファイヤウォール	インターフェース種別、同時セッション数、処理能力、暗号化機能その他必要な機能を確認したか。			
ネットワーク管理装置	ハードウェア仕様、OS仕様その他必要な機能を確認したか。			
光パッチパネル	ファイバ種類、ポート数、パッチコード本数その他必要な機能を確認したか。			
機器収納ラック	材質及び参考寸法を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			

11. 構内交換設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
交換装置	局線応答方式、内線数、外線数、構内PHS接続装置数及び付加サービス機能を確認したか。 デジタルPBX、IP-PBXまたはVOIPサーバーの区別を確認したか。			
電源装置	保持時間を確認したか。			
局線中継台	構造及び付加機能を確認したか。			
局線表示盤	窓数を確認したか。			
本配線盤	形式、端子種類及び端子数を確認したか。			
電話機等	形状及び機能を確認したか。			
ファクシミリ	形状、機能及び記憶容量を確認したか。			
構内PHS	機能を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。 IP電話の品質クラス及び電源供給（PoE方式）を確認したか。 工事範囲を確認したか。			

12. 情報表示設備

(a) マルチサイン

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
情報表示盤	形式、画面サイズ、輝度及びドット数を確認したか。			
操作制御部	ハードウェア仕様その他必要な機能を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			

(b) 出退表示

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
出退表示盤	機能、形式、種別、窓の大きさ及び窓数を確認したか。			
制御装置	形式を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			

(c) 時刻表示

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
親時計	形式、回線数及び組込機器を確認したか。			
子時計	形式を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			

13. 映像・音響設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
増幅器	形式、種別、定格出力、入出力回線数、出力制御及び付加機能を確認したか。			
スピーカ	形式その他必要な機能を確認したか。			
プロジェクタ	投写方式、映像信号の種別・接続数、接続条件その他必要な機能を確認したか。			
スクリーン	形式、サイズその他必要な機能を確認したか。			
操作卓	材質、仕上げ及び組込機器の種類を確認したか。			
切換装置	映像・音響信号種別、入出力端子数及び接続条件を確認したか。			
マイクロホン	形式、指向性パターン及びマイクスタンドの有無を確認したか。			
カセットテープレコーダ CDプレーヤ MDレコーダ DVDプレーヤ等	形式その他必要な機能を確認したか。			
カラーテレビ・モニタ	表示方式、画面形状、サイズ及び入出力信号種別・端子数を確認したか。			
書画カメラ	形式その他必要な機能を確認したか。			
カラービデオカメラ	撮像素子、水平解像度、最低被写体照度、映像SN比、同期方式、映像出力種別及びズーム倍率を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。 工事範囲を確認したか。(○スクリーン ○スクリーンボックス ○操作卓)			

14. 拡声設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
増幅器	形式、種別、定格出力、入出力回線数、出力制御、付加機能その他必要な機能を確認したか。			
スピーカ	形式及び種類を確認したか。			
マイクロホン	形式、指向性パターン及びマイクスタンドの有無を確認したか。			
カセットテープレコーダ CDプレーヤ MDレコーダ アナウンスレコーダ等	形式その他必要な機能を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			

15. 誘導支援設備

(a) 誘導支援

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
検出部	検出方式、形式その他必要な機能を確認したか。			
制御部	屋内外の別、形式、音声案内制御その他必要な機能を確認したか。			
案内表示部	屋内外の別、形式その他必要な事項を確認したか。			

(b) インターホン

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
インターホン	形式、通話方式、通信網の方式、局数その他必要な機能を確認したか。			
エレベータ用 インターホン	※原則、配管のみ			
その他	工事区分を確認したか。			

(c) トイレ呼出表示

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
トイレ呼出表示器	形状、表示窓数その他必要な機能を確認したか。			
呼出表示灯 呼出ボタン 復帰ボタン	形状等を確認したか。			

(d) 受付呼出表示

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
受付呼出表示器	形式その他必要な機能を確認したか。			
操作部	形式その他必要な機能を確認したか。			
番号カード発行機	形式その他必要な機能を確認したか。			

16. テレビ共同受信設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
アンテナ	種別、材質、素子数を確認したか。			
アンテナマスト	材質、長さ、支持方式等を確認したか。			
機器収容箱	収容機器を確認したか。			
機器	方式、種別、形状等を確認したか。			

17. 監視カメラ設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
カメラ	伝送方式、カラー・白黒の別、レンズ（形式、区分、機能）及び電源供給方式を確認したか。			
モニタ装置	カラー・白黒の別、形状、モニタのサイズその他必要な機能を確認したか。			
録画装置	録画方式、ディスク容量その他必要な機能を確認したか。			
旋回装置	屋内外の別、水平・垂直旋回角度及び旋回速度を確認したか。			
ハウジング	屋内外の別、ワイパー・デフロスター・ヒーター及びファンの有無を確認したか。			
制御装置	制御回線数その他必要な機能を確認したか。			
映像切替器	切替入力回線数、自動・手動の別、出力回線数、カメラ番号表示その他必要な事項を確認したか。			
画面分割装置	入出力回線数、分割画面数、カメラ番号表示その他必要な事項を確認したか。			
機器収納ラック	材質及び参考寸法を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			

18. 駐車場管制設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
管制盤	ランプ方式、表示方式、形状、参考寸法その他必要な機能を確認したか。			
検知器	形式、遮光フードの有無及び在車検知器の方式等を確認したか。			
信号等・警報灯	形式その他必要な機能を確認したか。			
発券機	発券方式、発行券の種類、屋内外の別、連絡インターホンその他必要な機能を確認したか。			
カーゲート	形式その他必要な機能を確認したか。			
カードリーダー	屋内外の別その他必要な機能を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			

19. 防犯・入退室管理設備

(a) 防犯

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
制御装置	方式、形式その他必要な機能を確認したか。			
センサ	形式その他必要な機能を確認したか。			
警備機器収納箱	形式及び参考寸法等を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			
	工事範囲を確認したか。（範囲： ）			

(b) 入退室管理

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
制御装置	形式、停電対策その他必要な機能を確認したか。			
認識部	方式、形式その他必要な機能を確認したか。			
遠隔制御器	形式その他必要な機能を確認したか。			
電気錠	動作形式、電源電圧及び電流等を確認したか。			
セキュリティゲート	形式、材質、通路数、車いす対応その他必要な機能を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			
	工事範囲を確認したか。（範囲： ）			

20. 火災報知設備

(a) 自動火災報知

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
受信機・複合盤	種別、性能、回線数、盤形式を確認したか。			
	アドレス数、アナログ機能その他必要な機能を確認したか。(R形の場合)			
	連動制御器の回線数、遠方復帰機構の回線数を確認したか。(複合盤の場合)			
副受信機・表示装置	盤形式、表示方式、画面サイズその他必要な機能を確認したか。			
中継器	アナログ機能、自動試験機能、遠隔試験機能の有無を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			

(b) 自動閉鎖

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
連動制御器	回線数、遠方復帰機構の回線数を確認したか。			
	※ガンバ接続の場合、復帰用バッテリー容量を確認			
自動閉鎖装置	定格電圧及び電流を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			

(c) ガス漏れ火災警報

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
受信機	性能、回線数、盤形式及びガスの種類等を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			

21. 中央監視制御設備

(a) 警報盤

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
警報盤	信号伝送方式、表示方式、監視点数、表示項目及び電源装置の有無を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。			

(b) 簡易形監視制御装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
監視操作装置	盤形式、表示装置の形式及び操作部の方式を確認したか。			
信号処理装置	中央処理装置の機能を確認したか。 補助記憶装置の記憶媒体を確認したか。 伝送装置の形式及び機能を確認したか。			
記録装置	雑印字装置の形式を確認したか。			
電源装置	電気方式、定格電力及び停電補償時間を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。 他工事との工事区分を確認したか。 (範囲：) 監視点数を確認したか。			

(c) 監視制御装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
監視操作装置	キャビネットの外観・構造を確認したか。 グラフィックパネルの監視面材質、方式、形式及び表示内容を確認したか。 ミニグラフィックパネルの監視面材質、方式、形式及び表示内容を確認したか。 表示装置の種別及び画面サイズを確認したか。			
信号処理装置	中央処理装置の機能を確認したか。 補助記憶装置の記憶媒体を確認したか。 伝送装置の形式及び機能を確認したか。			
記録装置	帳票用印字装置の形式を確認したか。 雑印字装置の形式を確認したか。			
補助盤	形式及び構成機能を確認したか。			
電源装置	電気方式、定格電力及び停電補償時間を確認したか。			
その他	特記事項を確認したか。 他工事との工事区分を確認したか。 (範囲：) 監視点数を確認したか。			

22. 発生材処理

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
発生材処理	処分する撤去品を確認したか。			
発生材運搬	運搬距離を確認したか。 DID区間かどうか、確認したか。			

23. 構内配電線路

(a) 構内配電

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
引込開閉器等	PAS、UGS等の仕様を確認したか。			
ケーブル布設	縮尺を確認したか。 埋設標、標識シートの有無を確認したか。			
電柱、支線柱、支柱	材質、規格、寸法を確認したか。			
装柱材料	名称、種別、規格、寸法を確認したか。			
マンホール・ハンドホール	形式を確認したか。			
捨てコン 砂利地業	仕様を確認したか。			

(b) 外灯

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
外灯	記号、形式等を確認したか。			
	記号、形式、基礎等を確認したか。			
外灯・庭園灯	記号、形式、ポール高さ、材質等を確認したか。			
	基礎を確認したか。			
ケーブル布設	縮尺を確認したか。			
捨てコン 砂利地業	仕様を確認したか。			
接地極	有無を確認したか。			

24. 構内通信線路

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
保安器	保安器設置の有無を確認したか。			
ケーブル布設	縮尺を確認したか。 埋設標の確認をしたか。			
マンホール・ハンドホール	形式を確認したか。			
捨てコン 砂利地業	仕様を確認したか。			

25. 電波障害防除設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
ヘッドエンド 機器収容箱 アンテナ アンテナマスト	機器仕様書により、構造、形式、寸法、定格、性能、容量等を確認したか。			
工事区分	他工種工事との区分を確認したか。			

1-2 数量算出チェック項目

1. 共通工事

(1) 一般事項

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
基準類	建築数量積算基準、建築設備数量積算基準を理解したか。			
工事種目	建物ごと(庁舎・車庫・増築庁舎・既設庁舎等)に区分したか。 (図面と照合する。)			
工事科目	科目ごとに区分したか。(図面と照合する。)			
中科目	主要な構成に従い、中科目に区分したか。			
拾い書	拾い書に落ちがないか拾い図面を確認したか。			
集計表	拾いの数量が集計表に上がってきているか確認したか。 桁間違い、転記の段ずれが無いか確認したか。			
図面照合	必要な図面の訂正をしたか。			

(2) 配管配線等

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線	種目、科目、中科目、用途、種類、階、盤、回路及び施工場所別に区分し計上したか。			
	電線・ケーブルは、種別、条数及び施工方法別（管内、PF管内、ラック、ころがし等）に区分し計上したか。			
	管類は、種別、寸法、施工方法、塗装の有無別に区分し計上したか。 ※塗装する箇所は、特記仕様書により確認する。			
	設計図に記載された縮尺により計測、計算したか。			
	階高、標準天井高及び機器取付高さを確認したか。			
	立上り・引下げは、標準天井面又は床面より機器等の中心までの長さとして計測、計算したか。			
	設計数量で計測、計算したか。 ※隠蔽の分岐配管配線は最短経路、その他は設計図示経路とする。			
	指定された幹線分岐材料を計上したか。			
	特記された配管等支持材、金具等を計上したか。			
	改修しない既存盤への接続を計上したか。			
	電線管配線でボンディングを計上したか。			
位置ボックス・ジョイントボックス	材質及び種類別に区分し計上したか。			
	ボックスアースを計上したか。※電力用、金属製、露出の場合			
フラッシュプレート	材質及び種類別に区分し計上したか。			
	材質 ○金属製 ○樹脂製			
ブルボックス	材質、形式、寸法、仕上及び用途別（電力・通信）に区分し計上したか。			
	塗装を計上したか。※隠ぺい、SUS以外。			
	接地端子を計上したか。※電力用の場合。			
配線ダクト	形式、寸法、仕上別に区分し計上したか。			
ケーブルラック	形式、寸法、仕上、施工方法別に区分し計上したか。			
バスダクト	形式、電圧、電流別に区分し、屈曲、分岐部などの個数も計上したか。			
金属線び	規格毎に区分し計上したか。			
	付属品（ボックス類）は、規格毎に区分し計上したか。			

(3) 区画貫通処理

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
ケーブルラック	延焼防止処理と防火区画貫通処理を区分し計上したか。			
	施工場所（床・壁）別に区分し計上したか。			
配管	配管サイズ毎に区分し計上したか。			

(4) 接地工事

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
接地極	種別、接地極の材質、寸法別に区分し計上したか。			
接地埋設標	要否を確認し、必要なところに計上したか。			
接地端子箱	形式、端子数別に計上したか。			

(5) 搬入・搬出費

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
搬入・搬出費	必要とする機器を選別したか。			
	(受変電、自家発電、電源装置等の機器で、単独の質量が100kg以上のもの)			
	機器の種類、台数、寸法及び重量別に計上したか。			
	容積品、重量品の区分をしたか。			
	搬入基準単価の構成との確認を行ったか。			

(6) 土工事

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
根切り	根切りの深さを確認したか。			
	余幅等の値は適正に計上したか。			
	他工事と重複する部分の工事区分を確認したか。			
	舗装の有無を確認したか。			
	舗装部分の解体 <input type="radio"/> 本工事 <input type="radio"/> 別途工事			
	掘削方法は妥当か。			
	掘削方法 <input type="radio"/> 機械掘り <input type="radio"/> 人力掘り			
	計画数量を図で記載したか。			
埋戻し	根切り数量から山砂、砂利敷、捨コンクリート、埋設物などの体積を減じたか。(除く、200φ以下の配管及び複合単価ハンドホール。)			
	舗装の仕様を確認したか。			
	舗装部分の復旧 <input type="radio"/> 本工事 <input type="radio"/> 別途工事			
残土処分	根切数量から埋戻し及び盛り土等の数量を減じたか。			
	処分場所を確認したか。			
掘削機械運搬	掘削機械の運搬費を計上したか。			
	掘削機械 <input type="radio"/> BH 0.13m3 <input type="radio"/> BH 0.28m3 <input type="radio"/> BH 0.45m3 <input type="radio"/> 人力			
	掘削機械の選定計算書を作成したか。			

(7) コンクリート工事

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
コンクリート基礎	コンクリート、鉄筋、型枠、モルタル塗りの数量を確認したか。			
	鉄筋のサイズ及び数量を確認したか。			
	鉄筋のサイズ <input type="radio"/> D10 <input type="radio"/> D13			

(8) はつり工事

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
はつり工事	はつり工事の数量は、貫通口径、コンクリート厚さ、はつり種別に区分し計上したか。			

(9) 撤去工事

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
撤去工事	再使用するもの、しないものに区分し計上したか。			
	配管配線、機器類等の数量は、新設工事の数量積算に準じて計測、計算したか。			
発生材処分費	発生材処分費は、設計図書により計上したか。			
	「廃棄物」、「リサイクルするもの」、「引き渡すもの」に区分したか。			

(10) 仮設備(仮電源設備)

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
材料	仮設期間を確認したか。			
	リース品以外は補正率により計上したか。			

2. 電力設備

(1) 電灯設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
配線器具類	定格電圧、電流、容量、極数、形式別に区分し計上したか。			
照明器具	形式、記号、安定器種類、取付け場所別に区分し計上したか。			
	必要により、位置ボックスを計上したか。			
照明制御装置	仕様毎に区分し計上したか。			
分電盤・OA盤・実験盤	形式、材質及び記号ごとに区分し計上したか。			
	盤類の歩掛りは、以下に注意し算出したか。 (歩掛算出書による)			
	・内部構成機器(主幹、分岐ブレーカ、リレー等)の個数、容量等			
	・照明制御関係のリレーユニット			
	・OA盤の端子部			

(2) 動力設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
制御盤	形式、材質及び記号ごとに区分し計上したか。 盤類の歩掛りは、以下に注意し算出したか。 (歩掛算出書による) ・ 負荷容量別に回路数を計上しているか。 ・ 単装置がある場合は、分岐ブレーカを計上してはいないか。			
手元開閉器	材質、形式、容量及び極数等ごとに区分し計上したか。			
機器への接続	電動機等への接続材はサイズ別に区分し計上したか。 電動機の結線費を計上したか。 電極等の結線費を計上したか。			

(3) 電熱設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
制御盤	形式、材質及び記号ごとに区分し計上したか。 盤類の歩掛りは、以下に注意し算出したか。 (歩掛算出書による) ・ 負荷容量別に回路数を計上しているか。			
発熱線等	構造、種類、電圧、発熱量及び回路別に区分し計上したか。			
温度センサ等	仕様別に区分し計上したか。			

(4) 雷保護設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
突針及び突針支持管	支持パイプの材質、寸法、支持金物、施工方法別に区分し計上したか。			
棟上導体	材質、施工方法別に区分し計上したか。 伸縮継手を計上したか。			
避雷導線	水平部分と垂直部分とを区分し、支持材を計上したか。 接続材を計上したか。			
接地極	規格、種別及び寸法ごとに計上したか。 埋設標を計上したか。			
試験用接続端子箱	記号、形式及び材質別に区分し計上したか。			
保護管	材質及びサイズ別に区分し計上したか。			

(5) 受変電設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
	高圧ケーブル端末処理材を計上したか。			
高低圧配電盤類	構造、定格、盤形式別に区分し計上したか			
変圧器・コンデンサ・直列リアクトル	構造、種別、定格、容量別に区分し計上したか。 ※低圧は、盤の見積に含むので、計上しない。			
基礎	基礎を計上したか。			
	(○本工事 ○別途工事)			
リフタ・引出用台	必要により、計上したか。			
耐電マット	必要により、計上したか。			
ダイヤル温度計	必要により、計上したか。			
	(油入変圧器500KVA以上、モールド変圧器150KVA以上)			
搬入費	搬入費を計上したか。			

(6) 電力貯蔵設備

(a) 直流電源

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
直流電源装置	構造、形式、電気方式、蓄電池種別及び容量別に区分し計上したか。			
基礎	基礎を計上したか。			
	(○本工事 ○別途工事)			
搬入費	搬入費を計上したか。			

(b) 交流無停電電源

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
交流無停電電源装置	構造、形式、電気方式、性能、蓄電池種別及び補償時間別に区分し計上したか。			
基礎	基礎を計上したか。			
	(○本工事 ○別途工事)			
搬入費	搬入費を計上したか。			

(7) 発電設備

(a) 発電

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
交流発電機・原動機	構造、形式、定格、性能、容量別に区分し計上したか。			
配電盤	構造、形式、制御方式別に区分し計上したか。			
燃料小出槽	構造、形式、容量別に区分し計上したか。			
消音器	用途別に区分し計上したか。			
補機付属装置等	構造、形式、寸法、定格、容量別に区分し計上したか。			
工事費	配線工事、冷却水配管工事、油配管工事、換気ダクト工事、排気ダクト工事等を計上したか。			
基礎	基礎を計上したか。 (○本工事 ○別途工事)			
防油堤	防油堤を計上したか。 (○本工事 ○別途工事)			
主燃料槽	主燃料槽を計上したか。 (○本工事 ○別途工事)			
搬入費	搬入費を計上したか。			

(b) 太陽光発電

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
太陽電池アレイ	構造、形式、定格、性能、容量別に区分し計上したか。			
パワーコンディショナ	構造、形式、定格、容量別に区分し計上したか。			
接続箱	接続箱を計上したか。			
連係保護装置	構造、形式、定格、容量別に区分し計上したか。			
計測、表示装置	計測機器、表示装置等に区分し計上したか。			
架台	架台を計上したか。			
付属ケーブル	製造者標準ケーブル等を計上したか。			
基礎	基礎を計上したか。 (○本工事 ○別途工事)			
搬入費	搬入費を計上したか。			

(c) 風力発電

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
風車	種類、材質、寸法別に区分し計上したか。			
発電機	定格出力別に区分し計上したか。			
制御盤	構造、形式、定格、容量別に区分し計上したか。			
付属ケーブル	製造者標準ケーブル等を計上したか。			
基礎	基礎を計上したか。 (○本工事 ○別途工事)			
搬入費	搬入費を計上したか。			

3. 通信・情報設備

(1) 構内情報通信網設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。 二重床用情報コンセントの二重計上はないか。 (コンセント分岐にて計上されていないか。)			
機器	構造、形式、寸法、定格、性能、容量別に区分し計上したか。 システム系統別に区分し計上したか。			
パッチパネル	対数別に区分し計上したか。 ケーブル本数・規格別に区分し計上したか。			
通信制御装置 (HUB、ルータ類)	構造、形式、容量、付加機能、規格別に区分し計上したか。			
通信総合盤	通信総合盤は、どの設備で計上しているか。 (設備)			

(2) 構内交換設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
	内線電話への配線の計上は確認したか。(特記仕様書で確認)			
	○ 計測 ○ 1台当たりの計算 二重床用情報コンセントの二重計上はないか。 (コンセント分岐にて計上されていないか。)			
本配線盤、端子盤類	構造、形式、端子盤種類、容量別に区分し計上したか。			
交換装置	構造、形式、容量、付加機能、中継方式別に区分し計上したか。			
局線中継台	構造、形式、接続方式、付加機能等別に区分し計上したか。			
局線表示盤	形式、窓数ごとに区分し計上したか。			
電源装置	構造、形式、電気方式、蓄電池種別、容量等別に区分し計上したか。			
電話機等	形状及び機能ごとに区分し計上したか。			
ファクシミリ	形状、機能及び記憶容量ごとに区分し計上したか。			
構内PHS	機能ごとに区分し計上したか。			

(3) 情報表示設備

(a) マルチサイン

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
情報表示盤	形式、画面サイズ、輝度及びドット数別に区分し計上したか。			
操作制御部	ハードウェア仕様その他必要な機能別に区分し計上したか。			

(b) 出退表示

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
出退表示盤	機能、形式、種別、窓の大きさ及び窓数別に区分し計上したか。			
制御装置	形式別に区分し計上したか。			
表示発信器	形式、記号別に区分し計上したか。			

(c) 時刻表示

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
親時計	構造、形式、回線数、電源種別ごとに区分し計上したか。			
子時計	形式別に区分し計上したか。			

(4) 映像・音響設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
増幅器	形式、種別、定格出力、入出力回線数、出力制御及び付加機能別に区分し計上したか。			
スピーカ	形式別に区分し計上したか。			
プロジェクタ	投写方式、映像信号の種別・接続数、接続条件別に区分し計上したか。			
スクリーン	形式、サイズ別に区分し計上したか。			
操作卓	材質、仕上げ及び組込機器別に区分し計上したか。			
切換装置	映像・音響信号種別、入出力端子数及び接続条件別に区分し計上したか。			
マイクロホン	形式、指向性パターン別に区分し計上したか。			
マイクロホンスタンド	形式別に区分し計上したか。			
カセットテープレコーダ CDプレーヤ MDレコーダ DVDプレーヤ等	形式及び機能別に区分し計上したか。			
カラーテレビ・モニタ	表示方式、画面形状、サイズ及び入出力信号別に区分し計上したか。			
書画カメラ	形式及び機能別に区分し計上したか。			
カラービデオカメラ	撮像素子、水平解像度、最低被写体照度、映像SN比、同期方式、映像出力種別及びズーム倍率別に区分し計上したか。			

(5) 拡声設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
増幅器	形式、種別、定格出力、入出力回線数、出力制御、付加機能別に区分し計上したか。			
スピーカ	形式、記号、アッテネータ有無別に区分し計上したか。			
マイクロホン	形式、指向性パターン別に区分し計上したか。			
マイクロホンスタンド	形式別に区分し計上したか。			
カセットテープレコーダ CDプレーヤ MDレコーダ アナウンスレコーダ等	形式及び機能別に区分し計上したか。			
音量調節器	形式別に区分し計上したか。			

(6) 誘導支援設備

(a) 誘導支援

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
検出部	検出方式、形式及び機能別に区分し計上したか。			
制御部	屋内外の別、形式、音声案内制御及び機能別に区分し計上したか。			
案内表示部	屋内外の別、形式別に区分し計上したか。			

(b) インターホン

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
インターホン	形式、通話方式、通信網の方式及び局数別に区分し計上したか。			
エレベータ用 インターホン	工事区分に従い計上したか。			
テレビインターホン	構造、形状、通話方式、モタ種類別に区分し計上したか。			
外部受付用 インターホン	構造、形状、通話方式、電源方式、選局数、選局機構別に区分し計上したか。			
電源装置	構造、形式、定格、容量別に区分し計上したか。			
インターホン子機	構造、形状別に区分し計上したか。			
外部受付用 インターホン子機	身障者用マーク、案内文字板（点字）を計上したか。			

(c) トイレ呼出表示

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
トイレ呼出表示器	形状及び表示窓数別に区分し計上したか。			
呼出表示灯 呼出ボタン 復帰ボタン	形状別に区分し計上したか。			

(d) 受付呼出表示

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
受付呼出表示器	形式、機能別に区分し計上したか。			
操作部	形式、機能別に区分し計上したか。			
番号カード発行機	形式、機能別に区分し計上したか。			

(7) テレビ共同受信設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
アンテナ	種別、材質、素子数別に区分し計上したか。			
アンテナマスト	材質、長さ、支持方式別に区分し計上したか。			
機器収容箱	形式別に区分し計上したか。 機器収容箱と分岐器、分配器、増幅器等分けて計上したか。			
機器	方式、種別、形状別に区分し計上したか。			

(8) 監視カメラ設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
カメラ	カラー・白黒の別、個体撮像素子のサイズ、画素数、レンズ、形状、ハウジング、同期方式及び電源供給方式別に区分し計上したか。			
機器	構造、形式、寸法、定格、性能別に区分し計上したか。			

(9) 駐車場管制設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
管制盤	ランプ方式、表示方式、形状、参考寸法、機能別に区分し計上したか。			
検知器	形式、遮光フードの有無及び在車検知器の方式別に区分し計上したか。			
信号等・警報灯	形式及び機能別に区分し計上したか。			
発券機	発券方式、発行券の種類、屋内外の別、連絡インターホン、機能別に区分し計上したか。			
カーゲート	形式及び機能別に区分し計上したか。			
カードリーダー	屋内外の別及び機能別に区分し計上したか。			
ループコイル	埋設に係る土工事は、 ○ 本工事 ○ 別途工事			
機器用基礎	寸法別に区分し計上したか。 砂利地業を計上したか。			

(10) 防犯・入退室管理設備

(a) 防犯

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
制御装置	方式、形式、機能別に区分し計上したか。			
センサ	形式及び機能別に区分し計上したか。			
警備機器収納箱	形式及び参考寸法別に区分し計上したか。			

(b) 入退室管理

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
制御装置	形式、停電対策、機能別に区分し計上したか。			
認識部	方式、形式、機能別に区分し計上したか。			
遠隔制御器	形式及び機能別に区分し計上したか。			
電気錠	動作形式、電源電圧及び電流別に区分し計上したか。			
セキュリティゲート	形式、材質、通路数、車いす対応、機能別に区分し計上したか。			

(11) 火災報知設備

(a) 自動火災報知

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
受信機	構造、形式、級別、寸法、回線数別に区分し計上したか。			
副受信機・表示装置	盤形式、表示方式、画面サイズ、機能別に区分し計上したか。			
中継器	アナログ機能、自動試験機能、遠隔試験機能別に区分し計上したか。			
感知器	方式、種別、形状別に区分し計上したか。			
発信機	級別、形状別に区分し計上したか。			
機器収容箱	構造、形状、寸法、内蔵機器別に区分し計上したか。 ※端子板が必要な場合は別途計上する。			
その他機器	電鈴の形状、寸法、電源方式別に区分し計上したか。 携帯用送受話機を計上したか。			
立会検査費	立会検査費を計上したか。			

(b) 自動閉鎖

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
連動制御器	構造、形状、級別、寸法、回線数別に区分し計上したか。			
自動閉鎖装置	方式、種別、形状別に区分し計上しているか。			
結線費	防火戸レリーズ以外の閉鎖装置の結線費を計上したか。			

(c) ガス漏れ火災警報

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
受信機	構造、形状、寸法、回線数別に区分し計上したか。			
検知器	方式、種別、形状別に区別し計上したか。			

(12) 中央監視制御設備

(a) 警報盤

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
警報盤	信号伝送方式、表示方式、監視点数、表示項目及び電源装置別に区分し計上したか。			

(b) 簡易形

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
監視操作装置	盤形式、表示装置の形式及び操作部の方式別に区分し計上したか。			
信号処理装置	構造、形式、容量、方式別に区分し計上したか。			
記録装置	形式、容量、方式、数量別に区分し計上したか。			
電源装置	構造、形式、電気方式別に区分し計上したか。			

(c) 監視制御装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
配管配線等	1. 共通工事により計上したか。			
監視操作装置	盤形式、表示装置の形式及び操作部の方式別に区分し計上したか。			
信号処理装置	構造、形式、容量、方式別に区分し計上したか。			
記録装置	形式、容量、方式、数量別に区分し計上したか。			
補助盤	形式及び構成機能別に区分し計上したか。			
電源装置	構造、形式、電気方式別に区分し計上したか。			

(13) 発生材処理

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
発生材処理	撤去品の重量・容積を品目別に計量したか。			
発生材運搬	積み込み費を計上したか。 ※積み込み方法確認			
	運搬費を計上したか。			

4. 屋外

(1) 構内配電線路

(a) 構内配電

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
ケーブル布設	1. 共通工事により計上したか。 必要に応じ、埋設標、標識シートを計上したか。			
電柱、支線柱、支柱	材質、規格、寸法別に区分し計上したか。			
装柱材料	名称、種別、規格、寸法別に区分し計上したか。			
架線、引込線	規格、名称、寸法別に区分し計上したか。 設計数量で算出し、条数、径間個所数を計上したか。			
引込開閉器等	形式、容量別に区分し計上したか。			
マンホール・ハンドホール	記号別、寸法別に計上したか。			
接地極	規格、種別及び寸法ごとに計上したか。 必要に応じ、埋設標を計上したか。			

(b) 外灯

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
外灯	記号、形式別に区分し計上したか。			
外灯・庭園灯	記号、形式、ポール高さ、材質別に区分し計上したか。			
基礎	寸法別に区分し計上したか。 捨てコン、砂利地業を計上したか。			
接地極	規格、種別及び寸法ごとに計上したか。 必要に応じ、埋設標を計上したか。			

(2) 構内通信線路

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
ケーブル布設	1. 共通工事により計上したか。 必要に応じ、埋設標、標識シートを計上したか。			
電柱、支線柱、支柱	材質、規格、寸法別に区分し計上したか。			
装柱材料	名称、種別、規格、寸法別に区分し計上したか。			
架線、引込線	規格、名称、寸法別に区分し計上したか。 設計数量で算出し、条数、径間個所数を計上したか。			
保安器	形式別に区分し計上したか。			
マンホール・ハンドホール	記号別、寸法別に計上したか。			
接地極	規格、種別及び寸法ごとに計上したか。 必要に応じ、埋設標を計上したか。			

(3) 電波障害防除設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
機器	機器仕様書により、構造、形式、寸法、定格、性能、容量別に区分し計上したか。			
	系統別に区分し計上したか。			

5. その他

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
集計	各階集計によるバランスを確認したか。			
	バランスがあわない場合の理由を整理したか。			

1-3 見積チェック項目

1. 見積依頼

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
見積依頼書	記載内容を確認したか。			
	・見積期限を明確に記載したか。			
	・見積有効期間を明確に記載したか。			
	・宛名、工事件名を明確に記載したか。			
見積条件書	記載内容を確認したか。			
	・機器仕様の概要をもれなく記載したか。			
	・見積依頼範囲を明確にしたか。			
	・適切な数量を記載したか。			
	・機器と労務費の区別を明確にしたか。			
	・諸経費の扱いを明確にしたか。			
	・引渡場所を明確にしたか。			
見積図面	記載内容を確認したか。			
	・機器仕様等がもれなく記載されているか。			
	・見積依頼範囲が区別できるか。			
見積依頼先	適切な依頼先が選定されているか。			

2. 見積内訳書

(1) 照明器具

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
照明器具	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか。			
	・改造品の場合は製造者標準品の製造者型番及び改造箇所が明記されているか。			
	・特注の場合は記載されている仕様が図面と一致しているか確認したか。			
	・製造者標準品関連器具は、製造者型番により、カタログと図面を比較し問題がないことを確認したか。			
	・器具数量を確認したか。			

(2) 盤類

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
分電盤	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・盤形式を確認したか。			
	・主幹器具形式、容量、数量を確認したか。			
	・分岐器具形式、容量、数量を確認したか。			
	・付属器具、数量を確認したか。			
制御盤	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・盤形式を確認したか。			
	・主幹器具形式、容量、数量を確認したか。			
	・分岐器具形式、容量、数量を確認したか。			
	・付属器具、数量を確認したか。			
キュービクル式配電盤	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
高圧スイッチギア	・別途機器を確認したか。			
変圧器盤	・寸法、重量を確認したか。			
コンデンサ盤				
低圧スイッチギア				

(3) 電力貯蔵装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
直流電源装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、蓄電池種別、容量、寸法、重量を確認したか。			
	・蓄電池のセル数（複数セル一体の確認）を確認したか。			
	・充電装置、収納箱の重量を確認したか。			
交流無停電電源装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、電気方式、性能、寸法、重量等を確認したか。			
	・蓄電池種別、補償時間等を確認したか。			
	・蓄電池の、刊行物価格との比較をしたか。			
	・労務費を計上してあるか確認したか。			
	・試験調整費、諸経費、法定福利費を確認したか。			

(4) 発電設備

(a) 発電装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
交流発電機・原動機	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、定格、性能、容量、寸法、重量等を確認したか。			
始動盤・配電盤	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、制御方式、寸法、重量等を確認したか。			
補機・付属装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、寸法、重量、定格、容量等を確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。)			
	・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(b) 太陽光発電装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
太陽電池アレイ	見積内訳書への記載内容を確認したか。 ・種別、定格、性能、容量、寸法、重量等を確認したか。			
太陽電池架台	見積内訳書への記載内容を確認したか。 ・構造、材質、寸法、重量等を確認したか。			
パワーコンディショナ	見積内訳書への記載内容を確認したか。 ・構造、形式、定格、容量、寸法、重量等を確認したか。			
接続箱	見積内訳書への記載内容を確認したか。 ・構造、形式、定格、寸法、重量等を確認したか。			
計測、表示装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。 ・計測機器、表示装置、表示内容、寸法、重量等を確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。 ・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。) ・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(5) 構内交換装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
本配線盤・端子盤類	見積内訳書への記載内容を確認したか。 ・構造、形式、端子盤種類、容量、寸法、重量等を確認したか。			
交換装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。 ・構造、形式、容量、付加機能、中継方式、寸法、重量を確認したか。			
局線中継台	見積内訳書への記載内容を確認したか。 ・構造、形式、接続方式、付加機能、寸法、重量等を確認したか。			
電源装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。 ・構造、形式、電気方式、蓄電池種別、容量、寸法、重量等を確認したか。			
電話機等	見積内訳書への記載内容を確認したか。 ・形式、種別、色別、台数を確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。 ・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。) ・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(6) 構内情報通信網装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
機器	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、寸法、重量、定格、性能、容量等を確認したか。			
パッチパネル	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・ケーブル本数、規格、対数等を確認したか。			
HUB、ルーター類	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、容量、付加機能、規格等を確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。) ・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(7) 情報表示設備

(a) マルチサイン装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
マルチサイン装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、表示方法、寸法、重量等を確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。) ・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(b) 出退表示装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
表示装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・形式、寸法、重量、性能、付属装置等を確認したか。			
表示制御装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、容量、組込機器、制御画面枚数等を確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。) ・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(c) 時刻表示装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
親時計	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、回線数、電源種別等を確認したか。			
	・組込機器等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
子時計	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・形式、記号等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			

(8) 映像・音響装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
機器類	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、寸法、重量、定格、性能、容量等を確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。)			
	・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(9) 拡声装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
増幅器	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、寸法、定格、性能、容量等を確認したか。			
	・組込機器の種別、性能等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
マイクロホン	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・種別、性能、スタンド形式、数量等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
スピーカ	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・形式、記号、アッテネータ有無を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			

(10) 誘導支援設備

(a) 誘導支援装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
音声誘導装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形状、寸法、定格、性能、電源種別等を確認したか。			

(b) インターホ装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
インターホ	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形状、通話方式、電源方式、選局数、選局機構等を確認したか。			
	・モト種類等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			

(c) トル呼出装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
トル呼出装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形状、電源方式、窓数等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			

(d) 受付呼出装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
受付呼出装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形状、通話方式、電源方式、選局数、選局機構等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			

(11) テレビ共同受信設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
機器類	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・仕様、個数			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
CATV対応機器	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・方式、種別、形状、寸法、重量等を確認したか。 ※双方向、フィル付等を確認する。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。)			
	・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(12) 監視カメラ設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
監視カメラ	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・撮像素子、画素数、レンズ、形状、寸法、重量等を確認したか。			
	・ハジツグに付加する機能及び取付方法を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
ITV制御装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、寸法、重量、定格、性能、容量等を確認したか。			
	・組込機器の種別、性能、制御方式等を確認したか。			
	・モータの種別、寸法等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。)			
	・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(13) 駐車場管制設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
機器	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、寸法、重量、制御方式、管理台数、表示内容等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。)			
	・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(14) 防犯・入退室管理設備

(a) 防犯装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
機器	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、寸法、重量、制御方式、管理方式等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。)			
	・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(b) 入退室管理装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
入退室管理装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、寸法、重量、制御方式等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
電気錠	見積内訳書への記載内容を確認したか。 機側配管・配線工事、管理方式等を確認したか。 ※停電時の開閉			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。 ・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。) ・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(15) 火災報知設備

(a) 自動火災報知

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
受信機	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、級別、寸法、重量、回線数等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
複合盤	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、級別、寸法、重量、回線数等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
中継器盤	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、寸法、重量、回線数等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。 ・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。) ・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(b) 自動閉鎖装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
連動制御装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、寸法、重量、回線数等を確認したか。			
	※ガンパ接続の場合、復帰用バッテリー容量を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。)			
	・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(c) ガス漏れ火災警報装置

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
ガス漏れ受信機	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、寸法、重量、回線数等を確認したか。			
	・製造者標準品の場合は製造者型番が明記されているか確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。)			
	・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

(16) 中央監視制御設備

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
監視装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、容量、寸法、重量、制御点数、組込機器等を確認したか。			
信号処理装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、容量、寸法、重量、方式等を確認したか。			
記録装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・形式、容量、寸法、重量、方式、数量等を確認したか。			
電源装置	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・構造、形式、寸法、重量、電気方式等を確認したか。			
その他	見積内訳書への記載内容を確認したか。			
	・施工費を確認したか。 機側配管・配線工事、搬入、据付、試験・調整費等 (人工、労務費明細を確認する。)			
	・諸経費、法定福利費を確認したか。 諸経費、法定福利費とは、施工費に対するものとする。 (適用範囲を確認する。)			

3. 見積比較書

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
記載内容	見積書からの転記等のチェックを行ったか。			
	消費税を除いた金額であるか。			
金額	見積金額にバラつきがある場合には、メーカーに内容等のヒアリングを行ったか。			
価格	ヒアリング及び類似製品等と比較し、適正な価格としたか。			
所要量	適正な所要量であるか。			

積算数量調書チェックリスト (改修工事用)

業 務 名 _____

施 設 名 _____

業務受注者名 _____

担 当 者 名

管 理 技 術 者 : _____

主任担当技術者（積算） : _____

担当技術者（積算） : _____

1. 基本事項

(1) 一般事項

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
基準類	公共建築工事内訳書標準書式（設備工事編）を理解したか。			
単価	適用する単価を確認したか。			
	新営単価（年 月）、改修単価（年 月）、 市場単価（年 月）、改修市場単価（年 月）、 労務単価（年 月）、地区（ ）			
	R I B C ツール単価／数量／乗率 ゼロ検索で確認したか。			

(2) 構成

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
表紙	表紙及び工事概要を作成したか。			
種目	建物ごと（庁舎、車庫、増築庁舎、既設庁舎等）に区分したか。 （図面と照合する。）			
	指定部分ごとに区分したか。			
	予算区分ごとに区分したか。			
科目	科目ごと（電灯設備、動力設備、受変電設備等）に区分したか。 （図面（特記仕様書の工事種目）と照合する。）			
中科目	中科目ごと（電灯幹線、電灯分岐、コンセント分岐等）に区分したか。			
細目	各科目あるいは中科目に属する細目ごとに区分したか。			

2. 細目

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
各設備共通事項	下記の項目は、間違いなく積算数量書から転記されているか。 配管配線等、区画貫通処理、接地工事、搬入・搬出費、土工事、コンクリート工事、はつり工事、撤去工事、仮設備(仮電源設備)			
電灯設備	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。 照明器具 分電盤・OA盤・実験盤 照明制御盤 施工費は計上されているか。(項目は別紙明細による)			
動力設備	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。 動力制御盤 施工費は計上されているか。(項目は別紙明細による)			
電熱設備	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。 制御盤 施工費は計上されているか。(項目は別紙明細による)			
雷保護設備	機器は、仕様ごとに間違いなく数量が転記されているか。			
受変電設備	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。 高低圧配電盤類 変圧器 高圧進相コンデンサ 高圧直列リアクトル 施工費は計上されているか。(項目は別紙明細による) 搬入費は計上されているか。(項目は別紙明細による)			
静止形電源装置				
直流電源	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。 直流電源装置 施工費は計上されているか。(項目は別紙明細による) 搬入費は計上されているか。(項目は別紙明細による)			
交流無停電電源	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。 交流無停電電源装置 施工費は計上されているか。(項目は別紙明細による) 搬入費は計上されているか。(項目は別紙明細による)			

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
発電設備				
発電装置	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	発電装置			
	発電機盤			
	始動装置			
	燃料移送ポンプ			
	主燃料槽			
	燃料小出槽			
	給油口			
	減圧水槽			
	冷却水ポンプ			
	冷却塔			
	消音器			
	機側配線工事は計上されているか。			
	油配管工事は計上されているか。			
	冷却配管工事は計上されているか。			
	排気管工事は計上されているか。			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			
太陽光発電装置	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	太陽電池アレイ			
	太陽電池架台			
	パワーコンディショナー			
	接続箱			
	系統連系保護装置			
	計測装置			
	表示装置			
	電気配線工事は計上されているか。			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			
風力発電装置	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	風車			
	発電機			
	制御盤			
	電気配線工事は計上されているか。			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
構内情報通信網設備	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	HUB			
	ルータ			
	ファイヤーウォール			
	ネットワーク管理装置			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			
構内交換設備	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	交換装置			
	局線中継台			
	本配線盤			
	電源装置			
	ボタン電話主装置			
	局線表示盤			
	電話機等			
	搬入据付は計上されているか。			
試験調整は計上されているか。				
情報表示設備				
マルチサイン	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	情報表示盤			
	操作制御部			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			
出退表示	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	出退表示盤			
	制御装置			
	中継増幅器			
	施工費は計上されているか。			
時刻表示	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	親時計			
	施工費は計上されているか。（項目は別紙明細による。）			

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
映像・音響設備	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	操作卓			
	機器収納架			
	書画カメラ			
	接続盤			
	プロジェクタ			
	スクリーン			
	スピーカ			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			
拡声設備	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	増幅器			
	施工費は計上されているか。（項目は別紙明細による。）			
誘導支援設備	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	音声誘導装置			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			
インターホン	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
トイレ呼出表示	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	トイレ呼出表示器			
受付呼出表示	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	受付呼出表示器			
	操作部			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			
テレビ共同受信設備	仕様ごとに間違いなく数量が転記されているか。			
監視カメラ設備	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	モニタ装置			
	録画装置			
	映像切替器・映像分配器			
	カメラ			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
駐車場管制設備	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	管制盤			
	検知器			
	信号灯			
	警報灯			
	発券機			
	カーゲート			
	カードリーダー			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			
防犯・入退室管理設備				
防犯	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	防犯受信機			
	自動通報機			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			
入退室管理				
入退室管理	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	入退室管理装置			
	鍵管理ボックス			
	電源装置			
	カードリーダー			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			
火災報知設備				
自動火災報知	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	受信機			
	副受信機			
	中継器盤			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			
	立会検査は計上されているか。			
自動閉鎖				
自動閉鎖	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	連動制御盤			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
ガス漏れ火災警報	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	ガス漏れ受信機			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			
中央監視制御設備				
警報盤	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	警報盤			
	施工費は計上されているか。			
簡易形	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	監視操作装置			
	信号処理装置			
	記録装置			
	電源装置			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			
監視制御装置	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	監視操作装置			
	信号処理装置			
	記録装置			
	補助盤			
	電源装置			
	搬入据付は計上されているか。			
	試験調整は計上されているか。			
発生材処理	処分と運搬に区別し計上されているか。			

3. 細目（屋外）

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
構内配電線路				
構内配電	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	変圧器			
	土工事は計上されているか。			
外灯	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	外灯			
	基礎は計上されているか。			
	土工事は計上されているか。			
構内通信線路	下記の機器は、仕様ごとに間違いなく積算数量書から転記されているか。			
	監視カメラ			
	土工事は計上されているか。			

4. 別紙明細・代価表

チェック項目	チェック内容	確認		
		仕	数	▼
一般事項	各設備項目ごとに計上したか。			
工事別紙明細	集計表の数量と違いがないか確認したか。			
	部材の仕様は、図面と違いがないか確認したか。			
	リナンバーリングを行ったか。			
代価表	歩掛を確認したか。			
	リナンバーリングを行ったか。			

機械設備工事編

数量算出チェックリスト (新営工事用)

業 務 名 _____

施 設 名 _____

業 務 受 注 者 名 _____

担 当 者 名

管 理 技 術 者 : _____

主任担当技術者（積算）: _____

担当技術者（積算）: _____

I. 基本事項

1. 基準類の確認

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
基準類	・適用となる設計図書及び基準類（適用年度）について確認したか。			
	・設計図書			
	・図面及び特記仕様書			
	・現場説明書			
	・図面及び現場説明書に対する質問回答			
	・公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成 年版）			
	・公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（平成 年版）			
	・積算関係基準類			
	・公共建築工事積算基準（平成 年版）			
	・公共建築工事共通費積算基準（平成 年版）			
	・公共建築工事標準単価積算基準（平成 年版）			
	・公共建築設備数量積算基準（平成 年版）			
	・公共建築工事内訳書標準書式（設備工事編）（平成 年版）			
・公共建築工事見積書標準書式（設備工事編）（平成 年版）				
・公共建築工事積算基準等資料（平成 年版）				

2. 数量基準

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
数量	・数量は、設計数量とする。ただし、計画数量を必要とする場合は、数量積算基準に示す方法としたか。			
設計寸法	・設計寸法とは、設計図書に表示された寸法、表示された寸法から計算によって得られる寸法及びスケール等により読み取ることのできる寸法をいう。			
単位	・計測・計算の単位は、原則としてm、㎡、m ³ 、kg及びtとするほか適切な単位としたか。ただし、少量の改修が点在する場合の数量は、箇所等の単位とする。			
有効数値	・計測・計算の有効数値は、原則として次としたか。			
	・端数の処理は、四捨五入とする。			
	・長さは、小数点第1位とする。			
	・面積、体積及び質量は、小数点第2位とする。			
	・CAD等の数量拾いのソフトを利用した場合の電子データの数値については、その数値を活用したか。			
	・内訳書の単価に対応する数量は、原則として小数点以下第1位を四捨五入し、整数としたか。			

3. 特記仕様書 一般共通事項

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
工事名称	・工事名称を確認したか。			
工事場所	・工事場所を確認したか。			
単価使用区分	・新営・改修等による他工事との使用単価（新営・改修）を確認したか。			
	・新営単価 建物名：			
	・改修単価（入居者なし） 建物名：			
	・改修割増単価（入居者あり） 建物名：			
工事種目	・工事種目を確認したか。			
	・建物・工事種目及び設備科目毎に数量の拾い分けをしたか。			
指定部分	・指定部分の有無を確認したか。			
	・無し			
	・有り 工期：平成 年 月 日 範囲：			
予算区分	・予算の区分による拾い分けが必要か確認したか。（国交省担当者に確認）			
	・無し			
	・有り 範囲：			
関連工事	・本工事以外の関連工事があるか発注者に確認したか。			
	・無し			
	・有り（ ・ 建築工事 ・ 電気設備工事 ・ ）			
発注範囲	・本工事において（発注しない）別途工事部分があるか確認したか。			
	・無し			
	・有り 特記仕様書記載（ ・ ） ・有り 図面記載（ ・ ）			
負担金	・負担金の有無を確認したか。			
	・無し			
	・有り（負担金額： 円）			
監督職員事務所	・監督職員事務所の有無を確認したか。（共通仮設に積み上げ）			
	・設けない			
	・設ける：既存建物内の一部を使用する。			
	・設ける：構内に新設する。（規模及び仕上げの程度は現場説明書による。）			
施工調査	・事前調査の有無を確認したか。			
	・別途工事			
	・本工事 調査項目：			
足場その他	・足場その他を確認したか。			
	・別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。			
	・本工事で設置する。			
多湿箇所	・多湿箇所の有無を確認したか。			
	・無し			
	・有り 室名：			
はつり補修	・はつりの方法について、図面に記載があるか確認したか。			
	・記載有り（配管・スパイラルダクト）：手はつり			
	・ " "：ダイヤモンドカッター			
	・記載有り（長方形ダクト）：手はつり			
	・ " "：別途工事			
	・記載無し：配管・スパイラルダクトのはつりはダイヤモンドカッターとしたか。 ・ " "：長方形ダクトは手はつりとしたか。			
非破壊検査	・溶接部の非破壊検査を確認したか。			
	・別途工事			
	・本工事 検査項目：			

Ⅱ. 新営工事
 1. 空調和設備
 1-1 空調 機器設備

チェック項目	チェック内容	確認	
		仕	数
1 機器数量	・機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。		
	・機器単体に対する付属品・予備品の数量は本体に含み計測の対象外としたか。		
	・マルチパッケージ等の付属品・予備品を系統毎の付属品1式としたか。 (フィルター、リモコンスイッチ、リモコン配線等)		
	・冷媒配管の口径を見積書採用メーカーの口径としたか。		
	・FCUの付属品・予備品は付属品1式とし、図示された形式、型番毎の数量を計上したか。 (フィルター、表示ランプ等)		
	・煙道の数量を搬入・据付費までを含め1式としたか。		
2 搬入・据付			
搬入	・煙道・パネルタンク・大型機器等歩掛りの無い機器の搬入費を見積りとしたか。		
	・機器の寸法・質量を見積書採用メーカーの機器寸法・質量を採用したか。		
	・単独の機器の質量が100kg以上の機器としたか。		
	・対象とした質量は分割搬入の場合、各単体の機器の質量としたか。		
	・重量品(600kg/m3以上)は、質量に対応した数値による補正をしたか。		
	・容積品(600kg/m3未満)は、容積当たりの質量に対応した数値による補正をしたか。		
据付	・煙道・パネルタンク・大型機器等歩掛りに無い機器の据付費を見積りとしたか。		
	・機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。		
	・歩掛りのない機器は、見積り・類似機器の歩掛りを採用又は歩掛り補正としたか。		
3 コンクリート基礎			
	・工事区分が機械設備である事を確認したか。		
コンクリート	・コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。		
	・鉄筋、電線管及び配管類による体積の欠除は無いものとしたか。		
	・無筋コンクリートがある場合の基礎の高さを無筋コンクリートの厚さを加えたものとしたか。		
型枠	・型枠の数量をコンクリート側面の面積としたか。		
鉄筋	・鉄筋の数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さ、単位質量を乗じた質量としたか。		
モルタル	・モルタルの数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。		
4 保温・塗装			
保温	・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。		
	・機器及びタンク類の保温の数量を表面積としたか。		
	・熱源機器の保温は製造者の見積を参考とするか、または別途に計測するかを確認したか。		
	・煙道の断熱材の数量を煙道の表面積としたか。		
塗装	・機器類及びタンク類の塗装の数量を表面積としたか。		
	・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。		

1-2 空調 ダクト設備

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 ダクト	<ul style="list-style-type: none"> ・系統毎に計測したか。(SA、RA、OA、EA、各階、空調機毎など) ・ダクトの長さをダクト幅の中心線の長さとしたか。 ・曲がり部及び分岐部等のダクトは、中心線上を延長した直線を仮定して、その交点までの長さとしたか。 ・ダクトの数量をダンパー類及びたわみ継手による欠除はないものとしたか。 ・支持金物及び吊り金物は計測の対象としていないか。 ・制気口に接続するネック部の長さを確認したか。 (シーリングタイプ：0.2m、ユニバーサル形：0.3m) ・漸小又は漸大したダクトの数量を変形前後の最大寸法に長さを乗じた面積としたか。 ・ダクトの種別を確認したか。：低速ダクト 高速ダクト ・多湿箇所はあるか。 室名(系統)： ・多湿箇所に使用するダクトをシール付としたか。 			
長方形ダクト	<ul style="list-style-type: none"> ・低压ダクトの工法を確認したか。：アングルフランジ工法 ・：：コナボルト工法(共板フランジ工法) ・：：コナボルト工法(スライドフランジ工法) ・長方形ダクトの数量をダクト長さに周長を乗じた表面積としたか。 			
スパイラルダクト	<ul style="list-style-type: none"> ・スパイラルダクト及び円形ダクトの数量を口径毎の長さとしたか。 			
フレキシブルダクト	<ul style="list-style-type: none"> ・フレキシブルダクトの数量を材質、口径及び長さ毎の本数としたか。 			
鋼板製ダクト	<ul style="list-style-type: none"> ・防火区画の壁・床を貫通する鋼板製ダクト(1.6t)の数量を面積としたか。 			
チャンパー類	<ul style="list-style-type: none"> ・チャンパー類の数量を表面積としたか。 ・チャンパー類の内貼りの有無を確認したか。有の場合、仕様を確認したか。 ・ガラリ等に接続される面が全面の場合は、ガラリ等の面積を差し引いた表面積としたか。 ・点検口は図示を確認して寸法毎の数量としたか。 			
ボックス類	<ul style="list-style-type: none"> ・ボックスの内貼りの有無を確認したか。 ・線状吹出口ボックスの板厚はボックスの高さをもとにした板厚としたか。 			
消音エルボ	<ul style="list-style-type: none"> ・消音エルボの数量を数量積算基準による略算法による表面積としたか。 			
2 ダクト付属品				
吹出口及び吸込口	<ul style="list-style-type: none"> ・数量をその材質、形状及び寸法毎の個数としたか。 			
たわみ継手	<ul style="list-style-type: none"> ・送風機に接続した、たわみ継手の数量を送風機毎の組数としたか。 ・たわみ継手の数量を接続したダクト又は機器の周長としたか。 			
ダンパー	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンパーの数量を種類、寸法及び形状毎の個数としたか。 ・防煙ダンパーの復帰方式を確認したか。：遠隔復帰式 ・：：手動式 ・ピストンダンパーの復帰方式を確認したか。：遠隔復帰式 ・：：手動式 			
エアフィルター	<ul style="list-style-type: none"> ・エアフィルターの数量を形式毎の組数としたか。 			
ベントキャップ類	<ul style="list-style-type: none"> ・ベントキャップ及びウェザーカバーの数量を材質及び形状等毎の個数としたか。 			
鋼製支持架台等	<ul style="list-style-type: none"> ・ダクト用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。 			
3 計器類				
風量測定口	<ul style="list-style-type: none"> ・数量を測定口の材質及び形式毎の個数としたか。 ・取付位置を図面により確認したか。 ・ダクトサイズに対する取付個数を確認したか。 			
温度計	<ul style="list-style-type: none"> ・数量を材質及び形式毎の個数としたか。 			

1-3 空調 配管設備

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
2 配管付属品				
弁類	<ul style="list-style-type: none"> ・弁類の耐圧を確認したか。 : 図示 ・ " : JIS又はJV5k ・ステンレス鋼鋼管に取り付ける弁類を確認したか。 : 青銅製 ・ " : ステンレス製 ・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。 			
防振継手	<ul style="list-style-type: none"> ・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。 			
伸縮管継手	<ul style="list-style-type: none"> ・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。 			
フレキシブルジョイント	<ul style="list-style-type: none"> ・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。 ・鋼板製タンク類はベローズ形としたか。 ・冷却塔・FRP製水槽類は合成ゴム製としたか。 ・油系統を油用ベローズ形としたか。 			
弁装置	<ul style="list-style-type: none"> ・数量を形式、規格及び呼び径毎の組数としたか。 ・弁装置の構成品の歩掛りを確認したか。 ・弁装置の制御弁本体の価格は取付労務費のみを計上したか。 ・蒸気の弁装置の保温は図示の無い場合、計上していないか確認したか。 ・屋内露出の保温を行う弁類の保温外装をカラー鉄板としたか。 ・屋内隠蔽の保温を行う弁類の保温外装を配管保温外装と同じとしたか。 			
鋼製支持架台等	<ul style="list-style-type: none"> ・配管用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。 			
3 計器類				
ポンプ付属品	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ付属品と重複がないか確認したか。 			
瞬間流量計	<ul style="list-style-type: none"> ・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。 ・固定形の数量を設置数量としたか。 ・着脱式の場合、メーターの必要個数とノズルの設置個数としたか。 			
圧力計	<ul style="list-style-type: none"> ・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。 ・蒸気用とその他用に拾い分けをしたか。 			
温度計	<ul style="list-style-type: none"> ・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。 			
4 保温・塗装				
保温	<ul style="list-style-type: none"> ・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。 ・配管の保温の数量を配管の長さとしたか。 ・弁類、ストレーナー等の保温は呼び径が65A以上を計測の対象とし、保温の数量を個数としたか。 ・バタフライ弁の保温を他の弁と分けたか。 ・冷媒管の保温外装を確認したか。 ・屋内露出箇所 : 保温化粧ケース ・屋内露出箇所 : ・屋内隠ぺい箇所 : ・屋外露出箇所 : ステンレス鋼板 ・屋外露出箇所 : 			
塗装	<ul style="list-style-type: none"> ・配管の塗装及び防錆の数量を配管の長さとしたか。 ・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。 			
文字標識等	<ul style="list-style-type: none"> ・数量を建物の延べ面積に対応した工数としたか。 			
案内板	<ul style="list-style-type: none"> ・図面特記を確認したか。 m² 			

1-4 空調 総合調整

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 総合調整	<ul style="list-style-type: none"> ・配管系統の数量を配管の長さとしたか。 ・直接暖房の蒸気配管、空気抜き管、油管等を計測の対象としていないか。 ・長方形ダクトの数量を表面積としたか。 ・スパイラルダクトの数量を長さとしたか。 ・パッケージ方式の機器、冷媒管は計測の対象としていないか。 ・単独の全熱交換ユニット等の系統が独立しており風量調整を必要としないダクトを計測の対象としていないか。 ・各階機械室内機器の数量をユニット形空調機及びコンパクト形空調機の台数としたか。 ・ファンコイルユニットの数量をファンコイルユニットの台数としたか。 ・主機械室内機器の数量を建物の延べ面積に対応した工数としたか。 ・総合調整に必要な電力、水、ガス、油等を計測の対象としていないか。ただし、特殊な条件の場合に必要な数量としたか。 			

2. 換気設備

2-1 換気 機器設備

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 機器数量	・機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。ただし、付属品は計測の対象としていないか。			
2 搬入・据付				
搬入	・機器の寸法・質量を見積書採用メーカーの機器寸法・質量を採用したか。 ・単独の機器の質量が100kg以上の機器としたか。 ・対象とした質量は分割搬入の場合、各単体の機器の質量としたか。 ・重量品(600kg/m3以上)は、質量に対応した数値による補正をしたか。 ・容積品(600kg/m3未満)は、容積当たりの質量に対応した数値による補正をしたか。			
据付	・大型機器等歩掛りの無い機器の搬入費を見積りとしたか。 ・機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。 ・歩掛りにない機器は、見積り・類似機器の歩掛りを採用又は歩掛り補正としたか。			
3 コンクリート基礎				
コンクリート	・工事区分が機械設備である事を確認したか。 ・コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。 ・鉄筋、電線管及び配管類による体積の欠除は無いものとしたか。 ・無筋コンクリートがある場合の基礎の高さを無筋コンクリートの厚さを加えたものとしたか。			
型枠	・型枠の数量をコンクリート側面の面積としたか。			
鉄筋	・鉄筋の数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さ、単位質量を乗じた質量としたか。			
モルタル	・モルタルの数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。			

2-2 換気 ダクト設備

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 ダクト	・ダクトの長さをダクト幅の中心線の長さとしたか。 ・曲がり部及び分岐部等のダクトは、中心線上を延長した直線を仮定して、その交点までの長さとしたか。 ・ダクトの数量をダンパー類及びたわみ継手による欠除はないものとしたか。 ・支持金物及び吊り金物は計測の対象としていないか。 ・制気口に接続するネック部の長さを確認したか。 (シリングタイプ：0.2m、ユニバーサル形：0.3m) ・漸小又は漸大したダクトの数量を変形前後の最大寸法に長さを乗じた面積としたか。 ・厨房排気系統のダクト板厚を1サイズアップとしたか。 ・ダクトの種別を確認したか。：低速ダクト 高速ダクト ・多湿箇所はあるか。 室名(系統)： ・多湿箇所に使用するダクトをシール付としたか。			
長方形ダクト	・低圧ダクトの工法を確認したか。：アングルフランジ工法 ・：コーナボルト工法(共板フランジ工法) ・：コーナボルト工法(スライトフランジ工法) ・長方形ダクトの数量をダクト長さに周長を乗じた表面積としたか。			
スパイラルダクト	・スパイラルダクト及び円形ダクトの数量を口径毎の長さとしたか。			
フレキシブルダクト	・フレキシブルダクトの数量を材質、口径及び長さ毎の本数としたか。			
鋼板製ダクト	・防火区画の壁・床を貫通する鋼板製ダクト(1.6t)の数量を面積としたか。			
チャンパー類	・チャンパー類の数量を表面積としたか。 ・チャンパー類の内貼りの有無を確認したか。有の場合、仕様を確認したか。 ・ガラリ等に接続される面が全面の場合は、ガラリ等の面積を差し引いた表面積としたか。 ・点検口は図示を確認して寸法毎の数量としたか。			
ボックス類	・ボックスの内貼りの有無を確認したか。			
消音エルボ	・消音エルボの数量を数量積算基準による略算法による表面積としたか。			

2-2 換気 ダクト設備

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
2 ダクト付属品				
吹出口及び吸込口	・数量をその材質、形状及び寸法毎の個数としたか。			
たわみ継手	・数量を接続したダクト又は機器の周長としたか。 ・送風機に接続した、たわみ継手の数量は送風機毎の組数としたか。			
ダンパー	・ダンパーの数量を種類、寸法及び形状毎の個数としたか。			
	・防煙ダンパーの復帰方式を確認したか。 : 遠隔復帰式			
	・ " : 手動式			
	・ピストンダンパーの復帰方式を確認したか。 : 遠隔復帰式			
・ " : 手動式				
エアフィルター	・エアフィルターの数量を形式毎の組数としたか。			
ベントキャップ類	・ベントキャップ及びウエザーカバーの数量を材質及び形状毎の個数としたか。			
排気フード	・数量を材質及び形状毎の個数としたか。			
鋼製支持架台等	・ダクト用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。			
3 計器類				
風量測定口	・数量を測定口の材質及び形式毎の個数としたか。			
	・取付位置を図面により確認したか。			
	・ダクトサイズに対する取付個数を確認したか。			
4 保温・塗装				
保温	・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。			
	・排気ダクトの保温を確認したか。 : 要 (範囲 : 、仕様 :)			
	・ " : 不要			
	・外気ダクトの保温を確認したか。 : 要 (範囲 : 、仕様 :)			
	・ " : 不要			
	・長方形ダクトの保温の数量をダクトの表面積としたか。			
	・スパイラルダクトの保温の数量は、350A以下は長さとしたか。			
	・スパイラルダクトの保温の数量は、350Aを超えるものは表面積としたか。			
	・チャンバー類の保温の数量は表面積としたか。			
	・消音エルボ等の保温の数量を表面積としたか。			
塗装	・ダクトの塗装の数量をダクトの表面積としたか。			
	・屋内露出箇所での塗装の箇所を確認したか。			
	・無し			
	・有り 室名 :			
	・チャンバー類の塗装の数量を表面積としたか。			
・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。				

2-3 換気 総合調整

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 総合調整				
	・系統が独立しており風量調整を必要としないダクトを計測の対象としていないか。			
	・長方形ダクトの数量を表面積としたか。			
	・スパイラルダクトの数量を長さとしたか。			
	・総合調整に必要な電力、水、ガス、油等を計測の対象としていないか。ただし、特殊な条件の場合は、必要な数量としたか。			

3. 排煙設備

3-1 排煙 機器設備

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 機器数量	・機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。ただし、付属品を計測の対象としていないか。			
2 搬入・据付				
搬入	・機器の寸法・質量を見積書採用メーカーの機器寸法・質量を採用したか。 ・単独の機器の質量が100kg以上の機器としたか。 ・対象とした質量は分割搬入の場合、各単体の機器の質量としたか。 ・重量品(600kg/m ³ 以上)は、質量に対応した数値による補正をしたか。 ・容積品(600kg/m ³ 未満)は、容積当たりの質量に対応した数値による補正をしたか。			
据付	・機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。 ・歩掛りにない機器は、見積り・類似機器の歩掛りを採用又は歩掛り補正としたか。			
3 コンクリート基礎				
コンクリート	・工事区分が機械設備である事を確認したか。 ・コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。 ・鉄筋、電線管及び配管類による体積の欠除は無いものとしたか。 ・無筋コンクリートがある場合の基礎の高さを無筋コンクリートの厚さを加えたものとしたか。			
型枠	・型枠の数量をコンクリート側面の面積としたか。			
鉄筋	・鉄筋の数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さ、単位質量を乗じた質量としたか。			
モルタル	・モルタルの数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。			

3-2 排煙 ダクト設備

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 ダクト共通	・ダクトの長さをダクト幅の中心線の長さとしたか。 ・ダクトの長さを曲がり部及び分岐部等のダクトは、中心線を延長した直線を仮定して、その交点までの長さとしたか。 ・支持金物及び吊り金物は計測の対象としていないか。 ・漸小又は漸大したかダクトの数量を变形前後の最大寸法に長さを乗じた面積としたか。 ・ダクトの数量をダンパー類による欠除はないものとしたか。			
長方形ダクト	・長方形ダクトの数量をダクト長さに周長を乗じた表面積としたか。			
円形ダクト	・円形ダクト及び円形ダクトの数量を口径毎の長さとしたか。			
チャンパー類	・チャンパー類の数量を表面積としたか。 ・ガラリ等に接続される面が全面の場合は、ガラリ等の面積を差し引いた表面積としたか。 ・点検口は図示を確認して寸法・数量を計上したか。			
2 ダクト付属品				
排煙口	・数量を種類、寸法及び形状毎の個数としたか。			
たわみ継手	・送風機に接続した、たわみ継手の数量は送風機毎の組数とし、仕様は排煙用としたか。			
ダンパー	・ダンパーの数量を種類、寸法及び形状毎の個数としたか。 ・防煙ダンパーの復帰方式を確認したか。 : 遠隔復帰式 ・ " " : 手動式 ・ピストンダンパーの復帰方式を確認したか。 : 遠隔復帰式 ・ " " : 手動式			
鋼製支持架台等	・排煙ダクトに使用するFDをHFDとしたか。 ・ダクト用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。			
3 計器類				
風量測定口	・数量を測定口の材質及び形式毎の個数としたか。 ・取付位置を図面により確認したか。 ・ダクトサイズに対する取付個数を確認したか。			

3-2 排煙 ダクト設備

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
4 保温・塗装				
保温	<ul style="list-style-type: none"> ・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。 ・長方形ダクトの保温の数量をダクトの表面積としたか。 ・円形ダクトの保温の数量は、350A以下は長さとしたか。 ・円形ダクトの保温の数量は、350Aを超えるものは表面積としたか。 			
塗装	<ul style="list-style-type: none"> ・ダクトの塗装の数量をダクトの表面積としたか。 ・チャンバー類の塗装の数量を表面積としたか。 ・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。 			

3-3 排煙 総合調整

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 総合調整	<ul style="list-style-type: none"> ・長方形ダクト系統の数量を表面積としたか。 ・円形ダクト数量を長さとしたか。 ・総合調整に必要な電力、水、ガス、油等を計測の対象としていないか。ただし、特殊な条件の場合は、必要な数量としたか。 			

4. 自動制御設備

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 自動制御設備	<ul style="list-style-type: none"> ・専門工事業者の見積りとしたか。 ・複数棟の場合は棟毎に区分けがされているか確認したか。 ・自動制御装置、中央監視制御装置、自動制御盤、計装工事、エンジニアリング費、調整費及び諸経費に区分しているか。 			

5. 衛生器具設備

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 衛生器具	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生器具は、本体及び水栓、止水栓、排水トラップ等の付属金物又は付属品を含めて一組としたか。 ・ユニットトイレ、大便器・小便器・洗面器ユニット、オストメイト対応ユニットをユニット毎の組数としたか。 ・オストメイト対応ユニットのライニング内配管が配管ユニットか、現場施工か確認したか。 ・身体障害者用として大便器、小便器、洗面器等の廻りに取付ける手摺等を含めていないか。 ・化粧棚、水石けん入れ、鏡、手摺り等の数量を組数又は個数としたか。 			
2 衛生器具の価格	<ul style="list-style-type: none"> ・単価は材料単価と市場単価（取付費）の合成単価としているか。 ・ユニットトイレ、大便器・小便器・洗面器ユニットを施工も含めた製造者の見積りとしたか。 			

6. 給水設備
6-1 給水 機器

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 機器数量	・機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。			
	・受水タンク、高置タンクでパネルタンクの場合は、ポンプ付属品のほか組立・水張り試験を含めた製造者の見積り等としたか。			
	・機器の付属品・予備品の価格は見積りに含め、計測の対象としていないか。			
2 搬入・据付				
搬入	・機器の寸法・質量は、見積書採用機器の寸法・質量を採用したか。			
	・単独の機器の質量が100kg以上の機器としたか。			
	・対象とした質量は分割搬入の場合、各単体の機器の質量としたか。			
	・重量品(600kg/m ³ 以上)は、質量に対応した数値による補正をしたか。			
	・容積品(600kg/m ³ 未満)は、容積当たりの質量に対応した数値による補正をしたか。			
据付	・パネルタンクの据付費を見積りとしたか。			
	・機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。			
	・歩掛りにない機器は、見積り・類似機器の歩掛りを採用又は歩掛り補正としたか。			
3 コンクリート基礎				
	・工事区分が機械設備である事を確認したか。			
コンクリート	・コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。また、鉄筋、電線管及び配管類による体積の欠除は無いものとしたか。			
	・無筋コンクリートがある場合の基礎の高さを無筋コンクリートの厚さを加えたものとしたか。			
型枠	・数量をコンクリート側面の面積としたか。			
鉄筋	・数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さ、単位質量を乗じた質量としたか。			
モルタル	・数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。			
4 保温・塗装				
保温	・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。			
	・機器及びタンク類の保温の数量を表面積としたか。			
塗装	・機器及びタンク類の塗装の数量を表面積としたか。			
	・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。			

6-2 給水 配管

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 配管	<ul style="list-style-type: none"> ・階単位又は部屋単位で拾ったか。 ・施工上の分類により区分したか（屋内一般、機械室・便所など）。 ・配管の数量を直線の長さとしたか。 ・曲がり部を始点及び終点に接して延長した直線の交点までの長さとしたか。 ・弁類、防振継手、伸縮管継手及びフレキシブルジョイント等の配管付属品による配管の欠除はないものとしたか。 ・支持金物及び吊り金物を計測の対象としていないか。 ・衛生器具に接続した配管の数量を立上り、立下り等を見込んだ長さとしたか。 ・形鋼振れ止め支持を必要とする配管を確認したか。 ・配管類のためのスリーブ施工に関する建物の構造を確認したか。 <ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋コンクリート造（対象：_____） ・鉄骨鉄筋コンクリート造（対象：_____） ・デッキプレートの開口切断の要否を確認したか。 			
配管材料	<ul style="list-style-type: none"> ・配管材料の確認をしたか。 ・一般配管 : 塩ビライニング鋼管 (O V A ○) ・ " : ステンレス鋼鋼管 (O SUS304 ○) ・ " : ポリ粉体鋼管 (O P A ○) ・ " : ・ 地中埋設配管 : 塩ビライニング鋼管 (V D) ・ " : ステンレス鋼鋼管 (O SUS316 ○) ・ " : ポリ粉体鋼管 (P D) ・ " : ・ 水道直結配管 : 引き込みは水道事業者の指定による。 ・ " : 量水器以降の地中埋設配管は (○) ・ " : 他の部分は一般配管による。 			
2 配管付属品				
水栓類	<ul style="list-style-type: none"> ・数量をその形式及び規格毎の個数としたか。 			
弁類	<ul style="list-style-type: none"> ・弁類の耐圧を確認したか。 : 図示 ・ " : JIS又はJV5k ・ステンレス鋼鋼管に取り付ける弁類を確認したか。 : 青銅製 ・ " : ステンレス製 ・ライニング鋼管に取り付ける弁類を確認したか。 : 青銅製(管端防食コア) ・青銅製の弁類を使用する場合は給水用(鉛レス)としたか。 ・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。 			
防振継手	<ul style="list-style-type: none"> ・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。 			
フレキシブルジョイント	<ul style="list-style-type: none"> ・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。 			
弁装置	<ul style="list-style-type: none"> ・弁装置の構成品の歩掛りを確認したか。 ・屋内露出の保温を行う65A以上の弁類の保温外装をカラー鉄板としたか。 ・弁装置の制御弁本体の価格は取付労務費のみを計上したか。 			
鋼製支持架台等	<ul style="list-style-type: none"> ・配管用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。 			
3 計器類				
ポンプ付属品	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ付属品と重複がないか確認したか。 			
量水器	<ul style="list-style-type: none"> ・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。 ・子メーター (○貸与品 ○買取品)、読取方式 (○直読式 ○遠隔式) 			
圧力計	<ul style="list-style-type: none"> ・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。 			
4 保温・塗装				
保温	<ul style="list-style-type: none"> ・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。 ・配管の保温の数量を配管の長さとしたか。 ・弁類、ストレーナー等の保温は呼び径が65A以上を計測の対象とし、保温の数量を個数としたか。 ・バタフライ弁の保温を他の弁と分けたか。 ・ステンレス鋼鋼管の保温を75Su以下については、1サイズダウンとしたか。 			
塗装	<ul style="list-style-type: none"> ・配管の塗装及び防錆の数量を配管の長さとしたか。 ・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。 			
文字標識等	<ul style="list-style-type: none"> ・数量を建物の延べ面積に対応した工数としたか。 			
案内板	<ul style="list-style-type: none"> ・図面特記を確認したか。 m² 			

7. 排水設備
7-1 排水 機器

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 機器数量	・機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。			
	・機器の付属品・予備品の価格を見積りに含め、計測の対象としていないか。			
2 搬入・据付				
搬入	・機器の寸法・質量は、見積書採用機器の寸法・質量を採用したか。			
	・単独の機器の質量が100kg以上の機器としたか。			
	・対象とした質量は分割搬入の場合、各単体の機器の質量としたか。			
	・重量品(600kg/m ³ 以上)は、質量に対応した数値による補正をしたか。			
据付	・機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。			
	・歩掛りにない機器は、見積り・類似機器の歩掛りを採用又は歩掛り補正をしたか。			
3 コンクリート基礎				
コンクリート	・工事区分が機械設備である事を確認したか。			
	・コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。また、鉄筋、電線管及び配管類による体積の欠除は無いものとしたか。			
型枠	・数量をコンクリート側面の面積としたか。			
鉄筋	・数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さ、単位質量を乗じた質量としたか。			
モルタル	・数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。			
4 保温・塗装				
保温	・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。			
	・機器及びタンク類の保温の数量を表面積としたか。			
塗装	・機器及びタンク類の塗装の数量を表面積としたか。			
	・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。			

7-2 排水 配管

チェック項目	チェック内容	確認		▼	
		仕	数		
1 配管	・階単位又は部屋単位で拾ったか。				
	・施工上の分類により区分したか（屋内一般、機械室・便所など）。				
	・配管の数量を直線の長さとしたか。				
	・曲がり部を始点及び終点に接して延長した直線の交点までの長さとしたか。				
	・弁類、防振継手、伸縮管継手及びフレキシブルジョイント等の配管付属品による配管の欠除はないものとしたか。				
	・支持金物及び吊り金物を計測の対象としていないか。				
	・衛生器具に接続した配管の数量を立上り、立下り等を見込んだ長さとしたか。				
	・屋内配管を建物内から第一桝迄の長さとしたか。				
	・形鋼振れ止め支持を必要とする配管を確認したか。				
	・配管類のためのスリーブ施工に関する建物の構造を確認したか。				
	・鉄筋コンクリート造（対象：_____）				
	・鉄骨鉄筋コンクリート造（対象：_____）				
	・デッキプレートの開口切断の要否を確認したか。				
	配管材料	・配管材料の確認をしたか。			
	・屋内汚水管 : 排水用塩ビライニング鋼管				
・ " : 鉛管					
・ " : コーティング鋼管					
・ " :					
・屋内一般雑排水管 : 配管用炭素鋼鋼管（白）					
・ " : 鉛管					
・ " : 排水用塩ビライニング鋼管					
・一般用排水通気管 : 配管用炭素鋼鋼管（白）					
・ " : ビニル管（RF-VP）					
・ポンプアップ排水管 : 排水用ノントールエポキシ塗装鋼管					
・ " :					
2 配管付属品					
弁類	・弁類の耐圧を確認したか。 : 図示				
	・ " : JIS又はJV5k				
	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。				
防振継手	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。				
フレキシブルジョイント	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。				
排水金物類	・数量をその形式及び規格毎の個数としたか。				
満水試験継手	・数量をその形式及び規格毎の個数としたか。				
鋼製支持架台等	・配管用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。				
3 計器類					
ポンプ付属品	・ポンプ付属品と重複がないか確認したか。				
圧力計	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。				
4 保温・塗装					
保温	・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。				
	・配管の保温の数量を配管の長さとしたか。				
	・弁類等の保温は呼び径が65A以上を計測の対象とし、保温の数量を個数としたか。				
	・パタフライ弁の保温を他の弁と分けたか。				
	・弁類の保温外装の種別を図面・標準仕様書で確認したか。				
塗装	・配管の塗装及び防錆の数量を配管の長さとしたか。				
	・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。				

8. 給湯設備
8-1 給湯 機器

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 機器数量	<ul style="list-style-type: none"> ・機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。 ・ボイラー、ポンプ、タンクなどの機器価格は、付属品を含めて製造者の見積りとしているか。 ・機器の付属品・予備品の価格は見積りに含め、計測の対象としていないか。 ・煙道の数量を搬入・据付費までを含め一式としたか。 			
2 搬入・据付				
搬入	<ul style="list-style-type: none"> ・煙道の搬入費を見積りとしたか。 ・機器の寸法・質量は、見積書採用機器の寸法・質量を採用したか。 ・単独の機器の質量が100kg以上の機器としたか。 ・対象とした質量は分割搬入の場合、各単体の機器の質量としたか。 ・重量品(600kg/m3以上)は、質量に対応した数値による補正をしたか。 ・容積品(600kg/m3未満)は、容積当たりの質量に対応した数値による補正をしたか。 			
据付	<ul style="list-style-type: none"> ・煙道の据付費を見積りとしたか。 ・機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。 ・歩掛りにない機器は、見積り・類似機器の歩掛りを採用又は歩掛り補正としたか。 			
3 コンクリート基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・工事区分が機械設備である事を確認したか。 			
コンクリート	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。また、鉄筋、電線管及び配管類による体積の欠除は無いものとしたか。 ・無筋コンクリートがある場合の基礎の高さを無筋コンクリートの厚さを加えたものとしたか。 			
型枠	<ul style="list-style-type: none"> ・数量をコンクリート側面の面積としたか。 			
鉄筋	<ul style="list-style-type: none"> ・数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さ、単位質量を乗じた質量としたか。 			
モルタル	<ul style="list-style-type: none"> ・数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。 			
4 保温・塗装				
保温	<ul style="list-style-type: none"> ・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。 ・機器及びタンク類の保温の数量を表面積としたか。 			
塗装	<ul style="list-style-type: none"> ・機器及びタンク類の塗装の数量を表面積としたか。 ・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。 ・煙道の断熱材の数量を煙道の表面積としたか。 			

8-2 給湯 配管

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 配管	<ul style="list-style-type: none"> ・階単位又は部屋単位で拾ったか。 ・施工上の分類により区分したか（屋内一般、機械室・便所など）。 ・配管の数量を直線の長さとしたか。 ・曲がり部を始点及び終点に接して延長した直線の交点までの長さとしたか。 ・弁類、防振継手、伸縮管継手及びフレキシブルジョイント等の配管付属品による配管の欠除はないものとしたか。 ・支持金物及び吊り金物を計測の対象としていないか。 ・衛生器具に接続した配管の数量は、立上り、立下り等を見込んだ長さとしたか。 ・形鋼振れ止め支持を必要とする配管を確認したか。 ・配管類のためのスリーブ施工に関する建物の構造を確認したか。 <ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋コンクリート造（対象：_____） ・鉄骨鉄筋コンクリート造（対象：_____） ・デッキプレートの開口切断の要否を確認したか。 			
配管材料	<ul style="list-style-type: none"> ・給湯管の管材を確認したか。（膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む） <ul style="list-style-type: none"> ・ステンレス鋼鋼管 ・銅管 			

8-2 給湯 配管

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
2 配管付属品				
水栓類	・数量をその形式及び規格毎の個数としたか。			
弁類	・弁類の耐圧を確認したか。 : 図示			
	・ " : JIS又はJV5k			
	・ステンレス鋼鋼管に取り付ける弁類を確認したか。 : 青銅製			
	・ " : ステンレス製			
	・青銅製の弁類を使用する場合は給水用(鉛入)としたか。			
	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
防振継手	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
フレキシブルジョイント	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
鋼製支持架台等	・配管用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。			
3 計器類				
ポンプ付属品	・ポンプ付属品と重複がないか確認したか。			
瞬間流量計	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
	・固定形の数量は設置数量としたか。			
	・着脱式の場合、メーターの必要個数とノズルの設置個数としたか。			
圧力計	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
温度計	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
4 保温・塗装				
保温	・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。			
	・配管の保温の数量を配管の長さとしたか。			
	・バタフライ弁の保温を他の弁と分けたか。			
	・弁類、ストレーナー等の保温は呼び径が65A以上を計測の対象とし、保温の数量を個数としたか。			
	・ステンレス鋼鋼管の保温を75Suまでサイズダウンしたか。			
	・銅管の保温を40Aまでサイズダウンしたか。			
塗装	・配管の塗装及び防錆の数量を配管の長さとしたか。			
	・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。			

9. 消火設備

9-1 消火 機器

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 機器数量	・機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。			
	・機器の付属品・予備品の価格は見積りに含め、計測の対象としていないか。			
2 搬入・据付				
搬入	・機器の寸法・質量は、見積書採用機器の寸法・質量を採用したか。			
	・単独の機器の質量が100kg以上の機器としたか。			
	・対象とした質量は分割搬入の場合、各単体の機器の質量としたか。			
	・重量品(600kg/m ³ 以上)は、質量に対応した数値による補正をしたか。			
	・容積品(600kg/m ³ 未満)は、容積当たりの質量に対応した数値による補正をしたか。			
据付	・機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。			
	・歩掛りにない機器は、見積り・類似機器の歩掛りを採用又は歩掛り補正としたか。			
3 コンクリート基礎				
コンクリート	・工事区分が機械設備である事を確認したか。			
	・コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。			
	・鉄筋、電線管及び配管類による体積の欠除は無いものとしたか。 ・無筋コンクリートがある場合の基礎の高さを無筋コンクリートの厚さを加えたものとしたか。			
型枠	・数量をコンクリート側面の面積としたか。			
鉄筋	・数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さ、単位質量を乗じた質量としたか。			
モルタル	・数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。			
4 保温・塗装				
保温	・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。			
	・機器及びタンク類の保温の数量を表面積としたか。			
塗装	・機器及びタンク類の塗装の数量を表面積としたか。			
	・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。			

9-2 消火 器具類

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 消火器具類				
屋内消火栓種別	・消火設備の器具の数量を屋内及び屋外消火栓箱、連結送水管等の形式及び、規格寸法毎の個数又は組数としたか。			
	・屋内消火栓			
	・易操作性1号消火栓			
	・2号消火栓			

9-3 消火 配管

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 配管	・階単位又は部屋単位で拾ったか。			
	・施工上の分類により区分したか（屋内一般、機械室・便所など）。			
	・配管の数量を直線の長さとしたか。			
	・曲がり部を始点及び終点に接して延長した直線の交点までの長さとしたか。			
	・弁類、防振継手、伸縮管継手及びフレキシブルジョイント等の配管付属品による配管の欠除はないものとしたか。			
	・支持金物及び吊り金物を計測の対象としていないか。			
	・形鋼振れ止め支持を必要とする配管を確認したか。			
	・配管類のためのスリーブ施工に関する建物の構造を確認したか。			
	・鉄筋コンクリート造（対象：_____）			
	・鉄骨鉄筋コンクリート造（対象：_____）			
	・デッキプレートの開口切断の要否を確認したか。			
配管材料	・配管材料を確認したか。			
	・図示による。 図示の管材：			
	・配管用炭素鋼鋼管（白）			
	・圧力配管用炭素鋼鋼管（白）			
地中埋設配管の接合	・地中埋設配管及び接合を確認したか。			
	・外面被覆鋼管の呼び径100以下はねじ接合としたか。			
2 配管付属品				
弁類	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
防振継手	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
フレキシブルジョイント	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
弁装置	・弁装置の構成品の歩掛りを確認したか。			
	・弁装置の数量を規格及び口径毎の組数としたか。			
	・弁装置の構成品の歩掛りによる弁装置の数量としたか。			
	・弁装置の制御弁本体の価格は自動制御とし、据付労務のみを計上したか。			
屋内消火栓開閉弁	・屋内消火栓開閉弁の圧力を確認したか。 ・10K			
鋼製支持架台等	・配管用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。			
3 計器類				
ポンプ付属品	・ポンプ付属品と重複がないか確認したか。			
瞬間流量計	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
	・固定形の数量を設置数量としたか。			
	・着脱式の場合、メーターの必要個数とノズルの設置個数としたか。			
圧力計	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
4 保温・塗装				
保温	・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。			
	・屋外露出部分の保温仕様の確認をしたか。			
	・有り： $e \cdot 3 \cdot (\text{ハ}) \cdot V$			
	・有り：			
	・無し			
	・配管の保温の数量を配管の長さとしたか。			
	・弁類、ストレーナー等の保温は呼び径が65A以上を計測の対象とし、保温の数量を個数としたか。			
・バタフライ弁の保温を他の弁と分けているか。				
塗装	・配管の塗装及び防錆の数量を配管の長さとしたか。			
	・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。			

10. ガス設備

10-1 都市ガス設備

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 都市ガス設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス事業者の見積りとしたか。 ・複数棟の場合は棟毎に区分けがされているか確認したか。 ・見積りに塗装、スリーブなどがあるか確認したか。 ・見積り（及びアイソメ図）と図面に記載された配管口径、施工範囲などが一致しているか確認したか。 			
配管材料	<ul style="list-style-type: none"> ・配管材料を確認したか。 ・都市ガスの配管材料はガス事業者の供給約款による。 			
メーター	<ul style="list-style-type: none"> ・ガスメーターについて確認したか。 ・親メーター：貸与品 ・子メーター：買取 			
ガス漏れ警報器	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス漏れ警報器について確認したか。 ・本工事（図示による） <ul style="list-style-type: none"> 外部警報端子：有り 外部警報端子：無し ・別途工事 			

10-2 液化石油ガス設備

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 機具類				
集合装置	<ul style="list-style-type: none"> ・接続するボンベ数としたか。 ・自動切り替え調整装置としてのホース、バルブ、ヘッド、計器類の他に転倒防止金物を含むものとし別途計上していないか。 			
感震センサー	<ul style="list-style-type: none"> ・形式、仕様毎の数量としたか。 			
感震遮断弁	<ul style="list-style-type: none"> ・形式、口径毎の数量としたか。 			
ガス漏水警報器	<ul style="list-style-type: none"> ・形式、仕様毎の数量としたか。 			
ガス栓類	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様、呼び径毎の数量としたか。 			
2 配管	<ul style="list-style-type: none"> ・階単位又は部屋単位で拾ったか。 ・施工上の分類により区分したか（屋内一般、機械室・便所など）。 ・配管の数量を直線の長さとしたか。 ・曲がり部を始点及び終点に接して延長した直線の交点までの長さとしたか。 ・弁類、防振継手、伸縮管継手及びフレキシブルジョイント等の配管付属品による配管の欠除はないものとしたか。 ・支持金物及び吊り金物を計測の対象としていないか。 ・形鋼振れ止め支持を必要とする配管を確認したか。 ・配管類のためのスリーブ施工に関する建物の構造を確認したか。 <ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋コンクリート造（対象： ） ・鉄骨鉄筋コンクリート造（対象： ） ・デッキプレートの開口切断の要否を確認したか。 			
配管材料	<ul style="list-style-type: none"> ・配管材料を確認したか。 ・種類： 			
3 配管付属品				
弁類	<ul style="list-style-type: none"> ・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。 			
フレキシブルジョイント	<ul style="list-style-type: none"> ・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。 			
鋼製支持架台等	<ul style="list-style-type: none"> ・配管用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。 			
4 保温・塗装				
塗装	<ul style="list-style-type: none"> ・配管の塗装及び防錆の数量を配管の長さとしたか。 ・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。 			

1.1. 厨房機器設備

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 機器数量	・機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。			
	・機器の付属品・予備品の価格を見積りに含め、計測の対象としていないか。			
2 搬入・据付	・搬入・据付費は原則として標準歩掛り又は、大型機器等の場合、及び試験調整費は施工者の見積りとしているか。			
3 試験調整費	・据付後の点火試験、出力調整を確認したか。			

1.2. 屋外給水設備

1.2-1 屋外給水 機器

チェック項目	チェック内容	確認		▼	
		仕	数		
1 機器数量	・機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。				
	・(屋外設置の場合の)受水タンクでパネルタンクの場合は、ポンプ付属品のほか組立・水張り試験を含めた製造者の見積り等としているか。				
	・機器の付属品・予備品の価格を見積りに含め、計測の対象としていないか。				
2 搬入・据付					
	搬入	・機器の寸法・質量は、見積書採用機器の寸法・質量を採用したか。 ・単独の機器の質量が100kg以上の機器としたか。 ・対象とした質量は分割搬入の場合、各単体の機器の質量としたか。 ・重量品(600kg/m ³ 以上)は、質量に対応した数値による補正をしたか。 ・容積品(600kg/m ³ 未満)は、容積当たりの質量に対応した数値による補正をしたか。			
据付	・パネルタンクの据付費を見積りとしたか。				
	・機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。				
3 コンクリート基礎					
	・工事区分が機械設備である事を確認したか。				
コンクリート	・コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。				
	・鉄筋、電線管及び配管類による体積の欠除は無いものとしたか。				
	・無筋コンクリートがある場合の基礎の高さを無筋コンクリートの厚さを加えたものとしたか。				
型枠	・数量をコンクリート側面の面積としたか。				
鉄筋	・数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さ、単位質量を乗じた質量としたか。				
モルタル	・数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。				
4 保温・塗装					
	保温	・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。 ・機器及びタンク類の保温の数量を表面積としたか。			
	塗装	・機器及びタンク類の塗装の数量を表面積としたか。 ・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。			

12-2 屋外給水 配管

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 配管	・配管の数量を直線の長さとしたか。			
	・施工上の分類により区分したか（屋内一般、地中配管など）。			
	・曲がり部を始点及び終点に接して延長した直線の交点までの長さとしたか			
	・弁類、防振継手、伸縮管継手及びフレキシブルジョイント等の配管付属品による配管の欠除はないものとしたか。			
	・水栓柱等に接続した配管の数量を立上り、立下り等を見込んだ長さとしたか。			
	・建築物導入部の変位吸収配管要領を確認したか。			
	・支持金物及び吊り金物を計測の対象としていないか。			
配管材料	・配管材料を確認したか。			
	・地中埋設配管：塩ビライニング鋼管(VD)			
	・〃：ステンレス鋼管(SUS316)			
	・〃：ポリ粉体鋼管(PD)			
	・〃：ポリエチレン管			
	・〃：水道直結配管 量水器までの引き込みは水道事業者の指定による。			
管の地中埋設深さ	・配管の埋設深さを確認したか。			
	・車両通行部分は管の上端より600mm以上。			
	・車両通行部以外の部分は管の上端より300mm以上。			
	・寒冷地の場合は、管の上端より凍結深度(mm)以上			
2 配管付属品				
水栓類	・数量をその形式及び規格毎の個数としたか。			
水栓柱	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
	・水栓柱の材質を確認したか。			
	・合成樹脂製			
	・人造石とぎ出し製			
弁類	・弁類の耐圧を確認したか。：図示			
	・〃：JIS又はJV10k			
	・ステンレス鋼管に取り付ける弁類を確認したか。：青銅製			
	・〃：ステンレス製			
	・ライニング鋼管に取り付ける弁類を確認したか。：青銅製(管端防食コア)			
	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
・青銅製の弁類を使用する場合は給水用(鉛入)としたか。				
防振継手	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
フレキシブルジョイント	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
弁装置	・数量を形式、規格及び呼び径毎の組数としたか。			
	・弁装置の構成品の歩掛りを確認したか。			
	・屋外露出の保温を行う弁類の保温外装をステンレス鋼板としたか。			
	・弁装置の制御弁本体の価格は自動制御とし、据付労務のみを計上したか。			
鋼製支持架台等	・数量は鋼材の厚さ毎の質量としたか。			
地中埋設標	・数量を規格毎の個数としたか。 (地表面：コンクリート製 舗装面：鉄製)			
埋設表示テープ	・数量を埋設配管の長さとしたか。			
3 計器類				
ポンプ付属品	・ポンプ付属品と重複がないか確認したか。			
量水器	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
	・親メーター(○貸与品 ○買取品)、読取方式(○直読式 ○遠隔式)			
	・子メーター(○貸与品 ○買取品)、読取方式(○直読式 ○遠隔式)			
量水器樹	・水道事業者指定品(○貸与品 ○買取り)			
	・標準図MC形			
圧力計	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
4 保温・塗装				
保温	・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。			
	・配管の保温の数量を配管の長さとしたか。			
	・弁類、ストレーナー等の保温は呼び径が65A以上を計測の対象とし、保温の数量を個数とし			
	・バタフライ弁の保温を他の弁と分けたか。			
塗装	・配管の塗装及び防錆の数量を配管の長さとしたか。			
	・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。			

12-2 屋外給水 配管

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
5 土工事	・ 樹類の土工事は歩掛りに含まれているので、別途加算していないか。			
	・ 根切り、埋戻し及び残土処分は計画数量とし、砂利地業等は設計数量としたか。			
	・ 土工事の計測・計算を原則として設計地盤（基準線）からにしたか。			
	・ 土の掘削による土砂量の増加及び締め固めによる土砂量の減少はないものとしたか。			
根切り	・ 土工事の数量を他の土工事と重複のない数量としたか。			
	・ 数量を根切り幅に根切り長さ及び根切り深さを乗じた体積としたか。			
	・ 舗装がある場合、根切り深さから舗装厚分の差引き確認をしたか。			
	・ 根切り深さが1.5m未満の場合は直掘り工法としたか。			
	・ 直掘り工法で根切り深さ1m未満の場合の余幅は0.2mとしたか。			
	・ 根切り深さ1m以上1.5m未満の場合の余幅は0.4mとしたか。			
埋め戻し土 ・ 盛土	・ 埋め戻し土の処理方法を確認したか。			
	・ 根切り土の中の良質土 ただし○コンクリート管 ○樹脂管 ○ 管以外の周囲は山砂の類			
	・ 山砂の類			
埋戻し	・ 数量を根切り数量から基準線以下の山砂・砂利地業等の体積を減じた体積としたか。			
	・ 呼び径が200Aを超える埋設配管類の体積を減じたか。			
建設発生土	・ 建設発生土の処理方法を確認したか。			
	・ 処理方法：構内敷ならし			
	・ 処理方法：構内指定場所へのたい積			
	・ 処理方法：場外搬出			
砂利地業等	・ 数量を根切り数量から埋戻し数量を減じた体積としたか。			
	・ 配管類の砂利地業等の体積を根切り底面積に厚さを乗じた体積としたか。			
土工機械	・ 運搬費は他の土工事と内容を確認して計上したか。			
	・ 排水設備を含む。			
	・ 給水設備を含む。			

13. 屋外 排水設備
13-1 屋外排水 配管

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 配管	・配管の数量を排水桝の中心間における長さとしたか。			
配管材料	・配管材料を確認したか。			
	・屋外埋設配管 : ビニル管 (REP-VU)			
	・ // : ビニル管 (RS-VU)			
	・ // : コンクリート管			
	・ // :			
2 排水桝類	・数量を形式、規格及び深さ毎の組数としたか。			
	・桝の設置箇所の蓋の耐荷重を確認したか。			
3 土工事	・桝類 (コンクリート製) の土工事は歩掛りに含まれているので、配管長による土工事からその分を差し引いているか。			
	・プラスチック桝の土工事は歩掛りに含まれていないので、配管長による土工事からの差し引きをしてしまっていないか。			
	・根切り、埋戻し及び残土処分を計画数量とし、砂利地業等を設計数量としたか。			
	・土工事の計測・計算を設計地盤 (基準線) からにしたか。			
	・土の掘削による土砂量の増加及び締め固めによる土砂量の減少はないものとしたか。			
	・土工事の数量を他の土工事と重複のない数量としたか。			
根切り	・根切りの数量を根切り幅に根切り長さ及び根切り深さを乗じた体積としたか。			
	・根切り深さを根切り基準線から排水管の底面までの深さに、均し (捨) コンクリート及び砂利地業等の厚さを加えた平均の深さとしたか。			
	・根切りの方法を根切り深さが1.5m未満の場合は直掘り工法とし、1.5m以上の場合は法付け工法としたか。			
	・法付け工法の法幅を根切り深さに 0.3 を乗じたものとしたか。			
	・法付け工法の作業上のゆとり幅を配管類においては0.3mとしたか。			
	・直掘り工法で根切り深さ1m未満の場合の余幅を配管類においては0.2mとしたか。			
	・根切り深さ1m以上1.5m未満の場合の余幅を配管類においては0.4mとしたか。			
	・法付け工法の余幅をゆとり幅に法幅の1/2を加えるものとしたか。			
埋め戻し土 ・盛土	・埋め戻し土の処理方法を確認したか。			
	・根切り土の中の良質土			
	ただし○コンクリート管 ○樹脂管 ○ 管以外の周囲は山砂の類			
	・山砂の類			
埋戻し	・数量を根切り数量から基準線以下の山砂、砂利地業等の体積を減じた体積としたか。			
	・呼び径が200Aを越える埋設配管類の体積は減じたか。			
建設発生土	・建設発生土の処理方法を確認したか。			
	・処理方法: 構内敷ならし			
	・処理方法: 構内指定場所へのたい積			
	・処理方法: 場外搬出			
	・数量は、根切り数量から埋戻し数量を減じた体積としたか。			
砂利地業	・配管類の砂利地業等の体積を根切り底面積に厚さを乗じた体積としたか。			
土工機械	・運搬費は他の土工事と内容を確認して計上したか。			
	・排水設備に含む。			
	・給水設備に含む。			

Ⅲ. 見積書

1 見積依頼書の作成

1-1 共通事項

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		仕	
見積書式			
機器類	・機器類等は公共建築工事見積書標準書式（設備工事編）を使用したか。 ・見積書標準書式に該当の無い機器類は類似機器の見積書標準書式を修正して使用したか。		
専門工事	・特記仕様等と設計図書を確認したか。 ・専門工事業者の見積による場合は、専門工事業者の諸経費を計上したか。		
工事名称	・工事名称を確認したか。		
工事場所	・工事場所を確認したか。		
見積有効期限	・契約日等を考慮し、必要とする日数を検討して記入したか。 (通常は3ヶ月又は90日、必要により6ヶ月等)		

1-2 機器類の見積依頼書作成

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		仕	
見積依頼			
仕様	・標準仕様書を適用『する』『しない』の記載を確認したか。 ・機器表と見積書の仕様に違いはないか確認したか。 ・電気容量は、kW表示であるか確認したか。 ・煙道の仕様・形状を特記仕様書・設計図面により確認したか。 ・ファンコイルユニットの予備品・付属品及び数量を確認したか。 ・パッケージ形空調機等の予備品・付属品及び数量を確認したか。 ・自動制御設備等の専門工事で、電線管の塗装の有無を確認したか。		
特記事項欄	・標準仕様書の適用・不適を確認したか。 ・見積書式と機器表の特記事項欄の項目を確認し必要事項を追記したか。 ・付属品・予備品の有無・数量を確認したか。 ・グリーン購入法が適用された機材であるか確認したか。		
金額欄	・予備品・付属品が必要な場合は記載欄を追加したか。 ・据付を見積による場合は、人工数と単価を記入するようにしたか。 (歩掛り及び労務単価確認の為)		
その他	・都市ガス・自動制御等で建物毎・屋外等の分けが必要な場合は、建物毎の分けが図面に明記されているか確認し、分けの依頼を明確にしたか。(複数棟ある場合は棟毎・屋外に分ける。撤去と新設は分ける。等)		

2 見積書収集後の確認

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		仕	
見積書の確認			
工事名称	・工事名称を確認したか。		
工事場所	・工事場所を確認したか。		
見積有効期限	・必要とする日数としたか。		
製造者欄の確認	・社名、社印、担当者印、連絡先等を確認したか。		
製造者記載事項	・電動機容量・燃料消費量等は記載数値以下になっているか確認したか。 ・機器の性能、容量等は記載数値以上になっているか確認したか。 ・記載内容により、図面修正を検討したか。 ・見積り条件に対する記載内容を確認し、採用・不採用を判断したか。 ・衛生器具等で型番を記載した器具等の型番を比較確認したか。 また、型番に相違がある場合図面の訂正を依頼したか。		
金額欄	・本体価格・付属品等の各価格の記入に漏れはないか確認したか。 ・価格の計算に間違いはないか確認したか。 ・金額欄に、「付属品が本体価格に含まれているか」確認したか。		
見積比較表の作成	・各製造者の見積金額を比較し極端な価格差が見られた場合、見積り作成者に詳細を確認したか。		
その他	・都市ガス・自動制御等で建物毎・屋外等の分けが必要な場合は、依頼のとおり分けがされているか確認したか。（複数棟ある場合は棟毎・屋外に分ける。改修と撤去は分ける。等）		

積算数量調書チェックリスト (新営工事用)

業 務 名 _____

施 設 名 _____

業 務 受 注 者 名 _____

担 当 者 名

管 理 技 術 者 : _____

主任担当技術者（積算）: _____

担当技術者（積算）: _____

I. 基本事項

1. 基準類の確認

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
基準類			
	・適用となる基準類とその適用年度について確認したか。 ・公共建築工事内訳書標準書式（設備工事編）（平成 年版）		

2. 内訳書の記載内容

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
内訳書の記載内容 種目別内訳書			
	・直接工事費の種目を設計図書の表示に従い各工事種目毎に区分したか。 ・全体工事のうち、一部分について全体工期より先に完成を指定した部分(指定部分)等がある場合は、当該部分を区分して記載したか。		
科目別内訳書	・設計図書の工事種目等を標準として直接工事費を科目に区分しその科目を記載したか。		
中科目別内訳書	・科目別内訳において区分した科目をさらに主要な構成に従い区分し、その中科目を記載したか。ただし、工事内容等により区分する必要がない場合は、省略したか。		
細目別内訳書	・各科目あるいは中科目に属する細目毎に数量、単価、金額を記載したか。なお、必要に応じ別紙明細書を設け、1式で記載したか。		
	・仮設に要する費用、機械器具等、運搬費等で各科目に区分できる専用仮設は、当該科目の細目に記載したか。		
	・摘要欄は、材種、材質、形状、寸法、工法、その他単価に対応する条件などを記載したか。		

3. 特記仕様書との照合

チェック項目	チェック内容	確認数	▼
特記仕様書			
工事名称	・ 工事名称を確認したか。		
工事場所	・ 工事場所を確認したか。		
単価使用区分	・ 新営・改修等による他工事との使用単価（新営・改修）を確認したか。 ・ 新営単価 建物名： ・ 改修単価（入居者なし） 建物名： ・ 改修割増単価（入居者あり） 建物名：		
工事種目	・ 工事種目を確認したか。 ・ 建物・工事種目及び設備科目毎に数量の拾い分けをしたか。		
指定部分	・ 指定部分の有無を確認したか。 ・ 無し ・ 有り 工期：平成 年 月 日 範囲：		
予算区分	・ 予算の区分による拾い分けが必要か確認したか。（国交省担当者に確認） ・ 無し ・ 有り 範囲：		
関連工事	・ 本工事以外の関連工事があるか発注者に確認したか。 ・ 無し ・ 有り（ ・ 建築工事 ・ 電気設備工事 ・ ）		
発注範囲	・ 本工事において（発注しない）別途工事部分があるか確認したか。 ・ 無し ・ 有り 特記仕様書記載（ ・ ・ ） ・ 有り 図面記載（ ・ ・ ）		
負担金	・ 負担金の有無を確認したか。 ・ 無し ・ 有り（負担金額： 円）		
監督職員事務所	・ 監督職員事務所の有無を確認したか。（共通仮設に積み上げ） ・ 設けない ・ 設ける：既存建物内の一部を使用する。 ・ 設ける：構内に新設する。（規模及び仕上げの程度は現場説明書による。）		
施工調査	・ 事前調査の有無を確認したか。 ・ 別途工事 ・ 本工事 調査項目：		
足場その他	・ 足場その他を確認したか。 ・ 別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。		
はつり補修	・ はつりの方法について、図面に記載があるか確認したか。 ・ 記載有り（配管・スパイラルダクト）：手はつり ・ “ ”：ダイヤモンドカッター ・ 記載有り（長方形ダクト）：手はつり ・ “ ”：別途工事 ・ 記載無し：配管・スパイラルダクトのはつりはダイヤモンドカッターとしたか。 ・ “ ”：長方形ダクトは手はつりとしたか。		
非破壊検査	・ 溶接部の非破壊検査を確認したか。 ・ 別途工事 ・ 本工事 検査項目：		

II. 新営工事
 1. 空調設備
 1-1 空調 機器設備

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 機器数量	・ 機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。		
	・ 機器単体に対する付属品・予備品の数量は本体に含み計測の対象外としたか。		
	・ マルチパッケージ等の付属品・予備品を系統毎の付属品1式としたか。 (フィルター、リモコンスイッチ、リモコン配線等)		
	・ FCUの付属品・予備品は付属品1式とし、図示された形式、型番毎の数量を計上したか。 (フィルター、表示ランプ等)		
	・ 煙道の数量を搬入・据付費までを含め1式としたか。		
	・ 内訳書摘要への記載を図面と整合したか。		
2 搬入・据付			
搬入	・ 内訳書への計上の単位を質量(t)としたか。		
据付	・ 機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。 ・ 内訳書への計上の単位を人工数又は見積りによる金額としたか。		
3 コンクリート基礎			
コンクリート	・ コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。 ・ 無筋コンクリートがある場合の基礎の高さを無筋コンクリートの厚さを加えたものとしたか。		
型枠	・ 型枠の数量をコンクリート側面の面積としたか。		
鉄筋	・ 鉄筋の数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さ、単位質量を乗じた質量としたか。		
モルタル	・ モルタルの数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。		
4 保温・塗装			
保温	・ 保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。 ・ 機器及びタンク類の保温の数量を表面積としたか。 ・ 熱源機器の保温は製造者の見積を参考とするか、または別途に計測するかを確認したか。 ・ 煙道の断熱材の数量を煙道の表面積としたか。		
塗装	・ 機器類及びタンク類の塗装の数量を表面積としたか。 ・ 支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。		

1-2 空調 ダクト設備

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 ダクト	・ダクトの種別を確認したか。 : 低速ダクト 高速ダクト		
	・多湿箇所に使用するダクトをシール付としたか。		
長方形ダクト	・低圧ダクトの工法を確認したか。 : アンクルフランジ工法		
	・ " : コーナボルト工法 (共板フランジ工法)		
	・ " : コーナボルト工法 (スライトフランジ工法)		
	・長方形ダクトの数量をダクト長さに周長を乗じた表面積としたか。		
スパイラルダクト	・スパイラルダクト及び円形ダクトの数量を口径毎の長さとしたか。		
フレキシブルダクト	・フレキシブルダクトの数量を材質、口径及び長さ毎の本数としたか。		
鋼板製ダクト	・防火区画の壁・床を貫通する鋼板製ダクト(1.6t)の数量を面積としたか。		
チャンパー類	・チャンパー類の数量を表面積としたか。		
	・チャンパー類の内貼りの有無を確認したか。有の場合、仕様を確認したか。		
	・点検口は図示を確認して寸法毎の数量としたか。		
ボックス類	・ボックスの内貼りの有無を確認したか。		
	・線状吹出口ボックスの板厚はボックスの高さをもとにした板厚としたか。		
消音エルボ	・消音エルボの数量を数量積算基準による略算法による表面積としたか。		
2 ダクト付属品			
吹出口及び吸込口	・数量をその材質、形状及び寸法毎の個数としたか。		
たわみ継手	・送風機に接続した、たわみ継手の数量を送風機毎の組数としたか。		
	・たわみ継手の数量を接続したかダクト又は機器の周長としたか。		
ダンパー	・ダンパーの数量を種類、寸法及び形状毎の個数としたか。		
	・防煙ダンパーの復帰方式を確認したか。 : 遠隔復帰式		
	・ " : 手動式		
	・ピストンダンパーの復帰方式を確認したか。 : 遠隔復帰式		
・ " : 手動式			
エアフィルター	・エアフィルターの数量を形式毎の組数としたか。		
ベントキャップ類	・ベントキャップ及びウェザーカバーの数量を材質及び形状等毎の個数としたか。		
鋼製支持架台等	・ダクト用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。		
3 計器類			
風量測定口	・数量を測定口の材質及び形式毎の個数としたか。		
温度計	・数量を材質及び形式毎の個数としたか。		

1-2 空調 ダクト設備

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
4 保温・塗装			
保温	・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。		
	・長方形ダクトの保温の数量をダクトの表面積としたか。		
	・スパイラルダクトの保温の数量を350A以下は長さとしたか。		
	・スパイラルダクトの保温の数量を350Aを超えるものは表面積としたか。		
	・チャンバー類の保温の数量は表面積としたか。		
	・消音エルボ等の保温の数量を表面積としたか。		
塗装	・ダクトの塗装の数量をダクトの表面積としたか。		
	・屋内露出箇所での塗装の箇所を確認したか。		
	・無し		
	・有り		
	・チャンバー類の塗装の数量は表面積としたか。		
	・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。		

1-3 空調 配管設備

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 配管			
配管材料	・施工上の分類により区分したか（屋内一般、機械室・便所など）。		
	・形鋼振れ止め支持が必要な場合は、配管工事費の3%を計上したか。		
	・屋外架空や屋上配管は、支持金物を計上したか。		
	・配管類のためのスリーブ費を配管工事費に対し次の率で計上したか。		
	・鉄筋コンクリート造は9%		
	・鉄骨鉄筋コンクリート造は6%		
	・デッキプレートの開口切断費を配管工事費に対し2%の率で計上したか。		
	・冷媒管の防火区画貫通部材を確認したか。		
	・配管材料を確認したか。		
	・冷温水管 : 配管用炭素鋼鋼管(白)(※工事特記仕様書で管材を確認)		
	・ " : ステンレス鋼鋼管(SUS304)(※工事特記仕様書で管材を確認)		
	・ " :		
	・冷却水管 : 配管用炭素鋼鋼管(白)(※工事特記仕様書で管材を確認)		
	・ " :		
	・蒸気管 給気管 : 配管用炭素鋼鋼管(黒)(※工事特記仕様書で管材を確認)		
・ " : 圧力配管用炭素鋼鋼管(黒)Sch40(※工事特記仕様書で管材を確認)			
・ " " :			
・ " 還管 : 圧力配管用炭素鋼鋼管(黒)Sch40 (※工事特記仕様書で管材を確認)			
・ " " :			
・油 管 : 配管用炭素鋼鋼管(黒)(※工事特記仕様書で管材を確認)			
・空調用排水管 : 配管用炭素鋼鋼管(白)(※工事特記仕様書で管材を確認)			
・膨張管、空気抜き管及び補給水管 : 配管用炭素鋼鋼管(白) (※工事特記仕様書で管材を確認)			

1-3 空調 配管設備

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
2 配管付属品			
弁類	・ 弁類の耐圧を確認したか。 : 図示		
	・ " : JIS又はJV5k		
	・ ステンレス鋼鋼管に取り付ける弁類を確認したか。 : 青銅製		
	・ " : ステンレス製		
	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
防振継手	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
伸縮管継手	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
ルキアバルブジョイント	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
弁装置	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の組数としたか。		
	・ 弁装置の構成品の歩掛りを確認したか。		
	・ 弁装置の制御弁本体の価格は取付労務費のみを計上したか。		
	・ 蒸気の弁装置の保温は図示の無い場合、計上していないか確認したか。		
	・ 屋内露出の保温を行う弁類の保温外装をカラー鉄板としたか。		
	・ 屋内隠蔽の保温を行う弁類の保温外装を配管保温外装と同じとしたか。		
鋼製支持架台等	・ 配管用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。		
3 計器類			
ポンプ付属品	・ ポンプ付属品と重複がないか確認したか。		
瞬間流量計	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
	・ 固定形の数量を設置数量としたか。		
	・ 着脱式の場合、メーターの必要個数とノズルの設置個数としたか。		
圧力計	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
	・ 蒸気用とその他用に拾い分けをしたか。		
温度計	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
4 保温・塗装			
保温	・ 保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。		
	・ 配管の保温の数量を配管の長さとしたか。		
	・ 弁類、ストレーナー等の保温は呼び径が65A以上を計測の対象とし、保温の数量を個数としたか。		
	・ バタフライ弁の保温を他の弁と分けたか。		
	・ 冷媒管の保温外装を確認したか。		
	・ 屋内露出箇所 : 保温化粧ケース		
	・ 屋内露出箇所 :		
	・ 屋内隠ぺい箇所 :		
	・ 屋外露出箇所 : ステンレス鋼板		
	・ 屋外露出箇所 :		
塗装	・ 配管の塗装及び防錆の数量を配管の長さとしたか。		
	・ 支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。		
文字標識等	・ 数量を建物の延べ面積に対応した工数としたか。		
案内板	・ 図面特記を確認したか。 m ²		

1-4 空調 総合調整

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 総合調整			
	・ 配管系統の数量を配管の長さとしたか。		
	・ 長方形ダクトの数量を表面積としたか。		
	・ スパイラルダクトの数量を長さとしたか。		
	・ パッケージ方式の機器、冷媒管は計測の対象としていないか。		
	・ 単独の全熱交換ユニット等の系統が独立しており風量調整を必要としないダクトを計測の対象としていないか。		
	・ 各階機械室内機器の数量をユニット形空調機及びコンパクト形空調機の台数としたか。		
	・ ファンコイルユニットの数量をファンコイルユニットの台数としたか。		
	・ 主機械室内機器の数量を建物の延べ面積に対応した工数としたか。		

2. 換気設備

2-1 換気 機器設備

チェック項目	チェック内容	確認 数	▼
1 機器数量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。ただし、付属品は計測の対象としていないか。 ・ 内訳書摘要への記載は図面と整合しているか。 		
2 搬入・据付			
搬入	・ 内訳書への計上の単位を質量(t)としたか。		
据付	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。 ・ 内訳書への計上の単位を人工数又は見積りによる金額としたか。 		
3 コンクリート基礎			
コンクリート	・ コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。		
型枠	・ 型枠の数量をコンクリート側面の面積としたか。		
鉄筋	・ 鉄筋の数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さ、単位質量を乗じた質量としたか。		
モルタル	・ モルタルの数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。		

2-2 換気 ダクト設備

チェック項目	チェック内容	確認 数	▼
1 ダクト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厨房排気系統のダクト板厚を1サイズアップとしたか。 ・ ダクトの種別を確認したか。 : 低速ダクト 高速ダクト ・ 多湿箇所を使用するダクトをシール付としたか。 		
長方形ダクト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧ダクトの工法を確認したか。 : アンクルフランジ工法 ・ " : コーナボルト工法 (共板フランジ工法) ・ " : コーナボルト工法 (スライダフランジ工法) ・ 長方形ダクトの数量をダクト長さに周長を乗じた表面積としたか。 		
スパイラルダクト	・ スパイラルダクト及び円形ダクトの数量を口径毎の長さとしたか。		
フレキシブルダクト	・ フレキシブルダクトの数量を材質、口径及び長さ毎の本数としたか。		
鋼板製ダクト	・ 防火区画の壁・床を貫通する鋼板製ダクト(1.6t)の数量を面積としたか。		
チャンパー類	<ul style="list-style-type: none"> ・ チャンパー類の数量を表面積としたか。 ・ チャンパー類の内貼りの有無を確認したか。有の場合、仕様を確認したか。 ・ 点検口は図示を確認して寸法毎の数量としたか。 		
ボックス類	・ ボックスの内貼りの有無を確認したか。		
消音エルボ	・ 消音エルボの数量を数量積算基準による略算法による表面積としたか。		

2-2 換気 ダクト設備

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
2 ダクト付属品			
吹出口及び吸込口	・ 数量をその材質、形状及び寸法毎の個数としたか。		
たわみ継手	・ 数量を接続したダクト又は機器の周長としたか。 ・ 送風機に接続した、たわみ継手の数量は送風機毎の組数としたか。		
ダンパー	・ ダンパーの数量を種類、寸法及び形状毎の個数としたか。		
	・ 防煙ダンパーの復帰方式を確認したか。 : 遠隔復帰式		
	・ " " " " " " : 手動式		
	・ ピストンダンパーの復帰方式を確認したか。 : 遠隔復帰式		
・ " " " " " " : 手動式			
エアフィルター	・ エアフィルターの数量を形式毎の組数としたか。		
ベントキャップ類	・ ベントキャップ及びウェザーカバーの数量を材質及び形状毎の個数としたか。		
排気フード	・ 数量を材質及び形状毎の個数としたか。		
鋼製支持架台等	・ ダクト用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。		
3 計器類			
風量測定口	・ 数量を測定口の材質及び形式毎の個数としたか。		
4 保温・塗装			
保温	・ 保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。		
	・ 長方形ダクトの保温の数量をダクトの表面積としたか。		
	・ スパイラルダクトの保温の数量は、350A以下は長さとしたか。		
	・ スパイラルダクトの保温の数量は、350Aを超えるものは表面積としたか。		
	・ チャンバー類の保温の数量は表面積としたか。		
	・ 消音エルボ等の保温の数量を表面積としたか。		
塗装	・ ダクトの塗装の数量をダクトの表面積としたか。		
	・ 屋内露出箇所での塗装の箇所を確認したか。		
	・ 無し		
	・ 有り		
	・ チャンバー類の塗装の数量を表面積としたか。		
	・ 支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。		

2-3 換気 総合調整

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 総合調整			
	・ 系統が独立しており風量調整を必要としないダクトを計測の対象としていないか。		
	・ 長方形ダクトの数量を表面積としたか。		
	・ スパイラルダクトの数量を長さとしたか。		

3. 排煙設備

3-1 排煙 機器設備

チェック項目	チェック内容	確認数	▼
1 機器数量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。ただし、付属品を計測の対象としていないか。 ・ 内訳書摘要への記載を図面と整合したか。 		
2 搬入・据付			
搬入	・ 内訳書への計上の単位を質量(t)としたか。		
据付	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。 ・ 内訳書への計上の単位を人工数又は見積りによる金額としたか。 		
3 コンクリート基礎			
コンクリート	・ コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。		
型枠	・ 型枠の数量をコンクリート側面の面積としたか。		
鉄筋	・ 鉄筋の数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さ、単位質量を乗じた質量としたか。		
モルタル	・ モルタルの数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。		

3-2 排煙 ダクト設備

チェック項目	チェック内容	確認数	▼
1 ダクト共通			
長方形ダクト	・ 長方形ダクトの数量をダクト長さに周長を乗じた表面積としたか。		
円形ダクト	・ 円形ダクト及び円形ダクトの数量を口径毎の長さとしたか。		
チャンパー類	<ul style="list-style-type: none"> ・ チャンパー類の数量を表面積としたか。 ・ 点検口は図示を確認して寸法・数量を計上したか。 		
2 ダクト付属品			
排煙口	・ 数量を種類、寸法及び形状毎の個数としたか。		
たわみ継手	・ 送風機に接続した、たわみ継手の数量は送風機毎の組数とし、仕様は排煙用としたか。		
ダンパー	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダンパーの数量を種類、寸法及び形状毎の個数としたか。 ・ 防煙ダンパーの復帰方式を確認したか。 : 遠隔復帰式 ・ " " : 手動式 ・ ピストンダンパーの復帰方式を確認したか。 : 遠隔復帰式 ・ " " : 手動式 		
	・ 排煙ダクトに使用するFDをHFDとしたか。		
鋼製支持架台等	・ ダクト用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。		
3 計器類			
風量測定口	・ 数量を測定口の材質及び形式毎の個数としたか。		
4 保温・塗装			
保温	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。 ・ 長方形ダクトの保温の数量をダクトの表面積としたか。 ・ 円形ダクトの保温の数量は、350A以下は長さとしたか。 ・ 円形ダクトの保温の数量は、350Aを超えるものは表面積としたか。 		
塗装	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダクトの塗装の数量をダクトの表面積としたか。 ・ チャンパー類の塗装の数量を表面積としたか。 ・ 支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。 		

3-3 排煙 総合調整

チェック項目	チェック内容	確認数	▼
1 総合調整	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長方形ダクト系統の数量を表面積としたか。 ・ 円形ダクト数量を長さとしたか。 		

4. 自動制御設備

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 自動制御設備			
	・専門工事業者の見積りとしたか。		
	・複数棟の場合は棟毎に区分けがされているか確認したか。		
	・自動制御装置、中央監視制御装置、自動制御盤、計装工事、エンジニアリング費、調整費及び諸経費に区分しているか。		

5. 衛生器具設備

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 衛生器具			
	・衛生器具は、本体及び水栓、止水栓、排水トラップ等の付属金物又は付属品を含めて一組としたか。		
	・ユニットトイレ、大便器・小便器・洗面器ユニット、オストメイト対応ユニットをユニット毎の組数としたか。		
	・オストメイト対応ユニットのライニング内配管が配管ユニットか、現場施工か確認したか。		
	・身体障害者用として大便器、小便器、洗面器等の廻りに取付ける手摺等を含めていないか。		
	・化粧棚、水石けん入れ、鏡、手摺り等の数量を組数又は個数としたか。		
	・内訳書摘要への記載を図面と整合したか。		
2 衛生器具の価格			
	・単価は材料単価と市場単価（取付費）の合成単価としているか。		
	・ユニットトイレ、大便器・小便器・洗面器ユニットを施工も含めた製造者の見積りとしたか。		

6. 給水設備

6-1 給水 機器

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 機器数量			
	・機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。		
2 搬入・据付			
	搬入	・内訳書への計上の単位を質量(t)としたか。	
	据付	・機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。 ・内訳書への計上の単位を人工数又は見積りによる金額としたか。	
3 コンクリート基礎			
	コンクリート	・コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。また、鉄筋、電線管及び配管類による体積の欠除は無いものとしたか。	
	型枠	・数量をコンクリート側面の面積としたか。	
	鉄筋	・数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さに、単位質量を乗じた質量としたか。	
	モルタル	・数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。	
4 保温・塗装			
	保温	・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。	
		・機器及びタンク類の保温の数量を表面積としたか。	
	塗装	・機器及びタンク類の塗装の数量を表面積としたか。	
・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。			

6-2 給水 配管

チェック項目	チェック内容	確認数	
1 配管	・施工上の分類により区分したか(屋内一般、機械室・便所など)。		
	・形鋼振れ止め支持が必要な場合は、配管工事費の3%を計上したか。		
	・配管類のためのスリーブ費を配管工事費に対し次の率で計上したか。		
	・鉄筋コンクリート造は10%		
	・鉄骨鉄筋コンクリート造は7%		
	・デッキプレートの開口切断費を配管工事費に対し4%の率で計上したか。		
配管材料	・配管材料の確認をしたか。		
	・一般配管 : 塩ビライニング鋼管 (○VA ○)		
	・ " : ステンレス鋼鋼管 (○SUS304 ○)		
	・ " : ポリ粉体鋼管 (○PA ○)		
	・ " :		
	・地中埋設配管 : 塩ビライニング鋼管 (VD)		
	・ " : ステンレス鋼鋼管 (○SUS316 ○)		
	・ " : ポリ粉体鋼管 (PD)		
	・ " :		
	・水道直結配管 : 引き込みは水道事業者の指定による。		
	・ " : 量水器以降の地中埋設配管は (○)		
・ " : 他の部分は一般配管による。			
2 配管付属品			
水栓類	・数量をその形式及び規格毎の個数としたか。		
弁類	・弁類の耐圧を確認したか。 : 図示		
	・ " : JIS又はJV5k		
	・ステンレス鋼鋼管に取り付ける弁類を確認したか。 : 青銅製		
	・ " : ステンレス製		
	・ライニング鋼管に取り付ける弁類を確認したか。 : 青銅製(管端防食コア)		
	・青銅製の弁類を使用する場合は給水用(鉛)としたか。		
防振継手	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
フルシグナルジョイント	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
弁装置	・弁装置の構成品の歩掛りを確認したか。		
	・屋内露出の保温を行う65A以上の弁類の保温外装をカラー鉄板としたか。		
	・弁装置の制御弁本体の価格は取付労務費のみを計上したか。		
鋼製支持架台等	・配管用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。		
3 計器類			
ポンプ付属品	・ポンプ付属品と重複がないか確認したか。		
量水器	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
	・子メーター (○貸与品 ○買取品)、読取方式 (○直読式 ○遠隔式)		
圧力計	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
4 保温・塗装			
保温	・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。		
	・配管の保温の数量を配管の長さとしたか。		
	・弁類、ストレーナー等の保温は呼び径が65A以上を計測の対象とし、保温の数量を個数としたか。		
	・バタフライ弁の保温を他の弁と分けたか。		
	・ステンレス鋼鋼管の保温を75Su以下については、1サイズダウンとしたか。		
塗装	・配管の塗装及び防錆の数量を配管の長さとしたか。		
	・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。		
文字標識等	・数量を建物の延べ面積に対応した工数としたか。		
案内板	・図面特記を確認したか。 m ²		

7. 排水設備

7-1 排水 機器

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 機器数量	・ 機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。		
2 搬入・据付			
搬入	・ 内訳書への計上の単位を質量(t)としたか。		
据付	・ 機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。 ・ 内訳書への計上の単位を人工数又は見積りによる金額としたか。		
3 コンクリート基礎			
コンクリート	・ コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。また、鉄筋、電線管及び配管類による体積の欠除は無いものとしたか。		
型枠	・ 数量をコンクリート側面の面積としたか。		
鉄筋	・ 数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さ、単位質量を乗じた質量としたか。		
モルタル	・ 数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。		
4 保温・塗装			
保温	・ 保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。 ・ 機器及びタンク類の保温の数量を表面積としたか。		
塗装	・ 機器及びタンク類の塗装の数量を表面積としたか。 ・ 支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。		

7-2 排水 配管

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 配管	・ 施工上の分類により区分したか（屋内一般、機械室・便所など）。 ・ 形鋼振れ止め支持が必要な場合は、配管工事費の3%を計上したか。 ・ 配管類のためのスリーブ費を配管工事費に対し次の率で計上したか。 ・ 鉄筋コンクリート造は10% ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造は7% ・ デッキプレートの開口切断費を配管工事費に対し4%の率で計上したか。		
配管材料	・ 配管材料の確認をしたか。 ・ 屋内污水管 : 排水用塩ビライニング鋼管 ・ " : 鉛管 ・ " : コーティング鋼管 ・ " : ・ 屋内一般雑排水管 : 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ " : 鉛管 ・ " : 排水用塩ビライニング鋼管 ・ 一般用排水通気管 : 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ " : ビニル管（RF-V P） ・ ポンプアップ排水管 : 排水用ノンタルエポキシ塗装鋼管 ・ " :		
2 配管付属品			
弁類	・ 弁類の耐圧を確認したか。 : 図示 ・ " : JIS又はJV5k ・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
防振継手	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
フレキシブルジョイント	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
排水金物類	・ 数量をその形式及び規格毎の個数としたか。		
滴水試験継手	・ 数量をその形式及び規格毎の個数としたか。		
鋼製支持架台等	・ 配管用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。		
3 計器類			
ポンプ付属品	・ ポンプ付属品と重複がないか確認したか。		
圧力計	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
4 保温・塗装			
保温	・ 保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。 ・ 配管の保温の数量を配管の長さとしたか。 ・ 弁類等の保温は呼び径が65A以上を計測の対象とし、保温の数量を個数としたか。 ・ バタフライ弁の保温を他の弁と分けたか。 ・ 弁類の保温外装の種別を図面・標準仕様書で確認したか。		
塗装	・ 配管の塗装及び防錆の数量を配管の長さとしたか。 ・ 支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。		

8. 給湯設備

8-1 給湯 機器

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 機器数量			
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。 ・ 煙道の数量を搬入・据付費までを含め一式としたか。 		
2 搬入・据付			
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内訳書への計上の単位を質量(t)としたか。 ・ 機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。 ・ 内訳書への計上の単位を人工数又は見積りによる金額としたか。 		
3 コンクリート基礎			
	コンクリート	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。また、鉄筋、電線管及び配管類による体積の欠除は無いものとしたか。 ・ 無筋コンクリートがある場合の基礎の高さを無筋コンクリートの厚さを加えたものとしたか。 	
	型枠	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数量をコンクリート側面の面積としたか。 	
	鉄筋	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さ、単位質量を乗じた質量としたか。 	
	モルタル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。 	
4 保温・塗装			
	保温	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。 ・ 機器及びタンク類の保温の数量を表面積としたか。 	
	塗装	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機器及びタンク類の塗装の数量を表面積としたか ・ 支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。 ・ 煙道の断熱材の数量を煙道の表面積としたか。 	

8-2 給湯 配管

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 配管			
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工上の分類により区分したか（屋内一般、機械室・便所など）。 ・ 形鋼振れ止め支持が必要な場合は、配管工事費の3%を計上したか。 ・ 配管類のためのスリーブ費を配管工事費に対し次の率で計上したか。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄筋コンクリート造は10% ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造は7% 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ デッキプレートの開口切断費を配管工事費に対し4%の率で計上したか。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給湯管の管材を確認したか。（膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む） 		
配管材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ ステンレス鋼鋼管 ・ 銅管 		

8-2 給湯 配管

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
2 配管付属品			
水栓類	・ 数量をその形式及び規格毎の個数としたか。		
弁類	・ 弁類の耐圧を確認したか。 : 図示		
	・ " : JIS又はJV5k		
	・ ステンレス鋼鋼管に取り付ける弁類を確認したか。 : 青銅製		
	・ " : ステンレス製		
	・ 青銅製の弁類を使用する場合は給水用(鉛レス)としたか。		
	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
防振継手	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
フレキシブルジョイント	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
鋼製支持架台等	・ 配管用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。		
3 計器類			
ポンプ付属品	・ ポンプ付属品と重複がないか確認したか。		
瞬間流量計	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
	・ 固定形の数量は設置数量としたか。		
	・ 着脱式の場合、メーターの必要個数とノズルの設置個数としたか。		
圧力計	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
温度計	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
4 保温・塗装			
保温	・ 保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。		
	・ 配管の保温の数量を配管の長さとしたか。		
	・ バタフライ弁の保温を他の弁と分けたか。		
	・ 弁類、ストレーナー等の保温は呼び径が65A以上を計測の対象とし、保温の数量を個数としたか。		
	・ ステンレス鋼鋼管の保温を75Suまでサイズダウンしたか。		
	・ 銅管の保温を40Aまでサイズダウンしたか。		
塗装	・ 配管の塗装及び防錆の数量を配管の長さとしたか。		
	・ 支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。		

9. 消火設備

9-1 消火 機器

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 機器数量			
	・ 機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。		
2 搬入・据付			
搬入	・ 内訳書への計上の単位を質量(t)としたか。		
据付	・ 機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。		
	・ 内訳書への計上の単位を人工数又は見積りによる金額としたか。		
3 コンクリート基礎			
コンクリート	・ コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。		
型枠	・ 数量をコンクリート側面の面積としたか。		
鉄筋	・ 数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さに、単位質量を乗じた質量としたか。		
モルタル	・ 数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。		
4 保温・塗装			
保温	・ 保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。		
	・ 機器及びタンク類の保温の数量を表面積としたか。		
塗装	・ 機器及びタンク類の塗装の数量を表面積としたか。		
	・ 支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。		

9-2 消火 器具類

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 消火器具類	・ 消火設備の器具の数量を屋内及び屋外消火栓箱、連結送水管等の形式及び、規格寸法毎の個数又は組数としたか。		
屋内消火栓種別	・ 屋内消火栓の種別を確認したか。		
	・ 屋内消火栓		
	・ 易操作性1号消火栓		
	・ 2号消火栓		

9-3 消火 配管

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 配管	・ 施工上の分類により区分したか（屋内一般、機械室・便所など）。		
	・ 形鋼振れ止め支持が必要な場合は、配管工事費の3%を計上したか。		
	・ 配管類のためのスリーブ費を配管工事費に対し次の率で計上したか。		
	・ 鉄筋コンクリート造は10%		
	・ 鉄骨鉄筋コンクリート造は7%		
	・ デッキプレートの開口切断費を配管工事費に対し4%の率で計上したか。		
配管材料	・ 配管材料を確認したか。		
	・ 図示による。 図示の管材：		
	・ 配管用炭素鋼鋼管（白）		
	・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）		
	・		
地中埋設配管の接合	・ 地中埋設配管及び接合を確認したか。		
	・ 外面被覆鋼管の呼び径100以下はねじ接合としたか。		
2 配管付属品			
弁類	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
防振継手	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
ルキパルポイント	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
弁装置	・ 弁装置の構成品の歩掛りを確認したか。		
	・ 弁装置の数量を規格及び口径毎の組数としたか。		
	・ 弁装置の構成品を歩掛りによる弁装置の数量としたか。		
	・ 弁装置の制御弁本体の価格は自動制御とし、据付労務のみを計上したか。		
屋内消火栓開閉弁	・ 屋内消火栓開閉弁の圧力を確認したか。		
	・ 10K		
鋼製支持架台等	・ 配管用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。		
3 計器類			
ポンプ付属品	・ ポンプ付属品と重複がないか確認したか。		
瞬間流量計	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
	・ 固定形の数量を設置数量としたか。		
	・ 着脱式の場合、メーターの必要個数とノズルの設置個数としたか。		
圧力計	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
4 保温・塗装			
保温	・ 保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。		
	・ 屋外露出部分の保温仕様の確認をしたか。		
	・ 有り：e3・(ハ)・V		
	・ 有り：		
	・ 無し		
	・ 配管の保温の数量を配管の長さとしたか。		
	・ 弁類、ストレーナー等の保温は呼び径が65A以上を計測の対象とし、保温の数量を個数としたか。		
	・ バタフライ弁の保温を他の弁と分けているか。		
塗装	・ 配管の塗装及び防錆の数量を配管の長さとしたか。		
	・ 支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。		

10. ガス設備

10-1 都市ガス設備

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 都市ガス設備			
	・ガス事業者の見積りとしたか。		
	・複数棟の場合は棟毎に区別がされているか確認したか。		
	・見積りに塗装、スリーブなどが含まれなかった場合、別途計上したか。		

10-2 液化石油ガス設備

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 機具類	集合装置	・接続するポンベ数としたか。	
		・自動切り替え調整装置としてのホース、バルブ、ヘッダ、計器類の他に転倒防止金物を含むものとし別途計上していないか。	
	感震センサー	・形式、仕様毎の数量としたか。	
	感震遮断弁	・形式、口径毎の数量としたか。	
	ガス漏水警報器	・形式、仕様毎の数量としたか。	
	ガス栓類	・仕様、呼び径毎の数量としたか。	
2 配管		・施工上の分類により区分したか（屋内一般、機械室・便所など）。	
		・形鋼振れ止め支持が必要な場合は、配管工事費の3%を計上したか。	
		・配管類のためのスリーブ費を配管工事費に対し次の率で計上したか。	
		・鉄筋コンクリート造は10%	
		・鉄骨鉄筋コンクリート造は7%	
		・デッキプレートの開口切断費を配管工事費に対し4%の率で計上したか。	
配管材料		・配管材料を確認したか。	
		・種類：	
3 配管付属品	弁類	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。	
	ルギア/ルギョイント	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。	
	鋼製支持架台等	・配管用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。	
4 保温・塗装	塗装	・配管の塗装及び防錆の数量を配管の長さとしたか。	
		・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。	

11. 厨房機器設備

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 機器数量			
		・機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。	
2 搬入・据付			
		・搬入・据付費は原則として標準歩掛り又は、大型機器等の場合、及び試験調整費は施工者の見積りとしているか。	
3 試験調整費			
		・据付後の点火試験、出力調整を確認したか。	

12. 屋外 給水設備
12-1 屋外給水 機器

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 機器数量	・ 機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。		
2 搬入・据付			
搬入	・ 内訳書への計上の単位を質量(t)としたか。		
据付	・ 機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。 ・ 内訳書への計上の単位を人工数又は見積りによる金額としたか。		
3 コンクリート基礎			
コンクリート	・ コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。		
型枠	・ 数量をコンクリート側面の面積としたか。		
鉄筋	・ 数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さ、単位質量を乗じた質量としたか。		
モルタル	・ 数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。		
4 保温・塗装			
保温	・ 保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。 ・ 機器及びタンク類の保温の数量を表面積としたか。		
塗装	・ 機器及びタンク類の塗装の数量を表面積としたか。 ・ 支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。		

12-2 屋外給水 配管

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 配管			
配管材料	・ 施工上の分類により区分したか（屋内一般、地中配管など）。 ・ 配管材料を確認したか。 ・ 地中埋設配管 : 塩ビライニング鋼管(VD) ・ // : ステンレス鋼管(SUS316) ・ // : ポリ粉体鋼管(PD) ・ // : ポリエチレン管 ・ // : ・ 水道直結配管 量水器までの引き込みは水道事業者の指定による。		
2 配管付属品			
水栓類	・ 数量をその形式及び規格毎の個数としたか。		
水栓柱	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。 ・ 水栓柱の材質を確認したか。 ・ 合成樹脂製 ・ 人造石とぎ出し製 ・ ステンレス製		
弁類	・ 弁類の耐圧を確認したか。 : 図示 ・ // : JIS又はJV10k ・ ステンレス鋼管に取り付ける弁類を確認したか。 : 青銅製 ・ // : ステンレス製 ・ ライニング鋼管に取り付ける弁類を確認したか。 : 青銅製(管端防食コア) ・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。 ・ 青銅製の弁類を使用する場合は給水用(鉛レス)としたか。		
防振継手	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
フレキシブルジョイント	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
弁装置	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の組数としたか。 ・ 弁装置の構成品の歩掛りを確認したか。 ・ 屋外露出の保温を行う弁類の保温外装をステンレス鋼板としたか。 ・ 弁装置の制御弁本体の価格は自動制御とし、据付労務のみを計上したか。		
鋼製支持架台等	・ 数量は鋼材の厚さ毎の質量としたか。		
地中埋設標	・ 数量を規格毎の個数としたか。 (地表面:コンクリート製 舗装面:鉄製)		
埋設表示テープ	・ 数量を埋設配管の長さとしたか。		

12-2 屋外給水 配管

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
3 計器類			
ポンプ付属品	・ポンプ付属品と重複がないか確認したか。		
量水器	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。 ・親メーター（○貸与品 ○買取品）、読取方式（○直読式 ○遠隔式） ・子メーター（○貸与品 ○買取品）、読取方式（○直読式 ○遠隔式）		
量水器樹	・水道事業者指定品（○貸与品 ○買取り） ・標準図MC形		
圧力計	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
4 保温・塗装			
保温	・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。 ・配管の保温の数量を配管の長さとしたか。 ・弁類、ストレーナー等の保温は呼び径が65A以上を計測の対象とし、保温の数量を個数としたか。 ・バタフライ弁の保温を他の弁と分けたか。		
塗装	・配管の塗装及び防錆の数量を配管の長さとしたか。 ・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。		
5 土工事			
根切り	・土工事の数量を他の土工事と重複のない数量としたか。		
埋め戻し土 ・盛土	・埋め戻し土の処理方法を確認したか。 ・根切り土の中の良質土 ただし○コンクリート管 ○樹脂管 ○ 管以外の周囲は山砂の類 ・山砂の類		
埋戻し	・数量を根切り数量から基準線以下の山砂・砂利地業等の体積を減じた体積としたか。		
建設発生土	・建設発生土の処理方法を確認したか。 ・処理方法：構内敷ならし ・処理方法：構内指定場所へのたい積 ・処理方法：場外搬出 ・数量を根切り数量から埋戻し数量を減じた体積としたか。		
砂利地業等	・配管類の砂利地業等の体積を根切り底面積に厚さを乗じた体積としたか。		
土工機械	・運搬費は他の土工事と内容を確認して計上したか。 ・排水設備を含む。 ・給水設備を含む。		

13. 屋外 排水設備
13-1 屋外排水 配管

チェック項目	チェック内容	確認 数	▼
1 配管			
配管材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配管材料を確認したか。 ・ 屋外埋設配管 : ビニル管 (REP-VU) ・ // : ビニル管 (RS-VU) ・ // : コンクリート管 ・ // : 		
2 排水柵類	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数量を形式、規格及び深さ毎の組数としたか。 ・ 柵の設置箇所の蓋の耐荷重を確認したか。 		
3 土工事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 根切り、埋戻し及び残土処分を計画数量とし、砂利地業等を設計数量としたか。 ・ 土工事の数量を他の土工事と重複のない数量としたか。 		
根切り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 根切りの数量を根切り幅に根切り長さ及び根切り深さを乗じた体積としたか。 		
埋め戻し土 ・ 盛土	<ul style="list-style-type: none"> ・ 埋め戻し土の処理方法を確認したか。 ・ 根切り土の中の良質土 ただし○コンクリート管 ○樹脂管 ○ 管以外の周囲は山砂の類 ・ 山砂の類 		
埋戻し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数量を根切り数量から基準線以下の山砂、砂利地業等の体積を減じた体積としたか。 		
建設発生土	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設発生土の処理方法を確認したか。 ・ 処理方法：構内敷ならし ・ 処理方法：構内指定場所へのたい積 ・ 処理方法：場外搬出 ・ 数量は、根切り数量から埋戻し数量を減じた体積としたか。 		
砂利地業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配管類の砂利地業等の体積を根切り底面積に厚さを乗じた体積としたか。 		
土工機械	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運搬費は他の土工事と内容を確認して計上したか。 ・ 排水設備に含む。 ・ 給水設備に含む。 		

数量算出チェックリスト (改修工事用)

業 務 名 _____

施 設 名 _____

業 務 受 注 者 名 _____

担 当 者 名

管 理 技 術 者 : _____

主任担当技術者（積算） : _____

担当技術者（積算） : _____

I. 基本事項

1. 基準類の確認

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
基準類	・適用となる設計図書及び基準類（適用年度）について確認したか。			
	・設計図書			
	・図面及び特記仕様書			
	・現場説明書			
	・図面及び現場説明書に対する質問回答			
	・公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成 年版）			
	・公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成 年版）			
	・公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（平成 年版）			
	・積算関係基準類			
	・公共建築工事積算基準（平成 年版）			
	・公共建築工事共通費積算基準（平成 年版）			
	・公共建築工事標準単価積算基準（平成 年版）			
	・公共建築設備数量積算基準（平成 年版）			
	・公共建築工事内訳書標準書式（設備工事編）（平成 年版）			
	・公共建築工事見積書標準書式（設備工事編）（平成 年版）			
・公共建築工事積算基準等資料（平成 年版）				

2. 数量基準

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
数量	・数量は、設計数量とする。ただし、計画数量を必要とする場合は、数量積算基準に示す方法としたか。			
設計寸法	・設計寸法とは、設計図書に表示された寸法、表示された寸法から計算によって得られる寸法及びスケール等により読み取ることのできる寸法をいう。			
単位	・計測・計算の単位は、原則としてm、㎡、m ³ 、kg及びtとするほか適切な単位としたか。ただし、少量の改修が点在する場合の数量は、箇所等の単位とする。			
有効数値	・計測・計算の有効数値は、原則として次としたか。			
	・端数の処理は、四捨五入とする。			
	・長さは、小数点第1位とする。			
	・面積、体積及び質量は、小数点第2位とする。			
	・CAD等の数量拾いのソフトを利用した場合の電子データの数値については、その数値を活用したか。			
	・内訳書の単価に対応する数量は、原則として小数点以下第1位を四捨五入し、整数としたか。			

3. 特記仕様書 一般共通事項

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
工事名称	・工事名称を確認したか。			
工事場所	・工事場所を確認したか。			
単価使用区分	・新営・改修等による他工事との使用単価（新営・改修）を確認したか。 ・新営単価 建物名： ・改修単価（入居者なし） 建物名： ・改修割増単価（入居者あり） 建物名：			
工事種目	・工事種目を確認したか。 ・建物・工事種目及び設備科目毎に数量の拾い分けをしたか。			
指定部分	・指定部分の有無を確認したか。 ・無し ・有り 工期：平成 年 月 日 範囲：			
予算区分	・予算の区分による拾い分けが必要か確認したか。（国交省担当者に確認） ・無し ・有り 範囲：			
関連工事	・本工事以外の関連工事があるか発注者に確認したか。 ・無し ・有り（ ・ 建築工事 ・ 電気設備工事 ・ ）			
発注範囲	・本工事において（発注しない）別途工事部分があるか確認したか。 ・無し ・有り 特記仕様書記載（ ・ ・ ） ・有り 図面記載（ ・ ・ ）			
負担金	・負担金の有無を確認したか。 ・無し ・有り（負担金額： 円）			
監督職員事務所	・監督職員事務所の有無を確認したか。（共通仮設に積み上げ） ・設けない ・設ける：既存建物内の一部を使用する。 ・設ける：構内に新設する。（規模及び仕上げの程度は現場説明書による。）			
施工調査	・事前調査の有無を確認したか。 ・別途工事 ・本工事 調査項目：			
足場その他	・足場その他を確認したか。 ・別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。 ・本工事で設置する。			
多湿箇所	・多湿箇所の有無を確認したか。 ・無し ・有り 室名：			
はつり補修	・はつりの方法について、図面に記載があるか確認したか。 ・記載有り（配管・スパイラルダクト）：手はつり ・ " "：ダイヤモンドカッター ・記載有り（長方形ダクト）：手はつり ・ " "：別途工事 ・記載無し：配管・スパイラルダクトのはつりはダイヤモンドカッターとしたか。 ・ " "：長方形ダクトは手はつりとしたか。			
非破壊検査	・溶接部の非破壊検査を確認したか。 ・別途工事 ・本工事 検査項目：			

Ⅱ. 新営工事共通事項

1. 空調設備

1-1 空調 機器設備

チェック項目	チェック内容	確認	
		仕	数
1 機器数量	・機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。		
	・機器単体に対する付属品・予備品の数量は本体に含み計測の対象外としたか。		
	・マルチパッケージ等の付属品・予備品を系統毎の付属品1式としたか。 (フィルター、リモコンスイッチ、リモコン配線等)		
	・冷媒配管の口径を見積書採用メーカーの口径としたか。		
	・FCUの付属品・予備品は付属品1式とし、図示された形式、型番毎の数量を計上したか。 (フィルター、表示ランプ等)		
	・煙道の数量を搬入・据付費までを含め1式としたか。		
2 搬入・据付			
搬入	・煙道・パネルタンク・大型機器等歩掛りの無い機器の搬入費を見積りとしたか。		
	・機器の寸法・質量を見積書採用メーカーの機器寸法・質量を採用したか。		
	・単独の機器の質量が100kg以上の機器としたか。		
	・対象とした質量は分割搬入の場合、各単体の機器の質量としたか。		
	・重量品(600kg/m3以上)は、質量に対応した数値による補正をしたか。		
	・容積品(600kg/m3未満)は、容積当たりの質量に対応した数値による補正をしたか。		
据付	・煙道・パネルタンク・大型機器等歩掛りに無い機器の据付費を見積りとしたか。		
	・機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。		
	・歩掛りのない機器は、見積り・類似機器の歩掛りを採用又は歩掛り補正としたか。		
3 コンクリート基礎			
	・工事区分が機械設備である事を確認したか。		
コンクリート	・コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。		
	・鉄筋、電線管及び配管類による体積の欠除は無いものとしたか。		
	・無筋コンクリートがある場合の基礎の高さを無筋コンクリートの厚さを加えたものとしたか。		
型枠	・型枠の数量をコンクリート側面の面積としたか。		
鉄筋	・鉄筋の数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さ、単位質量を乗じた質量としたか。		
モルタル	・モルタルの数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。		
4 保温・塗装			
保温	・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。		
	・機器及びタンク類の保温の数量を表面積としたか。		
	・熱源機器の保温は製造者の見積を参考とするか、または別途に計測するかを確認したか。		
	・煙道の断熱材の数量を煙道の表面積としたか。		
塗装	・機器類及びタンク類の塗装の数量を表面積としたか。		
	・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。		

1-2 空調 ダクト設備

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 ダクト	<ul style="list-style-type: none"> ・系統毎に計測したか。(SA、RA、OA、EA、各階、空調機毎など) ・ダクトの長さをダクト幅の中心線の長さとしたか。 ・曲がり部及び分岐部等のダクトは、中心線上を延長した直線を仮定して、その交点までの長さとしたか。 ・ダクトの数量をダンパー類及びたわみ継手による欠除はないものとしたか。 ・支持金物及び吊り金物は計測の対象としていないか。 ・制気口に接続するネック部の長さを確認したか。 (シーリングタイプ：0.2m、ユニバーサル形：0.3m) ・漸小又は漸大したかダクトの数量を变形前後の最大寸法に長さを乗じた面積としたか。 ・ダクトの種別を確認したか。：低速ダクト 高速ダクト ・多湿箇所はあるか。 室名(系統)： ・多湿箇所に使用するダクトをシール付としたか。 			
長方形ダクト	<ul style="list-style-type: none"> ・低圧ダクトの工法を確認したか。：アングルフランジ工法 ・：：コナボルト工法(共板フランジ工法) ・：：コナボルト工法(スライドフランジ工法) ・長方形ダクトの数量をダクト長さに周長を乗じた表面積としたか。 			
スパイラルダクト	<ul style="list-style-type: none"> ・スパイラルダクト及び円形ダクトの数量を口径毎の長さとしたか。 			
フレキシブルダクト	<ul style="list-style-type: none"> ・フレキシブルダクトの数量を材質、口径及び長さ毎の本数としたか。 			
鋼板製ダクト	<ul style="list-style-type: none"> ・防火区画の壁・床を貫通する鋼板製ダクト(1.6t)の数量を面積としたか。 			
チャンパー類	<ul style="list-style-type: none"> ・チャンパー類の数量を表面積としたか。 ・チャンパー類の内貼りの有無を確認したか。有の場合、仕様を確認したか。 ・ガラリ等に接続される面が全面の場合は、ガラリ等の面積を差し引いた表面積としたか。 ・点検口は図示を確認して寸法毎の数量としたか。 			
ボックス類	<ul style="list-style-type: none"> ・ボックスの内貼りの有無を確認したか。 ・線状吹出口ボックスの板厚はボックスの高さをもとにした板厚としたか。 			
消音エルボ	<ul style="list-style-type: none"> ・消音エルボの数量を数量積算基準による略算法による表面積としたか。 			
2 ダクト付属品				
吹出口及び吸込口	<ul style="list-style-type: none"> ・数量をその材質、形状及び寸法毎の個数としたか。 			
たわみ継手	<ul style="list-style-type: none"> ・送風機に接続した、たわみ継手の数量を送風機毎の組数としたか。 ・たわみ継手の数量を接続したダクト又は機器の周長としたか。 			
ダンパー	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンパーの数量を種類、寸法及び形状毎の個数としたか。 ・防煙ダンパーの復帰方式を確認したか。：遠隔復帰式 ・：：手動式 ・ピストンダンパーの復帰方式を確認したか。：遠隔復帰式 ・：：手動式 			
エアフィルター	<ul style="list-style-type: none"> ・エアフィルターの数量を形式毎の組数としたか。 			
ベントキャップ類	<ul style="list-style-type: none"> ・ベントキャップ及びウェザーカバーの数量を材質及び形状等毎の個数としたか。 			
鋼製支持架台等	<ul style="list-style-type: none"> ・ダクト用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。 			
3 計器類				
風量測定口	<ul style="list-style-type: none"> ・数量を測定口の材質及び形式毎の個数としたか。 ・取付位置を図面により確認したか。 ・ダクトサイズに対する取付個数を確認したか。 			
温度計	<ul style="list-style-type: none"> ・数量を材質及び形式毎の個数としたか。 			

1-3 空調 配管設備

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
2 配管付属品				
弁類	・弁類の耐圧を確認したか。 : 図示			
	・ " : JIS又はJV5k			
	・ステンレス鋼鋼管に取り付ける弁類を確認したか。 : 青銅製			
	・ " : ステンレス製			
	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
防振継手	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
伸縮管継手	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
フキツルポイント	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
	・鋼板製タンク類はベローズ形としたか。			
	・冷却塔・FRP製水槽類は合成ゴム製としたか。			
	・油系統を油用ベローズ形としたか。			
弁装置	・数量を形式、規格及び呼び径毎の組数としたか。			
	・弁装置の構成品の歩掛りを確認したか。			
	・弁装置の制御弁本体の価格は取付労務費のみを計上したか。			
	・蒸気の弁装置の保温は図示の無い場合、計上していないか確認したか。			
	・屋内露出の保温を行う弁類の保温外装をカラー鉄板としたか。			
	・屋内隠蔽の保温を行う弁類の保温外装を配管保温外装と同じとしたか。			
鋼製支持架台等	・配管用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。			
3 計器類				
ポンプ付属品	・ポンプ付属品と重複がないか確認したか。			
瞬間流量計	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
	・固定形の数量を設置数量としたか。			
	・着脱式の場合、メーターの必要個数とノズルの設置個数としたか。			
圧力計	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
	・蒸気用とその他用に拾い分けをしたか。			
温度計	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
4 保温・塗装				
保温	・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。			
	・配管の保温の数量を配管の長さとしたか。			
	・弁類、ストレーナー等の保温は呼び径が65A以上を計測の対象とし、保温の数量を個数としたか。			
	・バタフライ弁の保温を他の弁と分けたか。			
	・冷媒管の保温外装を確認したか。			
	・屋内露出箇所 : 保温化粧ケース			
	・屋内露出箇所 :			
	・屋内隠ぺい箇所 :			
	・屋外露出箇所 : ステンレス鋼板			
・屋外露出箇所 :				
塗装	・配管の塗装及び防錆の数量を配管の長さとしたか。			
	・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。			
文字標識等	・数量を建物の延べ面積に対応した工数としたか。			
案内板	・図面特記を確認したか。 m ²			

1-4 空調 総合調整

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 総合調整				
	・配管系統の数量を配管の長さとしたか。			
	・直接暖房の蒸気配管、空気抜き管、油管等を計測の対象としていないか。			
	・長方形ダクトの数量を表面積としたか。			
	・スパイラルダクトの数量を長さとしたか。			
	・パッケージ方式の機器、冷媒管は計測の対象としていないか。			
	・単独の全熱交換ユニット等の系統が独立しており風量調整を必要としないダクトを計測の対象としていないか。			
	・各階機械室内機器の数量をユニット形空調機及びコンパクト形空調機の台数としたか。			
	・ファンコイルユニットの数量をファンコイルユニットの台数としたか。			
	・主機械室内機器の数量を建物の延面積に対応した工数としたか。			
	・総合調整に必要な電力、水、ガス、油等を計測の対象としていないか。ただし、特殊な条件の場合に必要な数量としたか。			

2. 換気設備

2-1 換気 機器設備

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 機器数量	・機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。ただし、付属品は計測の対象としていないか。			
2 搬入・据付				
搬入	・機器の寸法・質量を見積書採用メーカーの機器寸法・質量を採用したか。 ・単独の機器の質量が100kg以上の機器としたか。 ・対象とした質量は分割搬入の場合、各単体の機器の質量としたか。 ・重量品(600kg/m ³ 以上)は、質量に対応した数値による補正をしたか。 ・容積品(600kg/m ³ 未満)は、容積当たりの質量に対応した数値による補正をしたか。			
据付	・大型機器等歩掛りの無い機器の搬入費を見積りとしたか。 ・機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。 ・歩掛りにない機器は、見積り・類似機器の歩掛りを採用又は歩掛り補正としたか。			
3 コンクリート基礎				
コンクリート	・工事区分が機械設備である事を確認したか。 ・コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。 ・鉄筋、電線管及び配管類による体積の欠除は無いものとしたか。 ・無筋コンクリートがある場合の基礎の高さを無筋コンクリートの厚さを加えたものとしたか。			
型枠	・型枠の数量をコンクリート側面の面積としたか。			
鉄筋	・鉄筋の数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さ、単位質量を乗じた質量としたか。			
モルタル	・モルタルの数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。			

2-2 換気 ダクト設備

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 ダクト	・ダクトの長さをダクト幅の中心線の長さとしたか。 ・曲がり部及び分岐部等のダクトは、中心線上を延長した直線を仮定して、その交点までの長さとしたか。 ・ダクトの数量をダンパー類及びたわみ継手による欠除はないものとしたか。 ・支持金物及び吊り金物は計測の対象としていないか。 ・制気口に接続するネック部の長さを確認したか。 (シーリングタイプ：0.2m、ユニバーサル形：0.3m) ・漸小又は漸大したダクトの数量を変形前後の最大寸法に長さを乗じた面積としたか。 ・厨房排気系統のダクト板厚を1サイズアップとしたか。 ・ダクトの種別を確認したか。：低速ダクト 高速ダクト ・多湿箇所はあるか。 室名(系統)： ・多湿箇所に使用するダクトをシール付としたか。			
長方形ダクト	・低圧ダクトの工法を確認したか。：アングルフランジ工法 ・ " "：コーナボルト工法(共板フランジ工法) ・ " "：コーナボルト工法(対付フランジ工法) ・長方形ダクトの数量をダクト長さに周長を乗じた表面積としたか。			
スパイラルダクト	・スパイラルダクト及び円形ダクトの数量を口径毎の長さとしたか。			
フレキシブルダクト	・フレキシブルダクトの数量を材質、口径及び長さ毎の本数としたか。			
鋼板製ダクト	・防火区画の壁・床を貫通する鋼板製ダクト(1.6t)の数量を面積としたか。			
チャンパー類	・チャンパー類の数量を表面積としたか。 ・チャンパー類の内貼りの有無を確認したか。有の場合、仕様を確認したか。 ・ガラリ等に接続される面が全面の場合は、ガラリ等の面積を差し引いた表面積としたか。 ・点検口は図示を確認して寸法毎の数量としたか。			
ボックス類	・ボックスの内貼りの有無を確認したか。			
消音エルボ	・消音エルボの数量を数量積算基準による略算法による表面積としたか。			

2-2 換気 ダクト設備

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
2 ダクト付属品				
吹出口及び吸込口	・数量をその材質、形状及び寸法毎の個数としたか。			
たわみ継手	・数量を接続したダクト又は機器の周長としたか。 ・送風機に接続した、たわみ継手の数量は送風機毎の組数としたか。			
ダンパー	・ダンパーの数量を種類、寸法及び形状毎の個数としたか。			
	・防煙ダンパーの復帰方式を確認したか。 : 遠隔復帰式			
	・ " : 手動式			
	・ピストンダンパーの復帰方式を確認したか。 : 遠隔復帰式			
・ " : 手動式				
エアフィルター	・エアフィルターの数量を形式毎の組数としたか。			
ベントキャップ類	・ベントキャップ及びウエザーカバーの数量を材質及び形状毎の個数としたか。			
排気フード	・数量を材質及び形状毎の個数としたか。			
鋼製支持架台等	・ダクト用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。			
3 計器類				
風量測定口	・数量を測定口の材質及び形式毎の個数としたか。			
	・取付位置を図面により確認したか。			
	・ダクトサイズに対する取付個数を確認したか。			
4 保温・塗装				
保温	・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。			
	・排気ダクトの保温を確認したか。 : 要 (範囲 : 、仕様 :)			
	・ " : 不要			
	・外気ダクトの保温を確認したか。 : 要 (範囲 : 、仕様 :)			
	・ " : 不要			
	・長方形ダクトの保温の数量をダクトの表面積としたか。			
	・スパイラルダクトの保温の数量は、350A以下は長さとしたか。			
	・スパイラルダクトの保温の数量は、350Aを超えるものは表面積としたか。			
	・チャンバー類の保温の数量は表面積としたか。			
	・消音エルボ等の保温の数量を表面積としたか。			
塗装	・ダクトの塗装の数量をダクトの表面積としたか。			
	・屋内露出箇所での塗装の箇所を確認したか。			
	・無し			
	・有り 室名 :			
	・チャンバー類の塗装の数量を表面積としたか。			
・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。				

2-3 換気 総合調整

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 総合調整				
	・系統が独立しており風量調整を必要としないダクトを計測の対象としていないか。			
	・長方形ダクトの数量を表面積としたか。			
	・スパイラルダクトの数量を長さとしたか。			
	・総合調整に必要な電力、水、ガス、油等を計測の対象としていないか。ただし、特殊な条件の場合は、必要な数量としたか。			

3. 排煙設備

3-1 排煙 機器設備

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 機器数量	・機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。ただし、付属品を計測の対象としていないか。			
2 搬入・据付				
搬入	・機器の寸法・質量を見積書採用メーカーの機器寸法・質量を採用したか。 ・単独の機器の質量が100kg以上の機器としたか。 ・対象とした質量は分割搬入の場合、各単体の機器の質量としたか。 ・重量品(600kg/m3以上)は、質量に対応した数値による補正をしたか。 ・容積品(600kg/m3未満)は、容積当たりの質量に対応した数値による補正をしたか。			
据付	・機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。 ・歩掛りにない機器は、見積り・類似機器の歩掛りを採用又は歩掛り補正としたか。			
3 コンクリート基礎				
コンクリート	・工事区分が機械設備である事を確認したか。 ・コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。 ・鉄筋、電線管及び配管類による体積の欠除は無いものとしたか。 ・無筋コンクリートがある場合の基礎の高さを無筋コンクリートの厚さを加えたものとしたか。			
型枠	・型枠の数量をコンクリート側面の面積としたか。			
鉄筋	・鉄筋の数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さ、単位質量を乗じた質量としたか。			
モルタル	・モルタルの数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。			

3-2 排煙 ダクト設備

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 ダクト共通	・ダクトの長さをダクト幅の中心線の長さとしたか。 ・ダクトの長さを曲がり部及び分岐部等のダクトは、中心線を延長した直線を仮定して、その交点までの長さとしたか。 ・支持金物及び吊り金物は計測の対象としていないか。 ・漸小又は漸大したかダクトの数量を变形前後の最大寸法に長さを乗じた面積としたか。 ・ダクトの数量をダンパー類による欠除はないものとしたか。			
長方形ダクト	・長方形ダクトの数量をダクト長さに周長を乗じた表面積としたか。			
円形ダクト	・円形ダクト及び円形ダクトの数量を口径毎の長さとしたか。			
チャンパー類	・チャンパー類の数量を表面積としたか。 ・ガラリ等に接続される面が全面の場合は、ガラリ等の面積を差し引いた表面積としたか。 ・点検口は図示を確認して寸法・数量を計上したか。			
2 ダクト付属品				
排煙口	・数量を種類、寸法及び形状毎の個数としたか。			
たわみ継手	・送風機に接続した、たわみ継手の数量は送風機毎の組数とし、仕様は排煙用としたか。			
ダンパー	・ダンパーの数量を種類、寸法及び形状毎の個数としたか。 ・防煙ダンパーの復帰方式を確認したか。 : 遠隔復帰式 ・ " " : 手動式 ・ピストンダンパーの復帰方式を確認したか。 : 遠隔復帰式 ・ " " : 手動式			
鋼製支持架台等	・排煙ダクトに使用するFDをHFDとしたか。 ・ダクト用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。			
3 計器類				
風量測定口	・数量を測定口の材質及び形式毎の個数としたか。 ・取付位置を図面により確認したか。 ・ダクトサイズに対する取付個数を確認したか。			

3-2 排煙 ダクト設備

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
4 保温・塗装				
保温	<ul style="list-style-type: none"> ・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。 ・長方形ダクトの保温の数量をダクトの表面積としたか。 ・円形ダクトの保温の数量は、350A以下は長さとしたか。 ・円形ダクトの保温の数量は、350Aを超えるものは表面積としたか。 			
塗装	<ul style="list-style-type: none"> ・ダクトの塗装の数量をダクトの表面積としたか。 ・チャンバー類の塗装の数量を表面積としたか。 ・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。 			

3-3 排煙 総合調整

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 総合調整	<ul style="list-style-type: none"> ・長方形ダクト系統の数量を表面積としたか。 ・円形ダクト数量を長さとしたか。 ・総合調整に必要な電力、水、ガス、油等を計測の対象としていないか。ただし、特殊な条件の場合は、必要な数量としたか。 			

4. 自動制御設備

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 自動制御設備	<ul style="list-style-type: none"> ・専門工事業者の見積りとしたか。 ・複数棟の場合は棟毎に区分けがされているか確認したか。 ・自動制御装置、中央監視制御装置、自動制御盤、計装工事、エンジニアリング費、調整費及び諸経費に区分しているか。 			

5. 衛生器具設備

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 衛生器具	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生器具は、本体及び水栓、止水栓、排水トラップ等の付属金物又は付属品を含めて一組としたか。 ・ユニットトイレ、大便器・小便器・洗面器ユニット、オストメイト対応ユニットをユニット毎の組数としたか。 ・オストメイト対応ユニットのライニング内配管が配管ユニットか、現場施工か確認したか。 ・身体障害者用として大便器、小便器、洗面器等の廻りに取付ける手摺等を含めていないか。 ・化粧棚、水石けん入れ、鏡、手摺り等の数量を組数又は個数としたか。 			
2 衛生器具の価格	<ul style="list-style-type: none"> ・単価は材料単価と市場単価（取付費）の合成単価としているか。 ・ユニットトイレ、大便器・小便器・洗面器ユニットを施工も含めた製造者の見積りとしたか。 			

6. 給水設備
6-1 給水 機器

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 機器数量	・機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。			
	・受水タンク、高置タンクでパネルタンクの場合は、ポンプ付属品のほか組立・水張り試験を含めた製造者の見積り等としたか。			
	・機器の付属品・予備品の価格は見積りに含め、計測の対象としていないか。			
2 搬入・据付				
搬入	・機器の寸法・質量は、見積書採用機器の寸法・質量を採用したか。			
	・単独の機器の質量が100kg以上の機器としたか。			
	・対象とした質量は分割搬入の場合、各単体の機器の質量としたか。			
	・重量品(600kg/m ³ 以上)は、質量に対応した数値による補正をしたか。			
	・容積品(600kg/m ³ 未満)は、容積当たりの質量に対応した数値による補正をしたか。			
据付	・パネルタンクの据付費を見積りとしたか。			
	・機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。			
	・歩掛りにない機器は、見積り・類似機器の歩掛りを採用又は歩掛り補正としたか。			
3 コンクリート基礎				
	・工事区分が機械設備である事を確認したか。			
コンクリート	・コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。また、鉄筋、電線管及び配管類による体積の欠除は無いものとしたか。			
	・無筋コンクリートがある場合の基礎の高さを無筋コンクリートの厚さを加えたものとしたか。			
型枠	・数量をコンクリート側面の面積としたか。			
鉄筋	・数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さに、単位質量を乗じた質量としたか。			
モルタル	・数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。			
4 保温・塗装				
保温	・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。			
	・機器及びタンク類の保温の数量を表面積としたか。			
塗装	・機器及びタンク類の塗装の数量を表面積としたか。			
	・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。			

6-2 給水 配管

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 配管	<ul style="list-style-type: none"> ・階単位又は部屋単位で拾ったか。 ・施工上の分類により区分したか（屋内一般、機械室・便所など）。 ・配管の数量を直線の長さとしたか。 ・曲がり部を始点及び終点に接して延長した直線の交点までの長さとしたか。 ・弁類、防振継手、伸縮管継手及びフレキシブルジョイント等の配管付属品による配管の欠除はないものとしたか。 ・支持金物及び吊り金物を計測の対象としていないか。 ・衛生器具に接続した配管の数量を立上り、立下り等を見込んだ長さとしたか。 ・形鋼振れ止め支持を必要とする配管を確認したか。 ・配管類のためのスリーブ施工に関する建物の構造を確認したか。 <ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋コンクリート造（対象：_____） ・鉄骨鉄筋コンクリート造（対象：_____） ・デッキプレートの開口切断の要否を確認したか。 			
配管材料	<ul style="list-style-type: none"> ・配管材料の確認をしたか。 ・一般配管 : 塩ビライニング鋼管 (O V A ○) ・ " : ステンレス鋼鋼管 (O SUS304 ○) ・ " : ポリ粉体鋼管 (O P A ○) ・ " : ・地中埋設配管 : 塩ビライニング鋼管 (V D) ・ " : ステンレス鋼鋼管 (O SUS316 ○) ・ " : ポリ粉体鋼管 (P D) ・ " : ・水道直結配管 : 引き込みは水道事業者の指定による。 ・ " : 量水器以降の地中埋設配管は (○) ・ " : 他の部分は一般配管による。 			
2 配管付属品				
水栓類	<ul style="list-style-type: none"> ・数量をその形式及び規格毎の個数としたか。 			
弁類	<ul style="list-style-type: none"> ・弁類の耐圧を確認したか。 : 図示 ・ " : JIS又はJV5k ・ステンレス鋼鋼管に取り付ける弁類を確認したか。 : 青銅製 ・ " : ステンレス製 ・ライニング鋼管に取り付ける弁類を確認したか。 : 青銅製(管端防食コア) ・青銅製の弁類を使用する場合は給水用(鉛レス)としたか。 ・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。 			
防振継手	<ul style="list-style-type: none"> ・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。 			
フレキシブルジョイント	<ul style="list-style-type: none"> ・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。 			
弁装置	<ul style="list-style-type: none"> ・弁装置の構成品の歩掛りを確認したか。 ・屋内露出の保温を行う65A以上の弁類の保温外装をカラー鉄板としたか。 ・弁装置の制御弁本体の価格は取付労務費のみを計上したか。 			
鋼製支持架台等	<ul style="list-style-type: none"> ・配管用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。 			
3 計器類				
ポンプ付属品	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ付属品と重複がないか確認したか。 			
量水器	<ul style="list-style-type: none"> ・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。 ・子メーター (○貸与品 ○買取品)、読取方式 (○直読式 ○遠隔式) 			
圧力計	<ul style="list-style-type: none"> ・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。 			
4 保温・塗装				
保温	<ul style="list-style-type: none"> ・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。 ・配管の保温の数量を配管の長さとしたか。 ・弁類、ストレーナー等の保温は呼び径が65A以上を計測の対象とし、保温の数量を個数としたか。 ・バタフライ弁の保温を他の弁と分けたか。 ・ステンレス鋼鋼管の保温を75Su以下については、1サイズダウンとしたか。 			
塗装	<ul style="list-style-type: none"> ・配管の塗装及び防錆の数量を配管の長さとしたか。 ・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。 			
文字標識等	<ul style="list-style-type: none"> ・数量を建物の延べ面積に対応した工数としたか。 			
案内板	<ul style="list-style-type: none"> ・図面特記を確認したか。 m² 			

7. 排水設備
7-1 排水 機器

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 機器数量	・機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。			
	・機器の付属品・予備品の価格を見積りに含め、計測の対象としていないか。			
2 搬入・据付				
搬入	・機器の寸法・質量は、見積書採用機器の寸法・質量を採用したか。			
	・単独の機器の質量が100kg以上の機器としたか。			
	・対象とした質量は分割搬入の場合、各単体の機器の質量としたか。			
	・重量品(600kg/m ³ 以上)は、質量に対応した数値による補正をしたか。			
据付	・容積品(600kg/m ³ 未満)は、容積当たりの質量に対応した数値による補正をしたか。			
	・機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。			
3 コンクリート基礎				
コンクリート	・工事区分が機械設備である事を確認したか。			
型枠	・コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。また、鉄筋、電線管及び配管類による体積の欠除は無いものとしたか。			
	・無筋コンクリートがある場合の基礎の高さを無筋コンクリートの厚さを加えたものとしたか。			
鉄筋	・数量をコンクリート側面の面積としたか。			
モルタル	・数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さ、単位質量を乗じた質量としたか。			
4 保温・塗装				
保温	・数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。			
	・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。			
塗装	・機器及びタンク類の保温の数量を表面積としたか。			
	・機器及びタンク類の塗装の数量を表面積としたか。			
・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。				

7-2 排水 配管

チェック項目	チェック内容	確認		▼	
		仕	数		
1 配管	・階単位又は部屋単位で拾ったか。				
	・施工上の分類により区分したか（屋内一般、機械室・便所など）。				
	・配管の数量を直線の長さとしたか。				
	・曲がり部を始点及び終点に接して延長した直線の交点までの長さとしたか。				
	・弁類、防振継手、伸縮管継手及びフレキシブルジョイント等の配管付属品による配管の欠除はないものとしたか。				
	・支持金物及び吊り金物を計測の対象としていないか。				
	・衛生器具に接続した配管の数量を立上り、立下り等を見込んだ長さとしたか。				
	・屋内配管を建物内から第一桝迄の長さとしたか。				
	・形鋼振れ止め支持を必要とする配管を確認したか。				
	・配管類のためのスリーブ施工に関する建物の構造を確認したか。				
	・鉄筋コンクリート造（対象：_____）				
	・鉄骨鉄筋コンクリート造（対象：_____）				
	・デッキプレートの開口切断の要否を確認したか。				
	配管材料	・配管材料の確認をしたか。			
		・屋内汚水管 : 排水用塩ビライニング鋼管			
・ " : 鉛管					
・ " : コーティング鋼管					
・ " :					
・屋内一般雑排水管 : 配管用炭素鋼鋼管（白）					
・ " : 鉛管					
・ " : 排水用塩ビライニング鋼管					
・一般用排水通気管 : 配管用炭素鋼鋼管（白）					
・ " : ビニル管（RF-VP）					
・ポンプアップ排水管 : 排水用ノントールエポキシ塗装鋼管					
・ " :					
2 配管付属品					
弁類	・弁類の耐圧を確認したか。 : 図示				
	・ " : JIS又はJV5k				
	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。				
防振継手	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。				
フレキシブルジョイント	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。				
排水金物類	・数量をその形式及び規格毎の個数としたか。				
満水試験継手	・数量をその形式及び規格毎の個数としたか。				
鋼製支持架台等	・配管用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。				
3 計器類					
ポンプ付属品	・ポンプ付属品と重複がないか確認したか。				
圧力計	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。				
4 保温・塗装					
保温	・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。				
	・配管の保温の数量を配管の長さとしたか。				
	・弁類等の保温は呼び径が65A以上を計測の対象とし、保温の数量を個数としたか。				
	・パタフライ弁の保温を他の弁と分けたか。				
	・弁類の保温外装の種別を図面・標準仕様書で確認したか。				
塗装	・配管の塗装及び防錆の数量を配管の長さとしたか。				
	・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。				

8. 給湯設備
8-1 給湯 機器

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 機器数量	<ul style="list-style-type: none"> ・機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。 ・ボイラー、ポンプ、タンクなどの機器価格は、付属品を含めて製造者の見積りとしているか。 ・機器の付属品・予備品の価格は見積りに含め、計測の対象としていないか。 ・煙道の数量を搬入・据付費までを含め一式としたか。 			
2 搬入・据付				
搬入	<ul style="list-style-type: none"> ・煙道の搬入費を見積りとしたか。 ・機器の寸法・質量は、見積書採用機器の寸法・質量を採用したか。 ・単体の機器の質量が100kg以上の機器としたか。 ・対象とした質量は分割搬入の場合、各単体の機器の質量としたか。 ・重量品(600kg/m3以上)は、質量に対応した数値による補正をしたか。 ・容積品(600kg/m3未満)は、容積当たりの質量に対応した数値による補正をしたか。 			
据付	<ul style="list-style-type: none"> ・煙道の据付費を見積りとしたか。 ・機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。 ・歩掛りにない機器は、見積り・類似機器の歩掛りを採用又は歩掛り補正としたか。 			
3 コンクリート基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・工事区分が機械設備である事を確認したか。 			
コンクリート	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。また、鉄筋、電線管及び配管類による体積の欠除は無いものとしたか。 ・無筋コンクリートがある場合の基礎の高さを無筋コンクリートの厚さを加えたものとしたか。 			
型枠	<ul style="list-style-type: none"> ・数量をコンクリート側面の面積としたか。 			
鉄筋	<ul style="list-style-type: none"> ・数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さ、単位質量を乗じた質量としたか。 			
モルタル	<ul style="list-style-type: none"> ・数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。 			
4 保温・塗装				
保温	<ul style="list-style-type: none"> ・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。 ・機器及びタンク類の保温の数量を表面積としたか。 			
塗装	<ul style="list-style-type: none"> ・機器及びタンク類の塗装の数量を表面積としたか。 ・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。 ・煙道の断熱材の数量を煙道の表面積としたか。 			

8-2 給湯 配管

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 配管	<ul style="list-style-type: none"> ・階単位又は部屋単位で拾ったか。 ・施工上の分類により区分したか（屋内一般、機械室・便所など）。 ・配管の数量を直線の長さとしたか。 ・曲がり部を始点及び終点に接して延長した直線の交点までの長さとしたか。 ・弁類、防振継手、伸縮管継手及びフレキシブルジョイント等の配管付属品による配管の欠除はないものとしたか。 ・支持金物及び吊り金物を計測の対象としていないか。 ・衛生器具に接続した配管の数量は、立上り、立下り等を見込んだ長さとしたか。 ・形鋼振れ止め支持を必要とする配管を確認したか。 ・配管類のためのスリーブ施工に関する建物の構造を確認したか。 <ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋コンクリート造（対象：_____） ・鉄骨鉄筋コンクリート造（対象：_____） ・デッキプレートの開口切断の要否を確認したか。 			
配管材料	<ul style="list-style-type: none"> ・給湯管の管材を確認したか。（膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む） <ul style="list-style-type: none"> ・ステンレス鋼鋼管 ・銅管 			

8-2 給湯 配管

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
2 配管付属品				
水栓類	・数量をその形式及び規格毎の個数としたか。			
弁類	・弁類の耐圧を確認したか。 : 図示			
	・ " : JIS又はJV5k			
	・ステンレス鋼鋼管に取り付ける弁類を確認したか。 : 青銅製			
	・ " : ステンレス製			
	・青銅製の弁類を使用する場合は給水用(鉛入)としたか。			
	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
防振継手	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
フレキシブルジョイント	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
鋼製支持架台等	・配管用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。			
3 計器類				
ポンプ付属品	・ポンプ付属品と重複がないか確認したか。			
瞬間流量計	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
	・固定形の数量は設置数量としたか。			
	・着脱式の場合、メーターの必要個数とノズルの設置個数としたか。			
圧力計	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
温度計	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
4 保温・塗装				
保温	・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。			
	・配管の保温の数量を配管の長さとしたか。			
	・バタフライ弁の保温を他の弁と分けたか。			
	・弁類、ストレーナー等の保温は呼び径が65A以上を計測の対象とし、保温の数量を個数としたか。			
	・ステンレス鋼鋼管の保温を75Suまでサイズダウンしたか。			
	・銅管の保温を40Aまでサイズダウンしたか。			
塗装	・配管の塗装及び防錆の数量を配管の長さとしたか。			
	・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。			

9. 消火設備

9-1 消火 機器

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 機器数量	・機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。			
	・機器の付属品・予備品の価格は見積りに含め、計測の対象としていないか。			
2 搬入・据付				
搬入	・機器の寸法・質量は、見積書採用機器の寸法・質量を採用したか。			
	・単独の機器の質量が100kg以上の機器としたか。			
	・対象とした質量は分割搬入の場合、各単体の機器の質量としたか。			
	・重量品(600kg/m ³ 以上)は、質量に対応した数値による補正をしたか。			
	・容積品(600kg/m ³ 未満)は、容積当たりの質量に対応した数値による補正をしたか。			
据付	・機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。			
	・歩掛りにない機器は、見積り・類似機器の歩掛りを採用又は歩掛り補正としたか。			
3 コンクリート基礎				
コンクリート	・工事区分が機械設備である事を確認したか。			
	・コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。			
	・鉄筋、電線管及び配管類による体積の欠除は無いものとしたか。 ・無筋コンクリートがある場合の基礎の高さを無筋コンクリートの厚さを加えたものとしたか。			
型枠	・数量をコンクリート側面の面積としたか。			
鉄筋	・数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さ、単位質量を乗じた質量としたか。			
モルタル	・数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。			
4 保温・塗装				
保温	・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。			
	・機器及びタンク類の保温の数量を表面積としたか。			
塗装	・機器及びタンク類の塗装の数量を表面積としたか。			
	・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。			

9-2 消火 器具類

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 消火器具類	・消火設備の器具の数量を屋内及び屋外消火栓箱、連結送水管等の形式及び、規格寸法毎の個数又は組数としたか。			
	・屋内消火栓の種別を確認したか。			
屋内消火栓種別	・屋内消火栓			
	・易操作性1号消火栓			
	・2号消火栓			

9-3 消火 配管

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 配管	・階単位又は部屋単位で拾ったか。			
	・施工上の分類により区分したか（屋内一般、機械室・便所など）。			
	・配管の数量を直線の長さとしたか。			
	・曲がり部を始点及び終点に接して延長した直線の交点までの長さとしたか。			
	・弁類、防振継手、伸縮管継手及びフレキシブルジョイント等の配管付属品による配管の欠除はないものとしたか。			
	・支持金物及び吊り金物を計測の対象としていないか。			
	・形鋼振れ止め支持を必要とする配管を確認したか。			
	・配管類のためのスリーブ施工に関する建物の構造を確認したか。			
	・鉄筋コンクリート造（対象：_____）			
	・鉄骨鉄筋コンクリート造（対象：_____）			
	・デッキプレートの開口切断の要否を確認したか。			
配管材料	・配管材料を確認したか。			
	・図示による。 図示の管材：			
	・配管用炭素鋼鋼管（白）			
	・圧力配管用炭素鋼鋼管（白）			
地中埋設配管の接合	・地中埋設配管及び接合を確認したか。			
	・外面被覆鋼管の呼び径100以下はねじ接合としたか。			
2 配管付属品				
弁類	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
防振継手	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
フレキシブルジョイント	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
弁装置	・弁装置の構成品の歩掛りを確認したか。			
	・弁装置の数量を規格及び口径毎の組数としたか。			
	・弁装置の構成品の歩掛りによる弁装置の数量としたか。			
	・弁装置の制御弁本体の価格は自動制御とし、据付労務のみを計上したか。			
屋内消火栓開閉弁	・屋内消火栓開閉弁の圧力を確認したか。 ・10K			
鋼製支持架台等	・配管用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。			
3 計器類				
ポンプ付属品	・ポンプ付属品と重複がないか確認したか。			
瞬間流量計	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
	・固定形の数量を設置数量としたか。			
	・着脱式の場合、メーターの必要個数とノズルの設置個数としたか。			
圧力計	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
4 保温・塗装				
保温	・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。			
	・屋外露出部分の保温仕様の確認をしたか。			
	・有り： $e \cdot 3 \cdot (\text{ハ}) \cdot V$			
	・有り：			
	・無し			
	・配管の保温の数量を配管の長さとしたか。			
	・弁類、ストレーナー等の保温は呼び径が65A以上を計測の対象とし、保温の数量を個数としたか。			
・バタフライ弁の保温を他の弁と分けているか。				
塗装	・配管の塗装及び防錆の数量を配管の長さとしたか。			
	・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。			

10. ガス設備

10-1 都市ガス設備

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 都市ガス設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス事業者の見積りとしたか。 ・複数棟の場合は棟毎に区分けがされているか確認したか。 ・見積りに塗装、スリーブなどがあるか確認したか。 ・見積り（及びアイソメ図）と図面に記載された配管口径、施工範囲などが一致しているか確認したか。 			
配管材料	<ul style="list-style-type: none"> ・配管材料を確認したか。 ・都市ガスの配管材料はガス事業者の供給約款による。 			
メーター	<ul style="list-style-type: none"> ・ガスメーターについて確認したか。 ・親メーター：貸与品 ・子メーター：買取 			
ガス漏れ警報器	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス漏れ警報器について確認したか。 ・本工事（図示による） <ul style="list-style-type: none"> 外部警報端子：有り 外部警報端子：無し ・別途工事 			

10-2 液化石油ガス設備

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 機具類				
集合装置	<ul style="list-style-type: none"> ・接続するボンベ数としたか。 ・自動切り替え調整装置としてのホース、バルブ、ヘッド、計器類の他に転倒防止金物を含むものとし別途計上していないか。 			
感震センサー	<ul style="list-style-type: none"> ・形式、仕様毎の数量としたか。 			
感震遮断弁	<ul style="list-style-type: none"> ・形式、口径毎の数量としたか。 			
ガス漏水警報器	<ul style="list-style-type: none"> ・形式、仕様毎の数量としたか。 			
ガス栓類	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様、呼び径毎の数量としたか。 			
2 配管	<ul style="list-style-type: none"> ・階単位又は部屋単位で拾ったか。 ・施工上の分類により区分したか（屋内一般、機械室・便所など）。 ・配管の数量を直線の長さとしたか。 ・曲がり部を始点及び終点に接して延長した直線の交点までの長さとしたか。 ・弁類、防振継手、伸縮管継手及びフレキシブルジョイント等の配管付属品による配管の欠除はないものとしたか。 ・支持金物及び吊り金物を計測の対象としていないか。 ・形鋼振れ止め支持を必要とする配管を確認したか。 ・配管類のためのスリーブ施工に関する建物の構造を確認したか。 <ul style="list-style-type: none"> 鉄筋コンクリート造（対象： ） 鉄骨鉄筋コンクリート造（対象： ） ・デッキプレートの開口切断の要否を確認したか。 			
配管材料	<ul style="list-style-type: none"> ・配管材料を確認したか。 ・種類： 			
3 配管付属品				
弁類	<ul style="list-style-type: none"> ・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。 			
フレキシブルジョイント	<ul style="list-style-type: none"> ・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。 			
鋼製支持架台等	<ul style="list-style-type: none"> ・配管用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。 			
4 保温・塗装				
塗装	<ul style="list-style-type: none"> ・配管の塗装及び防錆の数量を配管の長さとしたか。 ・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。 			

1.1. 厨房機器設備

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 機器数量	・機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。			
	・機器の付属品・予備品の価格を見積りに含め、計測の対象としていないか。			
2 搬入・据付	・搬入・据付費は原則として標準歩掛り又は、大型機器等の場合、及び試験調整費は施工者の見積りとしているか。			
3 試験調整費	・据付後の点火試験、出力調整を確認したか。			

1.2. 屋外給水設備

1.2-1 屋外給水 機器

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 機器数量	・機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。			
	・(屋外設置の場合の)受水タンクでパネルタンクの場合は、ポンプ付属品のほか組立・水張り試験を含めた製造者の見積り等としているか。			
	・機器の付属品・予備品の価格を見積りに含め、計測の対象としていないか。			
2 搬入・据付				
搬入	・機器の寸法・質量は、見積書採用機器の寸法・質量を採用したか。			
	・単独の機器の質量が100kg以上の機器としたか。			
据付	・対象とした質量は分割搬入の場合、各単体の機器の質量としたか。			
	・重量品(600kg/m ³ 以上)は、質量に対応した数値による補正をしたか。			
	・容積品(600kg/m ³ 未満)は、容積当たりの質量に対応した数値による補正をしたか。			
	・パネルタンクの据付費を見積りとしたか。			
	・機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。			
3 コンクリート基礎				
コンクリート	・工事区分が機械設備である事を確認したか。			
	・コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。			
	・鉄筋、電線管及び配管類による体積の欠除は無いものとしたか。			
型枠	・数量をコンクリート側面の面積としたか。			
鉄筋	・数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さ、単位質量を乗じた質量としたか。			
モルタル	・数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。			
4 保温・塗装				
保温	・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。			
	・機器及びタンク類の保温の数量を表面積としたか。			
塗装	・機器及びタンク類の塗装の数量を表面積としたか。			
	・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。			

12-2 屋外給水 配管

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 配管	・配管の数量を直線の長さとしたか。			
	・施工上の分類により区分したか（屋内一般、地中配管など）。			
	・曲がり部を始点及び終点に接して延長した直線の交点までの長さとしたか			
	・弁類、防振継手、伸縮管継手及びフレキシブルジョイント等の配管付属品による配管の欠除はないものとしたか。			
	・水栓柱等に接続した配管の数量を立上り、立下り等を見込んだ長さとしたか。			
	・建築物導入部の変位吸収配管要領を確認したか。			
	・支持金物及び吊り金物を計測の対象としていないか。			
配管材料	・配管材料を確認したか。			
	・地中埋設配管：塩ビライニング鋼管(VD)			
	・ “ ”：ステンレス鋼管(SUS316)			
	・ “ ”：ポリ粉体鋼管(PD)			
	・ “ ”：ポリエチレン管			
・水道直結配管 量水器までの引き込みは水道事業者の指定による。				
管の地中埋設深さ	・配管の埋設深さを確認したか。			
	・車両通行部分は管の上端より600mm以上。			
	・車両通行部以外の部分は管の上端より300mm以上。			
	・寒冷地の場合は、管の上端より凍結深度(mm)以上			
2 配管付属品				
水栓類	・数量をその形式及び規格毎の個数としたか。			
水栓柱	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
	・水栓柱の材質を確認したか。			
	・合成樹脂製			
	・人造石とぎ出し製			
弁類	・弁類の耐圧を確認したか。：図示			
	・ “ ”：JIS又はJV10k			
	・ステンレス鋼管に取り付ける弁類を確認したか。：青銅製			
	・ “ ”：ステンレス製			
	・ライニング鋼管に取り付ける弁類を確認したか。：青銅製(管端防食コア)			
・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。				
・青銅製の弁類を使用する場合は給水用(鉛入)としたか。				
防振継手	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
フレキシブルジョイント	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
弁装置	・数量を形式、規格及び呼び径毎の組数としたか。			
	・弁装置の構成品の歩掛りを確認したか。			
	・屋外露出の保温を行う弁類の保温外装をステンレス鋼板としたか。			
・弁装置の制御弁本体の価格は自動制御とし、据付労務のみを計上したか。				
鋼製支持架台等	・数量は鋼材の厚さ毎の質量としたか。			
地中埋設標	・数量を規格毎の個数としたか。 (地表面：コンクリート製 舗装面：鉄製)			
埋設表示テープ	・数量を埋設配管の長さとしたか。			
3 計器類				
ポンプ付属品	・ポンプ付属品と重複がないか確認したか。			
量水器	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
	・親メーター(○貸与品 ○買取品)、読取方式(○直読式 ○遠隔式)			
	・子メーター(○貸与品 ○買取品)、読取方式(○直読式 ○遠隔式)			
量水器樹	・水道事業者指定品(○貸与品 ○買取り)			
	・標準図MC形			
圧力計	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
4 保温・塗装				
保温	・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。			
	・配管の保温の数量を配管の長さとしたか。			
	・弁類、ストレーナー等の保温は呼び径が65A以上を計測の対象とし、保温の数量を個数とし			
	・バタフライ弁の保温を他の弁と分けたか。			
塗装	・配管の塗装及び防錆の数量を配管の長さとしたか。			
	・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。			

12-2 屋外給水 配管

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
5 土工事	・ 樹類の土工事は歩掛りに含まれているので、別途加算していないか。			
	・ 根切り、埋戻し及び残土処分は計画数量とし、砂利地業等は設計数量としたか。			
	・ 土工事の計測・計算を原則として設計地盤（基準線）からにしたか。			
	・ 土の掘削による土砂量の増加及び締め固めによる土砂量の減少はないものとしたか。			
根切り	・ 土工事の数量を他の土工事と重複のない数量としたか。			
	・ 数量を根切り幅に根切り長さ及び根切り深さを乗じた体積としたか。			
	・ 舗装がある場合、根切り深さから舗装厚分の差引き確認をしたか。			
	・ 根切り深さが1.5m未満の場合は直掘り工法としたか。			
	・ 直掘り工法で根切り深さ1m未満の場合の余幅は0.2mとしたか。			
	・ 根切り深さ1m以上1.5m未満の場合の余幅は0.4mとしたか。			
埋め戻し土 ・ 盛土	・ 埋め戻し土の処理方法を確認したか。			
	・ 根切り土の中の良質土 ただし○コンクリート管 ○樹脂管 ○ 管以外の周囲は山砂の類			
	・ 山砂の類			
埋戻し	・ 数量を根切り数量から基準線以下の山砂・砂利地業等の体積を減じた体積としたか。			
	・ 呼び径が200Aを超える埋設配管類の体積を減じたか。			
建設発生土	・ 建設発生土の処理方法を確認したか。			
	・ 処理方法：構内敷ならし			
	・ 処理方法：構内指定場所へのたい積			
	・ 処理方法：場外搬出			
砂利地業等	・ 数量を根切り数量から埋戻し数量を減じた体積としたか。			
	・ 配管類の砂利地業等の体積を根切り底面積に厚さを乗じた体積としたか。			
土工機械	・ 運搬費は他の土工事と内容を確認して計上したか。			
	・ 排水設備を含む。			
	・ 給水設備を含む。			

13. 屋外 排水設備
13-1 屋外排水 配管

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 配管	・配管の数量を排水桝の中心間における長さとしたか。			
配管材料	・配管材料を確認したか。			
	・屋外埋設配管 : ビニル管(REP-VU)			
	・ // : ビニル管(RS-VU)			
	・ // : コンクリート管			
	・ // :			
2 排水桝類	・数量を形式、規格及び深さ毎の組数としたか。			
	・桝の設置箇所の蓋の耐荷重を確認したか。			
3 土工事	・桝類(コンクリート製)の土工事は歩掛りに含まれているので、配管長による土工事からその分を差し引いているか。			
	・プラスチック桝の土工事は歩掛りに含まれていないので、配管長による土工事からの差し引きをしてしまっていないか。			
	・根切り、埋戻し及び残土処分を計画数量とし、砂利地業等を設計数量としたか。			
	・土工事の計測・計算を設計地盤(基準線)からにしたか。			
	・土の掘削による土砂量の増加及び締め固めによる土砂量の減少はないものとしたか。			
	・土工事の数量を他の土工事と重複のない数量としたか。			
根切り	・根切りの数量を根切り幅に根切り長さ及び根切り深さを乗じた体積としたか。			
	・根切り深さを根切り基準線から排水管の底面までの深さに、均し(捨)コンクリート及び砂利地業等の厚さを加えた平均の深さとしたか。			
	・根切りの方法を根切り深さが1.5m未満の場合は直掘り工法とし、1.5m以上の場合は法付け工法としたか。			
	・法付け工法の法幅を根切り深さに0.3を乗じたものとしたか。			
	・法付け工法の作業上のゆとり幅を配管類においては0.3mとしたか。			
	・直掘り工法で根切り深さ1m未満の場合の余幅を配管類においては0.2mとしたか。			
	・根切り深さ1m以上1.5m未満の場合の余幅を配管類においては0.4mとしたか。			
埋め戻し土 ・盛土	・埋め戻し土の処理方法を確認したか。			
	・根切り土の中の良質土			
	ただし○コンクリート管 ○樹脂管 ○ 管以外の周囲は山砂の類			
	・山砂の類			
埋戻し	・数量を根切り数量から基準線以下の山砂、砂利地業等の体積を減じた体積としたか。			
	・呼び径が200Aを越える埋設配管類の体積は減じたか。			
建設発生土	・建設発生土の処理方法を確認したか。			
	・処理方法: 構内敷ならし			
	・処理方法: 構内指定場所へのたい積			
	・処理方法: 場外搬出			
	・数量は、根切り数量から埋戻し数量を減じた体積としたか。			
砂利地業	・配管類の砂利地業等の体積を根切り底面積に厚さを乗じた体積としたか。			
土工機械	・運搬費は他の土工事と内容を確認して計上したか。			
	・排水設備に含む。			
	・給水設備に含む。			

Ⅲ. 改修工事

以下記載なき事項は、Ⅱ. 新営工事共通事項による。

1-1 直接仮設

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 足場・養生等				
外部足場	・外部足場の数量を足場の中心の水平長さ×構築物等の上部までの高さによる面積としたか。 また、安全手すりの数量は足場の水平長さとしたか。 ・足場の種別を確認したか。(○ 種、○ 種、○ 種、○ 種)			
内部足場	・内部足場の数量を対象面積としたか。なお、階高が4m以上の内部足場を高さに応じた足場とし、その数量は足場の区分に応じた対象面積としたか。 ・足場の種別を確認したか。(○ 種、○ 種、○ 種、○ 種)			
仮設間仕切り	・仮設間仕切りの数量を種別に応じた対象面積としたか。			
搬入経路の養生	・資材搬入通路(廊下、階段室、ホール等)の数量を通路幅を2mとした床面としたか。ただし、対象とした幅が2m未満の場合をその幅としたか。			
Eレベーターの養生	・エレベーターの数量をかご内の壁面積(壁の長さ×養生に必要な高さ)及び床面積としたか。			

1-2 撤去工事

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 共通事項				
撤去の区分け	・新設の歩掛りに対する撤去の補正率を確認したか。			
専門工事	・撤去後に再使用しないものと再使用するものを区別したか。			
	・複数棟の場合は棟毎、改修の場合は撤去と新設の区分けを確認したか。			
2 機器類				
撤去	・大型機器の撤去費は製造業者等からの見積りを参考としたか。 ・内訳書への計上の単位を人工数又は見積りによる金額としたか。			
搬出	・標準歩掛りを用いて撤去する機器の搬出費は搬入費の90%としたか。 ・分割して搬出する機器は、分割後の各部材を1個の機器としての質量及び容積の算定をしたか。 ・内訳書への計上の単位を質量(t)としたか。			
3 ダクト				
長方形ダクト	・長方形ダクトの数量をダクト長さに周長を乗じた表面積としたか。			
スパイラルダクト	・スパイラルダクト及び円形ダクトの数量を口径毎の長さとしたか。			
フレキシブルダクト	・フレキシブルダクトの数量を材質、口径及び長さ毎の本数としたか。			
鋼板製ダクト	・防火区画の壁・床を貫通する鋼板製ダクト(1.6t)の数量を面積としたか。			
チャンパー類	・チャンパー類の数量を表面積としたか。			
消音エルボ	・消音エルボの数量を略算法による表面積としたか。			
4 ダクト付属品				
制気口	・吹出口及び吸込口の数量をその材質、形状及び寸法毎の個数としたか。			
たわみ継手	・送風機に接続した、たわみ継手の数量は送風機毎の組数としたか。 ・たわみ継手の数量を接続したかダクト又は機器の周長としたか。			
ダンパー	・ダンパーの数量を種類、寸法及び形状毎の個数としたか。			
ベントキャップ類	・ベントキャップ及びウェザーカバーの数量を材質及び形状毎の個数としたか。			
5 配管				
	・配管の数量を直線の長さとしたか。			
配管付属品	・配管の撤去に伴う、弁類、継手等の数量を呼び径65以上を対象とし、形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			
計器類	・計器類の撤去を計上していないか。			
保温	・機器類の保温の数量を保温の仕様毎の表面積としたか。 ・長方形ダクトの保温の数量をダクトの表面積としたか。 ・スパイラルダクトの保温の数量をダクト表面積としたか。 ・チャンパー類の保温の数量をチャンパー類の表面積としたか。 ・配管の保温の数量を配管の長さとしたか。 ・弁類の保温の数量を呼び径65以上を対象とし、形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。			

1-3 あと施工アンカー

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
あと施工アンカー	<ul style="list-style-type: none"> 改修工事における、配管・ダクトに適用したか。 数量を種類及び仕様等により区分したか。 形鋼振れ止め支持に用いるあと施工アンカーを計測の対象としていないか。 			

1-4 切断（切離し）・接続・閉塞

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 切断・接続	<ul style="list-style-type: none"> 切断（切離し）・接続・閉塞を配管・ダクトに区分したか。 			
配管	<ul style="list-style-type: none"> 配管の切断（切離し）、接続部（分流・合流含む）の数量を切断（切離し）、接続される既設配管の管種及び呼び径毎の箇所数としたか。 既設配管に予め分岐、合流のための接続措置が施されている場合又は弁類への接続を計測の対象としていないか。 既設配管の端部閉塞処置の数量を呼び径毎の箇所数としたか。 			
ダクト	<ul style="list-style-type: none"> 設計図書に対象範囲が指定されている場合は、その数量としたか。 既設ダクトの閉塞処置の数量を閉塞部の開口面積毎の箇所数としたか。 			

1-5 総合調整

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
総合調整	<ul style="list-style-type: none"> 主機械室内機器の数量は、建物の延面積に対応した工数を、改修面積及び内容等により補正した工数としたか。 			

1-6 発生材処分

チェック項目	チェック内容	確認		▼
		仕	数	
1 石綿含有品	<ul style="list-style-type: none"> 石綿含有分析調査について確認したか。 別途工事 本工事 撤去方法・図示による 			
2 発生材の処理				
金属類	<ul style="list-style-type: none"> 金属類の処理について確認したか。 物品管理者に引き渡し 構外搬出適切処理 			
特別管理 産業廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> 特別管理産業廃棄物の処理について確認したか。 別途 構外搬出適切処理 			
石綿含有 産業廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> 石綿含有産業廃棄物の処理について確認したか。 別途 構外搬出適切処理 			
撤去オイルタンク の内部処理	<ul style="list-style-type: none"> 撤去するオイルタンクの内部洗浄、中和処理等について確認したか。 別途 本工事 			
空調機器類撤去 に伴う処理	<ul style="list-style-type: none"> 冷媒（フロン類）の回収について確認したか。 別途 本工事 吸収液（臭化リチウム水溶液）、潤滑油等の回収について確認したか。 別途 本工事 家電リサイクル法対象機器の有無を確認したか。 別途 本工事 			
上記以外のもの	<ul style="list-style-type: none"> 上記以外のものについて確認したか。 別途 構外搬出適切処理 			

IV. 見積書

1 見積依頼書の作成

1-1 共通事項

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		仕	
見積書式			
機器類	・機器類等は公共建築工事見積書標準書式（設備工事編）を使用したか。 ・見積書標準書式に該当の無い機器類は類似機器の見積書標準書式を修正して使用したか。		
専門工事	・特記仕様等と設計図書を確認したか。 ・専門工事業者の見積による場合は、専門工事業者の諸経費を計上したか。		
工事名称	・工事名称を確認したか。		
工事場所	・工事場所を確認したか。		
見積有効期限	・契約日等を考慮し、必要とする日数を検討して記入したか。 (通常は3ヶ月又は90日、必要により6ヶ月等)		

1-2 機器類の見積依頼書作成

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		仕	
見積依頼			
仕様	・標準仕様書を適用『する』『しない』の記載を確認したか。 ・機器表と見積書の仕様に違いはないか確認したか。 ・電気容量は、kW表示であるか確認したか。 ・煙道の仕様・形状を特記仕様書・設計図面により確認したか。 ・ファンコイルユニットの予備品・付属品及び数量を確認したか。 ・パッケージ形空調機等の予備品・付属品及び数量を確認したか。 ・自動制御設備等の専門工事で、電線管の塗装の有無を確認したか。		
特記事項欄	・標準仕様書の適用・不適用を確認したか。 ・見積書式と機器表の特記事項欄の項目を確認し必要事項を追記したか。 ・付属品・予備品の有無・数量を確認したか。 ・グリーン購入法が適用された機材であるか確認したか。		
金額欄	・予備品・付属品が必要な場合は記載欄を追加したか。 ・据付を見積による場合は、人工数と単価を記入するようにしたか。 (歩掛り及び労務単価確認の為)		
その他	・都市ガス・自動制御等で建物毎・屋外等の分けが必要な場合は、建物毎の分けが図面に明記されているか確認し、分けの依頼を明確にしたか。(複数棟ある場合は棟毎・屋外に分ける。撤去と新設は分ける。等)		

2 見積書収集後の確認

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		仕	
見積書の確認			
工事名称	・工事名称を確認したか。		
工事場所	・工事場所を確認したか。		
見積有効期限	・必要とする日数としたか。		
製造者欄の確認	・社名、社印、担当者印、連絡先等を確認したか。		
製造者記載事項	・電動機容量・燃料消費量等は記載数値以下になっているか確認したか。 ・機器の性能、容量等は記載数値以上になっているか確認したか。 ・記載内容により、図面修正を検討したか。 ・見積り条件に対する記載内容を確認し、採用・不採用を判断したか。 ・衛生器具等で型番を記載した器具等の型番を比較確認したか。 また、型番に相違がある場合図面の訂正を依頼したか。		
金額欄	・本体価格・付属品等の各価格の記入に漏れはないか確認したか。 ・価格の計算に間違いはないか確認したか。 ・金額欄に、「付属品が本体価格に含まれているか」確認したか。		
見積比較表の作成	・各製造者の見積金額を比較し極端な価格差が見られた場合、見積り作成者に詳細を確認したか。		
その他	・都市ガス・自動制御等で建物毎・屋外等の分けが必要な場合は、依頼のとおり分けがされているか確認したか。（複数棟ある場合は棟毎・屋外に分ける。改修と撤去は分ける。等）		

積算数量調書チェックリスト (改修工事用)

業 務 名 _____

施 設 名 _____

業 務 受 注 者 名 _____

担 当 者 名

管 理 技 術 者 : _____

主任担当技術者（積算） : _____

担当技術者（積算） : _____

I. 基本事項

1. 基準類の確認

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
基準類			
	<ul style="list-style-type: none"> ・適用となる基準類とその適用年度について確認したか。 ・公共建築工事内訳書標準書式（設備工事編）（平成 年版） 		

2. 内訳書の記載内容

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
内訳書の記載内容 種目別内訳書			
	<ul style="list-style-type: none"> ・直接工事費の種目を設計図書の表示に従い各工事種目毎に区分したか。 ・全体工事のうち、一部分について全体工期より先に完成を指定した部分(指定部分)等がある場合は、当該部分を区分して記載したか。 		
科目別内訳書	・設計図書の工事種目等を標準として直接工事費を科目に区分しその科目を記載したか。		
中科目別内訳書	・科目別内訳において区分した科目をさらに主要な構成に従い区分し、その中科目を記載したか。ただし、工事内容等により区分する必要がない場合は、省略したか。		
細目別内訳書	・各科目あるいは中科目に属する細目毎に数量、単価、金額を記載したか。なお、必要に応じ別紙明細書を設け、1式で記載したか。		
	・仮設に要する費用、機械器具等、運搬費等で各科目に区分できる専用仮設は、当該科目の細目に記載したか。		
	・摘要欄は、材種、材質、形状、寸法、工法、その他単価に対応する条件などを記載したか。		

3. 特記仕様書との照合

チェック項目	チェック内容	確認数	▼
特記仕様書			
工事名称	・ 工事名称を確認したか。		
工事場所	・ 工事場所を確認したか。		
単価使用区分	・ 新営・改修等による他工事との使用単価（新営・改修）を確認したか。 ・ 新営単価 建物名： ・ 改修単価（入居者なし） 建物名： ・ 改修割増単価（入居者あり） 建物名：		
工事種目	・ 工事種目を確認したか。 ・ 建物・工事種目及び設備科目毎に数量の拾い分けをしたか。		
指定部分	・ 指定部分の有無を確認したか。 ・ 無し ・ 有り 工期：平成 年 月 日 範囲：		
予算区分	・ 予算の区分による拾い分けが必要か確認したか。（国交省担当者に確認） ・ 無し ・ 有り 範囲：		
関連工事	・ 本工事以外の関連工事があるか発注者に確認したか。 ・ 無し ・ 有り（ ・ 建築工事 ・ 電気設備工事 ・ ）		
発注範囲	・ 本工事において（発注しない）別途工事部分があるか確認したか。 ・ 無し ・ 有り 特記仕様書記載（ ・ ・ ） ・ 有り 図面記載（ ・ ・ ）		
負担金	・ 負担金の有無を確認したか。 ・ 無し ・ 有り（負担金額： 円）		
監督職員事務所	・ 監督職員事務所の有無を確認したか。（共通仮設に積み上げ） ・ 設けない ・ 設ける：既存建物内の一部を使用する。 ・ 設ける：構内に新設する。（規模及び仕上げの程度は現場説明書による。）		
施工調査	・ 事前調査の有無を確認したか。 ・ 別途工事 ・ 本工事 調査項目：		
足場その他	・ 足場その他を確認したか。 ・ 別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。		
はつり補修	・ はつりの方法について、図面に記載があるか確認したか。 ・ 記載有り（配管・スパイラルダクト）：手はつり ・ “ ”：ダイヤモンドカッター ・ 記載有り（長方形ダクト）：手はつり ・ “ ”：別途工事 ・ 記載無し：配管・スパイラルダクトのはつりはダイヤモンドカッターとしたか。 ・ “ ”：長方形ダクトは手はつりとしたか。		
非破壊検査	・ 溶接部の非破壊検査を確認したか。 ・ 別途工事 ・ 本工事 検査項目：		

II. 新営工事共通事項

1. 空調設備

1-1 空調 機器設備

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 機器数量	・ 機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。		
	・ 機器単体に対する付属品・予備品の数量は本体に含み計測の対象外としたか。		
	・ マルチパッケージ等の付属品・予備品を系統毎の付属品1式としたか。 (フィルター、リモコンスイッチ、リモコン配線等)		
	・ FCUの付属品・予備品は付属品1式とし、図示された形式、型番毎の数量を計上したか。 (フィルター、表示ランプ等)		
	・ 煙道の数量を搬入・据付費までを含め1式としたか。		
	・ 内訳書摘要への記載を図面と整合したか。		
2 搬入・据付			
搬入	・ 内訳書への計上の単位を質量(t)としたか。		
据付	・ 機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。		
	・ 内訳書への計上の単位を人工数又は見積りによる金額としたか。		
3 コンクリート基礎			
コンクリート	・ コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。		
	・ 無筋コンクリートがある場合の基礎の高さを無筋コンクリートの厚さを加えたものとしたか。		
型枠	・ 型枠の数量をコンクリート側面の面積としたか。		
鉄筋	・ 鉄筋の数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さ、単位質量を乗じた質量としたか。		
モルタル	・ モルタルの数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。		
4 保温・塗装			
保温	・ 保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。		
	・ 機器及びタンク類の保温の数量を表面積としたか。		
	・ 熱源機器の保温は製造者の見積を参考とするか、または別途に計測するかを確認したか。		
	・ 煙道の断熱材の数量を煙道の表面積としたか。		
塗装	・ 機器類及びタンク類の塗装の数量を表面積としたか。		
	・ 支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。		

1-2 空調 ダクト設備

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 ダクト	・ダクトの種別を確認したか。 : 低速ダクト 高速ダクト		
	・多湿箇所に使用するダクトをシール付としたか。		
長方形ダクト	・低圧ダクトの工法を確認したか。 : アングルフランジ工法		
	・ " : コーナボルト工法 (共板フランジ工法)		
	・ " : コーナボルト工法 (スライトフランジ工法)		
	・長方形ダクトの数量をダクト長さに周長を乗じた表面積としたか。		
スパイラルダクト	・スパイラルダクト及び円形ダクトの数量を口径毎の長さとしたか。		
フレキシブルダクト	・フレキシブルダクトの数量を材質、口径及び長さ毎の本数としたか。		
鋼板製ダクト	・防火区画の壁・床を貫通する鋼板製ダクト(1.6t)の数量を面積としたか。		
チャンパー類	・チャンパー類の数量を表面積としたか。		
	・チャンパー類の内貼りの有無を確認したか。有の場合、仕様を確認したか。		
	・点検口は図示を確認して寸法毎の数量としたか。		
ボックス類	・ボックスの内貼りの有無を確認したか。		
	・線状吹出口ボックスの板厚はボックスの高さをもとにした板厚としたか。		
消音エルボ	・消音エルボの数量を数量積算基準による略算法による表面積としたか。		
2 ダクト付属品			
吹出口及び吸込口	・数量をその材質、形状及び寸法毎の個数としたか。		
たわみ継手	・送風機に接続した、たわみ継手の数量を送風機毎の組数としたか。		
	・たわみ継手の数量を接続したかダクト又は機器の周長としたか。		
ダンパー	・ダンパーの数量を種類、寸法及び形状毎の個数としたか。		
	・防煙ダンパーの復帰方式を確認したか。 : 遠隔復帰式		
	・ " : 手動式		
	・ピストンダンパーの復帰方式を確認したか。 : 遠隔復帰式		
・ " : 手動式			
エアフィルター	・エアフィルターの数量を形式毎の組数としたか。		
ベントキャップ類	・ベントキャップ及びウェザーカバーの数量を材質及び形状等毎の個数としたか。		
鋼製支持架台等	・ダクト用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。		
3 計器類			
風量測定口	・数量を測定口の材質及び形式毎の個数としたか。		
温度計	・数量を材質及び形式毎の個数としたか。		

1-2 空調 ダクト設備

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
4 保温・塗装			
保温	・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。		
	・長方形ダクトの保温の数量をダクトの表面積としたか。		
	・スパイラルダクトの保温の数量を350A以下は長さとしたか。		
	・スパイラルダクトの保温の数量を350Aを超えるものは表面積としたか。		
	・チャンバー類の保温の数量は表面積としたか。		
	・消音エルボ等の保温の数量を表面積としたか。		
塗装	・ダクトの塗装の数量をダクトの表面積としたか。		
	・屋内露出箇所での塗装の箇所を確認したか。		
	・無し		
	・有り		
	・チャンバー類の塗装の数量は表面積としたか。		
	・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。		

1-3 空調 配管設備

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 配管			
配管材料	・施工上の分類により区分したか（屋内一般、機械室・便所など）。		
	・形鋼振れ止め支持が必要な場合は、配管工事費の3%を計上したか。		
	・屋外架空や屋上配管は、支持金物を計上したか。		
	・配管類のためのスリーブ費を配管工事費に対し次の率で計上したか。		
	・鉄筋コンクリート造は9%		
	・鉄骨鉄筋コンクリート造は6%		
	・デッキプレートの開口切断費を配管工事費に対し2%の率で計上したか。		
	・冷媒管の防火区画貫通部材を確認したか。		
	・配管材料を確認したか。		
	・冷温水管 : 配管用炭素鋼鋼管(白)(※工事特記仕様書で管材を確認)		
	・ " : ステンレス鋼鋼管(SUS304)(※工事特記仕様書で管材を確認)		
	・ " :		
	・冷却水管 : 配管用炭素鋼鋼管(白)(※工事特記仕様書で管材を確認)		
	・ " :		
	・蒸気管 給気管 : 配管用炭素鋼鋼管(黒)(※工事特記仕様書で管材を確認)		
・ " : 圧力配管用炭素鋼鋼管(黒)Sch40(※工事特記仕様書で管材を確認)			
・ " " :			
・ " 還管 : 圧力配管用炭素鋼鋼管(黒)Sch40 (※工事特記仕様書で管材を確認)			
・ " " :			
・油 管 : 配管用炭素鋼鋼管(黒)(※工事特記仕様書で管材を確認)			
・空調用排水管 : 配管用炭素鋼鋼管(白)(※工事特記仕様書で管材を確認)			
・膨張管、空気抜き管及び補給水管 : 配管用炭素鋼鋼管(白) (※工事特記仕様書で管材を確認)			

1-3 空調 配管設備

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
2 配管付属品			
弁類	・ 弁類の耐圧を確認したか。 : 図示		
	・ " : JIS又はJV5k		
	・ ステンレス鋼鋼管に取り付ける弁類を確認したか。 : 青銅製		
	・ " : ステンレス製		
	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
防振継手	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
伸縮管継手	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
ルキア・ル・ポイント	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
弁装置	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の組数としたか。		
	・ 弁装置の構成品の歩掛りを確認したか。		
	・ 弁装置の制御弁本体の価格は取付労務費のみを計上したか。		
	・ 蒸気の弁装置の保温は図示の無い場合、計上していないか確認したか。		
	・ 屋内露出の保温を行う弁類の保温外装をカラー鉄板としたか。		
	・ 屋内隠蔽の保温を行う弁類の保温外装を配管保温外装と同じとしたか。		
鋼製支持架台等	・ 配管用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。		
3 計器類			
ポンプ付属品	・ ポンプ付属品と重複がないか確認したか。		
瞬間流量計	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
	・ 固定形の数量を設置数量としたか。		
	・ 着脱式の場合、メーターの必要個数とノズルの設置個数としたか。		
圧力計	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
	・ 蒸気用とその他用に拾い分けをしたか。		
温度計	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
4 保温・塗装			
保温	・ 保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。		
	・ 配管の保温の数量を配管の長さとしたか。		
	・ 弁類、ストレーナー等の保温は呼び径が65A以上を計測の対象とし、保温の数量を個数としたか。		
	・ バタフライ弁の保温を他の弁と分けたか。		
	・ 冷媒管の保温外装を確認したか。		
	・ 屋内露出箇所 : 保温化粧ケース		
	・ 屋内露出箇所 :		
	・ 屋内隠ぺい箇所 :		
	・ 屋外露出箇所 : ステンレス鋼板		
	・ 屋外露出箇所 :		
塗装	・ 配管の塗装及び防錆の数量を配管の長さとしたか。		
	・ 支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。		
文字標識等	・ 数量を建物の延べ面積に対応した工数としたか。		
案内板	・ 図面特記を確認したか。 m ²		

1-4 空調 総合調整

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 総合調整			
	・ 配管系統の数量を配管の長さとしたか。		
	・ 長方形ダクトの数量を表面積としたか。		
	・ スパイラルダクトの数量を長さとしたか。		
	・ パッケージ方式の機器、冷媒管は計測の対象としていないか。		
	・ 単独の全熱交換ユニット等の系統が独立しており風量調整を必要としないダクトを計測の対象としていないか。		
	・ 各階機械室内機器の数量をユニット形空調機及びコンパクト形空調機の台数としたか。		
	・ ファンコイルユニットの数量をファンコイルユニットの台数としたか。		
	・ 主機械室内機器の数量を建物の延べ面積に対応した工数としたか。		

2. 換気設備

2-1 換気 機器設備

チェック項目	チェック内容	確認 数	▼
1 機器数量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。ただし、付属品は計測の対象としていないか。 ・ 内訳書摘要への記載は図面と整合しているか。 		
2 搬入・据付			
搬入	・ 内訳書への計上の単位を質量(t)としたか。		
据付	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。 ・ 内訳書への計上の単位を人工数又は見積りによる金額としたか。 		
3 コンクリート基礎			
コンクリート	・ コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。		
型枠	・ 型枠の数量をコンクリート側面の面積としたか。		
鉄筋	・ 鉄筋の数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さ、単位質量を乗じた質量としたか。		
モルタル	・ モルタルの数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。		

2-2 換気 ダクト設備

チェック項目	チェック内容	確認 数	▼
1 ダクト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厨房排気系統のダクト板厚を1サイズアップとしたか。 ・ ダクトの種別を確認したか。 : 低速ダクト 高速ダクト ・ 多湿箇所を使用するダクトをシール付としたか。 		
長方形ダクト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧ダクトの工法を確認したか。 : アンクルフランジ工法 ・ " : コーナボルト工法 (共板フランジ工法) ・ " : コーナボルト工法 (スライドフランジ工法) ・ 長方形ダクトの数量をダクト長さに周長を乗じた表面積としたか。 		
スパイラルダクト	・ スパイラルダクト及び円形ダクトの数量を口径毎の長さとしたか。		
フレキシブルダクト	・ フレキシブルダクトの数量を材質、口径及び長さ毎の本数としたか。		
鋼板製ダクト	・ 防火区画の壁・床を貫通する鋼板製ダクト(1.6t)の数量を面積としたか。		
チャンパー類	<ul style="list-style-type: none"> ・ チャンパー類の数量を表面積としたか。 ・ チャンパー類の内貼りの有無を確認したか。有の場合、仕様を確認したか。 ・ 点検口は図示を確認して寸法毎の数量としたか。 		
ボックス類	・ ボックスの内貼りの有無を確認したか。		
消音エルボ	・ 消音エルボの数量を数量積算基準による略算法による表面積としたか。		

2-2 換気 ダクト設備

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
2 ダクト付属品			
吹出口及び吸込口	・ 数量をその材質、形状及び寸法毎の個数としたか。		
たわみ継手	・ 数量を接続したダクト又は機器の周長としたか。 ・ 送風機に接続した、たわみ継手の数量は送風機毎の組数としたか。		
ダンパー	・ ダンパーの数量を種類、寸法及び形状毎の個数としたか。		
	・ 防煙ダンパーの復帰方式を確認したか。 : 遠隔復帰式		
	・ " " : 手動式		
	・ ピストンダンパーの復帰方式を確認したか。 : 遠隔復帰式		
・ " " : 手動式			
エアフィルター	・ エアフィルターの数量を形式毎の組数としたか。		
ベントキャップ類	・ ベントキャップ及びウェザーカバーの数量を材質及び形状毎の個数としたか。		
排気フード	・ 数量を材質及び形状毎の個数としたか。		
鋼製支持架台等	・ ダクト用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。		
3 計器類			
風量測定口	・ 数量を測定口の材質及び形式毎の個数としたか。		
4 保温・塗装			
保温	・ 保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。		
	・ 長方形ダクトの保温の数量をダクトの表面積としたか。		
	・ スパイラルダクトの保温の数量は、350A以下は長さとしたか。		
	・ スパイラルダクトの保温の数量は、350Aを超えるものは表面積としたか。		
	・ チャンバー類の保温の数量は表面積としたか。		
	・ 消音エルボ等の保温の数量を表面積としたか。		
塗装	・ ダクトの塗装の数量をダクトの表面積としたか。		
	・ 屋内露出箇所での塗装の箇所を確認したか。		
	・ 無し		
	・ 有り		
	・ チャンバー類の塗装の数量を表面積としたか。		
・ 支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。			

2-3 換気 総合調整

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 総合調整			
	・ 系統が独立しており風量調整を必要としないダクトを計測の対象としていないか。		
	・ 長方形ダクトの数量を表面積としたか。		
	・ スパイラルダクトの数量を長さとしたか。		

3. 排煙設備

3-1 排煙 機器設備

チェック項目	チェック内容	確認数	▼
1 機器数量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。ただし、付属品を計測の対象としていないか。 ・ 内訳書摘要への記載を図面と整合したか。 		
2 搬入・据付			
搬入	・ 内訳書への計上の単位を質量(t)としたか。		
据付	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。 ・ 内訳書への計上の単位を人工数又は見積りによる金額としたか。 		
3 コンクリート基礎			
コンクリート	・ コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。		
型枠	・ 型枠の数量をコンクリート側面の面積としたか。		
鉄筋	・ 鉄筋の数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さ、単位質量を乗じた質量としたか。		
モルタル	・ モルタルの数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。		

3-2 排煙 ダクト設備

チェック項目	チェック内容	確認数	▼
1 ダクト共通			
長方形ダクト	・ 長方形ダクトの数量をダクト長さに周長を乗じた表面積としたか。		
円形ダクト	・ 円形ダクト及び円形ダクトの数量を口径毎の長さとしたか。		
チャンパー類	<ul style="list-style-type: none"> ・ チャンパー類の数量を表面積としたか。 ・ 点検口は図示を確認して寸法・数量を計上したか。 		
2 ダクト付属品			
排煙口	・ 数量を種類、寸法及び形状毎の個数としたか。		
たわみ継手	・ 送風機に接続した、たわみ継手の数量は送風機毎の組数とし、仕様は排煙用としたか。		
ダンパー	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダンパーの数量を種類、寸法及び形状毎の個数としたか。 ・ 防煙ダンパーの復帰方式を確認したか。 : 遠隔復帰式 ・ " " : 手動式 ・ ピストンダンパーの復帰方式を確認したか。 : 遠隔復帰式 ・ " " : 手動式 		
	・ 排煙ダクトに使用するFDをHFDとしたか。		
鋼製支持架台等	・ ダクト用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。		
3 計器類			
風量測定口	・ 数量を測定口の材質及び形式毎の個数としたか。		
4 保温・塗装			
保温	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。 ・ 長方形ダクトの保温の数量をダクトの表面積としたか。 ・ 円形ダクトの保温の数量は、350A以下は長さとしたか。 ・ 円形ダクトの保温の数量は、350Aを超えるものは表面積としたか。 		
塗装	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダクトの塗装の数量をダクトの表面積としたか。 ・ チャンパー類の塗装の数量を表面積としたか。 ・ 支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。 		

3-3 排煙 総合調整

チェック項目	チェック内容	確認数	▼
1 総合調整	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長方形ダクト系統の数量を表面積としたか。 ・ 円形ダクト数量を長さとしたか。 		

4. 自動制御設備

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 自動制御設備			
	・専門工事業者の見積りとしたか。		
	・複数棟の場合は棟毎に区分けがされているか確認したか。		
	・自動制御装置、中央監視制御装置、自動制御盤、計装工事、エンジニアリング費、調整費及び諸経費に区分しているか。		

5. 衛生器具設備

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 衛生器具			
	・衛生器具は、本体及び水栓、止水栓、排水トラップ等の付属金物又は付属品を含めて一組としたか。		
	・ユニットトイレ、大便器・小便器・洗面器ユニット、オストメイト対応ユニットをユニット毎の組数としたか。		
	・オストメイト対応ユニットのライニング内配管が配管ユニットか、現場施工か確認したか。		
	・身体障害者用として大便器、小便器、洗面器等の廻りに取付ける手摺等を含めていないか。		
	・化粧棚、水石けん入れ、鏡、手摺り等の数量を組数又は個数としたか。		
	・内訳書摘要への記載を図面と整合したか。		
2 衛生器具の価格			
	・単価は材料単価と市場単価（取付費）の合成単価としているか。		
	・ユニットトイレ、大便器・小便器・洗面器ユニットを施工も含めた製造者の見積りとしたか。		

6. 給水設備

6-1 給水 機器

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 機器数量			
	・機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。		
2 搬入・据付			
	搬入	・内訳書への計上の単位を質量(t)としたか。	
	据付	・機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。 ・内訳書への計上の単位を人工数又は見積りによる金額としたか。	
3 コンクリート基礎			
	コンクリート	・コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。また、鉄筋、電線管及び配管類による体積の欠除は無いものとしたか。	
	型枠	・数量をコンクリート側面の面積としたか。	
	鉄筋	・数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さに、単位質量を乗じた質量としたか。	
	モルタル	・数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。	
4 保温・塗装			
	保温	・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。	
		・機器及びタンク類の保温の数量を表面積としたか。	
	塗装	・機器及びタンク類の塗装の数量を表面積としたか。	
・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。			

6-2 給水 配管

チェック項目	チェック内容	確認 数	▼
1 配管	・ 施工上の分類により区分したか（屋内一般、機械室・便所など）。		
	・ 形鋼振れ止め支持が必要な場合は、配管工事費の3%を計上したか。		
	・ 配管類のためのスリーブ費を配管工事費に対し次の率で計上したか。		
	・ 鉄筋コンクリート造は10%		
	・ 鉄骨鉄筋コンクリート造は7%		
	・ デッキプレートの開口切断費を配管工事費に対し4%の率で計上したか。		
配管材料	・ 配管材料の確認をしたか。		
	・ 一般配管 : 塩ビライニング鋼管 (○VA ○)		
	・ " : ステンレス鋼鋼管 (○SUS304 ○)		
	・ " : ポリ粉体鋼管 (○PA ○)		
	・ " :		
	・ 地中埋設配管 : 塩ビライニング鋼管 (VD)		
	・ " : ステンレス鋼鋼管 (○SUS316 ○)		
	・ " : ポリ粉体鋼管 (PD)		
	・ " :		
	・ 水道直結配管 : 引き込みは水道事業者の指定による。		
・ " : 量水器以降の地中埋設配管は (○)			
・ " : 他の部分は一般配管による。			
2 配管付属品			
水栓類	・ 数量をその形式及び規格毎の個数としたか。		
弁類	・ 弁類の耐圧を確認したか。 : 図示		
	・ " : JIS又はJV5k		
	・ ステンレス鋼鋼管に取り付ける弁類を確認したか。 : 青銅製		
	・ " : ステンレス製		
	・ ライニング鋼管に取り付ける弁類を確認したか。 : 青銅製(管端防食コア)		
	・ 青銅製の弁類を使用する場合は給水用(鉛入)としたか。		
防振継手	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
フルシグナルジョイント	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
弁装置	・ 弁装置の構成品の歩掛りを確認したか。		
	・ 屋内露出の保温を行う65A以上の弁類の保温外装をカラー鉄板としたか。		
	・ 弁装置の制御弁本体の価格は取付労務費のみを計上したか。		
鋼製支持架台等	・ 配管用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。		
3 計器類			
ポンプ付属品	・ ポンプ付属品と重複がないか確認したか。		
量水器	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
	・ 子メーター (○貸与品 ○買取品)、読取方式 (○直読式 ○遠隔式)		
圧力計	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
4 保温・塗装			
保温	・ 保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。		
	・ 配管の保温の数量を配管の長さとしたか。		
	・ 弁類、ストレーナー等の保温は呼び径が65A以上を計測の対象とし、保温の数量を個数としたか。		
	・ バタフライ弁の保温を他の弁と分けたか。		
	・ ステンレス鋼鋼管の保温を75Su以下については、1サイズダウンとしたか。		
塗装	・ 配管の塗装及び防錆の数量を配管の長さとしたか。		
	・ 支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。		
文字標識等	・ 数量を建物の延べ面積に対応した工数としたか。		
案内板	・ 図面特記を確認したか。 m ²		

7. 排水設備

7-1 排水 機器

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 機器数量	・ 機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。		
2 搬入・据付			
搬入	・ 内訳書への計上の単位を質量(t)としたか。		
据付	・ 機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。 ・ 内訳書への計上の単位を人工数又は見積りによる金額としたか。		
3 コンクリート基礎			
コンクリート	・ コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。また、鉄筋、電線管及び配管類による体積の欠除は無いものとしたか。		
型枠	・ 数量をコンクリート側面の面積としたか。		
鉄筋	・ 数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さ、単位質量を乗じた質量としたか。		
モルタル	・ 数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。		
4 保温・塗装			
保温	・ 保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。 ・ 機器及びタンク類の保温の数量を表面積としたか。		
塗装	・ 機器及びタンク類の塗装の数量を表面積としたか。 ・ 支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。		

7-2 排水 配管

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 配管	・ 施工上の分類により区分したか（屋内一般、機械室・便所など）。 ・ 形鋼振れ止め支持が必要な場合は、配管工事費の3%を計上したか。 ・ 配管類のためのスリーブ費を配管工事費に対し次の率で計上したか。 ・ 鉄筋コンクリート造は10% ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造は7% ・ デッキプレートの開口切断費を配管工事費に対し4%の率で計上したか。		
配管材料	・ 配管材料の確認をしたか。 ・ 屋内污水管 : 排水用塩ビライニング鋼管 ・ " : 鉛管 ・ " : コーティング鋼管 ・ " : ・ 屋内一般雑排水管 : 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ " : 鉛管 ・ " : 排水用塩ビライニング鋼管 ・ 一般用排水通気管 : 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ " : ビニル管（RF-V P） ・ ポンプアップ排水管 : 排水用ノンタルエポキシ塗装鋼管 ・ " :		
2 配管付属品			
弁類	・ 弁類の耐圧を確認したか。 : 図示 ・ " : JIS又はJV5k ・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
防振継手	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
フレキシブルジョイント	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
排水金物類	・ 数量をその形式及び規格毎の個数としたか。		
滴水試験継手	・ 数量をその形式及び規格毎の個数としたか。		
鋼製支持架台等	・ 配管用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。		
3 計器類			
ポンプ付属品	・ ポンプ付属品と重複がないか確認したか。		
圧力計	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
4 保温・塗装			
保温	・ 保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。 ・ 配管の保温の数量を配管の長さとしたか。 ・ 弁類等の保温は呼び径が65A以上を計測の対象とし、保温の数量を個数としたか。 ・ バタフライ弁の保温を他の弁と分けたか。 ・ 弁類の保温外装の種別を図面・標準仕様書で確認したか。		
塗装	・ 配管の塗装及び防錆の数量を配管の長さとしたか。 ・ 支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。		

8. 給湯設備

8-1 給湯 機器

チェック項目	チェック内容	確認 数	▼
1 機器数量	・ 機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。		
	・ 煙道の数量を搬入・据付費までを含め一式としたか。		
2 搬入・据付	搬入	・ 内訳書への計上の単位を質量(t)としたか。	
	据付	・ 機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。 ・ 内訳書への計上の単位を人工数又は見積りによる金額としたか。	
3 コンクリート基礎	コンクリート	・ コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。また、鉄筋、電線管及び配管類による体積の欠除は無いものとしたか。 ・ 無筋コンクリートがある場合の基礎の高さを無筋コンクリートの厚さを加えたものとしたか。	
	型枠	・ 数量をコンクリート側面の面積としたか。	
	鉄筋	・ 数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さ、単位質量を乗じた質量としたか。	
	モルタル	・ 数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。	
4 保温・塗装	保温	・ 保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。 ・ 機器及びタンク類の保温の数量を表面積としたか。	
	塗装	・ 機器及びタンク類の塗装の数量を表面積としたか ・ 支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。 ・ 煙道の断熱材の数量を煙道の表面積としたか。	

8-2 給湯 配管

チェック項目	チェック内容	確認 数	▼
1 配管	・ 施工上の分類により区分したか（屋内一般、機械室・便所など）。		
	・ 形鋼振れ止め支持が必要な場合は、配管工事費の3%を計上したか。		
	・ 配管類のためのスリーブ費を配管工事費に対し次の率で計上したか。		
	・ 鉄筋コンクリート造は10%		
	・ 鉄骨鉄筋コンクリート造は7%		
配管材料	・ デッキプレートの開口切断費を配管工事費に対し4%の率で計上したか。		
	・ 給湯管の管材を確認したか。 (膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む)		
	・ ステンレス鋼鋼管 ・ 銅管		

8-2 給湯 配管

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
2 配管付属品			
水栓類	・ 数量をその形式及び規格毎の個数としたか。		
弁類	・ 弁類の耐圧を確認したか。 : 図示		
	・ " : JIS又はJV5k		
	・ ステンレス鋼鋼管に取り付ける弁類を確認したか。 : 青銅製		
	・ " : ステンレス製		
	・ 青銅製の弁類を使用する場合は給水用(鉛レス)としたか。		
	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
防振継手	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
フレキシブルジョイント	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
鋼製支持架台等	・ 配管用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。		
3 計器類			
ポンプ付属品	・ ポンプ付属品と重複がないか確認したか。		
瞬間流量計	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
	・ 固定形の数量は設置数量としたか。		
	・ 着脱式の場合、メーターの必要個数とノズルの設置個数としたか。		
圧力計	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
温度計	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
4 保温・塗装			
保温	・ 保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。		
	・ 配管の保温の数量を配管の長さとしたか。		
	・ バタフライ弁の保温を他の弁と分けたか。		
	・ 弁類、ストレーナー等の保温は呼び径が65A以上を計測の対象とし、保温の数量を個数としたか。		
	・ ステンレス鋼鋼管の保温を75Suまでサイズダウンしたか。		
	・ 銅管の保温を40Aまでサイズダウンしたか。		
塗装	・ 配管の塗装及び防錆の数量を配管の長さとしたか。		
	・ 支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。		

9. 消火設備

9-1 消火 機器

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 機器数量			
	・ 機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。		
2 搬入・据付			
搬入	・ 内訳書への計上の単位を質量(t)としたか。		
据付	・ 機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。		
	・ 内訳書への計上の単位を人工数又は見積りによる金額としたか。		
3 コンクリート基礎			
コンクリート	・ コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。		
型枠	・ 数量をコンクリート側面の面積としたか。		
鉄筋	・ 数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さに、単位質量を乗じた質量としたか。		
モルタル	・ 数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。		
4 保温・塗装			
保温	・ 保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。		
	・ 機器及びタンク類の保温の数量を表面積としたか。		
塗装	・ 機器及びタンク類の塗装の数量を表面積としたか。		
	・ 支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。		

9-2 消火 器具類

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 消火器具類	・消火設備の器具の数量を屋内及び屋外消火栓箱、連結送水管等の形式及び、規格寸法毎の個数又は組数としたか。		
屋内消火栓種別	・屋内消火栓の種別を確認したか。		
	・屋内消火栓		
	・易操作性1号消火栓		
	・2号消火栓		

9-3 消火 配管

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 配管	・施工上の分類により区分したか（屋内一般、機械室・便所など）。		
	・形鋼振れ止め支持が必要な場合は、配管工事費の3%を計上したか。		
	・配管類のためのスリーブ費を配管工事費に対し次の率で計上したか。		
	・鉄筋コンクリート造は10%		
	・鉄骨鉄筋コンクリート造は7%		
	・デッキプレートの開口切断費を配管工事費に対し4%の率で計上したか。		
配管材料	・配管材料を確認したか。		
	・図示による。 図示の管材：		
	・配管用炭素鋼鋼管（白）		
	・圧力配管用炭素鋼鋼管（白）		
	・		
地中埋設配管の接合	・地中埋設配管及び接合を確認したか。		
	・外面被覆鋼管の呼び径100以下はねじ接合としたか。		
2 配管付属品			
弁類	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
防振継手	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
ルキパルポイント	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
弁装置	・弁装置の構成品の歩掛りを確認したか。		
	・弁装置の数量を規格及び口径毎の組数としたか。		
	・弁装置の構成品を歩掛りによる弁装置の数量としたか。		
	・弁装置の制御弁本体の価格は自動制御とし、据付労務のみを計上したか。		
屋内消火栓開閉弁	・屋内消火栓開閉弁の圧力を確認したか。		
	・10K		
鋼製支持架台等	・配管用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。		
3 計器類			
ポンプ付属品	・ポンプ付属品と重複がないか確認したか。		
瞬間流量計	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
	・固定形の数量を設置数量としたか。		
	・着脱式の場合、メーターの必要個数とノズルの設置個数としたか。		
圧力計	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
4 保温・塗装			
保温	・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。		
	・屋外露出部分の保温仕様の確認をしたか。		
	・有り：e3・(ハ)・V		
	・有り：		
	・無し		
	・配管の保温の数量を配管の長さとしたか。		
	・弁類、ストレーナー等の保温は呼び径が65A以上を計測の対象とし、保温の数量を個数としたか。		
	・バタフライ弁の保温を他の弁と分けているか。		
塗装	・配管の塗装及び防錆の数量を配管の長さとしたか。		
	・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。		

10. ガス設備

10-1 都市ガス設備

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 都市ガス設備			
	・ガス事業者の見積りとしたか。		
	・複数棟の場合は棟毎に区別がされているか確認したか。		
	・見積りに塗装、スリーブなどが含まれなかった場合、別途計上したか。		

10-2 液化石油ガス設備

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 機具類	集合装置	・接続するポンベ数としたか。	
		・自動切り替え調整装置としてのホース、バルブ、ヘッダ、計器類の他に転倒防止金物を含むものとし別途計上していないか。	
	感震センサー	・形式、仕様毎の数量としたか。	
	感震遮断弁	・形式、口径毎の数量としたか。	
	ガス漏水警報器	・形式、仕様毎の数量としたか。	
	ガス栓類	・仕様、呼び径毎の数量としたか。	
2 配管		・施工上の分類により区分したか（屋内一般、機械室・便所など）。	
		・形鋼振れ止め支持が必要な場合は、配管工事費の3%を計上したか。	
		・配管類のためのスリーブ費を配管工事費に対し次の率で計上したか。	
		・鉄筋コンクリート造は10%	
		・鉄骨鉄筋コンクリート造は7%	
		・デッキプレートの開口切断費を配管工事費に対し4%の率で計上したか。	
配管材料		・配管材料を確認したか。	
		・種類：	
3 配管付属品	弁類	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。	
	ルギア/ルギョイント	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。	
	鋼製支持架台等	・配管用の鋼製支持架台の数量を鋼材の厚さ毎の質量としたか。	
4 保温・塗装	塗装	・配管の塗装及び防錆の数量を配管の長さとしたか。	
		・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。	

11. 厨房機器設備

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 機器数量			
		・機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。	
2 搬入・据付			
		・搬入・据付費は原則として標準歩掛り又は、大型機器等の場合、及び試験調整費は施工者の見積りとしているか。	
3 試験調整費			
		・据付後の点火試験、出力調整を確認したか。	

12. 屋外 給水設備
12-1 屋外給水 機器

チェック項目	チェック内容	確認数	▼
1 機器数量	・ 機器類の数量を機器の形式毎の台数又は組数としたか。		
2 搬入・据付			
搬入	・ 内訳書への計上の単位を質量(t)としたか。		
据付	・ 機器の据付は、防振基礎・天吊り等の施工条件を確認したか。 ・ 内訳書への計上の単位を人工数又は見積りによる金額としたか。		
3 コンクリート基礎			
コンクリート	・ コンクリートの面積にその高さ、又は厚さを乗じた体積としたか。		
型枠	・ 数量をコンクリート側面の面積としたか。		
鉄筋	・ 数量をコンクリートの設計寸法に基づく長さ、単位質量を乗じた質量としたか。		
モルタル	・ 数量をモルタル塗りを行うコンクリート面の面積としたか。		
4 保温・塗装			
保温	・ 保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。 ・ 機器及びタンク類の保温の数量を表面積としたか。		
塗装	・ 機器及びタンク類の塗装の数量を表面積としたか。 ・ 支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。		

12-2 屋外給水 配管

チェック項目	チェック内容	確認数	▼
1 配管			
配管材料	・ 施工上の分類により区分したか（屋内一般、地中配管など）。 ・ 配管材料を確認したか。 ・ 地中埋設配管 : 塩ビライニング鋼管(VD) ・ " : ステンレス鋼管(SUS316) ・ " : ポリ粉体鋼管(PD) ・ " : ポリエチレン管 ・ " : ・ 水道直結配管 量水器までの引き込みは水道事業者の指定による。		
2 配管付属品			
水栓類	・ 数量をその形式及び規格毎の個数としたか。		
水栓柱	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。 ・ 水栓柱の材質を確認したか。 ・ 合成樹脂製 ・ 人造石とぎ出し製 ・ ステンレス製		
弁類	・ 弁類の耐圧を確認したか。 : 図示 ・ " : JIS又はJV10k ・ ステンレス鋼管に取り付ける弁類を確認したか。 : 青銅製 ・ " : ステンレス製 ・ ライニング鋼管に取り付ける弁類を確認したか。 : 青銅製(管端防食コア) ・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。 ・ 青銅製の弁類を使用する場合は給水用(鉛レス)としたか。		
防振継手	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
フキンポイント	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
弁装置	・ 数量を形式、規格及び呼び径毎の組数としたか。 ・ 弁装置の構成品の歩掛りを確認したか。 ・ 屋外露出の保温を行う弁類の保温外装をステンレス鋼板としたか。 ・ 弁装置の制御弁本体の価格は自動制御とし、据付労務のみを計上したか。		
鋼製支持架台等	・ 数量は鋼材の厚さ毎の質量としたか。		
地中埋設標	・ 数量を規格毎の個数としたか。 (地表面:コンクリート製 舗装面:鉄製)		
埋設表示テープ	・ 数量を埋設配管の長さとしたか。		

12-2 屋外給水 配管

チェック項目	チェック内容	確認 数	▼
3 計器類			
ポンプ付属品	・ポンプ付属品と重複がないか確認したか。		
量水器	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。 ・親メーター（○貸与品 ○買取品）、読取方式（○直読式 ○遠隔式） ・子メーター（○貸与品 ○買取品）、読取方式（○直読式 ○遠隔式）		
量水器樹	・水道事業者指定品（○貸与品 ○買取り） ・標準図MC形		
圧力計	・数量を形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
4 保温・塗装			
保温	・保温工事は標準仕様書及び特記仕様書に記載されている施工上の分類及び関連材料等により区分したか。 ・配管の保温の数量を配管の長さとしたか。 ・弁類、ストレーナー等の保温は呼び径が65A以上を計測の対象とし、保温の数量を個数としたか。 ・バタフライ弁の保温を他の弁と分けたか。		
塗装	・配管の塗装及び防錆の数量を配管の長さとしたか。 ・支持架台等について、塗装の数量は表面積、亜鉛メッキは重量としたか。		
5 土工事			
根切り	・土工事の数量を他の土工事と重複のない数量としたか。		
埋め戻し土 ・盛土	・埋め戻し土の処理方法を確認したか。 ・根切り土の中の良質土 ただし○コンクリート管 ○樹脂管 ○ 管以外の周囲は山砂の類 ・山砂の類		
埋戻し	・数量を根切り数量から基準線以下の山砂・砂利地業等の体積を減じた体積としたか。		
建設発生土	・建設発生土の処理方法を確認したか。 ・処理方法：構内敷ならし ・処理方法：構内指定場所へのたい積 ・処理方法：場外搬出 ・数量を根切り数量から埋戻し数量を減じた体積としたか。		
砂利地業等	・配管類の砂利地業等の体積を根切り底面積に厚さを乗じた体積としたか。		
土工機械	・運搬費は他の土工事と内容を確認して計上したか。 ・排水設備に含む。 ・給水設備に含む。		

13. 屋外 排水設備
13-1 屋外排水 配管

チェック項目	チェック内容	確認 数	▼
1 配管			
配管材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配管材料を確認したか。 ・ 屋外埋設配管 : ビニル管 (REP-VU) ・ // : ビニル管 (RS-VU) ・ // : コンクリート管 ・ // : 		
2 排水柵類	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数量を形式、規格及び深さ毎の組数としたか。 ・ 柵の設置箇所の蓋の耐荷重を確認したか。 		
3 土工事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 根切り、埋戻し及び残土処分を計画数量とし、砂利地業等を設計数量としたか。 ・ 土工事の数量を他の土工事と重複のない数量としたか。 		
根切り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 根切りの数量を根切り幅に根切り長さ及び根切り深さを乗じた体積としたか。 		
埋め戻し土 ・ 盛土	<ul style="list-style-type: none"> ・ 埋め戻し土の処理方法を確認したか。 ・ 根切り土の中の良質土 ただし○コンクリート管 ○樹脂管 ○ 管以外の周囲は山砂の類 ・ 山砂の類 		
埋戻し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数量を根切り数量から基準線以下の山砂、砂利地業等の体積を減じた体積としたか。 		
建設発生土	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設発生土の処理方法を確認したか。 ・ 処理方法：構内敷ならし ・ 処理方法：構内指定場所へのたい積 ・ 処理方法：場外搬出 ・ 数量は、根切り数量から埋戻し数量を減じた体積としたか。 		
砂利地業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配管類の砂利地業等の体積を根切り底面積に厚さを乗じた体積としたか。 		
土工機械	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運搬費は他の土工事と内容を確認して計上したか。 ・ 排水設備に含む。 ・ 給水設備に含む。 		

Ⅲ. 改修工事 以下記載なき事項は、Ⅱ. 新営工事共通事項による。

1-1 直接仮設

チェック項目	チェック内容	確認数	▼
1 足場・養生等			
外部足場	・ 外部足場の数量を足場の中心の水平長さ×構築物等の上部までの高さによる面積としたか。 また、安全手すりの数量は足場の水平長さとしたか。 ・ 足場の種別を確認したか。(○ 種、○ 種、○ 種、○ 種)		
内部足場	・ 内部足場の数量を対象面積としたか。なお、階高が4m以上の内部足場を高さに応じた足場とし、その数量は足場の区分に応じた対象面積としたか。 ・ 足場の種別を確認したか。(○ 種、○ 種、○ 種、○ 種)		
仮設間仕切り	・ 仮設間仕切りの数量を種別に応じた対象面積としたか。		
搬入経路の養生	・ 資材搬入通路(廊下、階段室、ホール等)の数量を通路幅を2mとした床面としたか。ただし、対象とした幅が2m未満の場合をその幅としたか。		
エレベーターの養生	・ エレベーターの数量をかご内の壁面積(壁の長さ×養生に必要な高さ)及び床面積としたか。		

1-2 撤去工事

チェック項目	チェック内容	確認数	▼
1 共通事項			
撤去の区分け	・ 新設の歩掛りに対する撤去の補正率を確認したか。		
専門工事	・ 撤去後に再使用しないものと再使用するものを区別したか。		
	・ 複数棟の場合は棟毎、改修の場合は撤去と新設の区分けを確認したか。		
2 機器類			
撤去	・ 大型機器の撤去費は製造業者等からの見積りを参考としたか。 ・ 内訳書への計上の単位を人工数又は見積りによる金額としたか。		
搬出	・ 内訳書への計上の単位を質量(t)としたか。		
3 ダクト			
長方形ダクト	・ 長方形ダクトの数量をダクト長さに周長を乗じた表面積としたか。		
スパイラルダクト	・ スパイラルダクト及び円形ダクトの数量を口径毎の長さとしたか。		
フレキシブルダクト	・ フレキシブルダクトの数量を材質、口径及び長さ毎の本数としたか。		
鋼板製ダクト	・ 防火区画の壁・床を貫通する鋼板製ダクト(1.6t)の数量を面積としたか。		
チャンパー類	・ チャンパー類の数量を表面積としたか。		
消音エルボ	・ 消音エルボの数量を略算法による表面積としたか。		
4 ダクト付属品			
制気口	・ 吹出口及び吸込口の数量をその材質、形状及び寸法毎の個数としたか。		
たわみ継手	・ 送風機に接続した、たわみ継手の数量は送風機毎の組数としたか。 ・ たわみ継手の数量を接続したダクト又は機器の周長としたか。		
ダンパー	・ ダンパーの数量を種類、寸法及び形状毎の個数としたか。		
ベントキャップ類	・ ベントキャップ及びウェザーカバーの数量を材質及び形状毎の個数としたか。		
5 配管			
	・ 配管材料を確認したか。		
配管付属品	・ 配管の撤去に伴う、弁類、継手等の数量を呼び径65以上を対象とし、形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		
計器類	・ 計器類の撤去を計上していないか。		
保温	・ 機器類の保温の数量を保温の仕様毎の表面積としたか。 ・ 長方形ダクトの保温の数量をダクトの表面積としたか。 ・ スパイラルダクトの保温の数量をダクト表面積としたか。 ・ チャンパー類の保温の数量をチャンパー類の表面積としたか。 ・ 配管の保温の数量を配管の長さとしたか。 ・ 弁類の保温の数量を呼び径65以上を対象とし、形式、規格及び呼び径毎の個数としたか。		

1-3 あと施工アンカー

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
あと施工アンカー			
	<ul style="list-style-type: none"> ・改修工事における、配管・ダクトに適用したか。 ・数量を種類及び仕様等により区分したか。 		

1-4 切断（切離し）・接続・閉塞

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 切断・接続			
	<ul style="list-style-type: none"> ・切断（切離し）・接続・閉塞を配管・ダクトに区分したか。 		
配管	<ul style="list-style-type: none"> ・配管の切断（切離し）、接続部（分流・合流含む）の数量を切断（切離し）、接続される既設配管の管種及び呼び径毎の箇所数としたか。 ・既設配管の端部閉塞処置の数量を呼び径毎の箇所数としたか。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・設計図書に対象範囲が指定されている場合は、その数量としたか。 ・既設ダクトの閉塞処置の数量を閉塞部の開口面積毎の箇所数としたか。 		

1-5 総合調整

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
総合調整			
	<ul style="list-style-type: none"> ・主機械室内機器の数量は、建物の延面積に対応した工数を、改修面積及び内容等により補正した工数としたか。 		

1-6 発生材処分

チェック項目	チェック内容	確認	▼
		数	
1 石綿含有品	<ul style="list-style-type: none"> ・石綿含有分析調査について確認したか。 ・別途工事 ・本工事 撤去方法・図示による 		
2 発生材の処理			
	<ul style="list-style-type: none"> ・金属類の処理について確認したか。 ・物品管理者に引き渡し ・構外搬出適切処理 		
特別管理産業廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ・特別管理産業廃棄物の処理について確認したか。 ・別途 ・構外搬出適切処理 		
石綿含有産業廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ・石綿含有産業廃棄物の処理について確認したか。 ・別途 ・構外搬出適切処理 		
撤去オイルタンクの内部処理	<ul style="list-style-type: none"> ・撤去するオイルタンクの内部洗浄、中和処理等について確認したか。 ・別途 ・本工事 		
空調機器類撤去に伴う処理	<ul style="list-style-type: none"> ・冷媒（フロン類）の回収について確認したか。 ・別途 ・本工事 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・吸収液（臭化リチウム水溶液）、潤滑油等の回収について確認したか。 ・別途 ・本工事 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・家電リサイクル法対象機器の有無を確認したか。 ・別途 ・本工事 		
上記以外のもの	<ul style="list-style-type: none"> ・上記以外のものについて確認したか。 ・別途 ・構外搬出適切処理 		